

第四次御殿場市総合計画

前期基本計画

(御殿場市まち・ひと・しごと創生総合戦略)

実施計画

(平成29～31年度)

御 殿 場 市

実施計画目次

| 項目 | 頁 | 担当課 | 事業名 | 頁 | 担当課 | 事業名 | 頁 |
|--------------------|----|----------|---------------------------------|-----|--------|-----------------------------|-----|
| 実施計画の位置付けと考え方・策定方針 | 1 | 社会福祉課 | 障害者雇用促進対策事業 | 93 | 地籍調査課 | 地籍調査事業 | 162 |
| 主要事業(分野)の概要 | 2 | 国保年金課 | 国保・後期高齢者保健事業 | 94 | 都市整備課 | 御殿場駅周辺活性化事業 | 163 |
| 財政見直し(3か年) | 3 | 危機管理課 | 自主防災活動推進事業 | 95 | 都市整備課 | 御殿場駅東西自由通路改修事業 | 164 |
| 総括表 | 5 | 危機管理課 | 防災行政無線整備(更新)事業 | 96 | 都市整備課 | 都市計画道路新橋茶沢沢線整備事業 | 165 |
| 実施計画掲載事業の体系図 | 13 | 商工観光課 | 事業所用同報無線戸別受信機設置補助事業 | 97 | 都市整備課 | 都市計画道路新橋深沢線道路整備事業(市道0115号線) | 166 |
| 課別とりまとめ表 | 19 | 総務課 | 御殿場市庁舎東館建設事業 | 98 | 都市整備課 | 箱根乙女口広場・箱根乙女口線整備事業 | 167 |
| 前期基本計画 政策評価指標一覧 | 27 | 総務課 | 富士岡支所移転構想策定事業 | 99 | 都市計画課 | 駅東地区まちづくり推進事業 | 168 |
| 担当課 | | 総務課 | 林業会館リニューアル事業 | 100 | 都市整備課 | 都市計画道路御東原循環線(市道0114号線)整備事業 | 169 |
| 商工観光課 | | 消防本部 | 消防団車両整備事業 | 101 | 都市整備課 | 御殿場駅前通り線事業 | 170 |
| 商工観光課 | | 消防本部 | 消防団活性化事業 | 102 | 都市整備課 | 中心市街地整備事業(市道424号線) | 171 |
| 商工観光課 | | 農林整備課 | 東富士演習場内泊山治水対策事業(3条・受託事業) | 103 | 都市整備課 | 秩父宮記念公園整備事業(第2期) | 172 |
| 商工観光課 | | 農林整備課 | 緑地帯設置等事業 | 104 | 都市整備課 | 緑の基本計画策定事業 | 173 |
| 商工観光課 | | 道路河川課 | 河川改修事業(市単独事業分) | 105 | 都市整備課 | 玉穂地区市民の森づくり・クロスランドリコース整備事業 | 174 |
| 農林整備課 | | くらしの安全課 | 防犯まちづくり推進事業 | 106 | 都市整備課 | 公園施設改善事業 | 175 |
| 商工観光課 | | くらしの安全課 | 市民相談事業 | 107 | 都市整備課 | 緑化推進事業 | 176 |
| 商工観光課 | | くらしの安全課 | 交通安全推進事業 | 108 | 都市整備課 | 「富士山桜いっぱいまちづくり」推進事業 | 177 |
| 商工観光課 | | 管理維持課 | 交通安全施設整備事業 | 109 | 都市整備課 | 全国樺三ツツ御殿場大会事業 | 178 |
| 農林整備課 | | 学校教育課 | 発達障害児支援事業 | 110 | 市民協働課 | 地区広場改修事業 | 179 |
| 農林整備課 | | 学校教育課 | 特別支援教育推進事業 | 111 | 教育総務課 | 地区児童屋内体育施設環境整備事業 | 180 |
| 農林整備課 | | 学校教育課 | 外国人英語指導者配置事業 | 112 | 建築住宅課 | 建築物等地震対策事業 | 181 |
| 農林整備課 | | 学校教育課 | 多人数学級支援事業 | 113 | 建築住宅課 | 市営住宅環境整備事業 | 182 |
| 農林整備課 | | 社会教育課 | 青少年のための科学の祭典事業 | 114 | 建築住宅課 | 市営住宅建替事業 | 183 |
| 農林整備課 | | 学校教育課 | 魅力ある学びづくり推進事業 | 115 | 道路河川課 | 地域計画関連道路整備事業 | 184 |
| 農林整備課 | | 子ども育成課 | 幼稚園環境整備事業 | 116 | 道路河川課 | 道路新設改良事業 | 185 |
| 農林整備課 | | 教育総務課 | 西中学校校舎改築事業 | 117 | 道路河川課 | 生活道路整備事業 | 186 |
| 農政課 | | 教育総務課 | 小学校環境整備事業 | 118 | 道路河川課 | 橋梁新設改良事業 | 187 |
| 農政課 | | 教育総務課 | 小学校プール改築事業 | 119 | 管理維持課 | 道路維持補修事業 | 188 |
| 農政課 | | 教育総務課 | 中学校環境整備事業 | 120 | 管理維持課 | 道路台帳整備事業 | 189 |
| 農林整備課 | | 学校給食課 | 学校給食センター施設改修事業 | 121 | 新東名課 | 新東名高速道路関連事業 | 190 |
| 商工観光課 | | 社会教育課 | 子ども読書活動推進事業 | 122 | 企画課 | 地域公共交通対策事業 | 191 |
| 商工観光課 | | 社会教育課 | 図書館図書整備事業 | 123 | 魅力発信課 | ふるさと納税制度推進事業 | 192 |
| 商工観光課 | | 社会教育課 | 図書館整備事業 | 124 | 魅力発信課 | 魅力発信事業 | 193 |
| 商工観光課 | | 市民協働課 | 地区集会施設整備事業 | 125 | 魅力発信課 | 移住定住促進事業 | 194 |
| 商工観光課 | | 文化スポーツ課 | 富士山の麓で歌う第九演奏会事業 | 126 | 魅力発信課 | 広報紙「広報ごてんば」発行事業 | 195 |
| 商工観光課 | | 文化スポーツ課 | 市民会館ホール棟改修事業 | 127 | 魅力発信課 | コミュニティFM活用事業 | 196 |
| 商工観光課 | | 社会教育課 | (仮称)富士山市民のサロン整備事業 | 128 | 市民協働課 | 市民協働推進事業 | 197 |
| 商工観光課 | | 企画課 | ホストタウン推進事業 | 129 | 市民協働課 | 地方創生まちづくり事業 | 198 |
| 子育て支援課 | | 文化スポーツ課 | 陸上競技場整備・改修(2種公認)事業 | 130 | 市民協働課 | 男女共同参画推進事業 | 199 |
| 社会教育課 | | 文化スポーツ課 | 御殿場市体育館リニューアル改修事業 | 131 | 課税課 | 路線価評価事業 | 200 |
| 子ども育成課 | | 文化スポーツ課 | 南運動場施設改修事業 | 132 | 課税課 | 固定資産課税資料整備事業 | 201 |
| 子ども育成課 | | 文化スポーツ課 | 東運動場施設改修事業 | 133 | 財政課 | 新公会計導入事業 | 202 |
| 子ども育成課 | | 社会教育課 | (仮称)郷土資料館整備検討事業 | 134 | 下水道課 | 企業会計移行事業 | 203 |
| 子育て支援課 | | 市民協働課 | 国際都市交流事業 | 135 | 財政課 | 固定資産台帳整備事業 | 204 |
| 子ども育成課 | | 総務課 | 本庁舎空調設備更新事業 | 136 | 税務課 | 所得課税証明書のコンビニ交付事業 | 205 |
| 子ども育成課 | | 市民協働課 | 地区集会施設整備事業(太陽光発電システム設置) | 137 | 市民課 | 戸籍証明書のコンビニ交付事業 | 206 |
| 子ども育成課 | | 環境課 | 太陽光発電等新・省エネルギー機器設置費補助事業 | 138 | 下水道課 | 公設浄化槽整備事業PFI導入事業 | 207 |
| 救急医療課 | | 環境課 | 環境教育推進・自然環境保全啓発事業 | 139 | 水道業務課 | 水道料金徴収等業務民間委託事業 | 208 |
| 救急医療課 | | 行政課 | 農産物鳥獣被害防止対策モデル事業 | 140 | 水道業務課 | サーバ統合化事業 | 209 |
| 救急医療課 | | 農林整備課 | 鳥獣被害防止対策事業 | 141 | 行政課 | 外部セキュリティ監査事業 | 210 |
| 救急医療課 | | 環境課 | 資源回収奨励事業 | 142 | 議事課 | 議会映像等配信事業 | 211 |
| 救急医療課 | | リサイクル推進課 | 新資源物(金属類、小型家電、ペットボトル)及び危険ごみ収集事業 | 143 | 議事課 | 議会ICT化推進事業 | 212 |
| 救急医療課 | | リサイクル推進課 | ごみ収集運搬業務委託事業 | 144 | 行政課 | セキュリティクラウドシステム利用事業 | 213 |
| 介護福祉課 | | 総務課 | 高濃度PCB廃棄物処分事業 | 145 | 人事課 | 人材育成事業 | 214 |
| 健康推進課 | | リサイクル推進課 | 有機資源循環推進事業 | 146 | 人事課 | 人材育成基本方針策定事業 | 215 |
| 健康推進課 | | 環境課 | 生ごみ処理機等助成事業 | 147 | 農林整備課 | 東富士演習場関連公共施設整備事業(9条排水路) | 216 |
| 健康推進課 | | 水道工務課 | 上水道配水管布設等整備事業 | 148 | 道路河川課 | 特定防衛施設河川改修事業(9条) | 217 |
| 健康推進課 | | 水道工務課 | 上水道配水池築造等整備事業 | 149 | 道路河川課 | 防衛施設関連道路整備事業(8条) | 218 |
| 健康推進課 | | 水道工務課 | 印野簡易水道整備事業 | 150 | 道路河川課 | 防衛施設関連道路整備事業(9条) | 219 |
| 介護福祉課 | | 水道業務課 | 企業会計移行事業 | 151 | | (広域行政組合事業) | |
| 介護福祉課 | | 下水道課 | 下水道管渠整備事業 | 152 | 消防本部 | 出動隊編成再構築事業 | 221 |
| 介護福祉課 | | 下水道課 | 御殿場市公共下水道整備のための計画策定事業 | 153 | 消防本部 | 高機能消防指令センター延命化事業 | 222 |
| 介護福祉課 | | 下水道課 | 浄化槽設置事業 | 154 | 消防本部 | 消防本部車両等更新整備事業 | 223 |
| 介護福祉課 | | 下水道課 | 公設浄化槽整備事業 | 155 | 消防本部 | 富士岡分署新築事業 | 224 |
| 介護福祉課 | | 下水道課 | 御殿場浄化センター機器修繕事業 | 156 | 消防本部 | 消防庁舎電灯LED化事業 | 225 |
| 介護福祉課 | | 下水道課 | 御殿場浄化センター耐震化事業 | 157 | 庶務課 | 斎場施設修繕整備事業 | 226 |
| 社会福祉課 | | 都市計画課 | 優良田園住宅基本方針策定事業 | 158 | 施設課 | ごみ焼却施設周辺整備事業 | 227 |
| 社会福祉課 | | 都市整備課 | 市街地調整区域既存集落内宅地創出事業 | 159 | 施設課 | ごみ再資源化施設整備事業 | 228 |
| 社会福祉課 | | 都市整備課 | 板妻南工業団地開発事業 | 160 | 施設課 | 御殿場・山小RFセンター解体・撤去事業(設計業務) | 229 |
| 社会福祉課 | | 都市整備課 | 夏刈工業用地開発事業 | 161 | 衛生センター | 衛生センター施設修繕整備事業 | 230 |

1 実施計画の位置付けと考え方

実施計画は、第四次御殿場市総合計画の将来都市像である「緑きらきら、人いきいき、交流都市 御殿場」を実現するため、基本構想の政策方針並びに前期基本計画の政策・施策体系に基づき、具体的な事業計画を策定するものである。

前期基本計画においては、平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 か年を計画期間として定め、47 の政策と 257 の施策を行うこととしている。本実施計画は、この前期基本計画に掲げる政策・施策を着実に推進していくため、平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 か年に実施する主要事業について位置付けるものである。

現在、国では、「経済財政運営と改革の基本方針 2016 について」(平成 28 年 6 月 2 日閣議決定)において、「我が国経済のファンダメンタルズの改善を維持するために、人口減少・少子高齢化といった構造的課題に対応し、新たな需要と供給を生み出し、その成果を国民一人ひとりに分配することで『成長と分配の好循環』を実現する」としている。また同時に、経済・財政一体改革の着実な推進のため、本格的な歳出改革に取り組むとしている。

こうしたなか、本市は、子育て支援や健康づくりなど市民生活の安全・安心のための事業を着実に行うとともに、観光ハブ都市、産業立地促進、移住・定住促進などに取り組むことで、御殿場市まち・ひと・しごと創生総合戦略を強く推し進め、地域経済の活性化と人口の増加につなげていくとしている。

一方で、地方交付税や地方譲与税等の交付税収入の減少、社会保障費など経常経費の増大や、消費税増税に伴う物件費・人件費の増額等による事業経費の増大は避けられず、限られた財源の中で効果的に事業を実施しなくてはならない。

これらに対応するため、御殿場型 NPM の基本理念に基づき、市が行うべき事業の選択、財源・人材の集中に引き続き積極的に取り組む必要がある。

以上を踏まえ、本実施計画の策定にあっては、全ての事業をゼロベースから再精査したうえで、各分野において緊急度、重要度ともに高い事業を実施することとした。

2 実施計画(平成 29～31 年度)策定方針

- (1) 第四次御殿場市総合計画前期基本計画(御殿場市まち・ひと・しごと創生総合戦略)に基づく政策・施策を実現するための事業計画とする。
- (2) 財政計画及び 3 か年実施計画策定に伴う投資可能額等を踏まえ、緊急度及び重要度の高い計画を優先する。また、必要性・有効性・効率性の観点から継続事業について再精査を行い、事業の廃止、休止、見直し等事業の再構築を図るとともに、特別な事情を除き新規事業は凍結とする。
- (3) 第四次御殿場市総合計画前期基本計画の KPI(重要業績評価指標)について、その達成度を管理することにより、PDCA を連動させる。

- (4) 国・県等の補助制度の活用を的確に調査、研究し、積極的に新たな財源の確保に努めるものとする。

3 主要事業(分野)の概要

3か年実施計画(平成29~31年度)として、198事業を実施することとした。策定に当たっては、前期基本計画に掲げる政策・施策を総合的かつ計画的に実施するため、市としての特色を生かすための事業や、国・県が推進する福祉施策や農林業基盤・都市基盤の整備など、特に緊急度、重要度ともに高い事業として次に掲げる事業を主要事業として位置付ける。

<政策方針1 人が集い活力あふれる産業を育てるまちづくり>

- ①ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地推進事業 ②産業立地促進奨励金事業 ③地域農業活性化対策事業 ④御殿場市設備投資促進事業(仮)

<政策方針2 笑顔あふれる健やか・福祉のまちづくり>

- ①子ども医療費助成事業 ②不妊治療医療費助成事業
③高齢者健やか事業 ④介護予防・日常生活支援総合事業

<政策方針3 安全で安心して暮らせるまちづくり>

- ①自主防災活動推進事業 ②御殿場市庁舎東館建設事業
③防犯まちづくり推進事業 ④交通安全推進事業

<政策方針4 富士山のように大きな心を持った人づくり>

- ①発達障害児支援事業 ②外国人英語指導者配置事業
③(仮称)富士山市民のサロン整備事業 ④御殿場市体育館リニューアル改修事業

<政策方針5 富士山の恵みを大切にすまちづくり>

- ①太陽光発電等新・省エネルギー機器設置費補助事業 ②農産物鳥獣被害防止対策モデル事業 ③有機資源循環推進事業 ④御殿場市公共下水道整備のための計画策定事業

<政策方針6 富士山の麓にふさわしい美しく快適なまちづくり>

- ①市街化調整区域既存集落宅地創出事業 ②都市計画道路新橋深沢線道路整備事業
③箱根乙女口広場・箱根乙女口線整備事業 ④新東名高速道路関連事業

<政策方針7 雄大な富士と共に歩む協働のまちづくり>

- ①魅力発信事業 ②移住定住促進事業
③市民協働推進事業 ④地方創生まちづくり事業

財政見通し(平成29～31年度)

① [歳入]一般財源

(単位:百万円、%)

| 項 目 | 年 度 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 平成31年度 | |
|-------------------------------------|-----|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| | | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 |
| 1 市 税 | | 15,539 | △ 0.8 | 15,390 | △ 1.0 | 15,370 | △ 0.1 |
| 2 地 方 譲 与 税 | | 260 | 0.0 | 260 | 0.0 | 260 | 0.0 |
| 3 利 子 割 交 付 金 | | 34 | 0.0 | 34 | 0.0 | 34 | 0.0 |
| 4 配 当 割 交 付 金 | | 60 | 20.0 | 60 | 0.0 | 60 | 0.0 |
| 5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金 | | 55 | 10.0 | 55 | 0.0 | 55 | 0.0 |
| 6 地 方 消 費 税 交 付 金 | | 1,800 | 42.9 | 1,800 | 0.0 | 1,800 | 0.0 |
| 7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金 | | 160 | 0.0 | 160 | 0.0 | 160 | 0.0 |
| 8 自 動 車 取 得 税 交 付 金 | | 40 | 14.3 | 40 | 0.0 | 40 | 0.0 |
| 9 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金 | | 180 | 0.0 | 180 | 0.0 | 180 | 0.0 |
| 10 地 方 特 例 交 付 金 | | 57 | 0.0 | 57 | 0.0 | 57 | 0.0 |
| 11 地 方 交 付 税 | | 100 | △ 20.0 | 100 | 0.0 | 100 | 0.0 |
| 12 臨 時 財 政 対 策 債 等 | | 0 | - | 0 | - | 0 | - |
| 13 退 職 手 当 基 金 繰 入 金 等 | | 0 | - | 0 | - | 0 | - |
| 14 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 | | 16 | △ 11.1 | 16 | 0.0 | 16 | 0.0 |
| 15 国 庫 支 出 金 | | 595 | 6.3 | 595 | 0.0 | 446 | △ 25.0 |
| 16 財 産 収 入 | | 70 | 0.0 | 70 | 0.0 | 70 | 0.0 |
| 17 繰 越 金 | | 200 | 0.0 | 200 | 0.0 | 200 | 0.0 |
| 合 計 (A) | | 19,166 | 2.4 | 19,017 | △ 0.8 | 18,848 | △ 0.9 |

② [歳出]一般財源充当額

(単位:百万円、%)

| 項 目 | 年 度 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 平成31年度 | |
|-------------|-----|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 |
| 1 人 件 費 等 | | 6,171 | 1.9 | 6,071 | △ 1.6 | 6,023 | △ 0.8 |
| 2 物 件 費 | | 2,971 | 0.2 | 2,979 | 0.3 | 2,983 | 0.1 |
| 3 維 持 補 修 費 | | 141 | 0.7 | 141 | 0.0 | 141 | 0.0 |
| 4 扶 助 費 | | 1,931 | 0.5 | 1,940 | 0.5 | 1,957 | 0.9 |
| 5 補 助 費 | | 1,740 | 0.3 | 1,742 | 0.1 | 1,744 | 0.1 |
| 6 公 債 費 | | 3,867 | 0.8 | 3,823 | △ 1.1 | 3,764 | △ 1.5 |
| 7 繰 出 金 | | 1,235 | △ 2.5 | 1,261 | 2.1 | 1,286 | 2.0 |
| (内訳) 国民健康保険 | | 410 | 0.0 | 410 | 0.0 | 410 | 0.0 |
| 後期高齢者 | | 28 | 16.7 | 32 | 14.3 | 34 | 6.3 |
| 介護保険 | | 763 | △ 4.5 | 785 | 2.9 | 808 | 2.9 |
| 観光・農集・公設 | | 34 | 0.0 | 34 | 0.0 | 34 | 0.0 |
| 合 計 (B) | | 18,056 | 0.7 | 17,957 | △ 0.5 | 17,898 | △ 0.3 |

| 公債費内訳 | | | | |
|-------------|--|-------|-------|-------|
| 普通会計 | | 3,062 | 2,967 | 2,954 |
| 広域分 | | 103 | 131 | 72 |
| (内訳) ごみ処理関係 | | 32 | 64 | 35 |
| 消防施設等 | | 71 | 67 | 37 |
| 公共下水道 | | 686 | 709 | 722 |
| 農集集落排水 | | 16 | 16 | 16 |

| | | | | |
|--------------|--|-------|-------|-----|
| 投資可能額 C(A-B) | | 1,110 | 1,060 | 950 |
|--------------|--|-------|-------|-----|

(歳入の説明)

1 市税の計上について

時下の経済情勢や景気動向の影響及び固定資産税の評価替等も考慮し、計上した。

2 地方譲与税～自動車取得税交付金の計上について

国の地方財政対策による見込み数値及び過去の決算を基に、計上した。

3 国有提供施設等所在市町村助成交付金の計上について

国の地方財政対策及び前年度の決算を基に、計上した。

4 地方特例交付金の計上について

住宅等借入金等特別税額控除減収補てん分を見込み、計上した。

5 地方交付税の計上について

平成27年度から不交付団体となったため、見込みとして普通交付税を計上していない。

特別交付税については、過去の決算を基に計上した。

6 臨時財政対策債等の計上について

平成27年度から不交付団体となったため、見込みとして臨時財政対策債を計上していない。(交付団体のみ計上)

7 国庫支出金の計上について

特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛9条交付金)の通常分及びSACO関連特別分の継続を含めて、計上した。

なお、SACO関連特別分は、平成29・30年度のみとして計上した。

(歳出の説明)

1 人件費等の計上について

①報酬(普通会計)、②普通会計、公共下水道・農業集落排水事業特別会計及び広域行政組合会計(市分)の職員分、③市長等特別職及び市議会議員の給与費、共済費、④臨時職員賃金のそれぞれの推計額の合計を計上した。

2 物件費、維持補修費の計上について

普通会計、公共下水道事業特別会計及び広域行政組合会計(市分)に係るそれぞれの推計額の合計を計上した。

3 扶助費の計上について

事業費の伸びを見込み、計上した。

4 補助費の計上について

上記2と同様であるが、広域行政組合負担金については、それぞれ性質別に計上しているため補助費から除いて計上した。

5 公債費の計上について

借入済みのものに対する償還費のほか、普通会計では起債計画に基づく借入額、また公共下水道・農業集落排水事業特別会計及び広域行政組合会計については、事業計画に基づく借入額を想定し、それらに係る償還額を加算し、計上した。

6 繰出金の計上について

公共下水道事業特別会計については、上記のとおり、各性質別に計上しているため繰出金には含めず、農業集落排水事業特別会計については、人件費、公債費を除いて計上した。

また、公共下水道事業特別会計に対する繰出金については、資本費平準化債の活用を前提とした計上となっている。

平成29年度 総括表

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | | |
|------|----------------------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|------------|---------|---------|-------------|
| | | | 特定財源 | 国 支 出 金 | | 県支出金 | 市債 | 財産区 繰入金 | その他 | 一般財源 | うち 投資的経費 |
| | | | | 一 般 | 防 衛 | | | | | | |
| 1 | 1 国内外の観光交流による産業の活性化 | 48,000 | 15,300 | 10,000 | 0 | 0 | 0 | 5,300 | 0 | 32,700 | 2,000 |
| | 2 新たな企業誘致と産業連携の推進 | 424,000 | 202,000 | 0 | 0 | 202,000 | 0 | 0 | 0 | 222,000 | 0 |
| | 3 地域特性を生かした農林業の展開 | 141,000 | 72,400 | 5,000 | 0 | 9,500 | 23,400 | 34,500 | 0 | 68,600 | 59,100 |
| | 4 活気ある商業・サービス業の振興 | 120,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 120,000 | 0 |
| | 5 活力ある工業の振興 | 150,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 150,000 | 0 |
| | 6 良好な雇用環境の創造 | 8,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8,000 | 0 |
| 2 | 1 子育てしやすい環境づくりの推進 | 709,000 | 401,240 | 60,300 | 0 | 141,300 | 16,800 | 32,500 | 150,340 | 307,760 | 15,700 |
| | 2 安心できる医療体制の確保 | 220,000 | 16,826 | 390 | 0 | 195 | 0 | 0 | 16,241 | 203,174 | 0 |
| | 3 健康づくりの促進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4 保健衛生の充実 | 600,000 | 144,100 | 2,000 | 0 | 8,000 | 0 | 0 | 134,100 | 455,900 | 0 |
| | 5 支え合う地域福祉の構築 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 安心できる高齢者福祉の充実 | 299,000 | 190,785 | 92,430 | 0 | 46,215 | 0 | 0 | 52,140 | 108,215 | 0 |
| | 7 自立に向けた障害者福祉の充実 | 105,000 | 52,185 | 33,759 | 0 | 16,926 | 0 | 1,500 | 0 | 52,815 | 0 |
| | 8 保険・年金制度の周知と医療費の適正化 | 181,000 | 123,000 | 18,000 | 0 | 12,000 | 0 | 0 | 93,000 | 58,000 | 0 |
| 3 | 1 危機管理体制の構築 | 582,000 | 444,651 | 0 | 61,357 | 0 | 349,000 | 21,572 | 12,722 | 137,349 | 128,121 |
| | 2 消防・救急体制の強化 | 225,000 | 170,605 | 0 | 40,104 | 10,110 | 102,100 | 4,394 | 13,897 | 54,395 | 54,395 |
| | 3 治山・治水対策の充実 | 340,000 | 331,960 | 0 | 227,000 | 0 | 72,200 | 32,760 | 0 | 8,040 | 8,040 |
| | 4 身近な地域の防犯の充実 | 31,000 | 22,665 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21,165 | 1,500 | 8,335 | 0 |
| | 5 消費者の権利の尊重と自立の支援 | 27,000 | 8,600 | 0 | 0 | 8,600 | 0 | 0 | 0 | 18,400 | 0 |
| | 6 交通安全の推進 | 68,000 | 31,866 | 0 | 0 | 0 | 7,200 | 24,666 | 0 | 36,134 | 14,134 |
| 4 | 1 人を育む環境の充実 | 590,000 | 343,796 | 0 | 0 | 0 | 276,700 | 66,296 | 800 | 246,204 | 175,604 |
| | 2 生涯学習と地域活動の推進 | 104,000 | 88,850 | 0 | 0 | 0 | 0 | 88,850 | 0 | 15,150 | 4,900 |
| | 3 芸術・文化活動の振興 | 229,000 | 182,459 | 0 | 163,159 | 0 | 19,300 | 0 | 0 | 46,541 | 46,541 |
| | 4 スポーツの振興 | 868,000 | 647,743 | 0 | 94,043 | 0 | 553,700 | 0 | 0 | 220,257 | 217,257 |
| | 5 歴史と文化の継承 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 多文化共生と国際交流の推進 | 3,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,000 | 0 |
| 5 | 1 地球温暖化防止活動の推進 | 45,000 | 23,000 | 0 | 23,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 22,000 | 7,000 |
| | 2 恵まれた自然環境の保全 | 20,000 | 11,758 | 0 | 0 | 8,808 | 0 | 2,000 | 950 | 8,242 | 0 |
| | 3 身近な生活環境の向上 | 7,000 | 1,249 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,249 | 5,751 | 5,751 |
| | 4 資源循環型社会の構築 | 2,075,000 | 1,539,841 | 455,000 | 0 | 0 | 800,000 | 0 | 284,841 | 535,159 | 32,863 |
| | 5 水環境の保全・活用 | 1,302,000 | 1,257,425 | 154,605 | 0 | 5,953 | 274,600 | 47,675 | 774,592 | 44,575 | 23,354 |

平成29年度 総括表

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | | |
|------|-------------------------|------------|------------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| | | | 特定財源 | 国 支 出 金 | | 県支出金 | 市債 | 財産区繰入金 | その他 | 一般財源 | うち 投資的経費 |
| | | | | 一 般 | 防 衛 | | | | | | |
| 6 | 1 魅力ある景観の形成 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2 活力ある土地利用の推進 | 595,000 | 583,750 | 15,000 | 0 | 7,500 | 0 | 6,000 | 555,250 | 11,250 | 0 |
| | 3 面的な都市と拠点の整備 | 993,000 | 932,600 | 336,000 | 0 | 0 | 462,300 | 131,400 | 2,900 | 60,400 | 60,000 |
| | 4 潤いのある都市環境の整備 | 1,207,000 | 1,173,725 | 57,100 | 3,600 | 3,500 | 85,500 | 1,024,025 | 0 | 33,275 | 10,100 |
| | 5 すみやすい住宅・環境の整備 | 75,000 | 64,156 | 28,705 | 0 | 12,451 | 23,000 | 0 | 0 | 10,844 | 4,000 |
| | 6 交通基盤の整備 | 3,240,000 | 3,055,295 | 897,750 | 0 | 0 | 1,004,300 | 872,778 | 280,467 | 184,705 | 174,705 |
| | 7 公共交通の利便性の向上 | 24,000 | 7,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,000 | 0 | 17,000 | 0 |
| 7 | 1 魅力発信の強化 | 37,000 | 2,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | 35,000 | 0 |
| | 2 開かれた行政の推進 | 25,000 | 2,400 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,400 | 22,600 | 0 |
| | 3 市民参画と協働の推進 | 23,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23,000 | 0 |
| | 4 男女共同参画社会の推進 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 |
| | 5 健全な財政運営の推進 | 46,000 | 20,000 | 0 | 0 | 0 | 20,000 | 0 | 0 | 26,000 | 0 |
| | 6 効率的な行政運営の推進 | 103,000 | 76,100 | 3,333 | 0 | 0 | 0 | 0 | 72,767 | 26,900 | 6,000 |
| | 7 効果的な広域連携の推進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 8 財産区との連携強化 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 9 東富士演習場周辺における生活環境整備の推進 | 1,082,000 | 807,273 | 0 | 594,001 | 0 | 50,200 | 163,072 | 0 | 274,727 | 274,727 |
| 合 計 | | 16,972,000 | 13,048,603 | 2,169,372 | 1,206,264 | 493,058 | 4,140,300 | 2,587,453 | 2,452,156 | 3,923,397 | 1,324,292 |

平成30年度 総括表

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | | |
|------|----------------------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|------------|---------|---------|-------------|
| | | | 特定財源 | 国 支 出 金 | | 県支出金 | 市債 | 財産区 繰入金 | その他 | 一般財源 | うち 投資的経費 |
| | | | | 一 般 | 防 衛 | | | | | | |
| 1 | 1 国内外の観光交流による産業の活性化 | 60,000 | 15,300 | 10,000 | 0 | 0 | 0 | 5,300 | 0 | 44,700 | 1,000 |
| | 2 新たな企業誘致と産業連携の推進 | 138,000 | 64,000 | 0 | 0 | 64,000 | 0 | 0 | 0 | 74,000 | 0 |
| | 3 地域特性を生かした農林業の展開 | 162,000 | 92,583 | 8,333 | 0 | 8,200 | 33,300 | 42,750 | 0 | 69,417 | 64,917 |
| | 4 活気ある商業・サービス業の振興 | 119,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 119,000 | 0 |
| | 5 活力ある工業の振興 | 50,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50,000 | 0 |
| | 6 良好な雇用環境の創造 | 9,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,000 | 0 |
| 2 | 1 子育てしやすい環境づくりの推進 | 700,000 | 394,940 | 60,300 | 0 | 141,300 | 15,000 | 28,000 | 150,340 | 305,060 | 13,000 |
| | 2 安心できる医療体制の確保 | 231,000 | 25,278 | 4,485 | 0 | 2,243 | 0 | 0 | 18,550 | 205,722 | 0 |
| | 3 健康づくりの促進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4 保健衛生の充実 | 606,000 | 144,100 | 2,000 | 0 | 8,000 | 0 | 0 | 134,100 | 461,900 | 0 |
| | 5 支え合う地域福祉の構築 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 安心できる高齢者福祉の充実 | 317,000 | 202,055 | 97,890 | 0 | 48,945 | 0 | 0 | 55,220 | 114,945 | 0 |
| | 7 自立に向けた障害者福祉の充実 | 101,000 | 52,185 | 33,759 | 0 | 16,926 | 0 | 1,500 | 0 | 48,815 | 0 |
| | 8 保険・年金制度の周知と医療費の適正化 | 180,000 | 123,000 | 18,000 | 0 | 12,000 | 0 | 0 | 93,000 | 57,000 | 0 |
| 3 | 1 危機管理体制の構築 | 227,000 | 207,151 | 0 | 61,357 | 0 | 0 | 141,572 | 4,222 | 19,849 | 11,121 |
| | 2 消防・救急体制の強化 | 151,000 | 87,467 | 0 | 23,883 | 9,359 | 35,300 | 4,394 | 14,531 | 63,533 | 60,533 |
| | 3 治山・治水対策の充実 | 354,000 | 345,460 | 0 | 227,000 | 0 | 76,300 | 42,160 | 0 | 8,540 | 8,540 |
| | 4 身近な地域の防犯の充実 | 31,000 | 22,665 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21,165 | 1,500 | 8,335 | 0 |
| | 5 消費者の権利の尊重と自立の支援 | 23,000 | 4,600 | 0 | 0 | 4,600 | 0 | 0 | 0 | 18,400 | 0 |
| | 6 交通安全の推進 | 68,000 | 31,866 | 0 | 0 | 0 | 7,200 | 24,666 | 0 | 36,134 | 14,134 |
| 4 | 1 人を育む環境の充実 | 1,334,000 | 1,106,531 | 77,962 | 0 | 0 | 264,100 | 764,469 | 0 | 227,469 | 154,069 |
| | 2 生涯学習と地域活動の推進 | 367,000 | 348,750 | 0 | 0 | 0 | 0 | 348,750 | 0 | 18,250 | 8,000 |
| | 3 芸術・文化活動の振興 | 52,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 52,000 | 0 |
| | 4 スポーツの振興 | 1,237,000 | 981,673 | 0 | 376,173 | 0 | 605,500 | 0 | 0 | 255,327 | 252,327 |
| | 5 歴史と文化の継承 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 |
| | 6 多文化共生と国際交流の推進 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 |
| 5 | 1 地球温暖化防止活動の推進 | 38,000 | 18,000 | 0 | 18,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20,000 | 5,000 |
| | 2 恵まれた自然環境の保全 | 22,000 | 13,758 | 0 | 0 | 8,808 | 0 | 4,000 | 950 | 8,242 | 0 |
| | 3 身近な生活環境の向上 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4 資源循環型社会の構築 | 248,000 | 5,353 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,353 | 242,647 | 24,647 |
| | 5 水環境の保全・活用 | 1,396,000 | 1,305,118 | 184,655 | 0 | 5,813 | 280,800 | 47,472 | 786,378 | 90,882 | 48,193 |

平成30年度 総括表

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | | |
|------|----|-----------------------|------------|------------|-----------|-----------|---------|-----------|------------|-----------|-----------|-------------|
| | | | | 特定財源 | 国 支 出 金 | | 県支出金 | 市債 | 財産区 繰入金 | その他 | 一般財源 | うち 投資的経費 |
| | | | | | 一 般 | 防 衛 | | | | | | |
| 6 | 1 | 魅力ある景観の形成 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2 | 活力ある土地利用の推進 | 114,000 | 98,750 | 11,000 | 0 | 5,500 | 0 | 2,000 | 80,250 | 15,250 | 0 |
| | 3 | 面的な都市と拠点の整備 | 596,000 | 557,790 | 168,600 | 0 | 0 | 296,200 | 90,090 | 2,900 | 38,210 | 36,160 |
| | 4 | 潤いのある都市環境の整備 | 650,000 | 549,625 | 50,300 | 41,160 | 8,000 | 243,400 | 202,865 | 3,900 | 100,375 | 67,220 |
| | 5 | すみやすい住宅・環境の整備 | 50,000 | 39,156 | 16,205 | 0 | 12,451 | 10,500 | 0 | 0 | 10,844 | 4,000 |
| | 6 | 交通基盤の整備 | 3,002,000 | 2,755,319 | 657,200 | 0 | 0 | 985,000 | 903,053 | 210,066 | 246,681 | 176,681 |
| | 7 | 公共交通の利便性の向上 | 23,000 | 7,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,000 | 0 | 16,000 | 0 |
| 7 | 1 | 魅力発信の強化 | 40,000 | 2,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | 38,000 | 0 |
| | 2 | 開かれた行政の推進 | 25,000 | 2,400 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,400 | 22,600 | 0 |
| | 3 | 市民参画と協働の推進 | 23,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23,000 | 0 |
| | 4 | 男女共同参画社会の推進 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 |
| | 5 | 健全な財政運営の推進 | 32,000 | 23,000 | 0 | 0 | 0 | 23,000 | 0 | 0 | 9,000 | 0 |
| | 6 | 効率的な行政運営の推進 | 84,000 | 70,100 | 1,333 | 0 | 0 | 0 | 0 | 68,767 | 13,900 | 0 |
| | 7 | 効果的な広域連携の推進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 8 | 財産区との連携強化 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 9 | 東富士演習場周辺における生活環境整備の推進 | 920,000 | 610,070 | 0 | 441,750 | 0 | 46,900 | 121,420 | 0 | 309,930 | 309,930 |
| 合 計 | | | 13,783,000 | 10,307,043 | 1,402,022 | 1,189,323 | 356,145 | 2,922,500 | 2,802,626 | 1,634,427 | 3,475,957 | 1,259,472 |

平成31年度 総括表

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | | |
|------|----------------------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|------------|---------|---------|-------------|
| | | | 特定財源 | 国 支 出 金 | | 県支出金 | 市債 | 財産区 繰入金 | その他 | 一般財源 | うち 投資的経費 |
| | | | | 一 般 | 防 衛 | | | | | | |
| 1 | 1 国内外の観光交流による産業の活性化 | 57,000 | 8,633 | 0 | 0 | 3,333 | 0 | 5,300 | 0 | 48,367 | 14,667 |
| | 2 新たな企業誘致と産業連携の推進 | 132,000 | 61,000 | 0 | 0 | 61,000 | 0 | 0 | 0 | 71,000 | 0 |
| | 3 地域特性を生かした農林業の展開 | 201,000 | 134,333 | 8,333 | 10,000 | 8,200 | 65,700 | 42,100 | 0 | 66,667 | 62,167 |
| | 4 活気ある商業・サービス業の振興 | 19,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19,000 | 0 |
| | 5 活力ある工業の振興 | 50,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50,000 | 0 |
| | 6 良好な雇用環境の創造 | 10,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,000 | 0 |
| 2 | 1 子育てしやすい環境づくりの推進 | 660,000 | 359,940 | 60,300 | 0 | 141,300 | 0 | 8,000 | 150,340 | 300,060 | 8,000 |
| | 2 安心できる医療体制の確保 | 231,000 | 25,278 | 4,485 | 0 | 2,243 | 0 | 0 | 18,550 | 205,722 | 0 |
| | 3 健康づくりの促進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4 保健衛生の充実 | 604,000 | 132,587 | 2,250 | 0 | 8,250 | 0 | 0 | 122,087 | 471,413 | 0 |
| | 5 支え合う地域福祉の構築 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 安心できる高齢者福祉の充実 | 324,000 | 205,275 | 99,450 | 0 | 49,725 | 0 | 0 | 56,100 | 118,725 | 0 |
| | 7 自立に向けた障害者福祉の充実 | 101,000 | 52,185 | 33,759 | 0 | 16,926 | 0 | 1,500 | 0 | 48,815 | 0 |
| | 8 保険・年金制度の周知と医療費の適正化 | 186,000 | 127,000 | 18,000 | 0 | 12,000 | 0 | 0 | 97,000 | 59,000 | 0 |
| 3 | 1 危機管理体制の構築 | 94,000 | 74,651 | 0 | 61,357 | 0 | 0 | 9,572 | 3,722 | 19,349 | 11,121 |
| | 2 消防・救急体制の強化 | 72,000 | 51,168 | 0 | 12,735 | 2,450 | 30,500 | 1,250 | 4,233 | 20,832 | 15,882 |
| | 3 治山・治水対策の充実 | 363,000 | 352,560 | 0 | 227,000 | 0 | 93,600 | 31,960 | 0 | 10,440 | 10,440 |
| | 4 身近な地域の防犯の充実 | 31,000 | 22,665 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21,165 | 1,500 | 8,335 | 0 |
| | 5 消費者の権利の尊重と自立の支援 | 23,000 | 4,600 | 0 | 0 | 4,600 | 0 | 0 | 0 | 18,400 | 0 |
| | 6 交通安全の推進 | 68,000 | 31,866 | 0 | 0 | 0 | 7,200 | 24,666 | 0 | 36,134 | 14,134 |
| 4 | 1 人を育む環境の充実 | 2,378,000 | 1,950,339 | 170,137 | 0 | 0 | 599,500 | 1,179,902 | 800 | 427,661 | 344,361 |
| | 2 生涯学習と地域活動の推進 | 24,000 | 11,150 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11,150 | 0 | 12,850 | 2,600 |
| | 3 芸術・文化活動の振興 | 50,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50,000 | 0 |
| | 4 スポーツの振興 | 7,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,000 | 4,000 |
| | 5 歴史と文化の継承 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 |
| | 6 多文化共生と国際交流の推進 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 |
| 5 | 1 地球温暖化防止活動の推進 | 48,000 | 19,895 | 0 | 18,000 | 0 | 0 | 0 | 1,895 | 28,105 | 13,105 |
| | 2 恵まれた自然環境の保全 | 22,000 | 13,758 | 0 | 0 | 8,808 | 0 | 4,000 | 950 | 8,242 | 0 |
| | 3 身近な生活環境の向上 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4 資源循環型社会の構築 | 265,000 | 5,353 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,353 | 259,647 | 24,647 |
| | 5 水環境の保全・活用 | 1,510,000 | 1,465,968 | 220,186 | 0 | 5,882 | 329,600 | 58,100 | 852,200 | 44,032 | 14,432 |

平成31年度 総括表

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | | |
|------|-------------------------|------------|------------|-----------|---------|---------|-----------|------------|-----------|-----------|-------------|
| | | | 特定財源 | 国 支 出 金 | | 県支出金 | 市債 | 財産区 繰入金 | その他 | 一般財源 | うち 投資的経費 |
| | | | | 一 般 | 防 衛 | | | | | | |
| 6 | 1 魅力ある景観の形成 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2 活力ある土地利用の推進 | 623,000 | 611,000 | 16,500 | 0 | 8,250 | 0 | 6,000 | 580,250 | 12,000 | 0 |
| | 3 面的な都市と拠点の整備 | 616,000 | 580,380 | 210,100 | 0 | 0 | 285,500 | 81,880 | 2,900 | 35,620 | 35,620 |
| | 4 潤いのある都市環境の整備 | 856,000 | 756,000 | 237,800 | 4,500 | 11,250 | 409,000 | 91,450 | 2,000 | 100,000 | 79,525 |
| | 5 すみやすい住宅・環境の整備 | 75,000 | 64,156 | 28,705 | 0 | 12,451 | 23,000 | 0 | 0 | 10,844 | 4,000 |
| | 6 交通基盤の整備 | 2,759,000 | 2,555,540 | 610,550 | 0 | 0 | 902,100 | 903,123 | 139,767 | 203,460 | 183,460 |
| | 7 公共交通の利便性の向上 | 23,000 | 7,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,000 | 0 | 16,000 | 0 |
| 7 | 1 魅力発信の強化 | 45,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45,000 | 0 |
| | 2 開かれた行政の推進 | 25,000 | 2,400 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,400 | 22,600 | 0 |
| | 3 市民参画と協働の推進 | 23,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23,000 | 0 |
| | 4 男女共同参画社会の推進 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 |
| | 5 健全な財政運営の推進 | 17,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17,000 | 0 |
| | 6 効率的な行政運営の推進 | 83,000 | 67,100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 67,100 | 15,900 | 0 |
| | 7 効果的な広域連携の推進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 8 財産区との連携強化 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 9 東富士演習場周辺における生活環境整備の推進 | 752,000 | 587,318 | 0 | 435,001 | 0 | 33,300 | 119,017 | 0 | 164,682 | 164,682 |
| 合 計 | | 13,430,000 | 10,341,098 | 1,720,555 | 768,593 | 356,668 | 2,779,000 | 2,607,135 | 2,109,147 | 3,088,902 | 1,006,843 |

平成29～31年度 総括表

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | | |
|------|----------------------|-----------|-----------|---------|---------|---------|-----------|------------|-----------|-----------|-------------|
| | | | 特定財源 | 国 支 出 金 | | 県支出金 | 市債 | 財産区 繰入金 | その他 | 一般財源 | うち 投資的経費 |
| | | | | 一 般 | 防 衛 | | | | | | |
| 1 | 1 国内外の観光交流による産業の活性化 | 165,000 | 39,233 | 20,000 | 0 | 3,333 | 0 | 15,900 | 0 | 125,767 | 17,667 |
| | 2 新たな企業誘致と産業連携の推進 | 694,000 | 327,000 | 0 | 0 | 327,000 | 0 | 0 | 0 | 367,000 | 0 |
| | 3 地域特性を生かした農林業の展開 | 504,000 | 299,316 | 21,666 | 10,000 | 25,900 | 122,400 | 119,350 | 0 | 204,684 | 186,184 |
| | 4 活気ある商業・サービス業の振興 | 258,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 258,000 | 0 |
| | 5 活力ある工業の振興 | 250,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 250,000 | 0 |
| | 6 良好な雇用環境の創造 | 27,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27,000 | 0 |
| 2 | 1 子育てしやすい環境づくりの推進 | 2,069,000 | 1,156,120 | 180,900 | 0 | 423,900 | 31,800 | 68,500 | 451,020 | 912,880 | 36,700 |
| | 2 安心できる医療体制の確保 | 682,000 | 67,382 | 9,360 | 0 | 4,681 | 0 | 0 | 53,341 | 614,618 | 0 |
| | 3 健康づくりの促進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4 保健衛生の充実 | 1,810,000 | 420,787 | 6,250 | 0 | 24,250 | 0 | 0 | 390,287 | 1,389,213 | 0 |
| | 5 支え合う地域福祉の構築 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6 安心できる高齢者福祉の充実 | 940,000 | 598,115 | 289,770 | 0 | 144,885 | 0 | 0 | 163,460 | 341,885 | 0 |
| | 7 自立に向けた障害者福祉の充実 | 307,000 | 156,555 | 101,277 | 0 | 50,778 | 0 | 4,500 | 0 | 150,445 | 0 |
| | 8 保険・年金制度の周知と医療費の適正化 | 547,000 | 373,000 | 54,000 | 0 | 36,000 | 0 | 0 | 283,000 | 174,000 | 0 |
| 3 | 1 危機管理体制の構築 | 903,000 | 726,453 | 0 | 184,071 | 0 | 349,000 | 172,716 | 20,666 | 176,547 | 150,363 |
| | 2 消防・救急体制の強化 | 448,000 | 309,240 | 0 | 76,722 | 21,919 | 167,900 | 10,038 | 32,661 | 138,760 | 130,810 |
| | 3 治山・治水対策の充実 | 1,057,000 | 1,029,980 | 0 | 681,000 | 0 | 242,100 | 106,880 | 0 | 27,020 | 27,020 |
| | 4 身近な地域の防犯の充実 | 93,000 | 67,995 | 0 | 0 | 0 | 0 | 63,495 | 4,500 | 25,005 | 0 |
| | 5 消費者の権利の尊重と自立の支援 | 73,000 | 17,800 | 0 | 0 | 17,800 | 0 | 0 | 0 | 55,200 | 0 |
| | 6 交通安全の推進 | 204,000 | 95,598 | 0 | 0 | 0 | 21,600 | 73,998 | 0 | 108,402 | 42,402 |
| 4 | 1 人を育む環境の充実 | 4,302,000 | 3,400,666 | 248,099 | 0 | 0 | 1,140,300 | 2,010,667 | 1,600 | 901,334 | 674,034 |
| | 2 生涯学習と地域活動の推進 | 495,000 | 448,750 | 0 | 0 | 0 | 0 | 448,750 | 0 | 46,250 | 15,500 |
| | 3 芸術・文化活動の振興 | 331,000 | 182,459 | 0 | 163,159 | 0 | 19,300 | 0 | 0 | 148,541 | 46,541 |
| | 4 スポーツの振興 | 2,112,000 | 1,629,416 | 0 | 470,216 | 0 | 1,159,200 | 0 | 0 | 482,584 | 473,584 |
| | 5 歴史と文化の継承 | 2,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | 0 |
| | 6 多文化共生と国際交流の推進 | 5,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,000 | 0 |
| 5 | 1 地球温暖化防止活動の推進 | 131,000 | 60,895 | 0 | 59,000 | 0 | 0 | 0 | 1,895 | 70,105 | 25,105 |
| | 2 恵まれた自然環境の保全 | 64,000 | 39,274 | 0 | 0 | 26,424 | 0 | 10,000 | 2,850 | 24,726 | 0 |
| | 3 身近な生活環境の向上 | 7,000 | 1,249 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,249 | 5,751 | 5,751 |
| | 4 資源循環型社会の構築 | 2,588,000 | 1,550,547 | 455,000 | 0 | 0 | 800,000 | 0 | 295,547 | 1,037,453 | 82,157 |
| | 5 水環境の保全・活用 | 4,208,000 | 4,028,511 | 559,446 | 0 | 17,648 | 885,000 | 153,247 | 2,413,170 | 179,489 | 85,979 |

平成29～31年度 総括表

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | | |
|------|-------------------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-------------|
| | | | 特定財源 | 国 支 出 金 | | 県支出金 | 市債 | 財産区 繰入金 | その他 | 一般財源 | うち 投資的経費 |
| | | | | 一 般 | 防 衛 | | | | | | |
| 6 | 1 魅力ある景観の形成 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2 活力ある土地利用の推進 | 1,332,000 | 1,293,500 | 42,500 | 0 | 21,250 | 0 | 14,000 | 1,215,750 | 38,500 | 0 |
| | 3 面的な都市と拠点の整備 | 2,205,000 | 2,070,770 | 714,700 | 0 | 0 | 1,044,000 | 303,370 | 8,700 | 134,230 | 131,780 |
| | 4 潤いのある都市環境の整備 | 2,713,000 | 2,479,350 | 345,200 | 49,260 | 22,750 | 737,900 | 1,318,340 | 5,900 | 233,650 | 156,845 |
| | 5 すみやすい住宅・環境の整備 | 200,000 | 167,468 | 73,615 | 0 | 37,353 | 56,500 | 0 | 0 | 32,532 | 12,000 |
| | 6 交通基盤の整備 | 9,001,000 | 8,366,154 | 2,165,500 | 0 | 0 | 2,891,400 | 2,678,954 | 630,300 | 634,846 | 534,846 |
| | 7 公共交通の利便性の向上 | 70,000 | 21,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21,000 | 0 | 49,000 | 0 |
| 7 | 1 魅力発信の強化 | 122,000 | 4,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,000 | 118,000 | 0 |
| | 2 開かれた行政の推進 | 75,000 | 7,200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,200 | 67,800 | 0 |
| | 3 市民参画と協働の推進 | 69,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 69,000 | 0 |
| | 4 男女共同参画社会の推進 | 3,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,000 | 0 |
| | 5 健全な財政運営の推進 | 95,000 | 43,000 | 0 | 0 | 0 | 43,000 | 0 | 0 | 52,000 | 0 |
| | 6 効率的な行政運営の推進 | 270,000 | 213,300 | 4,666 | 0 | 0 | 0 | 0 | 208,634 | 56,700 | 6,000 |
| | 7 効果的な広域連携の推進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 8 財産区との連携強化 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 9 東富士演習場周辺における生活環境整備の推進 | 2,754,000 | 2,004,661 | 0 | 1,470,752 | 0 | 130,400 | 403,509 | 0 | 749,339 | 749,339 |
| 合 計 | | 44,185,000 | 33,696,744 | 5,291,949 | 3,164,180 | 1,205,871 | 9,841,800 | 7,997,214 | 6,195,730 | 10,488,256 | 3,590,607 |

実施計画掲載事業の体系図

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 整理番号 | 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|--------------------------|----|----------|--------|------------------------------------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 人が集い活力あふれる産業を育てるまちづくり | | | | | | 891,000 | 538,000 | 469,000 | 1,898,000 |
| 1. 国内外の観光交流による産業の活性化 | | | | | | 48,000 | 60,000 | 57,000 | 165,000 |
| | | 1101-010 | 商工観光課 | 観光ハブ都市づくり推進事業 | 32 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | | 1102-010 | 商工観光課 | 静岡県大型観光キャンペーン(DESTINATIONキャンペーン)事業 | 33 | 0 | 4,000 | 4,000 | 8,000 |
| | | 1104-010 | 商工観光課 | 御殿場のまつり等支援事業 | 34 | 24,000 | 24,000 | 24,000 | 72,000 |
| | | 1104-020 | 商工観光課 | ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地推進事業 | 35 | 1,000 | 10,000 | 10,000 | 21,000 |
| | | 1106-010 | 商工観光課 | 地方創生魅力創造スポーツタウン充実事業 | 36 | 20,000 | 20,000 | 0 | 40,000 |
| | | 1107-010 | 農林整備課 | 森林公園維持管理事業 | 37 | 2,000 | 1,000 | 8,000 | 11,000 |
| | | 1107-020 | 商工観光課 | 富士山御殿場口新五合目公衆トイレ改築事業 | 38 | 0 | 0 | 10,000 | 10,000 |
| 2. 新たな企業誘致と産業連携の推進 | | | | | | 424,000 | 138,000 | 132,000 | 694,000 |
| | | 1201-010 | 商工観光課 | 産業立地促進奨励金事業 | 39 | 404,000 | 128,000 | 122,000 | 654,000 |
| | | 1202-010 | 商工観光課 | 雇用創出促進奨励金事業 | 40 | 20,000 | 10,000 | 10,000 | 40,000 |
| 3. 地域特性を生かした農林業の展開 | | | | | | 141,000 | 162,000 | 201,000 | 504,000 |
| | | 1301-010 | 農林整備課 | 高根西部塚原地区県営ほ場整備事業 | 41 | 7,000 | 8,000 | 0 | 15,000 |
| | | 1301-020 | 農林整備課 | 御殿場深沢地区県営ほ場整備事業 | 42 | 29,000 | 13,000 | 8,000 | 50,000 |
| | | 1301-030 | 農林整備課 | 市単独農業施設等整備事業 | 43 | 15,000 | 15,000 | 15,000 | 45,000 |
| | | 1301-040 | 農林整備課 | 土地改良区交付事業 | 44 | 21,000 | 19,000 | 22,000 | 62,000 |
| | | 1301-050 | 農林整備課 | 土地改良区交付事業(ほ場整備事業) | 45 | 30,000 | 35,000 | 32,000 | 97,000 |
| | | 1301-060 | 農林整備課 | 富士岡中清水地区県営ほ場整備事業 | 46 | 5,000 | 9,000 | 27,000 | 41,000 |
| | | 1301-070 | 農林整備課 | 高根西部・一色地区県営ほ場整備事業 | 47 | 10,000 | 36,000 | 60,000 | 106,000 |
| | | 1301-080 | 農林整備課 | 農業・農村多面的機能支払交付金事業 | 48 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 30,000 |
| | | 1301-090 | 農政課 | 農地集積・集約化推進事業 | 49 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| | | 1302-010 | 農政課 | 経営所得安定対策推進事業 | 50 | 5,000 | 3,000 | 3,000 | 11,000 |
| | | 1305-010 | 農政課 | 地域農業活性化対策事業 | 51 | 2,000 | 2,000 | 12,000 | 16,000 |
| | | 1306-010 | 農林整備課 | 林道整備事業 | 52 | 5,000 | 10,000 | 10,000 | 25,000 |
| 4. 活気ある商業・サービス業の振興 | | | | | | 120,000 | 119,000 | 19,000 | 258,000 |
| | | 1401-010 | 商工観光課 | 環境美化・経済対策助成事業 | 53 | 100,000 | 100,000 | 0 | 200,000 |
| | | 1401-020 | 商工観光課 | 商店街活性化事業 | 54 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 12,000 |
| | | 1401-030 | 商工観光課 | 経済対策おもてなし事業 | 55 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 18,000 |
| | | 1401-040 | 商工観光課 | 新商工会館建設構想基本調査助成事業 | 56 | 1,000 | 0 | 0 | 1,000 |
| | | 1403-010 | 商工観光課 | アピールナウ御殿場事業(経済活力創出事業) | 57 | 9,000 | 9,000 | 9,000 | 27,000 |
| 5. 活気ある工業の振興 | | | | | | 150,000 | 50,000 | 50,000 | 250,000 |
| | | 1502-010 | 商工観光課 | 設備投資促進奨励金事業 | 58 | 150,000 | 50,000 | 50,000 | 250,000 |
| 6. 良好な雇用環境の創造 | | | | | | 8,000 | 9,000 | 10,000 | 27,000 |
| | | 1601-010 | 商工観光課 | 合同企業ガイダンス事業 | 59 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | | 1604-010 | 商工観光課 | 勤労者住宅建設資金貸付事業(利子補給事業) | 60 | 7,000 | 8,000 | 9,000 | 24,000 |
| 2. 笑顔あふれる健やか・福祉のまちづくり | | | | | | 2,114,000 | 2,135,000 | 2,106,000 | 6,355,000 |
| 1. 子育てしやすい環境づくりの推進 | | | | | | 709,000 | 700,000 | 660,000 | 2,069,000 |
| | | 2101-010 | 子育て支援課 | 放課後児童健全育成事業 | 61 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 300,000 |
| | | 2101-020 | 社会教育課 | 放課後子ども教室(放課後子どもプラン)推進事業 | 62 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 9,000 |
| | | 2108-010 | 子ども育成課 | 公立保育園保育サービス評価事業 | 63 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | | 2109-010 | 子ども育成課 | 原里第2保育園グラウンド等整備事業 | 64 | 45,000 | 40,000 | 0 | 85,000 |
| | | 2109-020 | 子ども育成課 | 保育園環境整備事業 | 65 | 20,000 | 16,000 | 16,000 | 52,000 |
| | | 2110-010 | 子育て支援課 | 子ども医療費助成事業 | 66 | 420,000 | 420,000 | 420,000 | 1,260,000 |
| | | 2110-020 | 子ども育成課 | 私立幼稚園就園奨励事業 | 67 | 43,000 | 43,000 | 43,000 | 129,000 |
| | | 2111-010 | 子ども育成課 | ファミリー・サポート・センター事業 | 68 | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 15,000 |
| | | 2112-010 | 子ども育成課 | 地域子育て支援センター事業 | 69 | 72,000 | 72,000 | 72,000 | 216,000 |
| 2. 安心できる医療体制の確保 | | | | | | 220,000 | 231,000 | 231,000 | 682,000 |

実施計画掲載事業の体系図

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 整理番号 | 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----|-----------------------|-------|--------------------------|-----|-----------|---------|---------|-----------|
| | | 2201-010 | 救急医療課 | 小児医療等対策事業 | 70 | 12,000 | 12,000 | 12,000 | 36,000 |
| | | 2201-020 | 救急医療課 | 公的病院等運営費補助事業 | 71 | 110,000 | 110,000 | 110,000 | 330,000 |
| | | 2202-010 | 救急医療課 | 第二次救急医療施設医療機器整備事業 | 72 | 10,000 | 0 | 0 | 10,000 |
| | | 2202-020 | 救急医療課 | 第二次救急医療施設運営事業 | 73 | 44,000 | 54,000 | 54,000 | 152,000 |
| | | 2202-030 | 救急医療課 | 広域救急医療体制構築事業 | 74 | 8,000 | 8,000 | 8,000 | 24,000 |
| | | 2204-010 | 救急医療課 | 看護学校運営費補助事業 | 75 | 35,000 | 35,000 | 35,000 | 105,000 |
| | | 2206-030 | 介護福祉課 | 在宅医療・介護連携推進事業 | 76 | 1,000 | 12,000 | 12,000 | 25,000 |
| | | 3. 健康づくりの促進 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 4. 保健衛生の充実 | | | | 600,000 | 606,000 | 604,000 | 1,810,000 |
| | | 2401-010 | 健康推進課 | 母子保健事業 | 77 | 95,000 | 96,000 | 97,000 | 288,000 |
| | | 2401-020 | 健康推進課 | 不妊治療医療費助成事業 | 78 | 21,000 | 22,000 | 23,000 | 66,000 |
| | | 2403-010 | 健康推進課 | 市民健康づくり事業(成人保健) | 79 | 167,000 | 171,000 | 168,000 | 506,000 |
| | | 2406-010 | 健康推進課 | 感染症予防事業(予防接種事業・結核予防事業) | 80 | 244,000 | 244,000 | 256,000 | 744,000 |
| | | 2406-020 | 健康推進課 | 感染症予防事業(高齢者予防接種事業) | 81 | 73,000 | 73,000 | 60,000 | 206,000 |
| | | 5. 支え合う地域福祉の構築 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 6. 安心できる高齢者福祉の充実 | | | | 299,000 | 317,000 | 324,000 | 940,000 |
| | | 2601-010 | 介護福祉課 | 地域包括支援センター事業 | 82 | 84,000 | 84,000 | 84,000 | 252,000 |
| | | 2602-010 | 介護福祉課 | 高齢者健やか事業 | 83 | 46,000 | 50,000 | 53,000 | 149,000 |
| | | 2602-020 | 介護福祉課 | 「食」の自立支援事業 | 84 | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 15,000 |
| | | 2602-030 | 介護福祉課 | 介護予防・日常生活支援総合事業 | 85 | 139,000 | 144,000 | 148,000 | 431,000 |
| | | 2602-040 | 介護福祉課 | 生活支援体制整備事業 | 86 | 9,000 | 9,000 | 9,000 | 27,000 |
| | | 2604-010 | 介護福祉課 | シルバー人材センター運営補助事業 | 87 | 11,000 | 11,000 | 11,000 | 33,000 |
| | | 2605-010 | 介護福祉課 | 認知症総合支援事業 | 88 | 5,000 | 14,000 | 14,000 | 33,000 |
| | | 7. 自立に向けた障害者福祉の充実 | | | | 105,000 | 101,000 | 101,000 | 307,000 |
| | | 2703-010 | 社会福祉課 | 障害者民間福祉施設運営費等補助事業 | 89 | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 15,000 |
| | | 2703-020 | 社会福祉課 | 地域生活支援事業 | 90 | 93,000 | 93,000 | 93,000 | 279,000 |
| | | 2703-030 | 社会福祉課 | タクシー券助成事業 | 91 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| | | 2703-040 | 社会福祉課 | 御殿場市障害者計画、御殿場市障害福祉計画策定事業 | 92 | 4,000 | 0 | 0 | 4,000 |
| | | 2704-010 | 社会福祉課 | 障害者雇用促進対策事業 | 93 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | | 8. 保険・年金制度の周知と医療費の適正化 | | | | 181,000 | 180,000 | 186,000 | 547,000 |
| | | 2801-010 | 国保年金課 | 国保・後期高齢者保健事業 | 94 | 181,000 | 180,000 | 186,000 | 547,000 |
| | | 3. 安全で安心して暮らせるまちづくり | | | | 1,273,000 | 854,000 | 651,000 | 2,778,000 |
| | | 1. 危機管理体制の構築 | | | | 582,000 | 227,000 | 94,000 | 903,000 |
| | | 3102-010 | 危機管理課 | 自主防災活動推進事業 | 95 | 12,000 | 13,000 | 12,000 | 37,000 |
| | | 3105-010 | 危機管理課 | 防災行政無線整備(更新)事業 | 96 | 81,000 | 81,000 | 81,000 | 243,000 |
| | | 3105-020 | 商工観光課 | 事業所用同報無線戸別受信機設置補助事業 | 97 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | | 3106-010 | 総務課 | 御殿場市庁舎東館建設事業 | 98 | 475,000 | 0 | 0 | 475,000 |
| | | 3106-020 | 総務課 | 富士岡支所移転構想策定事業 | 99 | 1,000 | 0 | 0 | 1,000 |
| | | 3106-030 | 総務課 | 林業会館リニューアル事業 | 100 | 12,000 | 132,000 | 0 | 144,000 |
| | | 2. 消防・救急体制の強化 | | | | 225,000 | 151,000 | 72,000 | 448,000 |
| | | 3203-010 | 消防本部 | 消防団車両整備事業 | 101 | 45,000 | 45,000 | 5,000 | 95,000 |
| | | 3203-020 | 消防本部 | 出動隊編成再構築事業 | 221 | 0 | 0 | 5,000 | 5,000 |
| | | 3203-030 | 消防本部 | 消防団活性化事業 | 102 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 |
| | | 3203-040 | 消防本部 | 高機能消防指令センター延命化事業 | 222 | 28,000 | 58,000 | 0 | 86,000 |
| | | 3203-050 | 消防本部 | 消防本部車両等更新整備事業 | 223 | 152,000 | 45,000 | 61,000 | 258,000 |
| | | 3203-060 | 消防本部 | 富士岡分署新築事業 | 224 | 0 | 0 | 1,000 | 1,000 |
| | | 3. 治山・治水対策の充実 | | | | 340,000 | 354,000 | 363,000 | 1,057,000 |
| | | 3301-010 | 農林整備課 | 東富士演習場内治山治水対策事業(3条:受託事業) | 103 | 183,000 | 183,000 | 183,000 | 549,000 |

実施計画掲載事業の体系図

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 整理番号 | 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----|------------------------|---------|-------------------------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 3301-020 | 農林整備課 | 緑地帯設置等事業 | 104 | 44,000 | 44,000 | 44,000 | 132,000 |
| | | 3302-010 | 道路河川課 | 河川改修事業(市単独事業分) | 105 | 113,000 | 127,000 | 136,000 | 376,000 |
| | | 4. 身近な地域の防犯の充実 | | | | 31,000 | 31,000 | 31,000 | 93,000 |
| | | 3402-010 | くらしの安全課 | 防犯まちづくり推進事業 | 106 | 31,000 | 31,000 | 31,000 | 93,000 |
| | | 5. 消費者の権利の尊重と自立の支援 | | | | 27,000 | 23,000 | 23,000 | 73,000 |
| | | 3501-010 | くらしの安全課 | 市民相談事業 | 107 | 27,000 | 23,000 | 23,000 | 73,000 |
| | | 6. 交通安全の推進 | | | | 68,000 | 68,000 | 68,000 | 204,000 |
| | | 3601-010 | くらしの安全課 | 交通安全推進事業 | 108 | 22,000 | 22,000 | 22,000 | 66,000 |
| | | 3605-010 | 管理維持課 | 交通安全施設整備事業 | 109 | 46,000 | 46,000 | 46,000 | 138,000 |
| | | 4. 富士山のように大きな心を持った人づくり | | | | 1,794,000 | 2,992,000 | 2,461,000 | 7,247,000 |
| | | 1. 人を育む環境の充実 | | | | 590,000 | 1,334,000 | 2,378,000 | 4,302,000 |
| | | 4102-010 | 学校教育課 | 発達障害児支援事業 | 110 | 30,000 | 32,000 | 32,000 | 94,000 |
| | | 4102-020 | 学校教育課 | 特別支援教育推進事業 | 111 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 9,000 |
| | | 4103-010 | 学校教育課 | 外国人英語指導者配置事業 | 112 | 40,000 | 40,000 | 60,000 | 140,000 |
| | | 4103-020 | 学校教育課 | 多人数学級支援事業 | 113 | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 21,000 |
| | | 4103-030 | 社会教育課 | 青少年のための科学の祭典事業 | 114 | 2,000 | 0 | 2,000 | 4,000 |
| | | 4106-010 | 学校教育課 | 魅力ある学びづくり推進事業 | 115 | 10,000 | 12,000 | 12,000 | 34,000 |
| | | 4108-010 | 子ども育成課 | 幼稚園環境整備事業 | 116 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | | 4108-020 | 教育総務課 | 西中学校校舎改築事業 | 117 | 17,000 | 724,000 | 981,000 | 1,722,000 |
| | | 4108-040 | 教育総務課 | 小学校環境整備事業 | 118 | 399,000 | 27,000 | 458,000 | 884,000 |
| | | 4108-050 | 教育総務課 | 小学校プール改築事業 | 119 | 42,000 | 138,000 | 218,000 | 398,000 |
| | | 4108-060 | 教育総務課 | 中学校環境整備事業 | 120 | 39,000 | 349,000 | 603,000 | 991,000 |
| | | 4109-010 | 学校給食課 | 学校給食センター施設改修事業 | 121 | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| | | 2. 生涯学習と地域活動の推進 | | | | 104,000 | 367,000 | 24,000 | 495,000 |
| | | 4204-010 | 社会教育課 | 子ども読書活動推進事業 | 122 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | | 4204-020 | 社会教育課 | 図書館図書整備事業 | 123 | 14,000 | 14,000 | 14,000 | 42,000 |
| | | 4204-030 | 社会教育課 | 図書館整備事業 | 124 | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| | | 4205-010 | 市民協働課 | 地区集会施設整備事業 | 125 | 89,000 | 351,000 | 8,000 | 448,000 |
| | | 3. 芸術・文化活動の振興 | | | | 229,000 | 52,000 | 50,000 | 331,000 |
| | | 4301-010 | 文化スポーツ課 | 富士山の麓で歌う第九演奏会事業 | 126 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 |
| | | 4303-010 | 文化スポーツ課 | 市民会館ホール棟改修事業 | 127 | 189,000 | 0 | 0 | 189,000 |
| | | 4303-020 | 社会教育課 | (仮称)富士山市民のサロン整備事業 | 128 | 40,000 | 50,000 | 50,000 | 140,000 |
| | | 4. スポーツの振興 | | | | 868,000 | 1,237,000 | 7,000 | 2,112,000 |
| | | 4402-010 | 企画課 | ホストタウン推進事業 | 129 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 9,000 |
| | | 4403-010 | 文化スポーツ課 | 陸上競技場整備・改修(2種公認)事業 | 130 | 71,000 | 0 | 0 | 71,000 |
| | | 4403-020 | 文化スポーツ課 | 御殿場市体育館リニューアル改修事業 | 131 | 786,000 | 1,233,000 | 0 | 2,019,000 |
| | | 4403-030 | 文化スポーツ課 | 南運動場施設改修事業 | 132 | 7,000 | 0 | 0 | 7,000 |
| | | 4403-050 | 文化スポーツ課 | 東運動場施設改修事業 | 133 | 1,000 | 1,000 | 4,000 | 6,000 |
| | | 5. 歴史と文化の継承 | | | | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| | | 4504-010 | 社会教育課 | (仮称)郷土資料館整備検討事業 | 134 | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| | | 6. 多文化共生と国際交流の推進 | | | | 3,000 | 1,000 | 1,000 | 5,000 |
| | | 4602-010 | 市民協働課 | 国際都市交流事業 | 135 | 3,000 | 1,000 | 1,000 | 5,000 |
| | | 5. 富士山の恵みを大切にするまちづくり | | | | 3,449,000 | 1,704,000 | 1,845,000 | 6,998,000 |
| | | 1. 地球温暖化防止活動の推進 | | | | 45,000 | 38,000 | 48,000 | 131,000 |
| | | 5101-010 | 総務課 | 本庁舎空調設備更新事業 | 136 | 7,000 | 5,000 | 6,000 | 18,000 |
| | | 5101-020 | 市民協働課 | 地区集会施設整備事業(太陽光発電システム設置) | 137 | 23,000 | 18,000 | 18,000 | 59,000 |
| | | 5101-030 | 環境課 | 太陽光発電等新・省エネルギー機器設置費補助事業 | 138 | 15,000 | 15,000 | 15,000 | 45,000 |
| | | 5101-040 | 消防本部 | 消防庁舎電灯LED化事業 | 225 | 0 | 0 | 9,000 | 9,000 |

実施計画掲載事業の体系図

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 整理番号 | 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----|---------------------------|----------|---------------------------------|-----|-----------|-----------|-----------|------------|
| | | 2. 恵まれた自然環境の保全 | | | | 20,000 | 22,000 | 22,000 | 64,000 |
| | | 5203-010 | 環境課 | 環境教育推進・自然環境保全啓発事業 | 139 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| | | 5204-010 | 農政課 | 農産物鳥獣被害防止対策モデル事業 | 140 | 2,000 | 4,000 | 4,000 | 10,000 |
| | | 5204-020 | 農林整備課 | 鳥獣被害防止対策事業 | 141 | 16,000 | 16,000 | 16,000 | 48,000 |
| | | 3. 身近な生活環境の向上 | | | | 7,000 | 0 | 0 | 7,000 |
| | | 5306-010 | 庶務課 | 斎場施設修繕整備事業 | 226 | 7,000 | 0 | 0 | 7,000 |
| | | 4. 資源循環型社会の構築 | | | | 2,075,000 | 248,000 | 265,000 | 2,588,000 |
| | | 5403-010 | 環境課 | 資源回収奨励事業 | 142 | 13,000 | 13,000 | 13,000 | 39,000 |
| | | 5404-010 | リサイクル推進課 | 新資源物(金属類、小型家電、ペットボトル)及び危険ごみ収集事業 | 143 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 60,000 |
| | | 5404-020 | リサイクル推進課 | ごみ収集運搬業務委託事業 | 144 | 143,000 | 143,000 | 152,000 | 438,000 |
| | | 5404-030 | 総務課 | 高濃度PCB廃棄物処分事業 | 145 | 16,000 | 15,000 | 22,000 | 53,000 |
| | | 5405-010 | リサイクル推進課 | 有機資源循環推進事業 | 146 | 25,000 | 25,000 | 26,000 | 76,000 |
| | | 5405-020 | 施設課 | ごみ焼却施設周辺整備事業 | 227 | 30,000 | 30,000 | 30,000 | 90,000 |
| | | 5405-030 | 施設課 | ごみ再資源化施設整備事業 | 228 | 1,816,000 | 0 | 0 | 1,816,000 |
| | | 5405-040 | 施設課 | 御殿場・小山RDFセンター解体・撤去事業(設計業務) | 229 | 10,000 | 0 | 0 | 10,000 |
| | | 5406-010 | 環境課 | 生ごみ処理機等助成事業 | 147 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| | | 5. 水環境の保全・活用 | | | | 1,302,000 | 1,396,000 | 1,510,000 | 4,208,000 |
| | | 5504-010 | 水道工務課 | 上水道配水管布設等整備事業 | 148 | 395,000 | 497,000 | 497,000 | 1,389,000 |
| | | 5504-020 | 水道工務課 | 上水道配水池築造等整備事業 | 149 | 335,000 | 238,000 | 306,000 | 879,000 |
| | | 5504-030 | 水道工務課 | 印野簡易水道整備事業 | 150 | 39,000 | 39,000 | 44,000 | 122,000 |
| | | 5504-040 | 水道業務課 | 企業会計移行事業 | 151 | 7,000 | 5,000 | 10,000 | 22,000 |
| | | 5506-010 | 下水道課 | 下水道管渠整備事業 | 152 | 358,000 | 358,000 | 380,000 | 1,096,000 |
| | | 5506-020 | 下水道課 | 御殿場市公共下水道整備のための計画策定事業 | 153 | 18,000 | 0 | 0 | 18,000 |
| | | 5507-010 | 下水道課 | 浄化槽設置事業 | 154 | 26,000 | 26,000 | 26,000 | 78,000 |
| | | 5507-020 | 下水道課 | 公設浄化槽整備事業 | 155 | 51,000 | 51,000 | 55,000 | 157,000 |
| | | 5508-010 | 下水道課 | 御殿場浄化センター機器修繕事業 | 156 | 20,000 | 80,000 | 111,000 | 211,000 |
| | | 5508-040 | 下水道課 | 御殿場浄化センター耐震化事業 | 157 | 44,000 | 59,000 | 63,000 | 166,000 |
| | | 5509-010 | 衛生センター | 衛生センター施設修繕整備事業 | 230 | 9,000 | 43,000 | 18,000 | 70,000 |
| | | 6. 富士山の麓にふさわしい美しく快適なまちづくり | | | | 6,134,000 | 4,435,000 | 4,952,000 | 15,521,000 |
| | | 1. 魅力ある景観の形成 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 2. 活力ある土地利用の推進 | | | | 595,000 | 114,000 | 623,000 | 1,332,000 |
| | | 6201-010 | 都市計画課 | 優良田園住宅基本方針策定事業 | 158 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 |
| | | 6201-020 | 都市整備課 | 市街化調整区域既存集落内宅地創出事業 | 159 | 75,000 | 80,000 | 80,000 | 235,000 |
| | | 6204-010 | 都市整備課 | 板妻南工業団地開発事業 | 160 | 480,000 | 0 | 0 | 480,000 |
| | | 6204-020 | 都市整備課 | 夏刈工業用地開発事業 | 161 | 0 | 0 | 500,000 | 500,000 |
| | | 6205-010 | 地籍調査課 | 地籍調査事業 | 162 | 40,000 | 32,000 | 43,000 | 115,000 |
| | | 3. 面的な都市と拠点の整備 | | | | 993,000 | 596,000 | 616,000 | 2,205,000 |
| | | 6301-010 | 都市整備課 | 御殿場駅周辺活性化事業 | 163 | 10,000 | 250,000 | 200,000 | 460,000 |
| | | 6302-010 | 都市整備課 | 御殿場駅東西自由通路改修事業 | 164 | 5,000 | 41,000 | 10,000 | 56,000 |
| | | 6303-010 | 都市整備課 | 都市計画道路新橋栄沢線整備事業 | 165 | 30,000 | 30,000 | 30,000 | 90,000 |
| | | 6303-020 | 都市整備課 | 都市計画道路新橋深沢線道路整備事業(市道0115号線) | 166 | 252,000 | 120,000 | 210,000 | 582,000 |
| | | 6303-030 | 都市整備課 | 箱根乙女口広場・箱根乙女口線整備事業 | 167 | 670,000 | 150,000 | 0 | 820,000 |
| | | 6303-040 | 都市計画課 | 駅東地区まちづくり推進事業 | 168 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 |
| | | 6303-050 | 都市整備課 | 都市計画道路御東原循環線(市道0114号線)整備事業 | 169 | 0 | 0 | 2,000 | 2,000 |
| | | 6303-060 | 都市整備課 | 御殿場駅前通り線事業 | 170 | 25,000 | 3,000 | 0 | 28,000 |
| | | 6304-010 | 都市整備課 | 中心市街地整備事業(市道4242号線) | 171 | 1,000 | 1,000 | 164,000 | 166,000 |
| | | 4. 潤いのある都市環境の整備 | | | | 1,207,000 | 650,000 | 856,000 | 2,713,000 |
| | | 6401-010 | 都市整備課 | 秩父宮記念公園整備事業(第2期) | 172 | 159,000 | 152,000 | 509,000 | 820,000 |

実施計画掲載事業の体系図

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 整理番号 | 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 | |
|------|----|-----------------------|-------|-----------------------------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 6401-020 | 都市整備課 | 緑の基本計画策定事業 | 173 | 0 | 5,000 | 7,000 | 12,000 | |
| | | 6401-030 | 都市整備課 | 玉穂地区市民の森づくり・クロスカントリーコース整備事業 | 174 | 600,000 | 50,000 | 200,000 | 850,000 | |
| | | 6402-010 | 都市整備課 | 公園施設改善事業 | 175 | 14,000 | 32,000 | 45,000 | 91,000 | |
| | | 6403-010 | 都市整備課 | 緑化推進事業 | 176 | 11,000 | 11,000 | 11,000 | 33,000 | |
| | | 6403-020 | 都市整備課 | 「富士山桜いっぱいまちづくり」推進事業 | 177 | 3,000 | 8,000 | 4,000 | 15,000 | |
| | | 6403-030 | 都市整備課 | 全国榎サミット御殿場大会事業 | 178 | 14,000 | 21,000 | 1,000 | 36,000 | |
| | | 6405-010 | 市民協働課 | 地区広場改修事業 | 179 | 396,000 | 20,000 | 69,000 | 485,000 | |
| | | 6405-020 | 教育総務課 | 地区児童屋内体育施設環境整備事業 | 180 | 10,000 | 351,000 | 10,000 | 371,000 | |
| | | 5. すみやすい住宅・環境の整備 | | | | | 75,000 | 50,000 | 75,000 | 200,000 |
| | | 6501-010 | 建築住宅課 | 建築物等地震対策事業 | 181 | 25,000 | 25,000 | 25,000 | 75,000 | |
| | | 6506-010 | 建築住宅課 | 市営住宅環境整備事業 | 182 | 50,000 | 20,000 | 20,000 | 90,000 | |
| | | 6506-020 | 建築住宅課 | 市営住宅建替事業 | 183 | 0 | 5,000 | 30,000 | 35,000 | |
| | | 6. 交通基盤の整備 | | | | | 3,240,000 | 3,002,000 | 2,759,000 | 9,001,000 |
| | | 6601-010 | 道路河川課 | 地域計画関連道路整備事業 | 184 | 690,000 | 690,000 | 690,000 | 2,070,000 | |
| | | 6601-020 | 道路河川課 | 道路新設改良事業 | 185 | 1,584,000 | 1,452,000 | 1,367,000 | 4,403,000 | |
| | | 6602-010 | 道路河川課 | 生活道路整備事業 | 186 | 80,000 | 80,000 | 80,000 | 240,000 | |
| | | 6603-010 | 道路河川課 | 橋梁新設改良事業 | 187 | 15,000 | 130,000 | 15,000 | 160,000 | |
| | | 6603-020 | 管理維持課 | 道路維持補修事業 | 188 | 220,000 | 220,000 | 220,000 | 660,000 | |
| | | 6604-010 | 管理維持課 | 道路台帳整備事業 | 189 | 10,000 | 70,000 | 20,000 | 100,000 | |
| | | 6605-010 | 新東名課 | 新東名高速道路関連事業 | 190 | 641,000 | 360,000 | 367,000 | 1,368,000 | |
| | | 7. 公共交通の利便性の向上 | | | | | 24,000 | 23,000 | 23,000 | 70,000 |
| | | 6702-010 | 企画課 | 地域公共交通対策事業 | 191 | 24,000 | 23,000 | 23,000 | 70,000 | |
| | | 7. 雄大な富士と共に歩む協働のまちづくり | | | | | 1,317,000 | 1,125,000 | 946,000 | 3,388,000 |
| | | 1. 魅力発信の強化 | | | | | 37,000 | 40,000 | 45,000 | 122,000 |
| | | 7102-010 | 魅力発信課 | ふるさと納税制度推進事業 | 192 | 20,000 | 25,000 | 30,000 | 75,000 | |
| | | 7102-020 | 魅力発信課 | 魅力発信事業 | 193 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 18,000 | |
| | | 7105-010 | 魅力発信課 | 移住定住促進事業 | 194 | 11,000 | 9,000 | 9,000 | 29,000 | |
| | | 2. 開かれた行政の推進 | | | | | 25,000 | 25,000 | 25,000 | 75,000 |
| | | 7203-010 | 魅力発信課 | 広報紙「広報ごてんば」発行事業 | 195 | 18,000 | 18,000 | 18,000 | 54,000 | |
| | | 7203-020 | 魅力発信課 | コミュニティFM活用事業 | 196 | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 21,000 | |
| | | 3. 市民参画と協働の推進 | | | | | 23,000 | 23,000 | 23,000 | 69,000 |
| | | 7303-010 | 市民協働課 | 市民協働推進事業 | 197 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 9,000 | |
| | | 7303-020 | 市民協働課 | 地方創生まちづくり事業 | 198 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 60,000 | |
| | | 4. 男女共同参画社会の推進 | | | | | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | | 7401-010 | 市民協働課 | 男女共同参画推進事業 | 199 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 | |
| | | 5. 健全な財政運営の推進 | | | | | 46,000 | 32,000 | 17,000 | 95,000 |
| | | 7501-010 | 課税課 | 路線価評価事業 | 200 | 0 | 0 | 17,000 | 17,000 | |
| | | 7501-020 | 課税課 | 固定資産課税資料整備事業 | 201 | 9,000 | 9,000 | 0 | 18,000 | |
| | | 7502-010 | 財政課 | 新公会計導入事業 | 202 | 15,000 | 0 | 0 | 15,000 | |
| | | 7504-010 | 下水道課 | 企業会計移行事業 | 203 | 20,000 | 23,000 | 0 | 43,000 | |
| | | 7505-010 | 財政課 | 固定資産台帳整備事業 | 204 | 2,000 | 0 | 0 | 2,000 | |
| | | 6. 効率的な行政運営の推進 | | | | | 103,000 | 84,000 | 83,000 | 270,000 |
| | | 7601-030 | 税務課 | 所得課税証明書のコンビニ交付事業 | 205 | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 | |
| | | 7601-050 | 市民課 | 戸籍証明書のコンビニ交付事業 | 206 | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 | |
| | | 7603-010 | 下水道課 | 公設浄化槽整備事業PFI導入事業 | 207 | 10,000 | 4,000 | 0 | 14,000 | |
| | | 7603-020 | 水道業務課 | 水道料金徴収等業務民間委託事業 | 208 | 64,000 | 64,000 | 65,000 | 193,000 | |
| | | 7605-010 | 行政課 | サーバ統合化事業 | 209 | 2,000 | 2,000 | 4,000 | 8,000 | |
| | | 7605-020 | 行政課 | 外部セキュリティ監査事業 | 210 | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 15,000 | |

実施計画掲載事業の体系図

(単位:千円)

| 政策方針 | 政策 | 整理番号 | 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----|--------------------------|-------|---------------------------|-----|------------|------------|------------|------------|
| | | 7605-030 | 議事課 | 議会映像等配信事業 | 211 | 1,000 | 0 | 0 | 1,000 |
| | | 7605-040 | 議事課 | 議会ICT化推進事業 | 212 | 5,000 | 0 | 0 | 5,000 |
| | | 7605-050 | 行政課 | セキュリティクラウドシステム利用事業 | 213 | 4,000 | 0 | 0 | 4,000 |
| | | 7607-010 | 人事課 | 人材育成事業 | 214 | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 21,000 |
| | | 7607-020 | 人事課 | 人材育成基本方針策定事業 | 215 | 5,000 | 0 | 0 | 5,000 |
| | | 7. 効果的な広域連携の推進 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 8. 財産区との連携強化 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 9. 東富士演習場周辺における生活環境整備の推進 | | | | 1,082,000 | 920,000 | 752,000 | 2,754,000 |
| | | 7902-010 | 農林整備課 | 東富士演習場関連公共用施設整備事業(9条用排水路) | 216 | 15,000 | 15,000 | 15,000 | 45,000 |
| | | 7902-020 | 道路河川課 | 特定防衛施設河川改修事業(9条) | 217 | 16,000 | 16,000 | 16,000 | 48,000 |
| | | 7902-030 | 道路河川課 | 防衛施設関連道路整備事業(8条) | 218 | 792,000 | 589,000 | 580,000 | 1,961,000 |
| | | 7902-040 | 道路河川課 | 防衛施設関連道路整備事業(9条) | 219 | 259,000 | 300,000 | 141,000 | 700,000 |
| | | 合 計 | | | | 16,972,000 | 13,783,000 | 13,430,000 | 44,185,000 |

3か年実施計画(平成29～31年度) 課別とりまとめ表

(単位:千円)

| 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | 平成31年度 | | | | 3か年 事業費 合計 |
|-------|--------------------|-----|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|--------|-----------|--------|---------|--------|-----------|------------------|
| | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | |
| 企画課 | ホスタウン推進事業 | 129 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 9,000 |
| | 地域公共交通対策事業 | 191 | 24,000 | 7,000 | 17,000 | 0 | 23,000 | 7,000 | 16,000 | 0 | 23,000 | 7,000 | 16,000 | 0 | 70,000 |
| | 2事業 | | 27,000 | 7,000 | 20,000 | 0 | 26,000 | 7,000 | 19,000 | 0 | 26,000 | 7,000 | 19,000 | 0 | 79,000 |
| 行政課 | サーバ統合化事業 | 209 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 4,000 | 0 | 4,000 | 0 | 8,000 |
| | 外部セキュリティ監査事業 | 210 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 15,000 |
| | セキュリティクラウドシステム利用事業 | 213 | 4,000 | 0 | 4,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,000 |
| | 3事業 | | 11,000 | 0 | 11,000 | 0 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 27,000 |
| 魅力発信課 | ふるさと納税制度推進事業 | 192 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 25,000 | 0 | 25,000 | 0 | 30,000 | 0 | 30,000 | 0 | 75,000 |
| | 魅力発信事業 | 193 | 6,000 | 0 | 6,000 | 0 | 6,000 | 0 | 6,000 | 0 | 6,000 | 0 | 6,000 | 0 | 18,000 |
| | 移住定住促進事業 | 194 | 11,000 | 2,000 | 9,000 | 0 | 9,000 | 2,000 | 7,000 | 0 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 29,000 |
| | 広報紙「広報ごてんば」発行事業 | 195 | 18,000 | 2,400 | 15,600 | 0 | 18,000 | 2,400 | 15,600 | 0 | 18,000 | 2,400 | 15,600 | 0 | 54,000 |
| | コミュニティFM活用事業 | 196 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 21,000 |
| | 5事業 | | 62,000 | 4,400 | 57,600 | 0 | 65,000 | 4,400 | 60,600 | 0 | 70,000 | 2,400 | 67,600 | 0 | 197,000 |
| 総務課 | 御殿場市庁舎東館建設事業 | 98 | 475,000 | 358,000 | 117,000 | 117,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 475,000 |
| | 富士岡支所移転構想策定事業 | 99 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 |
| | 林業会館リニューアル事業 | 100 | 12,000 | 12,000 | 0 | 0 | 132,000 | 132,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 144,000 |
| | 本庁舎空調設備更新事業 | 136 | 7,000 | 0 | 7,000 | 7,000 | 5,000 | 0 | 5,000 | 5,000 | 6,000 | 0 | 6,000 | 6,000 | 18,000 |
| | 高濃度PCB廃棄物処分事業 | 145 | 16,000 | 0 | 16,000 | 0 | 15,000 | 0 | 15,000 | 0 | 22,000 | 0 | 22,000 | 0 | 53,000 |
| | 5事業 | | 511,000 | 370,000 | 141,000 | 124,000 | 152,000 | 132,000 | 20,000 | 5,000 | 28,000 | 0 | 28,000 | 6,000 | 691,000 |
| 人事課 | 人材育成事業 | 214 | 7,000 | 2,100 | 4,900 | 0 | 7,000 | 2,100 | 4,900 | 0 | 7,000 | 2,100 | 4,900 | 0 | 21,000 |
| | 人材育成基本方針策定事業 | 215 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,000 |
| | 2事業 | | 12,000 | 2,100 | 9,900 | 0 | 7,000 | 2,100 | 4,900 | 0 | 7,000 | 2,100 | 4,900 | 0 | 26,000 |
| 財政課 | 新公会計導入事業 | 202 | 15,000 | 0 | 15,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15,000 |
| | 固定資産台帳整備事業 | 204 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 |
| | 2事業 | | 17,000 | 0 | 17,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17,000 |
| 税務課 | 所得課税証明書のコンビニ交付事業 | 205 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 2,000 |
| | 1事業 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 2,000 |
| 課税課 | 路線価評価事業 | 200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17,000 | 0 | 17,000 | 0 | 17,000 |
| | 固定資産課税資料整備事業 | 201 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18,000 |
| | 2事業 | | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 17,000 | 0 | 17,000 | 0 | 35,000 |
| 市民課 | 戸籍証明書のコンビニ交付事業 | 206 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 2,000 |
| | 1事業 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 2,000 |

3か年実施計画(平成29～31年度) 課別とりまとめ表

(単位:千円)

| 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | 平成31年度 | | | | 3か年 事業費 合計 |
|---------|--------------------------|-----|-----------|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|------------------|
| | | | 事業費 | 財源内訳 | | | 事業費 | 財源内訳 | | | 事業費 | 財源内訳 | | | |
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | |
| くらしの安全課 | 防犯まちづくり推進事業 | 106 | 31,000 | 22,665 | 8,335 | 0 | 31,000 | 22,665 | 8,335 | 0 | 31,000 | 22,665 | 8,335 | 0 | 93,000 |
| | 市民相談事業 | 107 | 27,000 | 8,600 | 18,400 | 0 | 23,000 | 4,600 | 18,400 | 0 | 23,000 | 4,600 | 18,400 | 0 | 73,000 |
| | 交通安全推進事業 | 108 | 22,000 | 0 | 22,000 | 0 | 22,000 | 0 | 22,000 | 0 | 22,000 | 0 | 22,000 | 0 | 66,000 |
| | 3事業 | | 80,000 | 31,265 | 48,735 | 0 | 76,000 | 27,265 | 48,735 | 0 | 76,000 | 27,265 | 48,735 | 0 | 232,000 |
| 国保年金課 | 国保・後期高齢者保健事業 | 94 | 181,000 | 123,000 | 58,000 | 0 | 180,000 | 123,000 | 57,000 | 0 | 186,000 | 127,000 | 59,000 | 0 | 547,000 |
| | 1事業 | | 181,000 | 123,000 | 58,000 | 0 | 180,000 | 123,000 | 57,000 | 0 | 186,000 | 127,000 | 59,000 | 0 | 547,000 |
| 文化スポーツ課 | 富士山の麓で歌う第九演奏会事業 | 126 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 |
| | 市民会館ホール棟改修事業 | 127 | 189,000 | 182,459 | 6,541 | 6,541 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 189,000 |
| | 陸上競技場整備・改修(2種公認)事業 | 130 | 71,000 | 58,800 | 12,200 | 12,200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 71,000 |
| | 御殿場市体育館リニューアル改修事業 | 131 | 786,000 | 583,743 | 202,257 | 202,257 | 1,233,000 | 981,673 | 251,327 | 251,327 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,019,000 |
| | 南運動場施設改修事業 | 132 | 7,000 | 5,200 | 1,800 | 1,800 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,000 |
| | 東運動場施設改修事業 | 133 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 4,000 | 0 | 4,000 | 4,000 | 6,000 |
| | 6事業 | | 1,054,000 | 830,202 | 223,798 | 223,798 | 1,236,000 | 981,673 | 254,327 | 252,327 | 4,000 | 0 | 4,000 | 4,000 | 2,294,000 |
| 市民協働課 | 地区集会施設整備事業 | 125 | 89,000 | 84,100 | 4,900 | 4,900 | 351,000 | 344,000 | 7,000 | 7,000 | 8,000 | 6,400 | 1,600 | 1,600 | 448,000 |
| | 国際都市交流事業 | 135 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 5,000 |
| | 地区集会施設整備事業(太陽光発電システム設置) | 137 | 23,000 | 23,000 | 0 | 0 | 18,000 | 18,000 | 0 | 0 | 18,000 | 18,000 | 0 | 0 | 59,000 |
| | 地区広場改修事業 | 179 | 396,000 | 396,000 | 0 | 0 | 20,000 | 20,000 | 0 | 0 | 69,000 | 69,000 | 0 | 0 | 485,000 |
| | 市民協働推進事業 | 197 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 9,000 |
| | 地方創生まちづくり事業 | 198 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 60,000 |
| | 男女共同参画推進事業 | 199 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 3,000 |
| | 7事業 | | 535,000 | 503,100 | 31,900 | 4,900 | 414,000 | 382,000 | 32,000 | 7,000 | 120,000 | 93,400 | 26,600 | 1,600 | 1,069,000 |
| 社会福祉課 | 障害者民間福祉施設運営等補助事業 | 89 | 5,000 | 1,500 | 3,500 | 0 | 5,000 | 1,500 | 3,500 | 0 | 5,000 | 1,500 | 3,500 | 0 | 15,000 |
| | 地域生活支援事業 | 90 | 93,000 | 50,685 | 42,315 | 0 | 93,000 | 50,685 | 42,315 | 0 | 93,000 | 50,685 | 42,315 | 0 | 279,000 |
| | タクシー券助成事業 | 91 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 6,000 |
| | 御殿場市障害者計画、御殿場市障害福祉計画策定事業 | 92 | 4,000 | 0 | 4,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,000 |
| | 障害者雇用促進対策事業 | 93 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 3,000 |
| | 5事業 | | 105,000 | 52,185 | 52,815 | 0 | 101,000 | 52,185 | 48,815 | 0 | 101,000 | 52,185 | 48,815 | 0 | 307,000 |
| 子育て支援課 | 放課後児童健全育成事業 | 61 | 100,000 | 50,000 | 50,000 | 0 | 100,000 | 50,000 | 50,000 | 0 | 100,000 | 50,000 | 50,000 | 0 | 300,000 |
| | 子ども医療費助成事業 | 66 | 420,000 | 240,000 | 180,000 | 0 | 420,000 | 240,000 | 180,000 | 0 | 420,000 | 240,000 | 180,000 | 0 | 1,260,000 |
| | 2事業 | | 520,000 | 290,000 | 230,000 | 0 | 520,000 | 290,000 | 230,000 | 0 | 520,000 | 290,000 | 230,000 | 0 | 1,560,000 |

3か年実施計画(平成29～31年度) 課別とりまとめ表

(単位:千円)

| 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | 平成31年度 | | | | 3か年 事業費 合計 |
|--------|------------------------|-----|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|------------------|
| | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | |
| 子ども育成課 | 公立保育園保育サービス評価事業 | 63 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 3,000 |
| | 原里第2保育園グラウンド等整備事業 | 64 | 45,000 | 39,300 | 5,700 | 5,700 | 40,000 | 35,000 | 5,000 | 5,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 85,000 |
| | 保育園環境整備事業 | 65 | 20,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 16,000 | 8,000 | 8,000 | 8,000 | 16,000 | 8,000 | 8,000 | 8,000 | 52,000 |
| | 私立幼稚園就園奨励事業 | 67 | 43,000 | 11,000 | 32,000 | 0 | 43,000 | 11,000 | 32,000 | 0 | 43,000 | 11,000 | 32,000 | 0 | 129,000 |
| | ファミリー・サポート・センター事業 | 68 | 5,000 | 3,230 | 1,770 | 0 | 5,000 | 3,230 | 1,770 | 0 | 5,000 | 3,230 | 1,770 | 0 | 15,000 |
| | 地域子育て支援センター事業 | 69 | 72,000 | 45,710 | 26,290 | 0 | 72,000 | 45,710 | 26,290 | 0 | 72,000 | 45,710 | 26,290 | 0 | 216,000 |
| | 幼稚園環境整備事業 | 116 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | 7事業 | | 187,000 | 109,240 | 77,760 | 16,700 | 178,000 | 102,940 | 75,060 | 14,000 | 138,000 | 67,940 | 70,060 | 9,000 | 503,000 |
| 介護福祉課 | 在宅医療・介護連携推進事業 | 76 | 1,000 | 805 | 195 | 0 | 12,000 | 9,257 | 2,743 | 0 | 12,000 | 9,257 | 2,743 | 0 | 25,000 |
| | 地域包括支援センター事業 | 82 | 84,000 | 67,620 | 16,380 | 0 | 84,000 | 67,620 | 16,380 | 0 | 84,000 | 67,620 | 16,380 | 0 | 252,000 |
| | 高齢者健やか事業 | 83 | 46,000 | 0 | 46,000 | 0 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 | 53,000 | 0 | 53,000 | 0 | 149,000 |
| | 「食」の自立支援事業 | 84 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 15,000 |
| | 介護予防・日常生活支援総合事業 | 85 | 139,000 | 111,895 | 27,105 | 0 | 144,000 | 115,920 | 28,080 | 0 | 148,000 | 119,140 | 28,860 | 0 | 431,000 |
| | 生活支援体制整備事業 | 86 | 9,000 | 7,245 | 1,755 | 0 | 9,000 | 7,245 | 1,755 | 0 | 9,000 | 7,245 | 1,755 | 0 | 27,000 |
| | シルバー人材センター運営補助事業 | 87 | 11,000 | 0 | 11,000 | 0 | 11,000 | 0 | 11,000 | 0 | 11,000 | 0 | 11,000 | 0 | 33,000 |
| | 認知症総合支援事業 | 88 | 5,000 | 4,025 | 975 | 0 | 14,000 | 11,270 | 2,730 | 0 | 14,000 | 11,270 | 2,730 | 0 | 33,000 |
| | | 8事業 | | 300,000 | 191,590 | 108,410 | 0 | 329,000 | 211,312 | 117,688 | 0 | 336,000 | 214,532 | 121,468 | 0 |
| 健康推進課 | 母子保健事業 | 77 | 95,000 | 4,000 | 91,000 | 0 | 96,000 | 4,000 | 92,000 | 0 | 97,000 | 4,500 | 92,500 | 0 | 288,000 |
| | 不妊治療医療費助成事業 | 78 | 21,000 | 1,000 | 20,000 | 0 | 22,000 | 1,000 | 21,000 | 0 | 23,000 | 1,000 | 22,000 | 0 | 66,000 |
| | 市民健康づくり事業(成人保健) | 79 | 167,000 | 16,100 | 150,900 | 0 | 171,000 | 16,100 | 154,900 | 0 | 168,000 | 16,100 | 151,900 | 0 | 506,000 |
| | 感染症予防事業(予防接種事業・結核予防事業) | 80 | 244,000 | 100,000 | 144,000 | 0 | 244,000 | 100,000 | 144,000 | 0 | 256,000 | 100,000 | 156,000 | 0 | 744,000 |
| | 感染症予防事業(高齢者予防接種事業) | 81 | 73,000 | 23,000 | 50,000 | 0 | 73,000 | 23,000 | 50,000 | 0 | 60,000 | 10,987 | 49,013 | 0 | 206,000 |
| | | 5事業 | | 600,000 | 144,100 | 455,900 | 0 | 606,000 | 144,100 | 461,900 | 0 | 604,000 | 132,587 | 471,413 | 0 |
| 救急医療課 | 小児医療等対策事業 | 70 | 12,000 | 0 | 12,000 | 0 | 12,000 | 0 | 12,000 | 0 | 12,000 | 0 | 12,000 | 0 | 36,000 |
| | 公的病院等運営費補助事業 | 71 | 110,000 | 0 | 110,000 | 0 | 110,000 | 0 | 110,000 | 0 | 110,000 | 0 | 110,000 | 0 | 330,000 |
| | 第二次救急医療施設医療機器整備事業 | 72 | 10,000 | 1,800 | 8,200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,000 |
| | 第二次救急医療施設運営事業 | 73 | 44,000 | 7,921 | 36,079 | 0 | 54,000 | 9,721 | 44,279 | 0 | 54,000 | 9,721 | 44,279 | 0 | 152,000 |
| | 広域救急医療体制構築事業 | 74 | 8,000 | 0 | 8,000 | 0 | 8,000 | 0 | 8,000 | 0 | 8,000 | 0 | 8,000 | 0 | 24,000 |
| | 看護学校運営費補助事業 | 75 | 35,000 | 6,300 | 28,700 | 0 | 35,000 | 6,300 | 28,700 | 0 | 35,000 | 6,300 | 28,700 | 0 | 105,000 |
| | 6事業 | | 219,000 | 16,021 | 202,979 | 0 | 219,000 | 16,021 | 202,979 | 0 | 219,000 | 16,021 | 202,979 | 0 | 657,000 |

3か年実施計画(平成29～31年度) 課別とりまとめ表

(単位:千円)

| 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | 平成31年度 | | | | 3か年 事業費 合計 |
|----------|---------------------------------|-----|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|------------------|
| | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | |
| 環境課 | 太陽光発電等新・省エネルギー機器設置費補助事業 | 138 | 15,000 | 0 | 15,000 | 0 | 15,000 | 0 | 15,000 | 0 | 15,000 | 0 | 15,000 | 0 | 45,000 |
| | 環境教育推進・自然環境保全啓発事業 | 139 | 2,000 | 908 | 1,092 | 0 | 2,000 | 908 | 1,092 | 0 | 2,000 | 908 | 1,092 | 0 | 6,000 |
| | 資源回収奨励事業 | 142 | 13,000 | 0 | 13,000 | 0 | 13,000 | 0 | 13,000 | 0 | 13,000 | 0 | 13,000 | 0 | 39,000 |
| | 生ごみ処理機等助成事業 | 147 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 6,000 |
| | 4事業 | | 32,000 | 908 | 31,092 | 0 | 32,000 | 908 | 31,092 | 0 | 32,000 | 908 | 31,092 | 0 | 96,000 |
| リサイクル推進課 | 新資源物(金属類、小型家電、ペットボトル)及び危険ごみ収集事業 | 143 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 60,000 |
| | ごみ収集運搬業務委託事業 | 144 | 143,000 | 0 | 143,000 | 0 | 143,000 | 0 | 143,000 | 0 | 152,000 | 0 | 152,000 | 0 | 438,000 |
| | 有機資源循環推進事業 | 146 | 25,000 | 0 | 25,000 | 0 | 25,000 | 0 | 25,000 | 0 | 26,000 | 0 | 26,000 | 0 | 76,000 |
| | 3事業 | | 188,000 | 0 | 188,000 | 0 | 188,000 | 0 | 188,000 | 0 | 198,000 | 0 | 198,000 | 0 | 574,000 |
| 下水道課 | 下水道管渠整備事業 | 152 | 358,000 | 358,000 | 0 | 0 | 358,000 | 358,000 | 0 | 0 | 380,000 | 380,000 | 0 | 0 | 1,096,000 |
| | 御殿場市公共下水道整備のための計画策定事業 | 153 | 18,000 | 9,000 | 9,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18,000 |
| | 浄化槽設置事業 | 154 | 26,000 | 13,854 | 12,146 | 0 | 26,000 | 13,714 | 12,286 | 0 | 26,000 | 13,575 | 12,425 | 0 | 78,000 |
| | 公設浄化槽整備事業 | 155 | 51,000 | 51,000 | 0 | 0 | 51,000 | 51,000 | 0 | 0 | 55,000 | 55,000 | 0 | 0 | 157,000 |
| | 御殿場浄化センター機器修繕事業 | 156 | 20,000 | 17,075 | 2,925 | 2,850 | 80,000 | 44,847 | 35,153 | 4,750 | 111,000 | 93,825 | 17,175 | 0 | 211,000 |
| | 御殿場浄化センター耐震化事業 | 157 | 44,000 | 30,700 | 13,300 | 13,300 | 59,000 | 49,975 | 9,025 | 9,025 | 63,000 | 62,975 | 25 | 25 | 166,000 |
| | 企業会計移行事業 | 203 | 20,000 | 20,000 | 0 | 0 | 23,000 | 23,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 43,000 |
| | 公設浄化槽整備事業PFI導入事業 | 207 | 10,000 | 10,000 | 0 | 0 | 4,000 | 4,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14,000 |
| | 8事業 | | 547,000 | 509,629 | 37,371 | 16,150 | 601,000 | 544,536 | 56,464 | 13,775 | 635,000 | 605,375 | 29,625 | 25 | 1,783,000 |
| 水道業務課 | 企業会計移行事業 | 151 | 7,000 | 7,000 | 0 | 0 | 5,000 | 5,000 | 0 | 0 | 10,000 | 10,000 | 0 | 0 | 22,000 |
| | 水道料金徴収等業務民間委託事業 | 208 | 64,000 | 64,000 | 0 | 0 | 64,000 | 64,000 | 0 | 0 | 65,000 | 65,000 | 0 | 0 | 193,000 |
| | 2事業 | | 71,000 | 71,000 | 0 | 0 | 69,000 | 69,000 | 0 | 0 | 75,000 | 75,000 | 0 | 0 | 215,000 |
| 水道工務課 | 上水道配水管布設等整備事業 | 148 | 395,000 | 395,000 | 0 | 0 | 497,000 | 497,000 | 0 | 0 | 497,000 | 497,000 | 0 | 0 | 1,389,000 |
| | 上水道配水池築造等整備事業 | 149 | 335,000 | 335,000 | 0 | 0 | 238,000 | 238,000 | 0 | 0 | 306,000 | 306,000 | 0 | 0 | 879,000 |
| | 印野簡易水道整備事業 | 150 | 39,000 | 39,000 | 0 | 0 | 39,000 | 39,000 | 0 | 0 | 44,000 | 44,000 | 0 | 0 | 122,000 |
| | 3事業 | | 769,000 | 769,000 | 0 | 0 | 774,000 | 774,000 | 0 | 0 | 847,000 | 847,000 | 0 | 0 | 2,390,000 |
| 農政課 | 農地集積・集約化推進事業 | 49 | 2,000 | 2,000 | 0 | 0 | 2,000 | 2,000 | 0 | 0 | 2,000 | 2,000 | 0 | 0 | 6,000 |
| | 経営所得安定対策推進事業 | 50 | 5,000 | 5,000 | 0 | 0 | 3,000 | 3,000 | 0 | 0 | 3,000 | 3,000 | 0 | 0 | 11,000 |
| | 地域農業活性化対策事業 | 51 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 12,000 | 10,000 | 2,000 | 0 | 16,000 |
| | 農産物鳥獣被害防止対策モデル事業 | 140 | 2,000 | 0 | 2,000 | 0 | 4,000 | 2,000 | 2,000 | 0 | 4,000 | 2,000 | 2,000 | 0 | 10,000 |
| | 4事業 | | 11,000 | 7,000 | 4,000 | 0 | 11,000 | 7,000 | 4,000 | 0 | 21,000 | 17,000 | 4,000 | 0 | 43,000 |

3か年実施計画(平成29～31年度) 課別とりまとめ表

(単位:千円)

| 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | 平成31年度 | | | | 3か年 事業費 合計 |
|-------|-----------------------------------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|--------|-----------|------------------|
| | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | |
| 農林整備課 | 森林公園維持管理事業 | 37 | 2,000 | 0 | 2,000 | 2,000 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 8,000 | 0 | 8,000 | 8,000 | 11,000 |
| | 高根西部塚原地区県営ほ場整備事業 | 41 | 7,000 | 5,450 | 1,550 | 1,550 | 8,000 | 6,350 | 1,650 | 1,650 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15,000 |
| | 御殿場深沢地区県営ほ場整備事業 | 42 | 29,000 | 25,450 | 3,550 | 3,550 | 13,000 | 10,850 | 2,150 | 2,150 | 8,000 | 6,350 | 1,650 | 1,650 | 50,000 |
| | 市単独農業施設等整備事業 | 43 | 15,000 | 2,500 | 12,500 | 12,500 | 15,000 | 2,500 | 12,500 | 12,500 | 15,000 | 2,500 | 12,500 | 12,500 | 45,000 |
| | 土地改良区交付事業 | 44 | 21,000 | 5,250 | 15,750 | 15,750 | 19,000 | 4,750 | 14,250 | 14,250 | 22,000 | 5,500 | 16,500 | 16,500 | 62,000 |
| | 土地改良区交付事業(ほ場整備事業) | 45 | 30,000 | 16,500 | 13,500 | 13,500 | 35,000 | 19,250 | 15,750 | 15,750 | 32,000 | 17,600 | 14,400 | 14,400 | 97,000 |
| | 富士岡中清水地区県営ほ場整備事業 | 46 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 9,000 | 0 | 9,000 | 9,000 | 27,000 | 21,600 | 5,400 | 5,400 | 41,000 |
| | 高根西部・一色地区県営ほ場整備事業 | 47 | 10,000 | 2,750 | 7,250 | 7,250 | 36,000 | 32,350 | 3,650 | 3,650 | 60,000 | 54,250 | 5,750 | 5,750 | 106,000 |
| | 農業・農村多面的機能支払交付金事業 | 48 | 10,000 | 7,500 | 2,500 | 0 | 10,000 | 7,500 | 2,500 | 0 | 10,000 | 7,500 | 2,500 | 0 | 30,000 |
| | 林道整備事業 | 52 | 5,000 | 0 | 5,000 | 5,000 | 10,000 | 4,033 | 5,967 | 5,967 | 10,000 | 4,033 | 5,967 | 5,967 | 25,000 |
| | 東富士演習場内治山治水対策事業(3条:受託事業) | 103 | 183,000 | 183,000 | 0 | 0 | 183,000 | 183,000 | 0 | 0 | 183,000 | 183,000 | 0 | 0 | 549,000 |
| | 緑地帯設置等事業 | 104 | 44,000 | 44,000 | 0 | 0 | 44,000 | 44,000 | 0 | 0 | 44,000 | 44,000 | 0 | 0 | 132,000 |
| | 鳥獣被害防止対策事業 | 141 | 16,000 | 10,850 | 5,150 | 0 | 16,000 | 10,850 | 5,150 | 0 | 16,000 | 10,850 | 5,150 | 0 | 48,000 |
| | 東富士演習場関連公共用施設整備事業(9条用排水路) | 216 | 15,000 | 300 | 14,700 | 14,700 | 15,000 | 300 | 14,700 | 14,700 | 15,000 | 300 | 14,700 | 14,700 | 45,000 |
| 14事業 | | 392,000 | 303,550 | 88,450 | 75,800 | 414,000 | 325,733 | 88,267 | 80,617 | 450,000 | 357,483 | 92,517 | 84,867 | 1,256,000 | |
| 地籍調査課 | 地籍調査事業 | 162 | 40,000 | 28,750 | 11,250 | 0 | 32,000 | 16,750 | 15,250 | 0 | 43,000 | 31,000 | 12,000 | 0 | 115,000 |
| | 1事業 | | 40,000 | 28,750 | 11,250 | 0 | 32,000 | 16,750 | 15,250 | 0 | 43,000 | 31,000 | 12,000 | 0 | 115,000 |
| 商工観光課 | 観光ハブ都市づくり推進事業 | 32 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 3,000 |
| | 静岡県大型観光キャンペーン(デスクティネーションキャンペーン)事業 | 33 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,000 | 0 | 4,000 | 0 | 4,000 | 0 | 4,000 | 0 | 8,000 |
| | 御殿場のまつり等支援事業 | 34 | 24,000 | 5,300 | 18,700 | 0 | 24,000 | 5,300 | 18,700 | 0 | 24,000 | 5,300 | 18,700 | 0 | 72,000 |
| | ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地推進事業 | 35 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 21,000 |
| | 地方創生魅力創造スポーツタウン充実事業 | 36 | 20,000 | 10,000 | 10,000 | 0 | 20,000 | 10,000 | 10,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 40,000 |
| | 富士山御殿場口新五合目公衆トイレ改築事業 | 38 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,000 | 3,333 | 6,667 | 6,667 | 10,000 |
| | 産業立地促進奨励金事業 | 39 | 404,000 | 202,000 | 202,000 | 0 | 128,000 | 64,000 | 64,000 | 0 | 122,000 | 61,000 | 61,000 | 0 | 654,000 |
| | 雇用創出促進奨励金事業 | 40 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 40,000 |
| | 環境美化・経済対策助成事業 | 53 | 100,000 | 0 | 100,000 | 0 | 100,000 | 0 | 100,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 200,000 |
| | 商店街活性化事業 | 54 | 4,000 | 0 | 4,000 | 0 | 4,000 | 0 | 4,000 | 0 | 4,000 | 0 | 4,000 | 0 | 12,000 |
| | 経済対策おもてなし事業 | 55 | 6,000 | 0 | 6,000 | 0 | 6,000 | 0 | 6,000 | 0 | 6,000 | 0 | 6,000 | 0 | 18,000 |
| | 新商工会館建設構想基本調査助成事業 | 56 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 |
| | アピールナウ御殿場事業(経済活力創出事業) | 57 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 27,000 |
| | 設備投資促進奨励金事業 | 58 | 150,000 | 0 | 150,000 | 0 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 | 250,000 |

3か年実施計画(平成29～31年度) 課別とりまとめ表

(単位:千円)

| 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | 平成31年度 | | | | 3か年 事業費 合計 |
|-------|-----------------------------|-----|-----------|-----------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|------------------|
| | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | |
| | 合同企業ガイダンス事業 | 59 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 3,000 |
| | 勤労者住宅建設資金貸付事業(利子補給事業) | 60 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 8,000 | 0 | 8,000 | 0 | 9,000 | 0 | 9,000 | 0 | 24,000 |
| | 事業所用同報無線戸別受信機設置補助事業 | 97 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 3,000 |
| | 17事業 | | 749,000 | 217,300 | 531,700 | 0 | 376,000 | 79,300 | 296,700 | 0 | 261,000 | 69,633 | 191,367 | 6,667 | 1,386,000 |
| 都市計画課 | 優良田園住宅基本方針策定事業 | 158 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | 2,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 |
| | 駅東地区まちづくり推進事業 | 168 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 |
| | 2事業 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,000 | 2,000 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,000 |
| 新東名課 | 新東名高速道路関連事業 | 190 | 641,000 | 618,500 | 22,500 | 22,500 | 360,000 | 342,600 | 17,400 | 17,400 | 367,000 | 343,900 | 23,100 | 23,100 | 1,368,000 |
| | 1事業 | | 641,000 | 618,500 | 22,500 | 22,500 | 360,000 | 342,600 | 17,400 | 17,400 | 367,000 | 343,900 | 23,100 | 23,100 | 1,368,000 |
| 都市整備課 | 市街化調整区域既存集落内宅地創出事業 | 159 | 75,000 | 75,000 | 0 | 0 | 80,000 | 80,000 | 0 | 0 | 80,000 | 80,000 | 0 | 0 | 235,000 |
| | 板妻南工業団地開発事業 | 160 | 480,000 | 480,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 480,000 |
| | 夏刈工業用地開発事業 | 161 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 500,000 | 500,000 | 0 | 0 | 500,000 | |
| | 御殿場駅周辺活性化事業 | 163 | 10,000 | 2,000 | 8,000 | 8,000 | 250,000 | 230,000 | 20,000 | 20,000 | 200,000 | 184,000 | 16,000 | 16,000 | 460,000 |
| | 御殿場駅東西自由通路改修事業 | 164 | 5,000 | 4,600 | 400 | 0 | 41,000 | 39,950 | 1,050 | 0 | 10,000 | 9,700 | 300 | 300 | 56,000 |
| | 都市計画道路新橋茶萁沢線整備事業 | 165 | 30,000 | 27,800 | 2,200 | 2,200 | 30,000 | 27,800 | 2,200 | 2,200 | 30,000 | 27,800 | 2,200 | 2,200 | 90,000 |
| | 都市計画道路新橋深沢線道路整備事業(市道0115号線) | 166 | 252,000 | 242,800 | 9,200 | 9,200 | 120,000 | 115,440 | 4,560 | 4,560 | 210,000 | 202,400 | 7,600 | 7,600 | 582,000 |
| | 箱根乙女口広場・箱根乙女口線整備事業 | 167 | 670,000 | 632,200 | 37,800 | 37,800 | 150,000 | 141,700 | 8,300 | 8,300 | 0 | 0 | 0 | 0 | 820,000 |
| | 都市計画道路御東原循環線(市道0114号線)整備事業 | 169 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | |
| | 御殿場駅前通り線事業 | 170 | 25,000 | 23,000 | 2,000 | 2,000 | 3,000 | 2,700 | 300 | 300 | 0 | 0 | 0 | 0 | 28,000 |
| | 中心市街地整備事業(市道4242号線) | 171 | 1,000 | 200 | 800 | 800 | 1,000 | 200 | 800 | 800 | 164,000 | 156,480 | 7,520 | 7,520 | 166,000 |
| | 秩父宮記念公園整備事業(第2期) | 172 | 159,000 | 150,800 | 8,200 | 8,200 | 152,000 | 143,600 | 8,400 | 8,400 | 509,000 | 483,800 | 25,200 | 25,200 | 820,000 |
| | 緑の基本計画策定事業 | 173 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 12,000 |
| | 玉穂地区市民の森づくり・クロスカントリーコース整備事業 | 174 | 600,000 | 600,000 | 0 | 0 | 50,000 | 37,500 | 12,500 | 12,500 | 200,000 | 150,000 | 50,000 | 50,000 | 850,000 |
| | 公園施設改善事業 | 175 | 14,000 | 12,900 | 1,100 | 1,100 | 32,000 | 29,600 | 2,400 | 2,400 | 45,000 | 41,550 | 3,450 | 3,450 | 91,000 |
| | 緑化推進事業 | 176 | 11,000 | 525 | 10,475 | 0 | 11,000 | 525 | 10,475 | 0 | 11,000 | 525 | 10,475 | 0 | 33,000 |
| | 「富士山桜いっぱいまちづくり」推進事業 | 177 | 3,000 | 1,500 | 1,500 | 0 | 8,000 | 4,000 | 4,000 | 0 | 4,000 | 2,000 | 2,000 | 0 | 15,000 |
| | 全国椿サミット御殿場大会事業 | 178 | 14,000 | 2,800 | 11,200 | 0 | 21,000 | 7,320 | 13,680 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 36,000 |
| | 18事業 | | 2,349,000 | 2,256,125 | 92,875 | 69,300 | 954,000 | 860,335 | 93,665 | 59,460 | 1,973,000 | 1,838,255 | 134,745 | 114,270 | 5,276,000 |
| 建築住宅課 | 建築物等地震対策事業 | 181 | 25,000 | 18,156 | 6,844 | 0 | 25,000 | 18,156 | 6,844 | 0 | 25,000 | 18,156 | 6,844 | 0 | 75,000 |
| | 市営住宅環境整備事業 | 182 | 50,000 | 46,000 | 4,000 | 4,000 | 20,000 | 16,000 | 4,000 | 4,000 | 20,000 | 16,000 | 4,000 | 4,000 | 90,000 |
| | 市営住宅建替事業 | 183 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,000 | 5,000 | 0 | 0 | 30,000 | 30,000 | 0 | 0 | 35,000 |
| | 3事業 | | 75,000 | 64,156 | 10,844 | 4,000 | 50,000 | 39,156 | 10,844 | 4,000 | 75,000 | 64,156 | 10,844 | 4,000 | 200,000 |

3か年実施計画(平成29～31年度) 課別とりまとめ表

(単位:千円)

| 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | 平成31年度 | | | | 3か年 事業費 合計 |
|-------|-------------------------|-----|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------|
| | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | |
| 道路河川課 | 河川改修事業(市単独事業分) | 105 | 113,000 | 104,960 | 8,040 | 8,040 | 127,000 | 118,460 | 8,540 | 8,540 | 136,000 | 125,560 | 10,440 | 10,440 | 376,000 |
| | 地域計画関連道路整備事業 | 184 | 690,000 | 690,000 | 0 | 0 | 690,000 | 690,000 | 0 | 0 | 690,000 | 690,000 | 0 | 0 | 2,070,000 |
| | 道路新設改良事業 | 185 | 1,584,000 | 1,502,095 | 81,905 | 81,905 | 1,452,000 | 1,372,220 | 79,780 | 79,780 | 1,367,000 | 1,291,840 | 75,160 | 75,160 | 4,403,000 |
| | 生活道路整備事業 | 186 | 80,000 | 77,400 | 2,600 | 2,600 | 80,000 | 77,500 | 2,500 | 2,500 | 80,000 | 77,000 | 3,000 | 3,000 | 240,000 |
| | 橋梁新設改良事業 | 187 | 15,000 | 13,800 | 1,200 | 1,200 | 130,000 | 119,600 | 10,400 | 10,400 | 15,000 | 13,800 | 1,200 | 1,200 | 160,000 |
| | 特定防衛施設河川改修事業(9条) | 217 | 16,000 | 1,420 | 14,580 | 14,580 | 16,000 | 1,420 | 14,580 | 14,580 | 16,000 | 1,420 | 14,580 | 14,580 | 48,000 |
| | 防衛施設関連道路整備事業(8条) | 218 | 792,000 | 781,773 | 10,227 | 10,227 | 589,000 | 580,850 | 8,150 | 8,150 | 580,000 | 572,698 | 7,302 | 7,302 | 1,961,000 |
| | 防衛施設関連道路整備事業(9条) | 219 | 259,000 | 23,780 | 235,220 | 235,220 | 300,000 | 27,500 | 272,500 | 272,500 | 141,000 | 12,900 | 128,100 | 128,100 | 700,000 |
| | 8事業 | | 3,549,000 | 3,195,228 | 353,772 | 353,772 | 3,384,000 | 2,987,550 | 396,450 | 396,450 | 3,025,000 | 2,785,218 | 239,782 | 239,782 | 9,958,000 |
| 管理維持課 | 交通安全施設整備事業 | 109 | 46,000 | 31,866 | 14,134 | 14,134 | 46,000 | 31,866 | 14,134 | 14,134 | 46,000 | 31,866 | 14,134 | 14,134 | 138,000 |
| | 道路維持補修事業 | 188 | 220,000 | 153,500 | 66,500 | 66,500 | 220,000 | 153,399 | 66,601 | 66,601 | 220,000 | 139,000 | 81,000 | 81,000 | 660,000 |
| | 道路台帳整備事業 | 189 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 70,000 | 0 | 70,000 | 0 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | 100,000 |
| | | 3事業 | | 276,000 | 185,366 | 90,634 | 80,634 | 336,000 | 185,265 | 150,735 | 80,735 | 286,000 | 170,866 | 115,134 | 95,134 |
| 危機管理課 | 自主防災活動推進事業 | 95 | 12,000 | 4,772 | 7,228 | 0 | 13,000 | 5,272 | 7,728 | 0 | 12,000 | 4,772 | 7,228 | 0 | 37,000 |
| | 防災行政無線整備(更新)事業 | 96 | 81,000 | 69,879 | 11,121 | 11,121 | 81,000 | 69,879 | 11,121 | 11,121 | 81,000 | 69,879 | 11,121 | 11,121 | 243,000 |
| | | 2事業 | | 93,000 | 74,651 | 18,349 | 11,121 | 94,000 | 75,151 | 18,849 | 11,121 | 93,000 | 74,651 | 18,349 | 11,121 |
| 教育総務課 | 西中学校校舎改築事業 | 117 | 17,000 | 15,300 | 1,700 | 1,700 | 724,000 | 704,191 | 19,809 | 19,809 | 981,000 | 955,186 | 25,814 | 25,814 | 1,722,000 |
| | 小学校環境整備事業 | 118 | 399,000 | 262,571 | 136,429 | 136,429 | 27,000 | 22,274 | 4,726 | 4,726 | 458,000 | 355,601 | 102,399 | 102,399 | 884,000 |
| | 小学校プール改築事業 | 119 | 42,000 | 11,425 | 30,575 | 30,575 | 138,000 | 83,166 | 54,834 | 54,834 | 218,000 | 132,200 | 85,800 | 85,800 | 398,000 |
| | 中学校環境整備事業 | 120 | 39,000 | 30,100 | 8,900 | 5,900 | 349,000 | 273,300 | 75,700 | 72,700 | 603,000 | 471,652 | 131,348 | 128,348 | 991,000 |
| | 地区児童屋内体育施設環境整備事業 | 180 | 10,000 | 9,200 | 800 | 800 | 351,000 | 307,080 | 43,920 | 43,920 | 10,000 | 9,125 | 875 | 875 | 371,000 |
| | | 5事業 | | 507,000 | 328,596 | 178,404 | 175,404 | 1,589,000 | 1,390,011 | 198,989 | 195,989 | 2,270,000 | 1,923,764 | 346,236 | 343,236 |
| 学校教育課 | 発達障害児支援事業 | 110 | 30,000 | 0 | 30,000 | 0 | 32,000 | 0 | 32,000 | 0 | 32,000 | 0 | 32,000 | 0 | 94,000 |
| | 特別支援教育推進事業 | 111 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 9,000 |
| | 外国人英語指導者配置事業 | 112 | 40,000 | 23,600 | 16,400 | 0 | 40,000 | 23,600 | 16,400 | 0 | 60,000 | 34,900 | 25,100 | 0 | 140,000 |
| | 多人数学級支援事業 | 113 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 7,000 | 0 | 21,000 |
| | 魅力ある学びづくり推進事業 | 115 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 12,000 | 0 | 12,000 | 0 | 12,000 | 0 | 12,000 | 0 | 34,000 |
| | | 5事業 | | 90,000 | 23,600 | 66,400 | 0 | 94,000 | 23,600 | 70,400 | 0 | 114,000 | 34,900 | 79,100 | 0 |
| 社会教育課 | 放課後子ども教室(放課後子どもプラン)推進事業 | 62 | 3,000 | 2,000 | 1,000 | 0 | 3,000 | 2,000 | 1,000 | 0 | 3,000 | 2,000 | 1,000 | 0 | 9,000 |
| | 青少年のための科学の祭典事業 | 114 | 2,000 | 800 | 1,200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | 800 | 1,200 | 0 | 4,000 |
| | 子ども読書活動推進事業 | 122 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 3,000 |
| | 図書館図書整備事業 | 123 | 14,000 | 4,750 | 9,250 | 0 | 14,000 | 4,750 | 9,250 | 0 | 14,000 | 4,750 | 9,250 | 0 | 42,000 |

3か年実施計画(平成29～31年度) 課別とりまとめ表

(単位:千円)

| 担当課 | 事業名 | 頁 | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | 平成31年度 | | | | 3か年 事業費 合計 |
|--------|----------------------------|-----|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------------|
| | | | 事業費 | 財源内訳 | | | 事業費 | 財源内訳 | | | 事業費 | 財源内訳 | | | |
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | | 特定財源 | 一般財源 | 投資的 経費 | |
| | 図書館整備事業 | 124 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| | (仮称)富士山市民のサロン整備事業 | 128 | 40,000 | 0 | 40,000 | 40,000 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 | 140,000 |
| | (仮称)郷土資料館整備検討事業 | 134 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 2,000 |
| | 7事業 | | 60,000 | 7,550 | 52,450 | 40,000 | 70,000 | 6,750 | 63,250 | 1,000 | 72,000 | 7,550 | 64,450 | 1,000 | 202,000 |
| 学校給食課 | 学校給食センター施設改修事業 | 121 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| | 1事業 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| 議事課 | 議会映像等配信事業 | 211 | 1,000 | 0 | 1,000 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 |
| | 議会ICT化推進事業 | 212 | 5,000 | 0 | 5,000 | 5,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,000 |
| | 2事業 | | 6,000 | 0 | 6,000 | 6,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,000 |
| 庶務課 | 斎場施設修繕整備事業 | 226 | 7,000 | 1,249 | 5,751 | 5,751 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,000 |
| | 1事業 | | 7,000 | 1,249 | 5,751 | 5,751 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,000 |
| 施設課 | ごみ焼却施設周辺整備事業 | 227 | 30,000 | 5,353 | 24,647 | 24,647 | 30,000 | 5,353 | 24,647 | 24,647 | 30,000 | 5,353 | 24,647 | 24,647 | 90,000 |
| | ごみ再資源化施設整備事業 | 228 | 1,816,000 | 1,532,704 | 283,296 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,816,000 |
| | 御殿場・小山RDFセンター解体・撤去事業(設計業務) | 229 | 10,000 | 1,784 | 8,216 | 8,216 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,000 |
| | 3事業 | | 1,856,000 | 1,539,841 | 316,159 | 32,863 | 30,000 | 5,353 | 24,647 | 24,647 | 30,000 | 5,353 | 24,647 | 24,647 | 1,916,000 |
| 衛生センター | 衛生センター施設修繕整備事業 | 230 | 9,000 | 1,796 | 7,204 | 7,204 | 43,000 | 8,582 | 34,418 | 34,418 | 18,000 | 3,593 | 14,407 | 14,407 | 70,000 |
| | 1事業 | | 9,000 | 1,796 | 7,204 | 7,204 | 43,000 | 8,582 | 34,418 | 34,418 | 18,000 | 3,593 | 14,407 | 14,407 | 70,000 |
| 消防本部 | 消防団車両整備事業 | 101 | 45,000 | 39,348 | 5,652 | 5,652 | 45,000 | 39,048 | 5,952 | 5,952 | 5,000 | 1,250 | 3,750 | 3,750 | 95,000 |
| | 出動隊編成再構築事業 | 221 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,000 | 1,050 | 3,950 | 0 | 5,000 |
| | 消防団活性化事業 | 102 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,000 |
| | 高機能消防指令センター延命化事業 | 222 | 28,000 | 5,896 | 22,104 | 22,104 | 58,000 | 12,214 | 45,786 | 45,786 | 0 | 0 | 0 | 0 | 86,000 |
| | 消防本部車両等更新整備事業 | 223 | 152,000 | 125,361 | 26,639 | 26,639 | 45,000 | 36,205 | 8,795 | 8,795 | 61,000 | 48,868 | 12,132 | 12,132 | 258,000 |
| | 富士岡分署新築事業 | 224 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 |
| | 消防庁舎電灯LED化事業 | 225 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,000 | 1,895 | 7,105 | 7,105 | 9,000 |
| | 7事業 | | 225,000 | 170,605 | 54,395 | 54,395 | 151,000 | 87,467 | 63,533 | 60,533 | 81,000 | 53,063 | 27,937 | 22,987 | 457,000 |
| | 198事業 | | 16,972,000 | 13,048,603 | 3,923,397 | 1,324,292 | 13,783,000 | 10,307,043 | 3,475,957 | 1,259,472 | 13,430,000 | 10,341,098 | 3,088,902 | 1,006,843 | 44,185,000 |

第四次御殿場市総合計画 前期基本計画 政策評価指標一覧

| 政策No | 政策名 | 指標 | 第4次総計 (前期計画) 掲載頁 | 計算式等 | 担当課 | 基準値 | | 現状値 | | 目標値 | |
|------|-------------------|-------------------------------|------------------------|----------------------------|--------|------------------------|-------|------------------------|-------|------------------------|------------------------|
| | | | | | | | | (最新値) | 調査時期 | (H31年度) | (H32年度) |
| 1-1 | 国内外の観光交流による産業の活性化 | 外国人宿泊客数 | 39 | | 商工観光課 | 15,473人 | H26年 | 15,473人 | H26年 | 19,000人 | 20,000人 |
| | | 観光交流客数 (観光レクリエーション客数、宿泊客数) | 39 | 観光施設の利用者数、イベント参加者数と宿泊客数の合計 | 商工観光課 | 13,324,344人 | H25年 | 14,116,413人 | H26年度 | 1,485万人 | 1,500万人 |
| 1-2 | 新たな企業誘致と産業連携の推進 | 地域産業立地促進事業費補助件数 | 41 | | 商工観光課 | 1件 | H26年 | 1件 | H27年度 | 2件 | 2件 |
| | | 雇用創出促進事業費補助件数 | 41 | 幅広い業種の設備投資に対する補助金 | 商工観光課 | - (未実施) | - | - | - | 1件 | 1件 |
| 1-3 | 地域特性を生かした農林業の展開 | 担い手集積率 | 44 | 各年3月末日 | 農政課 | 2.64% | H27年 | 3.60% | H28年 | 16% | 20% |
| | | 年間間伐面積累計値 | 44 | | 農林整備課 | 1,452.20ha | H26年 | 1,484.94ha | H27年 | 1,750ha | 1,840ha |
| 1-4 | 活気ある商業・サービスの振興 | 小売・卸売業年間商品販売額 | 46 | | 商工観光課 | 1,335億円 | H24年 | 1,335億円 | H24年 | 1,790億円 | 1,970億円 |
| | | 小売・卸売業従業員数 | 46 | | 商工観光課 | 8,067人 | H24年 | 8,067人 | H24年 | 8,400人 | 8,500人 |
| 1-5 | 活力ある工業の振興 | 製造品出荷額 | 48 | | 商工観光課 | 38,878,310万円 | H24年 | 38,153,231万円 | H25年 | 4,025億円 | 4,046億円 |
| | | 労働力人口 | 48 | | 商工観光課 | 男:30,973人 女:20,147人 | H24年 | 男:30,973人 女:20,147人 | H24年 | 男:31,800人 女:21,000人 | 男:31,900人 女:21,100人 |
| 1-6 | 良好な雇用環境の創造 | 一人当たりの付加価値額(労働生産性) | 51 | 市内全産業の(付加価値額)/(従業員数) | 商工観光課 | 498万円 | H24年 | 498万円 | H24年 | 520万円 | 525万円 |
| | | 事業所数 | 51 | 市内のすべての産業の事業所数 | 商工観光課 | 3,667か所 | H24年 | 3,667か所 | H24年 | 3,730か所 | 3,740か所 |
| 2-1 | 子育てしやすい環境づくりの推進 | 放課後児童クラブの入所者数 | 55 | 3月末日時点 | 子育て支援課 | 600人 | H26年度 | 660人 | H27年度 | 1,040人 | 1,040人 |
| | | 一時預かり保育事業利用者数 | 55 | 年間延べ人数 | 子ども育成課 | 9,561人 | H26年度 | 11,503 | H27年度 | 11,172人 | 11,172人 |
| | | 保育所等利用者数 | 55 | 3月初日時点 | 子ども育成課 | 2,065人 | H26年度 | 2,067 | H27年度 | 2,075人 | 2,075人 |
| | | 「結婚に自信が持てる」人の割合 | 55 | 結婚相談者アンケート | 子育て支援課 | - (未実施) | - | 50% | H27年度 | 40% | 40% |
| 2-2 | 安心できる医療体制の確保 | 市内の医師の総数 | 59 | | 救急医療課 | 111人 | H24年度 | 111人 | H24年度 | 130人 | 140人 |
| | | 市内の薬剤師の総数 | 59 | | 救急医療課 | 289人 | H24年度 | 289人 | H24年度 | 300人 | 320人 |
| | | 市内医療機関の病床数 | 59 | | 救急医療課 | 1,327床 | H26年度 | 1,318床 | H27年度 | 1,400床 | 1,400床 |
| | | 平日夜間・休日昼夜に診療を行う小児医療機関数 | 59 | | 救急医療課 | 1か所 | H26年度 | 1か所 | H27年度 | 2か所 | 3か所 |

第四次御殿場市総合計画 前期基本計画 政策評価指標一覧

| 政策No | 政策名 | 指標 | 第4次総計 (前期計画) 掲載頁 | 計算式等 | 担当課 | 基準値 | | 現状値 | | 目標値 | |
|------|--------------------|-----------------------------|------------------------|-------------------------------------|-------|--|--------------------|--|----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| | | | | | | | | (最新値) | 調査時期 | (H31年度) | (H32年度) |
| 2-3 | 健康づくりの促進 | 健康づくり食生活推進員の数 | 62 | | 健康推進課 | 41人 | H26年度 | 29人 | H27年度 | 50人 | 50人 |
| | | 健康大学講座受講者数 | 62 | 隔年実施 | 健康推進課 | 820人 | H25年度 | 837人 | H27年度 | 840人 | 840人(H31) |
| 2-4 | 保健衛生の充実 | 新生児訪問訪問率、1歳6か月児健診・3歳児健診の受診率 | 64 | | 健康推進課 | 新生児訪問 94.2% 1歳6か月児 97.8% 3歳児 95.2% | H26年度 | 新生児訪問 96.0% 1歳6か月児 94.9% 3歳児 95.5% | H27年度 | 新生児訪問 100% 1歳6か月児 100% 3歳児 100% | 新生児訪問 100% 1歳6か月児 100% 3歳児 100% |
| | | がん検診実施率(胃・肺・大腸・子宮・乳) | 64 | | 健康推進課 | 44.4% | H25年度 | 44.4% | H27年度 | 50.0% | 50.0% |
| 2-5 | 支え合う地域福祉の構築 | 市民交流センター日単位稼働率 | 67 | 3月末日時点 | 社会福祉課 | 86.5% | H26年度 | 89.7% | H27年度 | 90.0% | 90.0% |
| 2-6 | 安心できる高齢者福祉の充実 | 訪問看護サービスを実施する介護事業所数 | 70 | | 介護福祉課 | 1か所 | H26年度 | 2か所 | H27年度 | 3か所 | 4か所 |
| | | 小規模多機能型居宅介護サービスを実施する介護事業者数 | 70 | | 介護福祉課 | 1か所 | H26年度 | 1か所 | H27年度 | 2か所 | 3か所 |
| | | 認知症サポーター養成講座受講者数(延べ人数) | 70 | | 介護福祉課 | 6,360人 | H26年度 | 6,849人 | H27年度 | 8,750人 | 9,250人 |
| 2-7 | 自立に向けた障害者福祉の充実 | 地域生活移行者数 | 72 | 平成17年からの累計 | 社会福祉課 | 18人 | H26年度 | 20人 | H27年度 | 23人 | 25人 |
| | | 就労継続日からの一般就労移行者数 | 72 | 平成21年からの累計 | 社会福祉課 | 13人 | H26年度 | 15人 | H27年度 | 16人 | 17人 |
| 2-8 | 保険・年金制度の周知と医療費の適正化 | 国民健康保険特定健診受診率 | 75 | | 国保年金課 | 42.6% | H25年度 | 43.7% | H26年度 | 60.0% | 60.0% |
| | | 後期高齢者健康診査受診率 | 75 | | 国保年金課 | 51.1% | H26年度 | 52.9% | H27年度 | 55.9% | 56.5% |
| 3-1 | 危機管理体制の構築 | 防災訓練参加者数 | 79 | 自主防災会からの計画を集計 | 危機管理課 | 25,351人 | H26年 | 26,823人 | H27年 | 31,500人 | 33,000人 |
| | | 防災出前講座参加者数 | 79 | 参加実人数を集計 | 危機管理課 | 3,783人 | H26年 | 3,018人 | H27年 | 3,300人 | 3,300人 |
| 3-2 | 消防・救急体制の強化 | 消防団員数 | 81 | | 消防本部 | 379人 | H27年度 | 374人 | H28年度 (平成29年1月1日) | 390人 | 396人 |
| | | 出火率(人口1万人当たりの出火件数) | 81 | 出火件数/人口×10,000 | 消防本部 | 3.13件 | H21~26 年度 平均 | 2.93件 | H27年度 | 2.57件 | 2.57件 |
| | | 生存率 | 81 | 心臓に原因があり、心肺機能停止の時点が目撃された傷病者の一カ月後生存率 | 消防本部 | 3% | H22~26 年度 平均 | 4% | H27年度 | 4% | 4% |
| 3-3 | 治山・治水対策の充実 | 浸水被害防止の河川改修施工箇所 | 83 | 平成27年度河川改修箇所数10箇所の完了数 | 道路河川課 | 2か所 | H27年度 | 1か所 | H27年度 | 8か所 | 10か所 |
| | | 年間間伐面積累計値 | 83 | | 農林整備課 | 1,452.20ha | H26年 | 1,484.94ha | H27年 | 1,750ha | 1,840ha |

第四次御殿場市総合計画 前期基本計画 政策評価指標一覧

| 政策No | 政策名 | 指標 | 第4次総計 (前期計画) 掲載頁 | 計算式等 | 担当課 | 基準値 | | 現状値 | | 目標値 | |
|------|-----------------|------------------------------------|------------------------|---|------------|-------------------------------|-------|-------------------------------|-------|-------------------------------|-------------------------------|
| | | | | | | | | (最新値) | 調査時期 | (H31年度) | (H32年度) |
| 3-4 | 身近な地域の防犯の充実 | 刑法犯認知件数(御殿場警察署管内) | 86 | | くらしの安全課 | 824件 | H26年 | 725件 | H27年 | 780件 | 775件 |
| | | 子ども声かけ事例の件数 | 86 | | くらしの安全課 | 7件 | H26年 | 9件 | H27年 | 3件 | 2件 |
| 3-5 | 消費者の権利の尊重と自立の支援 | 消費者教育・消費生活啓発講座参加者数・回数 | 88 | | くらしの安全課 | 41回・1,690人 | H26年度 | 38回・1,594人 | H27年度 | 49回・1,700人 | 50回・1,710人 |
| | | 消費生活相談に占める自主交渉率 | 88 | 自主交渉件数/消費生活相談(苦情・相談)件数 | くらしの安全課 | 82.69% | H26年度 | 85.22% | H27年度 | 83.80% | 84.00% |
| 3-6 | 交通安全の推進 | 交通事故件数・物損事故件数・死亡事故件数 | 89 | | くらしの安全課 | 人身 723件 死亡 4件 物損 2,424件 | H26年 | 人身 666件 死亡 2件 物損 2,444件 | H27年 | 人身 690件 死亡 0件 物損 2,200件 | 人身 680件 死亡 0件 物損 2,100件 |
| | | 人身事故に対する高齢者事故の件数・割合 | 89 | | くらしの安全課 | 212件・29.32% | H26年 | 208件・31.23% | H27年 | 200件・28.99% | 195件・28.68% |
| 4-1 | 人を育む環境の充実 | 近所の人に挨拶したり困っている人に手助けしようとする児童生徒の割合 | 92 | | 学校教育課 | 89% | H26年度 | 89% | H27年度 | 95% | 95% |
| | | あいさつ+「ありがとう」を学校・家庭や地域の方に言える児童生徒の割合 | 92 | | 学校教育課 | 92.7% | H26年度 | 91% | H27年度 | 95% | 95% |
| | | 特別支援教育の校内支援体制の整備状況 | 93 | 特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育体制が有効に機能しているとする教職員数/全教職員数 | 学校教育課 | 88.7% | H26年度 | 85% | H27年度 | 95% | 95% |
| | | 学校の自己評価・学校関係者評価による教育課程の改善状況 | 93 | 学校の自己評価や学校関係者評価が教育課程の改善につながっているとする教職員数/全教職員数 | 学校教育課 | 92.8% | H26年度 | 92.8% | H27年度 | 95% | 95% |
| | | 教育指導センターの円滑な運営状況 | 93 | 教育指導員による指導が教師力向上に役立ったとする教職員数/対象教職員数 | 学校教育課 | 87.5% | H26年度 | 87.5% | H27年度 | 95% | 95% |
| 4-2 | 生涯学習と地域活動の推進 | ひろがり学習塾の参加者数 | 96 | ひろがり学習塾受講者数(人/年) | 社会教育課 | 1,046人 | H26年 | 727人 | H27年度 | 1,200 | 1,200 |
| | | 図書館入館者数、貸し出し冊数 | 96 | | 社会教育課(図書館) | 262,618人 547,615冊 | H26年 | 271,666人 549,612冊 | H27年 | 277,000人 574,000冊 | 280,000人 580,000冊 |
| | | 自治会加入率 | 96 | 自治会加入世帯/住民基本台帳世帯数 | 市民協働課 | 82.7% | H26年 | 82.7% | H26年度 | 84% | 85% |
| 4-3 | 芸術・文化活動の振興 | 市民芸術祭への出展数・出演者数 | 98 | 展示部門出品点数+ステージ部門出演者数 | 文化スポーツ課 | 3,727点(人) | H26年度 | 3,725点 | H27年度 | 3,950点(人) | 4,000点(人) |
| | | 市民会館利用者数 | 98 | 市民会館年間利用者数 | 文化スポーツ課 | 173,211人 | H26年度 | 185,009人 | H27年度 | 185,000人 | 185,000人 |
| 4-4 | スポーツの振興 | スポーツ施設利用者数 | 100 | 総合体育施設、馬術・スポーツセンター、地区広場、学校開放の利用者数 | 文化スポーツ課 | 720,532人 | H26年度 | 705,805人 | H27年度 | 721,000人 | 721,500人 |
| | | スポーツ賞賜金交付人数 | 100 | 全国大会以上の各種競技大会に出場する個人に対し交付 | 文化スポーツ課 | 159人 | H26年度 | 107人 | H27年度 | 165人 | 170人 |
| 4-5 | 歴史と文化の継承 | 企画展示入場者数、文化財講座参加者数 | 103 | 歴史と文化に関する企画展示入場者数、文化財講座参加者数(累積) | 社会教育課 | 500人 | H26年 | 573人 | H27年度 | 3000人 | 3200人 |
| | | 文化財等に関する報告書等の発行数(件) | 103 | 御殿場市が発行する文化財等に関する研究書、報告書の発行件数(累積) | 社会教育課 | 1件 | H26年 | 5件 | H27年度 | 6件 | 7件 |

第四次御殿場市総合計画 前期基本計画 政策評価指標一覧

| 政策No | 政策名 | 指標 | 第4次総計 (前期計画) 掲載頁 | 計算式等 | 担当課 | 基準値 | | 現状値 | | 目標値 | |
|------|---------------|--------------------------------|---------------------------|--|-----------------|-------------------------|--------|----------|--------|-----------------------|-----------------------|
| | | | | | | | | (最新値) | 調査時期 | (H31年度) | (H32年度) |
| 4-6 | 多文化共生と国際交流の推進 | 国際交流団体会員数及び在住外国人支援ボランティア数 | 105 | | 市民協働課 | 296人 | H27年度 | 302人 | H27年度 | 320人 | 330人 |
| | | 交流イベントの参加者数 | 105 | | 市民協働課 | 945人 | H26年度 | 1,344人 | H27年度 | 1,050人 | 1,100人 |
| 5-1 | 地球温暖化防止活動の推進 | 太陽光発電システム等、新・省エネルギー機器設置費補助事業実績 | 109 | | 環境課 | 352件 | H26年度 | 270件 | H27年度 | 400件 | 400件 |
| | | 市全体の二酸化炭素排出量 | 109 | | 環境課 | 640.6千t-CO ₂ | H24年度 | - | - | 550千t-CO ₂ | 550千t-CO ₂ |
| 5-2 | 恵まれた自然環境の保全 | 富士山豆博士事業取組児童生徒数 | 111 | | 環境課 | 550人 | H26年度 | 372人 | H27年度 | 600人 | 600人 |
| 5-3 | 身近な生活環境の向上 | 水質調査参考環境基準値超過箇所 | 112 | 水質調査箇所のうち、調査項目が参考環境基準値を超過した箇所数 | 環境課 | 0か所 | H26年度 | 0か所 | H27年度 | 0か所 | 0か所 |
| | | 自動車騒音常時監視面的評価環境基準値超過割合 | 112 | 基準値超過戸数/調査範囲内住居等戸数 | 環境課 | 7.4% | H26年度 | 1.6% | H27年度 | 5% | 5% |
| 5-4 | 資源循環型社会の構築 | ごみ・資源物発生量 | 114 | | 環境課 リサイクル推進課 | 29,044トン | H26年度 | 28,362トン | H27年度 | 27,492トン | 27,364トン |
| | | 家庭系ごみ・資源物の資源化率 | 114 | 家庭系資源物排出量/家庭系ごみ・資源物排出量 | 環境課 リサイクル推進課 | 14.77% | H26年度 | 14.61% | H27年度 | 21.57% | 21.57% |
| 5-5 | 水環境の保全・活用 | 有収率 | 117 | 年間総有収水量/年間総配水量×100 | 水道業務課 水道工務課 | 83.5% | H26年 | 83.6% | H27年 | 86.40% | 86.80% |
| | | 汚水処理人口普及率 | 117 | 汚水処理人口普及率=汚水処理施設整備人口/住民基本台帳人口 ※汚水処理施設整備人口=下水道人口+集落排水人口+浄化槽人口+コミプラ人口 | 下水道課 | 61.8% | H26年度 | 63.0% | H27年度 | 68.0% | 70.0% |
| 6-1 | 魅力ある景観の形成 | 眺望遺産の認定件数 | 120 | 累計認定件数 | 都市計画課 | 5件 | H27年度 | 5件 | H27年度 | 6件 | 7件 |
| | | 良好な景観の創出に向けた景観資源の保全 | 120 | 景観重要樹木等の指定件数 | 都市計画課 | 0件 | H27年度 | 2件 | H27年度 | 1件 | 1件 |
| 6-2 | 活力ある土地利用の推進 | 市街化調整区域における宅地化数 | 122 | | 都市整備課 | 0地区 | H26年度 | 0地区 | H27年度 | 2地区 | 2地区 |
| | | 新たな工業用地整備面積 | 122 | | 都市整備課 | 0ha | H26年度 | 0ha | H27年度 | 18ha | 23ha |
| 6-3 | 面的な都市と拠点の整備 | JR御殿場駅駅前広場などの整備 | 124 | 箱根乙女口 | 都市整備課 | 未整備 | H26年度 | 未 | H27年度 | 整備済み | 整備済み |
| | | | 124 | 富士山口 | 都市整備課 | 暫定整備済み | H26年度 | 未 | H27年度 | 一部整備 | 一部整備 |
| | | 124 | 中心市街地の活性化区域における自転車・歩道整備延長 | 都市整備課 | 総延長 L=2,893m | 都市整備課 | 1,543m | H26年度 | 1,543m | H27年度 | 1,994m |
| 6-4 | 潤いのある都市環境の整備 | 市民一人あたり都市公園面積 | 127 | | 都市整備課 | 3.52㎡ | H26年度 | 3.55㎡ | H27年度 | 4.63㎡ | 4.90㎡ |
| 6-5 | すみやすい住宅・環境の整備 | 長期優良住宅認定件数 | 129 | | 建築住宅課 | 144件 | H26年度 | 147件 | H27年度 | 172件 | 172件 |

第四次御殿場市総合計画 前期基本計画 政策評価指標一覧

| 政策No | 政策名 | 指標 | 第4次総計 (前期計画) 掲載頁 | 計算式等 | 担当課 | 基準値 | | 現状値 | | 目標値 | |
|------|-----------------------|-----------------------------------|------------------------|---------------------------------|-------|---------------|-------|----------------|-------|---------|---------|
| | | | | | | | | (最新値) | 調査時期 | (H31年度) | (H32年度) |
| 6-6 | 交通基盤の整備 | 東名高速道路(仮称)駒門スマートインターチェンジの上下線整備進捗率 | 132 | | 新東名課 | 0% | H27年度 | 0% | H27年度 | 100% | 整備済み |
| | | 道路の舗装率 | 132 | 舗装道延長/実延長(道路台帳) | 道路河川課 | 62.8% | H26年度 | 64.8% | H27年度 | 64.70% | 65.10% |
| 6-7 | 公共交通の利便性の向上 | 新たな交通モードの1台あたりの年間平均乗車人数 | 134 | 利用者数/運行便数(年) | 企画課 | — | H26年度 | — | H27年度 | 1.1人 | 1.1人 |
| | | 路線バス(市内日常生活交通)の年間利用者数 | 134 | 富士急行統計(御殿場市関係路線バス) | 企画課 | 696,294人 | H26年度 | 764,663人 | H27年度 | 70万人 | 70万人 |
| | | JR御殿場駅の乗降客数(一日平均) | 134 | | 企画課 | 9,752人 | H25年度 | 9,907人 | H27年度 | 10,000人 | 10,000人 |
| 7-1 | 魅力発信の強化 | 地域ブランド市区町村ランキング | 136 | | 魅力発信課 | 81位/1,000市区町村 | H26年 | 129位/1,000市区町村 | H27年 | 70位 | 70位 |
| | | 観光交流客数 (観光レクリエーション客数、宿泊客数) | 136 | 観光施設の利用者数、イベント参加者数と宿泊客数の合計 | 商工観光課 | 13,324,344人 | H25年 | 14,116,413人 | H26年 | 1,485万人 | 1,500万人 |
| 7-2 | 開かれた行政の推進 | ホームページアクセス件数 | 139 | | 魅力発信課 | 915,727件 | H26年 | 1,022,009件 | H27年 | 94.5万件 | 95万件 |
| 7-3 | 市民参画と協働の推進 | 市民協働型まちづくり事業申請件数 | 141 | | 市民協働課 | 8件 | H26年度 | 12件 | H28年度 | 13件 | 14件 |
| | | 市民活動支援事業申請件数 | 141 | | 市民協働課 | 4件 | H26年度 | 5件 | H27年度 | 9件 | 10件 |
| | | 市民活動支援センター団体登録数 | 141 | | 市民協働課 | 122団体 | H26年度 | 129団体 | H27年度 | 140団体 | 150団体 |
| 7-4 | 男女共同参画社会の推進 | 区役員(区長・副区長)への女性の登用数 | 143 | | 市民協働課 | 5人 | H26年度 | 4人 | H28年度 | 10人 | 11人 |
| | | 市内の男女共同参画社会づくり宣言事業所・団体数 | 143 | | 市民協働課 | 11件 | H26年度 | 14件 | H28年度 | 13件 | 14件 |
| 7-5 | 健全な財政運営の推進 | 経常収支比率 | 145 | 経常的支出/経常的収入 | 財政課 | 84.8% | H26年度 | 83.7% | H27年度 | 84.5% | 84.5% |
| | | 実質公債費率 | 145 | 実質的に支出された公債費/標準財政規模 | 財政課 | 11.5% | H26年度 | 10.8% | H27年度 | 11.0% | 11.0% |
| 7-6 | 効率的な行政運営の推進 | 人口千人当たりの職員数 | 148 | 普通会計職員数/住民基本台帳人口 | 行政課 | 6.6人 | H26年度 | 6.7人 | H27年度 | 6.5人 | 6.5人 |
| | | 個人番号カードの普及率 | 148 | 個人番号カード取得者数/住民基本台帳人口(毎年3月末時点) | 市民課 | 0% | H26年度 | 2.07% | H27年度 | 66% | 66% |
| 7-7 | 効果的な広域連携の推進 | 他の地方公共団体と連携した施策数(富士山ネットワーク) | 150 | 富士山ネットワーク会議各研究会で実施した事業・イベント数の合計 | 企画課 | 25件 | H26年度 | 21件 | H27年度 | 30件 | 30件 |
| 7-8 | 財産区との連携強化 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 7-9 | 東富士演習場周辺における生活環境整備の推進 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |

実施計画

(平成29～31年度)

事業整理シート

財源内訳凡例

| | | |
|------------------|------|---------|
| 財 源 内 訳 | 国補 | 国庫補助金 |
| | 防衛 | 防衛補助金 |
| | 県補 | 県支出金 |
| | 市債 | 市債(組合債) |
| | 財産 | 財産区繰入金 |
| | 負担 | 負担金 |
| | 小山 | 小山町分 |
| | 寄付 | 寄付金 |
| | その他 | 企業財源など |
| | 一般 | 一般財源 |
| | (投資) | 普通建設事業費 |

| | | | |
|-----|---------------|------|----------|
| 事業名 | 観光ハブ都市づくり推進事業 | 整理番号 | 1101-010 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------------------|----------|---------------------------|
| 事業期間 | 平成23年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-1-1 | 施策名: 富士山と地域資源を生かした滞留観光の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市観光戦略プラン、観光ハブ都市づくり推進構想 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 市全域の観光振興、地域経済の活性化及び富士箱根伊豆地域における観光交流を推進する。 |
| 対象 | 市民、観光客、観光事業者等 |
| 手段 | 民間ノウハウを活用し、御殿場型NPMの理念に基づき、民間と行政が一体となって戦略的観光施策を展開する。各種テーマごとプロジェクトチームを設置し、滞留観光に資するための企画立案を行う。各プロジェクト間の連絡調整会議を設置し、相互連携や新たな観光商品の開発等を行う。御殿場市観光協会に対して交付金を交付し、各プロジェクト合同の取組や、各プロジェクト立ち上げ時の調査・研究等の活動に活用する。 |
| 成果 | 各種の観光資源の活用により観光客が市内に滞留することで地域がにぎわい、経済が活性化し、魅力ある観光のまち、御殿場リゾート富士の郷が創出される。 富士箱根伊豆観光交流圏の中間に位置する地理的優位性を生かした取組により、当市の観光交流客数が増加する。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 富士五湖や箱根への通過、大型集客施設の観光客を市内の滞留観光に誘導していく必要性が従来から指摘されてきた。富士山の世界遺産登録、新東名御殿場インターの開設やアクセス道路整備が平成32年度までに完了予定であることから、国内外からの観光交流客数の一層の増加が期待されている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成23年8月の観光ハブ都市づくり推進構想策定、同年10月のキックオフイベント実施後、民間において複数のプロジェクトが組織されてきたため、関係者からの意見聴取や相互の情報交換を行い、事業の推進を図っている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|---|-------|
| 事業内容 | | ・各取組・プロジェクト間の連絡調整 ・新たなプロジェクト立ち上げのための支援 ・効率的な情報発信などの調査検討 | ・各取組・プロジェクト間の連絡調整 ・新たなプロジェクト立ち上げのための支援 ・効率的な情報発信などの調査検討 | ・各取組・プロジェクト間の連絡調整 ・新たなプロジェクト立ち上げのための支援 ・効率的な情報発信などの調査検討 | |
| | 事業費 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |

| | | | |
|-----|----------------------------------|------|----------|
| 事業名 | 静岡県大型観光キャンペーン(デスティネーションキャンペーン)事業 | 整理番号 | 1102-010 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 平成30年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-1-2 | 施策名: 広域連携による観光誘客の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市観光戦略プラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 広く全国及び海外からの誘客を図り、地域を活性化させるため、全国くまなく静岡県、御殿場市の情報を発信し、本市への観光客の誘客を図る。 |
| 対象 | 国内外からの観光客 |
| 手段 | 静岡県及び県下全市町、JRグループ6社、観光事業者が協働して実施する日本最大規模の観光キャンペーン(デスティネーションキャンペーン)に参画する。 |
| 成果 | 日本最大規模の観光キャンペーンにより、集中的に国内外に静岡県、御殿場市が情報発信され、本市への観光交流客が増加することにより、市の経済活性化につながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 静岡県が2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、静岡の多彩な魅力を国内外に認知させ、目的地として選ばれる観光地づくり、魅力ある観光地の形成を進める中で、今回の観光キャンペーンを静岡県に誘致するために県内各自治体が参画するもの。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------|--------------------|--------------------|-------|
| 事業内容 | | | デスティネーションキャンペーン負担金 | デスティネーションキャンペーン負担金 | |
| | 事業費 | | 4,000 | 4,000 | 8,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 4,000 | 4,000 | 8,000 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 御殿場のまつり等支援事業 | 整理番号 | 1104-010 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-------------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 平成6年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-1-4 | 施策名: イベント等を通じた誘客の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市観光戦略プラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 観光客の増加、回遊客数の増加を図る。 市民が元気になり、街が活性化する。 |
| 対象 | 観光客及び市民 |
| 手段 | 各種のまつり等を主催する実行委員会等に対して事業費の助成を行い、運営の支援をする。 |
| 成果 | 御殿場を知る人が増え、御殿場を訪れる人が増え、市民がまつりを通して元気になり、にぎわいと活気あふれる御殿場、明るくさわやかな高原都市御殿場が実現し、観光ハブ都市として確立する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 街の活性化の起爆剤として、まつりの存在は大きい。伝統を重んじるもの、新たな視点によるもの、内外からの来場者の多様なニーズに合致するまつりの実施が求められている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成15年度から、桜まつりを開催した。富士山太鼓まつりの会場を富士山樹空の森に変更した。平成24年度から、13年ぶりにわらじ祭りを復活させた。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|--------|
| 事業内容 | | 御殿場桜まつり 富士山太鼓まつり 御殿場わらじ祭り 歩行者天国 | 御殿場桜まつり 富士山太鼓まつり 御殿場わらじ祭り 歩行者天国 | 御殿場桜まつり 富士山太鼓まつり 御殿場わらじ祭り 歩行者天国 | |
| 事業費 | | 24,000 | 24,000 | 24,000 | 72,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 5,300 | 5,300 | 5,300 | 15,900 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 18,700 | 18,700 | 18,700 | 56,100 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------------------------|------|----------|
| 事業名 | ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地推進事業 | 整理番号 | 1104-020 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～平成31年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-1-4 | 施策名: イベント等を通じた誘客の推進 |
| | 関連施策: | 4-4-2 | 施策名: 競技スポーツの振興 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市観光戦略プラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | ラグビーワールドカップ2019が日本で開催され、静岡県も試合開催都市のひとつになっている。大規模な国際スポーツイベントを契機に公認チームキャンプ地を誘致することで、国内外に富士山の麓の交流都市御殿場を発信するとともに、スポーツツーリズムの推進、ラグビーを通じたスポーツ交流と地域活性化を図る。 |
| 対象 | 市民、民間企業、各種団体 |
| 手段 | ラグビーワールドカップ2019参加国の公認キャンプ地誘致と誘致国との交流事業を裾野市と共同で進める。 |
| 成果 | 世界規模の国際大会を機に富士山の麓の交流都市御殿場を国内外に情報発信する。ラグビーを通じた国際交流を深める。市民のラグビーに対する関心を深め、市民のスポーツ振興に寄与する。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成28年に裾野御殿場ラグビーフットボール協会が発足。平成28年6月に女子7人制ラグビー国内最高峰大会を富士山裾野御殿場大会として誘致開催。あわせて、「裾野御殿場ラグビースポーツフェスティバル」を開催。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

21,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------------|--------|--------------------|--------------------|--------|
| 事業内容 | 公認キャンプ地推進事業 交付金 | | 公認キャンプ地推進事業 交付金 | 公認キャンプ地推進事業 交付金 | |
| 事業費 | | 1,000 | 10,000 | 10,000 | 21,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 1,000 | 10,000 | 10,000 | 21,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|---------------------|------|----------|
| 事業名 | 地方創生魅力創造スポーツタウン充実事業 | 整理番号 | 1106-010 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | 地域再生法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-1-6 | 施策名: 地域の特徴を生かした観光交流の振興 |
| | 関連施策: | 1-4-1 | 施策名: 地域経済の活性化と事業者の支援 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市観光戦略プラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 地域の特性を生かした新たなツーリズムや体験型観光の創出による誘客等を推進し、地域のにぎわいや経済の活性化を図る。 |
| 対象 | 観光交流客 |
| 手段 | 平成28年度内に国の地方創生魅力創造事業の認定を受け、御殿場市観光協会・御殿場市商工会・御殿場市体育協会が連携し協議会を立ち上げ、インバウンド事業に係る民間事業と連携し、各種スポーツインバウンド関連商品の開発やスポーツ競技団体等への商品売り込み、商品に関わる情報等のワンストップ発信、ニーズ調査等を行い、商品のブラッシュアップを行う。 |
| 成果 | 「スポーツタウン機能」が充実することで、観光さらには商業へと、スポーツ交流効果の波及拡大が図られ、地域振興・地域経済の活性化につながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 本市はスポーツ大会等が年間を通じて開催される等、スポーツ交流が非常に盛んな都市である。しかし、各種スポーツ大会やスポーツ活動団体の本市での行動範囲が限られた情報のみの収集に留まるため限定的で、スポーツ交流が、市内全域の交流に結び付いていない状況がある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 商工会等の関係3団体が連携し、平成28年度地方創生推進交付金を活用し、本市ならではの新たなツーリズムや体験型観光の創出事業を推進するもの。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

45,600

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---|--------|---|--------|--------|
| 事業内容 | 協議会交付金 | | 協議会交付金 | | |
| | ・イベント開催費 ・PR活動費 ・人材育成費 ・ニーズ調査費 | | ・イベント開催費 ・PR活動費 ・人材育成費 ・ニーズ調査費 | | |
| 事業費 | | 20,000 | 20,000 | | 40,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 10,000 | 10,000 | | 20,000 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 10,000 | 10,000 | 0 | 20,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 森林公園維持管理事業 | 整理番号 | 1107-010 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-1-7 | 施策名: 観光資源の整備 |
| | 関連施策: | 1-3-6 | 施策名: 林業生産基盤の整備と維持管理 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 老朽化し支障を来してる乙女森林公園第1、第2キャンプ場及びフォレスト乙女の施設を更新し、森林公園としての施設価値を確保する。 |
| 対象 | 施設利用客並びに管理者(指定管理者) |
| 手段 | 飲料水等供給施設の基である受水槽・圧送ポンプ・高架水槽等給水設備に漏水等がみられるため更新する。 第2キャンプ場電源設備の点検結果により更新の必要性が生じたため、至急更新する。 |
| 成果 | 施設利用客への適正な施設提供並びに施設機能が確保される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 昭和57年に開園した施設であり、随時計画的に補修等実施する時期にきている。なお、乙女森林公園キャンプ場は、御殿場市民ばかりでなく、東名高速道路から数分という条件の良い場所に位置することから、首都圏からの来場者が多く、年間を通しての開園要望が寄せられている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成27年度に第1キャンプ場内の木橋修繕工事及び同キャンプ場バンガロー等の修繕を実施した。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------------|--------|-------------------------------------|-----------------------|--------|
| 事業内容 | 第2キャンプ場の高圧電源設備の更新 | | 乙女森林公園第1キャンプ場飲料水等供給施設(高架水槽等)更新計画・設計 | 乙女森林公園第1キャンプ場高架水槽更新工事 | |
| 事業費 | | 2,000 | 1,000 | 8,000 | 11,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 2,000 | 1,000 | 8,000 | 11,000 |
| (投資) | 2,000 | 1,000 | 8,000 | 11,000 | |

| | | | |
|-----|----------------------|------|----------|
| 事業名 | 富士山御殿場口新五合目公衆トイレ改築事業 | 整理番号 | 1107-020 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成31年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-1-7 | 施策名: 観光資源の整備 |
| | 関連施策: | 5-2-6 | 施策名: 世界遺産富士山の保全・管理 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市観光戦略プラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 富士山御殿場口新五合目の利便性の向上と環境の保全を図る。 |
| 対象 | 富士山御殿場口新五合目を訪れる登山者、ハイキング客、観光客等 |
| 手段 | 現在の環境配慮自己完結型トイレを改修し、清潔で快適なトイレを公衆の用に供する。 |
| 成果 | 富士山御殿場口新五合目が快適な空間になり、観光資源としての機能が向上し、来訪者へのおもてなしが充実する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 富士山が世界遺産に登録され、適切な環境保全対策を講じなければならない中、トイレ設備の整備は大きな課題となっている。現行のトイレは、経年劣化が進んでいることに加え、世界遺産登録効果による新五合目来訪者の増加により、時として処理能力を超えた使用がみられる。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---------------------------------|
| 見直し改善の経過 | 現在のトイレは、平成12年に新設したもので、16年が経過する。 |
|----------|---------------------------------|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

50,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-----|--------|--------|--------------|--------|
| 事業内容 | | | | 関係機関協議・設計・施工 | |
| 事業費 | | | | 10,000 | 10,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | 3,333 | 3,333 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 0 | 0 | 6,667 | 6,667 |
| (投資) | | | 6,667 | 6,667 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 産業立地促進奨励金事業 | 整理番号 | 1201-010 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成19年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市地域産業立地促進事業費補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-2-1 | 施策名: 新たな工業用地の開発と企業の誘致 |
| | 関連施策: | 1-4-1 | 施策名: 地域経済の活性化と事業者の支援 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 地域産業の活性化の促進と市民への雇用の安定確保及び供給を図るため、市内に工場等を新設・増設・移設し、設備投資及び新規雇用を実施した企業に対し奨励金を交付する。 |
| 対象 | 市内に2,000㎡(研究所200㎡)以上の用地を新たに取得(賃貸借を含む)し、新規の雇用が増加した製造業及び物流業の用に供する工場・研究所などを新設、増設、移設等を行った企業。 |
| 手段 | 全ての要件を満たす製造業等の企業に対し、用地取得費の20%以内、新規雇用分(1人×50万円)を合算し、最大で1企業2億円(成長分野に属する業種は3億円 ※1回限り)を交付する。 ※市が整備を進める「板妻南工業団地」に立地する企業については、用地取得費を10%、補助上限を最大で1億円まで上乗せを行う。 |
| 成果 | 補助金を交付することにより、市外企業の市内への立地を促進し、かつ既存の市内企業の新たな設備投資を促すことで、市民への雇用促進や固定資産税・法人市民税をはじめとした税収の安定的確保、既存の市内企業との業務・技術提携及び商取引の発生などの新たなビジネスマッチング等が期待できる。また市内企業の市外への流出を防止することができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 安定した税収・市民の雇用確保のため、全国の市町・県では様々な手段による進出企業に対する優遇措置を講じて、企業誘致を積極的に推進している。 市外からの企業誘致は当然のことながら、既存の市内企業の市外への流出防止のため、本市においても同様の優遇措置を講じて他市に対抗する必要性が生じている。 優良企業の誘致は、市民も熱望している。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | <ul style="list-style-type: none"> 市内の中小企業も対象となるよう、補助要件(設備投資3億→1億)を引き下げた。 県の制度が改正される都度、市も県に合わせ要綱改正を実施。 市が新たに開発を行う「板妻南工業団地」へ補助率を上乗せ(内陸フロンティア推進区域を新たに設定)した。 設備投資要件を緩和(1億円→要件無し)し、更に地元等の中小企業も使いやすい制度とした。(H28) 雇用要件を緩和(5人以上→1人以上)し、より多くの企業が対象となるように制度を改正した。(H28) |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

| | | 総事業費 | | | 計 |
|------|-------------------|-------------------|-------------------|--------|---------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | |
| 事業内容 | 地域産業立地促進事業費補助金 3件 | 地域産業立地促進事業費補助金 2件 | 地域産業立地促進事業費補助金 3件 | | |
| 事業費 | 404,000 | 128,000 | 122,000 | | 654,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 202,000 | 64,000 | 61,000 | 327,000 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 202,000 | 64,000 | 61,000 | 327,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 雇用創出促進奨励金事業 | 整理番号 | 1202-010 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-------------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～ | 根拠法令・要綱等 | 雇用創出促進事業費補助要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-2-2 | 施策名: 観光資源を生かした新たな施設の立地促進 |
| | 関連施策: | 1-6-1 | 施策名: 就職希望者の支援 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市観光戦略プラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 市民への雇用の創出と幅広い業種による市内への立地促進、市外からの流入人口の増加、税収の安定確保を図る。 |
| 対象 | 市内において1億円以上の設備投資を伴う工場、物流施設(地域産業立地促進事業費補助金に該当しない事業及び交付後5年以上を経過した企業に限る)、商業系施設、ホテル、博物館・美術館等の交流人口の増加が期待できる施設で、大幅な雇用増(従業員30人以上の事業所において新規雇用増15人以上)を伴う事業。 |
| 手段 | 新規雇用増(一人当たり市内50万円、県内25万円)と市内への異動者(一人当たり25万円…元々の従業員で他の事業所に市内に住民票を異動したものに限り)が該当し、限度額は上記を合算して、最大で2億円を補助金として交付(ただし、繁忙期等で一時的に雇用が増える場合は不可、3年間の雇用継続が条件)する。 |
| 成果 | 様々な業種による既存の市内企業の設備投資意欲の誘発と幅広い業種による立地の促進、市民への雇用機会の拡大が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 安定した税収及び市民への雇用確保のため、市民からも優良企業の企業誘致に対する要望が高い。これまで、工業系の企業を中心に誘致を推進してきたが、幅広い業種を対象に補助を行う事で、市内への複合型商業施設や観光ハブ都市を目指すに相応しい施設(ホテル、美術館・博物館など)の立地を率先して行い、市民に対しても商業系施設の充実による利便性の向上や幅広い職種による雇用機会の提供を行う。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------|
| 事業内容 | 雇用創出促進事業費補助金 1社 | 雇用創出促進事業費補助金 1社 | 雇用創出促進事業費補助金 1社 | 雇用創出促進事業費補助金 1社 | |
| 事業費 | | 20,000 | 10,000 | 10,000 | 40,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 20,000 | 10,000 | 10,000 |

| | | | |
|-----|------------------|------|----------|
| 事業名 | 高根西部塚原地区県営ほ場整備事業 | 整理番号 | 1301-010 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 平成19年度～平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | 土地改良法、静岡県営土地改良事業分担金等徴収条例 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-3-1 | 施策名: 農業生産基盤の整備及び維持管理 |
| | 関連施策: | 1-3-2 | 施策名: 農業・林業経営体の強化・多様化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 農業の生産性向上と労働環境の改善を図り、経営体を育成する。 |
| 対象 | 塚原区を中心とした高根西部地区の農地(約66.3ha)と地権者並びに周辺住民 |
| 手段 | 市は工事費の15%を負担金として支出するとともに、事業の推進母体となる高根西部塚原土地改良区に協力する。 |
| 成果 | ほ場の基盤整備事業が実施され、農業生産性が向上するとともに、担い手への農地利用集積及び認定農業者の増加が見込め、経営体の育成が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | この地域は、大規模なほ場整備等基盤整備が実施されておらず、機械化・生産性の向上が望めない状況であった。また、隣接地区のほ場整備状況から要望が非常に強くなっていた。このため、地権者を構成員とする高根西部塚原土地改良区を設立し、事業実施の推進母体としている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

246,300

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|------------------------------|----------------|------------------------------|--------|----------------|
| 事業内容 | 負担金支出 (補完工事・確定測量) 関連工事 | | 負担金支出 (補完工事・確定測量) 関連工事 | | |
| | 事業費 | 7,000 | 8,000 | | 15,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 2,700 | 3,600 | | 6,300 |
| | 財繰 | 2,750 | 2,750 | | 5,500 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 (投資) | 1,550 1,550 | 1,650 1,650 | 0 | 3,200 3,200 |

| | | | |
|-----|-----------------|------|----------|
| 事業名 | 御殿場深沢地区県営ほ場整備事業 | 整理番号 | 1301-020 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 平成20年度～平成31年度 | 根拠法令・要綱等 | 土地改良法、静岡県営土地改良事業分担金等徴収条例 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-3-1 | 施策名: 農業生産基盤の整備及び維持管理 |
| | 関連施策: | 1-3-2 | 施策名: 農業・林業経営体の強化・多様化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 農業の生産性向上と労働環境の改善を図り、経営体を育成する。 |
| 対象 | 深沢区を中心とした御殿場深沢地区の農地(約41.8ha)と地権者並びに周辺住民 |
| 手段 | 市は工事費の15%を負担金として支出するとともに、事業の推進母体となる御殿場深沢土地改良区に協力する。 |
| 成果 | ほ場の基盤整備事業が実施され、農業生産性が向上するとともに、担い手への農地利用集積及び認定農業者の増加が見込め、経営体の育成が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | この地域は、大規模なほ場整備等基盤整備が実施されておらず、機械化・生産性の向上が望めない状況であった。また、隣接地区のほ場整備状況から要望が非常に強くなっていた。このため、地権者を構成員とする御殿場深沢土地改良区を設立し、事業実施の推進母体としている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

189,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------------------------|--------|------------------------------|------------------------------|--------|
| 事業内容 | 負担金支出 (面工事A=3.8ha) 関連工事 | | 負担金支出 (補完工事・確定測量) 関連工事 | 負担金支出 (補完工事・確定測量) 関連工事 | |
| 事業費 | | 29,000 | 13,000 | 8,000 | 50,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 20,700 | 8,100 | 3,600 | 32,400 |
| | 財繰 | 4,750 | 2,750 | 2,750 | 10,250 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 3,550 | 2,150 | 1,650 | 7,350 | |
| (投資) | 3,550 | 2,150 | 1,650 | 7,350 | |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 市単独農業施設等整備事業 | 整理番号 | 1301-030 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 昭和47年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-3-1 | 施策名: 農業生産基盤の整備及び維持管理 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 農業用排水路等農業用施設の新設・改修工事を実施し、用水量の確保や施設の整備を図る。 |
| 対象 | 受益面積 1ha以上 10ha未満、受益戸数 2戸以上 |
| 手段 | 各地区からの要望内容を精査し、緊急性のある農業用排水路等を順次整備する。 |
| 成果 | 必要な用水量と排水機能の確保及び施設保全がなされ、安定した農業生産基盤ができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 地区からの要望は毎年 50件程度あり、以前からの未処理分も相当数あるため対応が厳しい。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|-------------------------------------|
| 見直し改善の経過 | 緊急性、必要性の高い要望から順次対応しているが、依然として厳しい状況。 |
|----------|-------------------------------------|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--------|
| 事業内容 | | 農業用排水路改修工事 農業用施設修繕 | 農業用排水路改修工事 農業用施設修繕 | 農業用排水路改修工事 農業用施設修繕 | |
| 事業費 | | 15,000 | 15,000 | 15,000 | 45,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 2,500 | 2,500 | 2,500 | 7,500 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 12,500 | 12,500 | 12,500 | 37,500 |
| (投資) | 12,500 | 12,500 | 12,500 | 37,500 | |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 土地改良区交付事業 | 整理番号 | 1301-040 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 昭和60年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市土地改良事業交付金事務取扱要領 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-3-1 | 施策名: 農業生産基盤の整備及び維持管理 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 農業生産基盤の整備を推進する。 |
| 対象 | 富士裾野東部土地改良区 |
| 手段 | 富士裾野東部土地改良区が行う防衛補助事業(3条及び8条事案)について精査し、補助残を交付金として交付する。 事業主体は富士裾野東部土地改良区となる。 |
| 成果 | 生産基盤である農地や用水量の確保等農業用施設の機能が確保される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 要望件数は多く着実に実施しているが、農業を取り巻く環境が大きく変化中、整備要望も多様化している。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--------------------------|
| 見直し改善の経過 | 要望内容及び事業費について協議し、交付している。 |
|----------|--------------------------|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------|
| 事業内容 | | 交付金の支出 ・農業用排水路等工事 ・測量設計業務 | 交付金の支出 ・農業用排水路等工事 ・測量設計業務 | 交付金の支出 ・農業用排水路等工事 ・測量設計業務 | |
| 事業費 | | 21,000 | 19,000 | 22,000 | 62,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 5,250 | 4,750 | 5,500 | 15,500 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 15,750 | 14,250 | 16,500 | 46,500 |
| (投資) | 15,750 | 14,250 | 16,500 | 46,500 | |

| | | | |
|-----|-------------------|------|----------|
| 事業名 | 土地改良区交付事業(ほ場整備事業) | 整理番号 | 1301-050 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成19年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市土地改良事業交付金事務取扱要領 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-3-1 | 施策名: 農業生産基盤の整備及び維持管理 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 農地の生産性向上と労働環境の改善を図るため、農業生産基盤の整備を推進する。 |
| 対象 | 中畑3地区(永坂・五郎作地区、前川地区、二股・中島地区)のほ場整備関係地権者 |
| 手段 | 富士裾野東部土地改良区が防衛補助事業(8条事案)として実施するほ場整備について精査し、補助金を交付金として交付する。 事業主体は富士裾野東部土地改良区となる。 |
| 成果 | 農業の生産性向上と労働環境の改善がなされ、あわせて農地の集積を推進し農業経営の向上を図る。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 第八次東富士演習場使用協定終結に関する権利協定の中で、課題事項の協議のうち、権利者生活安定事業に関する課題中、土地改良に関する事項の開田地基盤整備事業について国から回答が得られた。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 富士裾野東部土地改良区が防衛補助事業として申請するほ場整備事業について精査し、交付金を交付する。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|-------------|------------------------------------|--|--------|
| 事業内容 | 交付金の支出 | ・前川地区 4.2ha | 交付金の支出 | 交付金の支出 | |
| | | | ・前川地区 3.9ha 前川地区換地 二股・中島実施設計 | ・前川地区 3.0ha 二股・中島測量設計 永坂・五郎作地区農道整備 | |
| 事業費 | | 30,000 | 35,000 | 32,000 | 97,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 16,500 | 19,250 | 17,600 | 53,350 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 13,500 | 15,750 | 14,400 | 43,650 | |
| (投資) | 13,500 | 15,750 | 14,400 | 43,650 | |

| | | | |
|-----|------------------|------|----------|
| 事業名 | 富士岡中清水地区県営ほ場整備事業 | 整理番号 | 1301-060 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 平成26年度～平成36年度 | 根拠法令・要綱等 | 土地改良法、静岡県営土地改良事業分担金等徴収条例 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-3-1 | 施策名: 農業生産基盤の整備及び維持管理 |
| | 関連施策: | 1-3-2 | 施策名: 農業・林業経営体の強化・多様化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 農業の生産性向上と労働環境の改善を図り、経営体を育成する。 |
| 対象 | 中清水地区を中心とした富士岡中清水地区の農地(約67.0ha)と地権者並びに周辺住民 |
| 手段 | 市は県単調査費の50%、国庫調査費の25%、工事費の15%を負担金として支出するとともに、事業の推進母体となる富士岡中清水土地改良区に協力する。 |
| 成果 | ほ場の基盤整備事業が実施され、農業生産性が向上するとともに、担い手への農地利用集積及び認定農業者の増加が見込め、経営体の育成が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | この地域は、大規模なほ場整備等基盤整備が実施されておらず、機械化・生産性の向上が望めない状況であった。また、隣接地区のほ場整備状況から要望が非常に強くなっていた。このため、地権者を構成員とする富士岡中清水土地改良区を設立し、事業実施の推進母体としている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

307,125

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------------------------|--------|---------------------------------|-------------------------------|--------|
| 事業内容 | 調査費負担金支出 (計画概要書作成) 県単調査 | | 調査費負担金支出 (実施設計・換地計画) 国庫調査 | 負担金支出 (面工事A=5.2ha) 関連工事 | |
| 事業費 | | 5,000 | 9,000 | 27,000 | 41,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | 21,600 | 21,600 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 5,000 | 9,000 | 5,400 | 19,400 |
| (投資) | | 9,000 | 5,400 | 14,400 | |

| | | | |
|-----|-------------------|------|----------|
| 事業名 | 高根西部・一色地区県営ほ場整備事業 | 整理番号 | 1301-070 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～平成36年度 | 根拠法令・要綱等 | 土地改良法、静岡県営土地改良事業分担金等徴収条例 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-3-1 | 施策名: 農業生産基盤の整備及び維持管理 |
| | 関連施策: | 1-3-2 | 施策名: 農業・林業経営体の強化・多様化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 農業の生産性向上と労働環境の改善を図り、経営体を育成する。 |
| 対象 | 柴怒田・上小林を中心とした高根西部地区の農地(約73.0ha)と地権者並びに周辺住民 |
| 手段 | 市は国庫調査費の25%、工事費の15%を負担金として支出するとともに、事業の推進母体となる高根西部・一色土地改良区に協力する。 |
| 成果 | ほ場の基盤整備事業が実施され、農業生産性が向上するとともに、担い手への農地利用集積及び認定農業者の増加が見込め、経営体の育成が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | この地域は、大規模なほ場整備等基盤整備が実施されておらず、機械化・生産性の向上が望めない状況であった。また、隣接地区のほ場整備状況から要望が非常に強くなっていた。このため、小山町とともに、地権者を構成員とする高根西部・一色土地改良区を設立し、事業実施の推進母体とする。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

307,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------------------------------|--------|--|--------------------------------|---------|
| 事業内容 | 調査費負担金支出 (実施設計・換地計画) 国庫調査 | | 調査費負担金支出 (実施設計・換地計画原案確定) 国庫調査 負担金支出 (面工事A=5.6ha) 関連工事 | 負担金支出 (面工事A=11.2ha) 関連工事 | |
| | 事業費 | 10,000 | 36,000 | 60,000 | 106,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | 21,600 | 40,500 | 62,100 |
| | 財繰 | 2,750 | 10,750 | 13,750 | 27,250 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 7,250 | 3,650 | 5,750 | 16,650 | |
| (投資) | 7,250 | 3,650 | 5,750 | 16,650 | |

| | | | |
|-----|-------------------|------|----------|
| 事業名 | 農業・農村多面的機能支払交付金事業 | 整理番号 | 1301-080 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市農業農村多面的機能支払交付金事業補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-3-1 | 施策名: 農業生産基盤の整備及び維持管理 |
| | 関連施策: | 1-3-2 | 施策名: 農業・林業経営体の強化・多様化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 農業・農村の有する多面的機能が適切に維持・発揮されるようにする。 |
| 対象 | 農業者や地域住民、団体など |
| 手段 | 対象者に対し補助金を交付することにより共同活動を支援する。 |
| 成果 | 地域資源が適切に保全管理され、農業・農村の有する多面的機能が維持・発揮される。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成25年度までは農地・水保全管理支払交付金、平成26年度は農地維持支払交付金・資源向上支払交付金として、静岡県農地・水環境保全向上対策地域協議会から交付されていたものが、法律の制定に伴い、平成27年度からは多面的機能支払交付金となり、市が交付することとなった。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|------------------------------------|
| 見直し改善の経過 | 平成27年度に新たに2団体が増え、計7団体の共同活動を支援している。 |
|----------|------------------------------------|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---|--------|--------|--------|--------|
| 事業内容 | 補助対象組織(美しい中丸の会外6団体)に農地維持支払交付金及び資源向上支払交付金を交付 | | | | |
| | 補助対象組織(美しい中丸の会外6団体)に農地維持支払交付金及び資源向上支払交付金を交付 | | | | |
| 事業費 | | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 30,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 15,000 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 2,500 | 2,500 | 2,500 | 7,500 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 2,500 | 2,500 | 2,500 | 7,500 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 農地集積・集約化推進事業 | 整理番号 | 1301-090 |
| 所管 | 産業部 農政課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|------------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成26年度～ | 根拠法令・要綱等 | 農業経営基盤強化促進法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-3-1 | 施策名: 農業生産基盤の整備及び維持管理 |
| | 関連施策: | 1-3-2 | 施策名: 農業・林業経営体の強化・多様化 |
| 個別計画での位置づけ | 農業振興地域整備計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 農業従事者の高齢化や担い手不足により、農地の荒廃化や遊休化が進んでいる。このため、遊休農地の発生防止と解消事業を進め農地の有効利用と農地の持つ多面的機能の維持増進を図るとともに、農地の集積と集約を進めることにより、営農効率を高め、担い手確保を推進する。 |
| 対象 | 市内農地、農地所有者及び担い手 |
| 手段 | 農地利用状況調査を実施し、遊休農地の発生防止と適正利用の指導を行うとともに、必要に応じ耕作放棄地緊急対策事業補助金等を活用し、農地の再生事業を行う。また、農地中間管理制度などにより農地の集積と集約を推進する。合わせて認定農業者や新規就農者を拡充し、地域集落営農組織化を推進する。農地の有効利用を図るため、農作物については、水稻以外の作目への転換を進める。 |
| 成果 | 遊休農地の発生防止や再生により、農地の有効利用が図られる。また、農地の集約化や作物転換により農業の効率化、高度化が進み、担い手農家の所得向上と新たな担い手の確保につながる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 少子化・高齢化、就労環境の変化により、地域農業の担い手不足が深刻な状況になってきており、担い手の確保が急務である。また、営農効率向上のために農業基盤整備を進め、優良農地を確保するとともに、中小規模農地の活用の推進や対策が必要となっている。また、営農効率の悪い農地については、非農地化も視野に入れて検討することが求められている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 農地の集積については、従来の農地利用集積円滑化事業から、平成26年度に始まった農地中間管理事業への移行を推進することにより、地域や個人へ機構集積協力金が交付されるなど、地域農家にメリットのある事業となっている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------|--------|----------|----------|-------|
| 事業内容 | 農地中間管理事業 | | 農地中間管理事業 | 農地中間管理事業 | |
| 事業費 | | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 経営所得安定対策推進事業 | 整理番号 | 1302-010 |
| 所管 | 産業部 農政課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成22年度～ | 根拠法令・要綱等 | 経営所得安定対策実施要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-3-2 | 施策名: 農業・林業経営体の強化・多様化 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 水稲の計画生産管理及び指導並びに地域の特性を生かした転作作物の生産(そば、大豆、麦等)を図るとともに、食料自給率向上を推進する国の主要事業である経営所得安定対策事業の導入に伴い、当市の水稲の計画生産管理及び水田農業経営への助成等を行い、地域の意欲ある農家が水田農業を継続できる環境整備を図る。 |
| 対象 | 水稲等栽培・出荷農家、農業団体及び農業協同組合 |
| 手段 | 管内水稲栽培農家への生産数量目標面積を適切に配分するとともに、戦略作物(麦、大豆及びそば)等への転換等を推進することにより目標達成を図り、国から農業経営者への直接助成(交付金)が円滑に進むよう事務処理を行う。 |
| 成果 | 農家の生産意欲が高揚し、農業者が生産、流通、販売を考えた良質米の米づくり、地域特性を生かした農産物の生産を推進することができる。 自給率向上を目指すための戦略作物等の生産の増大につながるほか、生産農家への環境整備による水田農業の経営の安定を図ることができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 世界的な食料需給構造の変化による、国内の食料自給率の向上は、我が国の主要課題となっている。食料自給率の向上のためには、日本の優れた生産装置である水田を余すことなく活用することが重要であるため、戦略作物等の生産の増大及び生産農家の水田農業の経営の安定を図ることが必要である。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 国内の食糧自給率の向上を目指すため、国は平成22年度に戸別所得補償モデル対策を行い、平成23年度から農業者戸別所得補償制度を開始、平成25年度からは、経営所得安定対策事業に移行した。また、国の制度改正に合わせて本事業を支援・推進している御殿場市地域水田農業推進協議会を、御殿場市農業再生協議会に改めて、農業経営者への直接交付制度の推進を図った。なお、米の直接支払い交付金については平成30年産米から廃止されることが既に決まっている。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

| | | 総事業費 | | | |
|------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
| 事業内容 | 経営所得安定対策事業に伴う戦略作物等への助成及び水田農業経営への助成等 | 経営所得安定対策事業に伴う戦略作物等への助成及び水田農業経営への助成等 | 経営所得安定対策事業に伴う戦略作物等への助成及び水田農業経営への助成等 | 経営所得安定対策事業に伴う戦略作物等への助成及び水田農業経営への助成等 | |
| 事業費 | | 5,000 | 3,000 | 3,000 | 11,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 5,000 | 3,000 | 3,000 | 11,000 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 地域農業活性化対策事業 | 整理番号 | 1305-010 |
| 所管 | 産業部 農政課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-3-5 | 施策名: 農業を通じた新たな産業の展開 |
| | 関連施策: | 1-3-4 | 施策名: 特産物のブランド化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 水稲、そ菜、畜産、酪農などの営農分野それぞれに、特徴のある農作物資源がある。それら資源活用を推進することにより、地域農業全体を振興・活性化させる。 |
| 対象 | 市内農家、商工観光関係者 |
| 手段 | 野菜などは、特徴ある作物の六次産業化とブランド化を推進するとともに販路拡大を図る。合わせて金華豚など既にブランド化を進めてきた作物の発展を目指す。 |
| 成果 | 農家の経営安定・所得向上につながる。同時に農地の遊休化防止や有効活用の推進により、地域の豊かな自然・住環境や景観が保全改善されることで、交流人口の増加や住みたくなるまちとしての当市の魅力アップが図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市内には特徴ある農作物に注目し、独自に取り組む農家がいると同時に、豊かな食材を求める飲食店がある。また地元消費者は、地元産の安全安心な食材を求めている。地域の農業課題となっている多種多様な作物の通年・安定供給、加工、販売を各分野が連携して取り組むことが求められている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 各分野関係者や農家が、それぞれ独自で取り組みや活動を行っている状況があり、連携を推進する組織が求められている。また御殿場金華豚は、近年生産量が落ち込んでおり、深刻化しつつある。将来に向けて飼養技術を改善向上するとともに、御殿場の特産物として守るために、関係機関による生産農家への支援が必要となっている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|--|--|--------|
| 事業内容 | | ・六次産業化ネットワークの研究・検討 ・御殿場金華豚の安定供給、プレミアム化の検討・研究 | ・六次産業協議会の設立 ・御殿場金華豚の安定供給、プレミアム化の検討・研究 | ・六次産業協議会の運営 ・六次産業施設(加工・販売)の整備 ・御殿場金華豚生産施設整備、プレミアム化 | |
| 事業費 | | 2,000 | 2,000 | 12,000 | 16,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | 10,000 | 10,000 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 林道整備事業 | 整理番号 | 1306-010 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成25年度～ | 根拠法令・要綱等 | 林業関係事業補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-3-6 | 施策名: 林業生産基盤の整備と維持管理 |
| | 関連施策: | 3-3-1 | 施策名: 災害に強い山(森林)づくりの推進 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---------------------------------------|
| 目的 | 林業の生産基盤整備を進め、林業の振興を図る。 |
| 対象 | 広域基幹林道につながる林道及びその利用者 |
| 手段 | 林道の改良(舗装工事)を実施する。 |
| 成果 | 森林の適正な管理が行われる。 広域基幹林道へのアクセスが容易になる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 現在、市では箱根外輪山の森林整備を進めているが、整備を更に推進するため、林道の改良(舗装)を実施する。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成28、29年度舗装工事に係る調査・設計、平成30年度から舗装工事を実施する。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------------------|--------|--------|-----------------------|-----------------------|--------|
| 事業内容 | 調査測量設計 | | 林道高内1号線舗装工事 L=250m | 林道高内1号線舗装工事 L=250m | |
| 事業費 | | 5,000 | 10,000 | 10,000 | 25,000 |
| 財 源 内 訳 | 国補 | | 3,333 | 3,333 | 6,666 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | 700 | 700 | 1,400 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 5,000 | 5,967 | 5,967 | 16,934 |
| (投資) | 5,000 | 5,967 | 5,967 | 16,934 | |

| | | | |
|-----|---------------|------|----------|
| 事業名 | 環境美化・経済対策助成事業 | 整理番号 | 1401-010 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市経済対策助成事業補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-4-1 | 施策名: 地域経済の活性化と事業者の支援 |
| | 関連施策: | 1-1-3 | 施策名: おもてなしの充実 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 市内企業の事業所の改修工事を助成することで経営改善を図るとともに、来客者へのおもてなし効果を高め、駅周辺商店街ににぎわいを創出する。 |
| 対象 | 市内商工業者 |
| 手段 | 市内事業所の新設若しくはトイレ等の改修工事に対して幅広く工事費の一部を補助する。 補助金: 工事費の2分の1、補助限度額: 300万円 |
| 成果 | 市内業者の新設若しくは改修工事を助成することで、事業所の環境美化を図り、来客者が快適に利用できるとともに、従業員も働きやすい環境を整備する。これにより事業所の生産効率や売上の向上を期待している。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成25年度まで実施した住宅助成事業は、リーマンショック以降の景気回復に大きく貢献した。経済状況は好転に向かっているが、一方で市内企業は円安の影響が強く、仕入額や材料費の高騰により、依然厳しい状況が続いている。このため、事業対象を住宅から市内企業に変更し、改めて事業を実施する。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成27年度は国の地域住民等緊急支援事業交付金を活用した。今後も国庫補助金等を積極的に活用する。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位: 千円)

総事業費

435,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------|----------|----------|--------|---------|
| 事業内容 | 経済対策助成事業 | 経済対策助成事業 | 経済対策助成事業 | | |
| 事業費 | | 100,000 | 100,000 | | 200,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 100,000 | 100,000 | 0 | 200,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 商店街活性化事業 | 整理番号 | 1401-020 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成24年度～ | 根拠法令・要綱等 | 商店街活性化事業補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-4-1 | 施策名: 地域経済の活性化と事業者の支援 |
| | 関連施策: | 6-3-1 | 施策名: 中心市街地活性化に向けた整備の推進 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 地域の特色を生かした商店街活性化とにぎわいの創出を目的とした商業振興とイメージアップを図るため、魅力ある地域商業活動を支援する。 |
| 対象 | 商工会または商店街団体など |
| 手段 | にぎわい創出事業(商店街の装飾または地域の特性を生かしたイベントの開催)、空き店舗活用事業、個店育成事業(事業主を対象とした講演会等)、商店街来客者支援事業(商店街駐車場料金の助成)に対して補助金を交付する。 |
| 成果 | 商店街のPR及びイメージアップを図ることで、魅力ある商店街を形成するとともににぎわいを創出する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 商業の充実は市民からの要望も大変多く、商店街が企画・実施する自主性・自立性・独自性あるソフト事業を支援するため、事業費の一部を補助する。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成24年度に要綱を制定し、従前のイベント助成に加え、個店育成や空き店舗対策事業等にも力を入れていく。 平成28年度から、補助対象を商工会や商店街だけでなく、にぎわいを創出できるイベント等にも補助を行っている。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 事業内容 | 商店街活性化事業補助金 | 商店街活性化事業補助金 | 商店街活性化事業補助金 | 商店街活性化事業補助金 | |
| 事業費 | | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 12,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 12,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 経済対策おもてなし事業 | 整理番号 | 1401-030 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成26年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-4-1 | 施策名: 地域経済の活性化と事業者の支援 |
| | 関連施策: | 1-1-3 | 施策名: おもてなしの充実 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 市内観光施設、店舗、飲食店の活性化を図るとともに、観光客のおもてなし効果の向上を図る。 |
| 対象 | 市民・観光客 |
| 手段 | 観光協会が、普及が進むスマートフォンやタブレット端末専用の「御殿場おもてなしナビ」(アプリケーション)を開発・運営することで、市民・観光客を市内事業所へ誘導する。 |
| 成果 | 市内事業所の店舗・商品等の情報発信を強化することで、市内業者の売上向上、経営改善を図るとともに、市民・観光客が安心・安全に市内散策を楽しむことができる。本アプリケーションでは施設案内のほか、災害時の緊急避難情報の提供及び最寄りの避難所までの道案内が可能であり、本市の防災対策を強化する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | これまで、市内の事業所の紹介はパンフレット等の紙媒体やホームページが主であったが、普及が進むスマートフォンやタブレット端末専用のアプリケーションを開発・運営することで、市内観光施設・店舗は、観光客や新たに市民となった方に商品・サービスの情報を発信することができる。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 富士山世界遺産登録に伴い増加している外国人観光客向けのサービス向上のため、日本語のほか英語、中国語、韓国語の言語に対応している。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------------------|--------------------|--------------------|--------|
| 事業内容 | | 経済対策おもてなし事業 交付金 | 経済対策おもてなし事業 交付金 | 経済対策おもてなし事業 交付金 | |
| 事業費 | | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 18,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 18,000 |

| | | | |
|-----|-------------------|------|----------|
| 事業名 | 新商工会館建設構想基本調査助成事業 | 整理番号 | 1401-040 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-4-1 | 施策名: 地域経済の活性化と事業者の支援 |
| | 関連施策: | 1-4-3 | 施策名: 商業・サービス業の支援 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 老朽化し、耐震性能も十分でない市商工会館を、新たに移転新築を行うことにより産業振興の拠点を確保し、商工会館の機能の充実と商工会員でもある既存の市内企業の交流を促進し、より一層の産業振興に努めるため、新たな商工会館を建設するための基本計画策定等の調査事業に対し、その調査及び検証費用の一部を助成する。 |
| 対象 | 市商工会 各種団体等 |
| 手段 | 新たな場所に多様な機能を持った商工会館を移転新築するための調査及び検討を行う。 |
| 成果 | 市の産業の中心である商工会館の機能や施設が充実することにより、会員である企業が集まりやすく、各種の講習会等の事業も実施しやすい環境になることで、地場の企業間の交流や市内経済の活性化につながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市商工会館は昭和52年に建設され老朽化が著しく、平成23年に実施した耐震診断においても中規模な耐震化(ランクⅡ)が必要とされている。現会館では作業スペースや会議室等が不足しているため、商工会内の協議結果としては、現会館において耐震化を進めるのではなく、新たな場所に商工会館を建設し、市内の産業・物産の紹介コーナーや交流スペース、各種講習会で必要な駐車場を確保するという方針が示されている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-----------------------|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 新商工会館建設構想 基本調査助成事業 | | | | |
| 事業費 | | 1,000 | | | 1,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 1,000 | 0 | 0 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-----------------------|------|----------|
| 事業名 | アピールナウ御殿場事業(経済活力創出事業) | 整理番号 | 1403-010 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 平成10年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-4-3 | 施策名: 商業・サービス業の支援 |
| | 関連施策: | 1-4-2 | 施策名: 魅力ある商品の開発・販路拡大 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 御殿場市の魅力を積極的に市内外へ情報発信し、商業等各種産業の連携により地域経済の活性化を図るとともに、御殿場市自体のイメージアップを図る。 |
| 対象 | 市内の特産・物産・商工業者 など |
| 手段 | 様々な情報インフラや多くのイベント等を利用し、「御殿場みくりやそば」をはじめとしたご当地グルメや地場産品、工業製品、観光資源等の情報発信や、イベント開催を捉えての情報発信を支援していく。 |
| 成果 | 市外の方に御殿場の観光資源や特産品等の認知度が高まり、観光交流客が御殿場に訪れる事で商業等を中心とした産業の活性化が促されるとともに、地域経済の活性化・循環化、産業振興の促進、御殿場市自体のイメージアップにつながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 地域経済の活性化のため、各産業が分野・ジャンルを問わず幅広く連携し、市内の特産品や名産、地場産業、観光資源を広くPRし、積極的に事業者や関係者、団体等を支援する必要が出てきた。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成24年度から本事業の中で、本格的に「御殿場みくりやそば」の普及促進活動を行い、より一層御殿場を広くアピールしている。また、パンフレットは来客者の要望に応え、A4サイズだけではなくポケット版も作成し、年間 30,000部ほど配布している。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|-------------------|-------------------|-------------------|--------|
| 事業内容 | | アピールナウ御殿場実行委員会交付金 | アピールナウ御殿場実行委員会交付金 | アピールナウ御殿場実行委員会交付金 | |
| 事業費 | | 9,000 | 9,000 | 9,000 | 27,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 9,000 | 9,000 | 9,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 設備投資促進奨励金事業 | 整理番号 | 1502-010 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-------------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市設備投資促進事業費補助金交付要綱(仮) |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-5-2 | 施策名: 中小企業の経営基盤の強化・改善 |
| | 関連施策: | 1-2-1 | 施策名: 新たな工業用地の開発と企業の誘致 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 市内の事業所が新たに実施する一定額以上の設備投資(機械設備も含む)に対し、その資金の一部を補助することにより、事業者の設備投資意欲を増進させ、新たな雇用の創出や市内企業間の商取引の拡大、固定資産税等の税収の安定確保を図る。 |
| 対象 | 市内企業 |
| 手段 | 企業が実施した設備投資(建物の新築・増改築、機械設備の新規購入や入替え等)に対し、実際に設備投資を行った額の5%、又は設備投資実施後に固定資産税が増加した分の差額を3年間分、最大で1億円を限度に補助を行う。※一企業1回限り |
| 成果 | 地域産業立地促進事業費と合わせると、土地・建物・設備・雇用と企業が操業する際に必要な部分に対し幅広く補助が出る事により、県内でもトップクラスの補助制度が整備され更なる優良企業の市内への誘致、既存企業の生産性の向上や他市への流出防止につながる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市内企業においては、老朽化した機械や設備の更新等を検討しているが資金的に難しい場合が多く、断念する事が多くある。また県及び市にある既存の制度については、事業規模が比較的中・大規模の事業を対象としているため、既存の市内企業(特に中小企業)は該当しない事が多く、中小企業も利用できる制度が望まれている。 また、近隣市町においても、同様の制度を制定し、産業振興及び企業誘致に力を注いでいる。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------------------|--------------------|--------------------|---------|
| 事業内容 | | 設備投資促進事業費補助金 3件 | 設備投資促進事業費補助金 5件 | 設備投資促進費事業補助金 5件 | |
| 事業費 | | 150,000 | 50,000 | 50,000 | 250,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 150,000 | 50,000 | 50,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 合同企業ガイダンス事業 | 整理番号 | 1601-010 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-6-1 | 施策名: 就職希望者の支援 |
| | 関連施策: | 1-6-2 | 施策名: 快適な雇用環境の創出 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 市内で就労を希望する高校生や大学生及びその保護者、40歳未満程度の若年層や転職希望者、御殿場で移住・定住を検討している方を対象に、市内の多種多様な企業や業種就労先を紹介し、雇用の安定確保を図る。 |
| 対象 | 市内企業、高校生、大学生及びその保護者、40歳未満程度の若年層など市内での就労を希望する人 |
| 手段 | 市内を会場に市内企業と就労希望者が一同に会する「合同企業ガイダンス」を、御殿場ハローワークや就職支援コンサル等と連携し実施する。年2～3回程度の開催を予定。 |
| 成果 | 市内で就労を希望している人は多いが、実際には希望する職種・職業があっても求人情報や企業を知らずに他市町で就労してしまう事も多い。また御殿場市は有効求人倍率が高く、企業が求人を募集しても面接すら出来ないという状況もある。この合同企業ガイダンスを契機に、多くの方に市内企業及び就職先を周知する事ができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市内で就職を考えている高校生や大学生の他、UターンやIターンなど多くの方を対象とした就職ガイダンスを実施してほしいという声は就職希望者と企業側からも多くある。県内の就職ガイダンスは、静岡市や沼津市等の大都市でしか開催されないため、御殿場市民及び企業は参加しづらい傾向にある。また、市内企業においては、学校の進路指導の先生や保護者の意向が大きく働き、大手企業などのネームバリューのある企業には人が集まるが、そうでない企業には人がなかなか集まらない状況になっている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成25年度から、市民に対し市内企業の周知を高めるため、広報「ごてんば」等において、企業紹介のコーナーを不定期で設けている。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|-------------|-------------|-------------|-------|
| 事業内容 | | 合同企業ガイダンス開催 | 合同企業ガイダンス開催 | 合同企業ガイダンス開催 | |
| 事業費 | | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-----------------------|------|----------|
| 事業名 | 勤労者住宅建設資金貸付事業(利子補給事業) | 整理番号 | 1604-010 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成23年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市勤労者住宅資金利子補給金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 1-6-4 | 施策名: 中小企業の福利厚生充実 |
| | 関連施策: | 6-5-4 | 施策名: 豊かな住環境の整備 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 市内に居住を希望する勤労者を対象に、生活水準の向上と持家を促進する。 |
| 対象 | 市内に居住を希望する勤労者 |
| 手段 | 市内に新たな住居を新築若しくは購入する際に資金を貸し付ける。 利子補給率:0.5%、利子補給期間:10年間、貸付限度額:1,000万円 |
| 成果 | 勤労者の持家を促進することで、勤労者の定住化と本市の人口増加を図る。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 労働団体からの強い要望に基づき、勤労者の経済的負担軽減と定住化の促進事業として、昭和63年度より実施している。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成23年度から預託制度から利子補給制度へ移行した。また、貸付方法は固定金利のみであったが、平成27年度より変動制を選択可能とした。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------------------|--------------------|--------------------|--------|
| 事業内容 | | 住宅建設資金貸付 新規分40件 | 住宅建設資金貸付 新規分40件 | 住宅建設資金貸付 新規分40件 | |
| 事業費 | | 7,000 | 8,000 | 9,000 | 24,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 7,000 | 8,000 | 9,000 | 24,000 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 放課後児童健全育成事業 | 整理番号 | 2101-010 |
| 所管 | 健康福祉部 子育て支援課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--|
| 事業期間 | 平成13年度～ | 根拠法令・要綱等 | 児童福祉法、御殿場市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-1-1 | 施策名: 児童の放課後等の居場所づくり |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 子ども・子育て支援事業計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 放課後、保護者が就労等によりいない家庭等の小学生に対し、適切な生活の場を与えて児童の健全な育成を図る。 |
| 対象 | 放課後、保護者が就労等でいない小学校1年生から6年生までの児童 |
| 手段 | すべての小学校区に放課後児童クラブを設置し、公設公営方式による運営を行う。 |
| 成果 | 保護者にとっては、子どもを安心して預けることができ、児童にとっては同年齢異年齢児童との交流が深まり、子育てしやすい環境が整備できる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 保護者の要望により開設され、現在に至っている。年々就労する保護者が増え、放課後児童クラブの需要は増大している。また、平成24年の子ども子育て関連3法の成立に伴い、平成26年度に設備及び運営に関する基準を定める条例及び規則を制定、実施要綱の全部改正を行い、平成27年度から利用者を全学年に拡大し、保護者を子育て及び就労の両面から支援している。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成27年度から運営の均一化及び保護者役員の負担軽減のため、市が全体を統括し、市育成会が事業の運営を行うこととした。同時に支援員の資質向上のため、子育て支援員研修の受講を奨励している。また、近隣空き施設等を借用するなど、大規模クラブの解消に努めている。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|---|---------|
| 事業内容 | | 10校区20放課後児童クラブの維持管理及び育成会に要する経費。放課後児童クラブを実施する民間保育所等への助成に要する経費。 | 10校区20放課後児童クラブの維持管理及び育成会に要する経費。放課後児童クラブを実施する民間保育所等への助成に要する経費。 | 10校区20放課後児童クラブの維持管理及び育成会に要する経費。放課後児童クラブを実施する民間保育所等への助成に要する経費。 | |
| 事業費 | | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 300,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 25,000 | 25,000 | 25,000 | 75,000 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 25,000 | 25,000 | 25,000 | 75,000 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | 150,000 | |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|
| 事業名 | 放課後子ども教室(放課後子どもプラン)推進事業 | 整理番号 | 2101-020 |
| 所管 | 教育部 社会教育課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成19年度～ | 根拠法令・要綱等 | 文部科学省と厚生労働省の放課後対策関連事業 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-1-1 | 施策名: 児童の放課後等の居場所づくり |
| | 関連施策: | 4-1-12 | 施策名: 青少年の健全育成 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て機能・教育力の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保を図るとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援する。 |
| 対象 | 小学生 |
| 手段 | 教育委員会の主導で、放課後児童クラブと連携を図り、小学校や近隣の公共施設等で放課後や休日の子どもの安全で健やかな居場所を提供し、次世代を担う児童の健全育成を支援する。 |
| 成果 | 地域の方々の参画を得ての様々な体験や交流活動に加えて、学ぶ意欲のある全ての子どもたちに安全な居場所を提供することにより、次世代を担う児童の健全育成の支援ができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 希薄化する各家庭での絆やふれあいを高めることが必要とされる現在、地域社会の中で、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、福祉部局所管の放課後児童クラブと連携し本事業を行うことで、全ての子どもたちが安全で自由に活動できる拠点(居場所)づくりが求められている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成20年度に御殿場小で試行開始し、南、神山、富士岡、朝日、東、原里、玉穂各校区で実施している。継続を望む意見が多いが、場所と人材の確保が課題であるため、毎年度、それぞれ実施内容を見直すとともに、今後の在り方について検討を行っている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|------------|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 運営委員会の開催 | | | | |
| | 放課後子ども教室開設 | | | | |
| 事業費 | | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 9,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-----------------|------|----------|
| 事業名 | 公立保育園保育サービス評価事業 | 整理番号 | 2108-010 |
| 所管 | 健康福祉部 子ども育成課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-------------------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成31年度 | 根拠法令・要綱等 | 子ども・子育て支援法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-1-8 | 施策名: 保育サービスの充実 |
| | 関連施策: | 4-1-1 | 施策名: 乳幼児期における教育の充実 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市子ども・子育て支援事業計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 次世代を担う子供の健全な保育と、家庭や地域社会からの信頼に応えるため、保育園の事業や運営状況について第三者から評価を受け、常に点検及び改善をしていく。 |
| 対象 | 公立保育園 8園及び公立こども園 1園 |
| 手段 | 保育士や保護者以外の公正・公立な第三者機関が、客観的な立場から保育園の事業や運営状況について評価し、結果をまとめ公表する。 |
| 成果 | 保育サービス等の内容を客観的に評価、公表することにより、保育の質の向上に向けた取り組みや情報提供を行うことができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | ますます多様化、複雑化する家庭や地域からのニーズに応え、信頼ある保育を実施していくためには、客観的な評価を受け結果を分析しながら事業や運営の見直し、改善を図っていくことが必要である。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 実施に向けての検討や情報の収集を行っているが、厳しい財政状況下における事業の優先度から未実施となっている。引き続き情報の収集や調査研究を行い、平成29年度からの実施を予定している。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------|
| 事業内容 | | 評価委員の選任、評価の実行、結果の取りまとめと分析、公表 | 評価委員の選任、評価の実行、結果の取りまとめと分析、公表 | 評価委員の選任、評価の実行、結果の取りまとめと分析、公表 | |
| 事業費 | | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |

| | | | |
|-----|-------------------|------|----------|
| 事業名 | 原里第2保育園グラウンド等整備事業 | 整理番号 | 2109-010 |
| 所管 | 健康福祉部 子ども育成課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-1-9 | 施策名: 保育所・幼稚園機能の整備・充実 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 原里第2保育園グラウンドは調整池兼用のため勾配があり、また、降雨時にはグラウンドに雨水が溜まる。調整池を別に設置し、円滑な保育の実施のためにグラウンドを整備する。 |
| 対象 | 原里第2保育園 |
| 手段 | 調整池とグラウンドの整備等を行う。調整池を整備するとともに、グラウンド整備(勾配の解消)、プール、屋外トイレを整備する。 |
| 成果 | 調整池を整備し、グラウンドから調整池機能を外すことで、プール、屋外トイレ等が水没することがなくなる。また、グラウンドの勾配を解消し、併せて老朽化したプール、屋外トイレを整備することで円滑な保育の実施に必要な施設整備ができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | グラウンドは、調整池兼用のため勾配があり、降雨時、屋外トイレ等が水没することがある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

95,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------|--------|-----------------------|--------|--------|
| 事業内容 | 調整池整備工事 | | グラウンド・プール・屋外トイレ・遊具の整備 | | |
| 事業費 | | 45,000 | 40,000 | | 85,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 16,800 | 15,000 | | 31,800 |
| | 財繰 | 22,500 | 20,000 | | 42,500 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 5,700 | 5,000 | 0 | 10,700 |
| | 5,700 | 5,000 | | 10,700 | |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 保育園環境整備事業 | 整理番号 | 2109-020 |
| 所管 | 健康福祉部 子ども育成課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-1-9 | 施策名: 保育所・幼稚園機能の整備・充実 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 保育園施設の不具合の改善を行い、より良い保育環境の整備を図る。 |
| 対象 | 公立保育園 8園及び公立認定こども園 1園 |
| 手段 | 老朽化した園舎の改修を行い、保育室にエアコンを設置する。 |
| 成果 | 快適な保育環境と安全性を確保することにより、安心・安全で、より質の高い保育を提供することが可能となる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 公立保育園 8園のうち、6園は建築後25年以上が経過しており、老朽化が進んでいる。また、2歳以上の保育室にエアコンの設置がないため、夏場の猛暑の中、安全な保育の実施に苦慮している。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|-------------------|-----------------|-----------------|--------|
| 事業内容 | | 各園の2・3歳児室にエアコンを設置 | 各園の4歳児室にエアコンを設置 | 各園の5歳児室にエアコンを設置 | |
| 事業費 | | 20,000 | 16,000 | 16,000 | 52,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 10,000 | 8,000 | 8,000 | 26,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 10,000 | 8,000 | 8,000 | 26,000 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 子ども医療費助成事業 | 整理番号 | 2110-010 |
| 所管 | 健康福祉部 子育て支援課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-------------------|
| 事業期間 | 昭和49年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市子ども医療費助成規則 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-1-10 | 施策名: 育児期の経済的負担の軽減 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 子どもの医療費の負担軽減を図り、子どもの健やかな成長に寄与する。 |
| 対象 | 高校3年生相当年齢までの子どもの保護者 |
| 手段 | 子ども医療費受給資格者証を交付し、高校3年生相当年齢までの子どもの入院、通院に係る医療費の助成を行う。 |
| 成果 | 子育て家庭の経済的負担の軽減が図られるとともに、子どもの疾病の早期発見、早期治療につながる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 昭和49年度から、子育て支援を推進するため、乳幼児医療費助成を実施している。近年の更なる少子化の進行に伴い、医療費助成の対象年齢の拡大の声が高まり、子育て支援として住民の期待に応えるべく逐次年齢を引き上げ、平成21年4月からは中学校3年生までを、平成24年4月からは高校3年生相当年齢までを助成対象とした。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成22年4月からは入院に要する経費を無料とし、平成24年4月からは助成対象を高校3年生相当年齢までに拡大した。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|-----------|
| 事業内容 | | 高校3年生相当年齢までの子どもへの医療費の助成(入院無料、通院一部自己負担) | 高校3年生相当年齢までの子どもへの医療費の助成(入院無料、通院一部自己負担) | 高校3年生相当年齢までの子どもへの医療費の助成(入院無料、通院一部自己負担) | |
| 事業費 | | 420,000 | 420,000 | 420,000 | 1,260,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 90,000 | 90,000 | 90,000 | 270,000 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 450,000 |
| | 一般(投資) | 180,000 | 180,000 | 180,000 | 540,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 私立幼稚園就園奨励事業 | 整理番号 | 2110-020 |
| 所管 | 健康福祉部 子ども育成課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | ～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-1-10 | 施策名: 育児期の経済的負担の軽減 |
| | 関連施策: | 4-1-1 | 施策名: 乳幼児期における教育の充実 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、私立幼稚園授業料等の補助を行うこと。 |
| 対象 | 私立幼稚園に就園している御殿場市に住民登録のある児童の保護者 |
| 手段 | 私立幼稚園の授業料等を世帯の所得状況と子どもの人数に応じ補助する。 |
| 成果 | 子育ての経済的な負担の軽減が図られ、子どもが等しく質の高い幼児期の教育・保育を受けることができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 家庭の所得状況に応じて保護者の経済的な負担の軽減を図るとともに、公私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るため、就園奨励事業として実施。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------|--------|--------|--------|---------|
| 事業内容 | 私立幼稚園授業料等の補助 | | | | |
| 事業費 | | 43,000 | 43,000 | 43,000 | 129,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 11,000 | 11,000 | 11,000 | 33,000 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 32,000 | 32,000 | 32,000 | 96,000 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|------------------------|------|----------|
| 事業名 | ファミリー・サポート・センター事業 | 整理番号 | 2111-010 |
| 所管 | 健康福祉部 子ども育成課 子ども家庭センター | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-------------------------------|
| 事業期間 | 平成10年度～ | 根拠法令・要綱等 | ごてんば・おやまファミリー・サポート・センター事業実施要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-1-11 | 施策名: 地域で支える子育ての充実 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 子ども・子育て支援事業計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 子育て世代の就労を支援するとともに、会員相互のネットワークを通して安心して子育てができる環境づくりを目的とする。 |
| 対象 | 御殿場市及び小山町在住の小学生までの児童を有する保護者 |
| 手段 | 活動範囲の拡大に伴い、センターの運営に関わるサブリーダーを増員し、事業の円滑な運営を図る。また、1時間当たりの報酬の支払いは会員相互で行っているが、静岡県 lowest賃金より低い単価であるため、最低賃金との差額を補助金として支払う。 |
| 成果 | 保護者が安心して、働きながら子育てができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成8年8月、県から設立の依頼があり、翌年5月、保育園の保護者利用希望調査を実施し、40%程度の利用希望者があった。平成10年から事業実施。市民要望は高いが近年は受託会員に限られてきた。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成26年度から会員の利便性を考慮し、事務局を子ども家庭センターに再び戻した。平成22年に受託会員の確保と住民サービスの向上を図るため、小山町と共同で事業を実施、平成25年度から24単位の養成講座を実施している。平成27年度から1時間当たりの報酬を100円下げ平日昼間を500円とした。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------------------|-----|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------|
| 事業内容 | | 委託会員の要望により、アドバイザーが受託会員を選定し、援助活動を実施。 | 委託会員の要望により、アドバイザーが受託会員を選定し、援助活動を実施。 | 委託会員の要望により、アドバイザーが受託会員を選定し、援助活動を実施。 | |
| 事業費 | | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 15,000 |
| 財 源 内 訳 | 国補 | 1,450 | 1,450 | 1,450 | 4,350 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 1,450 | 1,450 | 1,450 | 4,350 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | 330 | 330 | 330 | 990 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 1,770 | 1,770 | 1,770 | 5,310 |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|------------------------|------|----------|
| 事業名 | 地域子育て支援センター事業 | 整理番号 | 2112-010 |
| 所管 | 健康福祉部 子ども育成課 子ども家庭センター | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | | |
|--------------|---------------|----------|------------|----------------|
| 事業期間 | 平成10年度～ | 根拠法令・要綱等 | 子ども・子育て支援法 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-1-12 | 施策名: | 子育て支援センター機能の充実 |
| | 関連施策: | 4-1-1 | 施策名: | 乳幼児期における教育の充実 |
| 個別計画での位置づけ | 子ども・子育て支援事業計画 | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 育児に対する不安や悩みを受け止め、育児中の親同士の仲間づくりを手伝いながら、子育ての楽しみを広げる。 |
| 対象 | 就学前の未就園児及びその保護者 |
| 手段 | 交流センター(子ども家庭センター)及び私立保育園8園に保育士を配置し、支援センターを開設。また、その他の公私立保育園においても、各種事業(講座等)を実施している。 |
| 成果 | ニーズを踏まえた支援活動を行うことにより、育児中の不安や孤立を軽減し、あわせて、親子の気分転換を図ることで健全な育児の手助けになる事業とする。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 少子化、核家族化、女性の社会進出など、生活スタイルの変化により家庭教育機能が低下しつつある中で、地域における中核施設として、保育園の中に支援センター機能が必要になっている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 保育園舎の改築等にあわせ、園内のスペースの拡充や機能の拡大に努めている。また、ニーズに合った事業の企画、実施に努めている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--|--|--|--|---------|
| 事業内容 | 公立保育園・こども園9園、私立保育園・こども園9園、子ども家庭センターで開設 ・一般型9園(私立8園、子ども家庭センター) ・その他10か所 | 公立保育園・こども園9園、私立保育園・こども園9園、子ども家庭センターで開設 ・一般型9園(私立8園、子ども家庭センター) ・その他10か所 | 公立保育園・こども園9園、私立保育園・こども園9園、子ども家庭センターで開設 ・一般型9園(私立8園、子ども家庭センター) ・その他10か所 | 公立保育園・こども園9園、私立保育園・こども園9園、子ども家庭センターで開設 ・一般型9園(私立8園、子ども家庭センター) ・その他10か所 | |
| | 事業費 | 72,000 | 72,000 | 72,000 | 216,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 22,850 | 22,850 | 22,850 | 68,550 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 22,850 | 22,850 | 22,850 | 68,550 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 10 | 10 | 10 | 30 |
| | 一般(投資) | 26,290 | 26,290 | 26,290 | 78,870 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 小児医療等対策事業 | 整理番号 | 2201-010 |
| 所管 | 健康福祉部 救急医療課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------|
| 事業期間 | 平成5年度 ～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市医師会との協議書 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-2-1 | 施策名: 医療体制の整備・充実 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 小児医療の二次医療体制を確保する。 |
| 対象 | 小児医療機関 |
| 手段 | 小児医療体制維持のための経費を補助する。 |
| 成果 | 小児科医師や小児科専用ベッドの確保、小児医療相談等の対応が図られ、また、小児・産科医療等に対する二次救急医療体制が確保されている。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 小児科の入院施設のある医療機関は、市内では富士病院のみであり、小児医療対策の必要性が叫ばれている。また、全国的な医師不足や限られた医療資源の中で、広域における医療機関相互の連携を図り、受入態勢を確保していくことが必要である。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | これまでの事業(小児科医師や小児科専用ベッドの確保、小児医療相談等)と併せ、小児難病に係る医療体制の確保も図る。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|--------|
| 事業内容 | | 小児科専用ベッドの確保、小児医療相談、小児・産科医療等に対する二次医療体制の確保 | 小児科専用ベッドの確保、小児医療相談、小児・産科医療等に対する二次医療体制の確保 | 小児科専用ベッドの確保、小児医療相談、小児・産科医療等に対する二次医療体制の確保 | |
| | 事業費 | 12,000 | 12,000 | 12,000 | 36,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 12,000 | 12,000 | 12,000 | 36,000 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 公的病院等運営費補助事業 | 整理番号 | 2201-020 |
| 所管 | 健康福祉部 救急医療課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------|
| 事業期間 | 平成27年度～ | 根拠法令・要綱等 | 特別交付税に関する省令 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-2-1 | 施策名: 医療体制の整備・充実 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 市内の救急医療や小児医療の専門病床を有している公的病院等の経営の安定を図り、地域の医療提供体制の確保に寄与する。 |
| 対象 | 市内の救急医療や小児医療の専門病床を有している公的病院等 |
| 手段 | 特別交付税(補助率100%)を財源とし、特別交付税に関する省令第3条第1項第3号イの表第67号に規定する算定方法において算定の対象となる医療(不採算医療等)の実施に要する経費を補助する。 |
| 成果 | 不採算医療等の機能を担う市内の公的病院等が安定的に運営されることにより、地域において必要な医療提供体制が確保される。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成20年度に創設された「公的病院等への助成に対する財政措置」における公的病院等に有隣厚生会が公益社団法人化することで対象となるため、本制度を活用し補助事業を行った。今後、同様に公益社団法人化する病院があれば、それらも対象となる。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 特別交付税に関する省令の改正に伴い、地元自治体負担の増額かつ事業内容の見直しによる事業費の一部減額が予想される。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| 事業内容 | 公的病院等の運営費補助 | 公的病院等の運営費補助 | 公的病院等の運営費補助 | 公的病院等の運営費補助 | |
| 事業費 | | 110,000 | 110,000 | 110,000 | 330,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 110,000 | 110,000 | 110,000 | 330,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------------|------|----------|
| 事業名 | 第二次救急医療施設医療機器整備事業 | 整理番号 | 2202-010 |
| 所管 | 健康福祉部 救急医療課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------|
| 事業期間 | 平成11年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市医師会との協議 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-2-2 | 施策名: 救急医療体制の強化 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 病院群輪番制病院(二次救急医療施設)として、高度な診療を可能にしていくための一助とする。 |
| 対象 | 二次救急医療機関 5施設 |
| 手段 | 御殿場市医師会を通じて、医療機器を整備するための経費を助成する。 |
| 成果 | 二次救急医療機関 5施設の医療機器の充実を図ることにより、患者の肉体的、精神的負担が軽減され、救命率の向上につながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 医療機器をはじめ医療技術の進歩は著しく、市が指定する二次救急医療機関として、高度医療に対応するための医療機器等を整備していく必要がある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 整備事業が三巡したことで一定の役割は果たせたのではないかという意見が多く聞かれることから、平成29年度での事業の見直しを検討している。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-----------------------|--------|--------|--------|--------|
| 事業内容 | 医療機器整備事業費 (富士小山病院) | | | | |
| | 事業費 | 10,000 | | | 10,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | 1,800 | | | 1,800 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 8,200 | 0 | 0 | 8,200 |

| | | | |
|-----|---------------|------|----------|
| 事業名 | 第二次救急医療施設運営事業 | 整理番号 | 2202-020 |
| 所管 | 健康福祉部 救急医療課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------|
| 事業期間 | 昭和54年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市医師会との協定書 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-2-2 | 施策名: 救急医療体制の強化 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 夜間及び休日における二次・三次の救急医療業務に対する民間医療機関の協力を促進する。 |
| 対象 | 二次救急医療機関 5施設・三次救急医療機関 9施設 |
| 手段 | 御殿場市医師会を通じて、体制維持のための経費を補助する。 |
| 成果 | 一次救急医療施設である御殿場市救急医療センターから、専門的な検査や入院が必要な患者を、二次・三次医療機関へスムーズに転送することができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市民病院など、救急医療や高度医療の中核となる医療機関がない現状では、周辺地域や広域による民間医療機関と連携し、救急医療体制の充実を図ることが必要不可欠である。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 医療機器整備事業の見直しを検討しており、運営費全般への補助の要望が多いことから補助額増加を計画している。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------------------|------------|--|--|--|---------|
| 事業内容 | | 二次救急医療施設5施設 三次救急医療施設9施設の 救急業務に対する協力を促進 するための交付金 | 二次救急医療施設5施設 三次救急医療施設9施設の 救急業務に対する協力を促進 するための交付金 | 二次救急医療施設5施設 三次救急医療施設9施設の救 急業務に対する協力を促進 するための交付金 | |
| | 事業費 | 44,000 | 54,000 | 54,000 | 152,000 |
| 財 源 内 訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | 7,921 | 9,721 | 9,721 | 27,363 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 (投資) | 36,079 | 44,279 | 44,279 | 124,637 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 広域救急医療体制構築事業 | 整理番号 | 2202-030 |
| 所管 | 健康福祉部 救急医療課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------|
| 事業期間 | 平成26年度～ | 根拠法令・要綱等 | 沼津市医師会との協定書 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-2-2 | 施策名: 救急医療体制の強化 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 救急隊から医療機関へ救急患者に関する情報を効率的に伝達するとともに、専門医の待機状況を含む、情報を相互に共有することにより、効果的な救急医療の実現に寄与することを目指す。 |
| 対象 | 御殿場市、沼津市、裾野市、清水町、長泉町、三島市、小山町の7市町 |
| 手段 | 駿東地区ドクターバンク設置による専門医の確保と広域救急医療情報システムの導入により、7市町間の救急隊と救急担当医療機関との情報共有化を図る。 |
| 成果 | 広域救急医療情報システム活用により、救急隊から救急担当医療機関への患者情報や専門医待機状況の把握などの効率的な伝達と情報の共有化により、円滑な救急搬送が行える。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 近隣市町と情報の共有化により、救急重篤患者を救える確率がより高くなることから、市民医療サービスの拡充となる。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------------------|--------|-------------------------|-------------------------|--------|
| 事業内容 | 広域救急医療体制構築事業 に対する負担金 | | 広域救急医療体制構築事業 に対する負担金 | 広域救急医療体制構築事業 に対する負担金 | |
| 事業費 | | 8,000 | 8,000 | 8,000 | 24,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 8,000 | 8,000 | 8,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 看護学校運営費補助事業 | 整理番号 | 2204-010 |
| 所管 | 健康福祉部 救急医療課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|--------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成7年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市御殿場看護学校運営費補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-2-4 | 施策名: 医療関連人材の育成・確保 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 看護学校の経営の安定や学習環境の整備を図り、市内の病院等の看護師の充実に寄与する。 |
| 対象 | 御殿場看護学校 |
| 手段 | 健全な運営のための経費を補助する。 |
| 成果 | 看護学校が健全に運営されることにより、看護師が充足され、安心な医療や保健事業を提供することができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 看護師の人材不足は深刻な問題であり、中小の医療機関にとっては特に厳しい状況の中で、看護学校が果たす役割は大きい。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 人件費の高騰等による経費の増加のため、平成29年度より補助額の増加を計画している。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------|
| 事業内容 | 看護学校の運営費補助金を交付 | 看護学校の運営費補助金を交付 | 看護学校の運営費補助金を交付 | 看護学校の運営費補助金を交付 | |
| 事業費 | | 35,000 | 35,000 | 35,000 | 105,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | 6,300 | 6,300 | 6,300 | 18,900 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 28,700 | 28,700 | 28,700 | 86,100 |

| | | | |
|-----|---------------|------|----------|
| 事業名 | 在宅医療・介護連携推進事業 | 整理番号 | 2206-030 |
| 所管 | 健康福祉部 介護福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------------------------|----------|---------------------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市介護保険条例・介護保険法・地域医療・介護総合確保推進法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-2-6 | 施策名: 在宅医療の促進 |
| | 関連施策: | 2-6-2 | 施策名: 介護予防の推進と自立生活の支援 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進する。 |
| 対象 | 医療機関及び介護事業所等の関係者及び地域住民 |
| 手段 | 国が定めた以下8項目を関係機関と連携を図りつつ、順次実施していく。 (ア)地域の医療・介護の資源の把握 (イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 (ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 (エ)医療・介護関係者の情報共有の支援 (オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援 (カ)医療・介護関係者の研修 (キ)地域住民への普及啓発 (ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携 |
| 成果 | 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に対し、滞りないサービスの提供が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 機能回復のためのリハビリが必要または、慢性疾患によって長期療養が必要となるなど、要介護状態で医療ニーズが高い高齢者が増加している。このような高齢者への適切な在宅ケアを提供するために介護支援専門員に円滑に医療の情報が伝わらない。逆に入院時に介護支援専門員から医療機関に的確な情報が伝わらない等の問題がある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------------------|--------|-----------------------------|-----------------------------|--------|
| 事業内容 | 在宅医療・介護連携推進に関する研究会に係る費用 | | 地域医療支援病院に準ずる医療機関または医師会への委託料 | 地域医療支援病院に準ずる医療機関または医師会への委託料 | |
| 事業費 | | 1,000 | 12,000 | 12,000 | 25,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 390 | 4,485 | 4,485 | 9,360 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 195 | 2,243 | 2,243 | 4,681 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 220 | 2,529 | 2,529 | 5,278 |
| | 一般(投資) | 195 | 2,743 | 2,743 | 5,681 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 母子保健事業 | 整理番号 | 2401-010 |
| 所管 | 健康福祉部 健康推進課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|---------------------------|
| 事業期間 | 昭和40年度～ | 根拠法令・要綱等 | 母子保健法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-4-1 | 施策名: 母子保健の充実 |
| | 関連施策: | 2-1-6 | 施策名: 育児期の心理的負担の軽減・相談体制の強化 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市第4次健康増進計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 発育の節目を捉えて、発育・発達状況を観察するなど、適切な保健指導を行い、妊娠期から子育て期に渡るまで切れ目のない支援を行うことで、乳幼児の健やかな発育・発達のための支援をする。 |
| 対象 | 妊産婦や保護者と乳幼児 |
| 手段 | 健康診査、教室、相談、訪問指導を実施する。 |
| 成果 | 健康診査の受診率の向上、未受信者のフォロー、教室・相談・訪問指導の充実が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 母子保健法に基づく事業として、妊娠中から就学前までの各種健康診査・教室・相談・訪問指導を実施している。また、子育て支援事業として、新生児訪問を拡大し4ヶ月までの全戸訪問(こんにちは赤ちゃん事業)を実施している。歯科保健対策として妊婦歯科健診を実施している。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 出生数はやや減少傾向だが、実施回数や内容の見直しを行い、子育て支援事業として新生児訪問を拡大し生後4か月までの全戸訪問(こんにちは赤ちゃん事業)を実施している。歯科保健充実のため、平成27年度から妊婦歯科健診を実施した。平成28年度より妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援のため助産師を配置し、産前・産後サポート事業も実施する。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|---------|
| 事業内容 | | ・母子健康手帳交付 ・妊婦・乳幼児健康診査 ・訪問指導・教室・相談・事後指導 ・妊婦歯科健診 ・母子保健相談支援事業 ・子育て包括支援センター事業 | ・母子健康手帳交付 ・妊婦・乳幼児健康診査 ・訪問指導・教室・相談・事後指導 ・妊婦歯科健診 ・母子保健相談支援事業 ・子育て包括支援センター事業 | ・母子健康手帳交付 ・妊婦・乳幼児健康診査 ・訪問指導・教室・相談・事後指導 ・妊婦歯科健診 ・母子保健相談支援事業 ・子育て包括支援センター事業 | |
| | 事業費 | 95,000 | 96,000 | 97,000 | 288,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 2,000 | 2,000 | 2,250 | 6,250 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 2,000 | 2,000 | 2,250 | 6,250 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 91,000 | 92,000 | 92,500 | 275,500 | |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 不妊治療医療費助成事業 | 整理番号 | 2401-020 |
| 所管 | 健康福祉部 健康推進課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成19年度～ | 根拠法令・要綱等 | 少子化社会対策基本法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-4-1 | 施策名: 母子保健の充実 |
| | 関連施策: | 2-1-7 | 施策名: 少子化対策の情報発信の強化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 不妊治療にかかる経済的、精神的負担の軽減を図り、少子化対策を推進する。 |
| 対象 | 医療保険の適用にならない体外受精、顕微授精、人工授精などの不妊治療を受けている夫婦 |
| 手段 | 不妊治療費用の2分の1以内で、1年度につき20万円を限度として、同一夫婦5年度間まで助成する。一般不妊治療(人工授精)費用については、10分の7以内(上限63,000円)2年間まで助成する。 |
| 成果 | 不妊に悩む夫婦の問題解決がなされ、妊娠、出産につながることは、少子化対策推進の一助となるものである。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 不妊に悩む夫婦が増えている昨今、不妊治療の中には医療保険適用にならない高額な治療もあり、経済的、精神的負担も大きい。少子化対策の一つとして、さらに経済的負担の軽減を図るため、制度の充実が望まれている。平成26年度から一般不妊治療(人工授精)費を助成する市町への県補助金が創設された。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 制度のPRIに努め、利用者の拡大を図るとともに、高額な不妊治療にかかる経済的負担を軽減するため、平成22年度から助成額を1年度10万円から20万円に増額した。また、平成26年度途中から人工授精の治療費の10分の7に助成を拡充した。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--------|
| 事業内容 | | 医療保険適用にならない不妊治療について助成 | 医療保険適用にならない不妊治療について助成 | 医療保険適用にならない不妊治療について助成 | |
| 事業費 | | 21,000 | 22,000 | 23,000 | 66,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 20,000 | 21,000 | 22,000 | 63,000 |

| | | | |
|-----|-----------------|------|----------|
| 事業名 | 市民健康づくり事業(成人保健) | 整理番号 | 2403-010 |
| 所管 | 健康福祉部 健康推進課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 昭和57年度～ | 根拠法令・要綱等 | 健康増進法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-4-3 | 施策名: 成人保健の充実 |
| | 関連施策: | 2-3-3 | 施策名: 健康に関する関係機関や地域との連携 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市第4次健康増進計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 市民一人ひとりが社会参加しながら、生きがいを持って過ごせるよう、生活習慣病の予防や早世予防及び健康寿命の延伸を目標とし、明るく活力ある社会を築く。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 健康教育、健康相談、各種がん検診及びその他の検診(健診)、訪問指導等を実施する。 |
| 成果 | がんを含めた生活習慣病の早期発見、早期治療により重症化予防に努めることで、早世予防や介護予防に努める。これが、ひいては医療費や介護予防費の削減に結びつくこととなる。また、健康についての知識を得ることで、市民自ら生活習慣改善の方法を考え実践することができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 静岡県は健康寿命が全国トップクラスである。しかし、県内の特定健診(平成20年度開始)の結果データからみると地域差がみられ、御殿場を含めた東部地区にいくつかの健康課題が提示されていることから、それを念頭に市民一人ひとりが自分にあった健康習慣を身につけられるよう、各事業に取り組む。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 子宮がん検診について、平成27年度から実施期間を通年実施とした。引き続き、平成28年度から乳がん検診についても通年実施とし、受診の機会を拡大した。また、地域の実態を知らせ、一人ひとり及び地域みんなが実践できる、健康習慣について考える機会とする出前型の健康教室を実施している。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|----------------------------------|---|----------------------------------|---------|
| 事業内容 | | 各種がん検診及び各種健康教育・健康相談、訪問指導等の健康増進事業 | 各種がん検診及び各種健康教育・健康相談、訪問指導等の健康増進事業、健康増進計画策定事業 | 各種がん検診及び各種健康教育・健康相談、訪問指導等の健康増進事業 | |
| 事業費 | | 167,000 | 171,000 | 168,000 | 506,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 15,000 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | 11,100 | 11,100 | 11,100 | 33,300 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 150,900 | 154,900 | 151,900 | 457,700 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|------------------------|------|----------|
| 事業名 | 感染症予防事業(予防接種事業・結核予防事業) | 整理番号 | 2406-010 |
| 所管 | 健康福祉部 健康推進課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|---------------|
| 事業期間 | 昭和24年度～ | 根拠法令・要綱等 | 予防接種法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-4-6 | 施策名: 感染症予防の推進 |
| | 関連施策: | 2-4-2 | 施策名: 学校保健の充実 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 感染症(麻しん、風しん、日本脳炎、ジフテリア、百日せき、破傷風、急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎)の罹患及び重症化を防止する。 |
| 対象 | 乳幼児～児童生徒 |
| 手段 | A類疾病(麻しん、風しん、日本脳炎、ジフテリア、百日せき、破傷風、急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎)の個別及び集団接種を実施する。 ※接種費用は全額公費負担 |
| 成果 | 感染症発生が抑制される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 予防接種法に定められた13種の疾病に対し、予防接種を個別・集団で実施している。平成28年10月からB型肝炎予防接種が定期接種化される予定。しかし平成25年6月から、子宮頸がんワクチンについては積極的な接種勧奨は差し控えられたままである。今後、現在任意の予防接種であるおたふくかぜ、ロタウイルスが定期化される可能性がある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 個別接種への移行、接種期間などを検討中である。B型肝炎予防接種の定期化にあたっては、円滑な実施のため、医師会や小山町と協議・調整を行った。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 事業内容 | 感染症 13種 | 感染症 13種 | 感染症 13種 | | |
| 事業費 | | 244,000 | 244,000 | 256,000 | 744,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 300,000 |
| | 一般(投資) | 144,000 | 144,000 | 156,000 | 444,000 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|--------------------|------|----------|
| 事業名 | 感染症予防事業(高齢者予防接種事業) | 整理番号 | 2406-020 |
| 所管 | 健康福祉部 健康推進課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|---------------|
| 事業期間 | 平成22年度～ | 根拠法令・要綱等 | 予防接種法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-4-6 | 施策名: 感染症予防の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----------------|---|
| 目的 | 高齢者にインフルエンザ予防接種を実施することにより、インフルエンザの罹患及び重症化の防止を図る。また、高齢者がかかりやすい肺炎球菌による肺炎の発病及び重症化を防止する。 |
| 対象 | 高齢者インフルエンザおよび高齢者肺炎球菌は65歳以上あるいは60歳以上65歳未満であって厚生労働省令で定めた心臓、腎臓、呼吸器等が障害1級相当である市民。なお、高齢者肺炎球菌は65歳以上の5歳刻みの年齢の方で未接種者のみ定期対象者に該当。(平成30年まで) |
| 手段 | 高齢者インフルエンザ予防接種(個別接種) 自己負担 1,000円 高齢者肺炎球菌予防接種(個別接種) 自己負担 4,200円 |
| 成果 | 高齢者のインフルエンザと肺炎の発病及び重症化を防止する。 |
| 事業の背景・住民の意向の反映 | インフルエンザの発病予防、重症化予防に効果を上げているため、市民からの要望が高い。また肺炎球菌性による肺炎は、成人肺炎の25～40%を占め、特に高齢者での重篤化が問題になっている。 |
| 見直し改善の経過 | 高齢者インフルエンザ予防接種については、開始を10月初旬からとし、接種機会の拡大を図った。肺炎球菌予防接種については、平成26年度10月から65歳以上の一部が定期接種化されたため、その他の行政措置対象者への周知や予診表の交付方法等について効果的な見直しを行っている。 |

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|-------------------|-------------------|--------------------------------------|---------|
| 事業内容 | | インフルエンザ肺炎球菌ワクチン接種 | インフルエンザ肺炎球菌ワクチン接種 | インフルエンザ肺炎球菌ワクチン接種 (定期65歳のみ+行政措置分) | |
| 事業費 | | 73,000 | 73,000 | 60,000 | 206,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | 23,000 | 23,000 | 10,987 | 56,987 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 50,000 | 50,000 | 49,013 | 149,013 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 地域包括支援センター事業 | 整理番号 | 2601-010 |
| 所管 | 健康福祉部 介護福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|----------------------------|----------|------------------|
| 事業期間 | 平成18年度～ | 根拠法令・要綱等 | 介護保険法第115条の46第1項 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-6-1 | 施策名: 地域包括ケアの推進 |
| | 関連施策: | 2-6-6 | 施策名: 高齢者の権利擁護 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市第7次高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。 |
| 対象 | 高齢者及びその家族 |
| 手段 | 社会福祉法人等に委託し地域包括支援センターを設置する。 地域包括支援センターでは、保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員の3職種が連携して、①介護予防ケアマネジメント業務②総合相談支援業務③権利擁護業務④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務を実施し、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行う。 平成28年度より包括支援センターの機能強化及び高齢者増加への対策として、市に基幹型包括を設置し、専門職3名のうち保健師は職員で対応し、主任ケアマネ・社会福祉士は、臨時職員で対応する。 |
| 成果 | ・心身の状況等に応じて、自らの選択に基づき、介護予防事業や各種福祉サービス等が包括的かつ効率的に提供される。 ・地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | ・高齢者等の介護や福祉などの相談内容の多様化と、困難化、介護予防事業の重視。 ・センターの適切、公正かつ中立な運営の確保のため、医師、介護支援専門員、介護保険の被保険者、地域ケアに関する学識経験者などにより構成される運営協議会を設置している。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成18年度の介護保険法改正により、設置が義務付けられ、当初4法人10人体制でスタートしたが、高齢者数の増加に伴い、平成20年度からは、4法人13人体制で対応していた。また、御殿場地区の高齢者が7,000人を超えたことから、平成27年度は、御殿場地区においては、専門職を1名増員し対応している。高齢者相談内容の複雑化に伴い問題解決までが長期化するため、現体制では思うように訪問ができず、ひきこもり等の表に上がってこない深刻な案件についての対応ができていない。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------------------|--------|-------------|-------------|---------|
| 事業内容 | 4か所設置 基幹包括1か所設置検討 | | 4か所設置(基幹包括) | 4か所設置(基幹包括) | |
| 事業費 | | 84,000 | 84,000 | 84,000 | 252,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 32,760 | 32,760 | 32,760 | 98,280 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 16,380 | 16,380 | 16,380 | 49,140 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 18,480 | 18,480 | 18,480 | 55,440 |
| | 一般(投資) | 16,380 | 16,380 | 16,380 | 49,140 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 高齢者健やか事業 | 整理番号 | 2602-010 |
| 所管 | 健康福祉部 介護福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|----------------------------|----------|-------------------------|
| 事業期間 | 昭和63年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市高齢者健やか事業実施要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-6-2 | 施策名: 介護予防の推進と自立生活の支援 |
| | 関連施策: | 2-6-4 | 施策名: 社会参加の支援と生きがいつくりの推進 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市第7次高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 高齢者の社会参加を促進するとともに、健康の保持増進を図る。 |
| 対象 | 70歳以上の高齢者及び付添人1名 |
| 手段 | 敬老会時に健やか事業利用券を12枚を交付し、温泉入浴やマッサージ等の施術に加え、施設の利用や各種講座等の受講などに使用する。 |
| 成果 | 社会参加による閉じこもり防止や介護予防及び健康増進が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 高齢化が進み高齢者人口も増加し、これに伴い、医療費や介護費は増加してきている。このような状況の中で、介護予防の面からも高齢者自身の健康管理の必要性は高まってきている。そこで、高齢者が健康保持のための福祉サービスが享受できるように定めた。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成24年から「はり、灸、マッサージ治療助成券」と「温泉会館等利用無料券」を共通化するとともに、利用者の多様なニーズに応えるため、利用できる範囲を拡大した。また、対象年齢を70歳以上とした。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------|
| 事業内容 | | 利用券1枚500円相当×12枚 交付対象者 15,000人 | 利用券1枚500円相当×12枚 交付対象者 15,500人 | 利用券1枚500円相当×12枚 交付対象者 15,550人 | |
| 事業費 | | 46,000 | 50,000 | 53,000 | 149,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 46,000 | 50,000 | 53,000 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 「食」の自立支援事業 | 整理番号 | 2602-020 |
| 所管 | 健康福祉部 介護福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|----------------------------|----------|-----------------------------|
| 事業期間 | 平成6年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市在宅の高齢者及び障害者食事サービス事業実施要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-6-2 | 施策名: 介護予防の推進と自立生活の支援 |
| | 関連施策: | 2-7-3 | 施策名: 障害福祉サービス等の充実 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市第7次高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 在宅のひとり暮らし高齢者等で調理が困難な方の食生活改善と在宅生活の安定化を図る。 |
| 対象 | 市内に在住し、在宅で調理が困難な①ひとり暮らしの高齢者、高齢者のみで構成する世帯、②身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳のいずれかの交付を受けている者のうち、障害者のみで構成する世帯、③これらに準ずる世帯に属する者。 |
| 手段 | 週4回以内で委託業者による昼又は夕食の配達及び声かけ等による安否確認を行う。 利用者は、事業の実施に伴う原材料費及び調理の費用を負担する(市民税非課税世帯については、費用の2分の1以内を補助)。利用者負担:400円/食(非課税世帯250円/食) |
| 成果 | ひとり暮らし高齢者等の食生活が改善されるとともに、緊急事態の早期発見につながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | ひとり暮らしの高齢者等の増加とともに、在宅高齢者自身が身体機能低下等から調理が困難なことを理由とする欠食や偏食問題が顕著になり、配食要望が生まれた。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成20年10月1日から従来の1社に加え別法人と契約し、緊急時にサービスが停止しないよう2社体制とした。また、平成22年度から事務の簡素化のため、業者が徴収した利用者負担金を委託料と相殺することとし、市への納付を廃止した。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-----------|------------|------------|------------|--------|
| 事業内容 | 市負担金 | 300円450円/食 | 300円450円/食 | 300円450円/食 | |
| | 年間13,000食 | | 年間13,000食 | 年間13,000食 | |
| 事業費 | | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 15,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 15,000 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-----------------|------|----------|
| 事業名 | 介護予防・日常生活支援総合事業 | 整理番号 | 2602-030 |
| 所管 | 健康福祉部 介護福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|----------------------------|----------|---|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市介護保険条例 地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-6-2 | 施策名: 介護予防の推進と自立生活の支援 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 第7次御殿場市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 介護保険制度の改正により地域支援事業に移行された訪問型及び通所型サービスについて基準や単価を定め、介護保険認定を受けている要支援者のニーズに応える。 |
| 対象 | 介護保険制度における、要支援認定者 |
| 手段 | 介護保険制度の改正により、介護予防給付のうち訪問介護、通所介護事業の一部が地域支援事業に移行することになったため、要支援者等の訪問型サービス、通所型サービスに関し、ニーズに応じたサービスの類型化及びそれに合わせた基準、単価等を定める。 |
| 成果 | 持続可能な社会保障制度が確立される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 高齢化が進む中、介護保険給付費の増加が見込まれる。負担抑制の観点から、訪問介護、通所介護が市町村の地域支援事業として移行されることに伴い、ニーズに応じたサービス及びそれに応じた基準、単価設定をする必要がある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--|---------|--|--|---------|
| 事業内容 | ・介護予防・生活支援サービス事業 ・介護予防ケアマネジメント事業 ・一般介護予防事業 | | ・介護予防・生活支援サービス事業 ・介護予防ケアマネジメント事業 ・一般介護予防事業 | ・介護予防・生活支援サービス事業 ・介護予防ケアマネジメント事業 ・一般介護予防事業 | |
| | 事業費 | 139,000 | 144,000 | 148,000 | 431,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 54,210 | 56,160 | 57,720 | 168,090 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 27,105 | 28,080 | 28,860 | 84,045 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 30,580 | 31,680 | 32,560 | 94,820 |
| 一般 | 27,105 | 28,080 | 28,860 | 84,045 | |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 生活支援体制整備事業 | 整理番号 | 2602-040 |
| 所管 | 健康福祉部 介護福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------------------------|----------|-----------------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～ | 根拠法令・要綱等 | 介護保険法・御殿場市介護保険条例・地域支援事業実施要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-6-2 | 施策名: 介護予防の推進と自立生活の支援 |
| | 関連施策: | 2-6-4 | 施策名: 社会参加の支援と生きがいつくりの推進 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 高齢者が、生きがいや役割を持ち、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、生活支援・介護予防サービス及び地域における支え合いの体制を充実・強化し、もって高齢者の社会参加の推進を一体的に図る。 |
| 対象 | 高齢者 |
| 手段 | 生活支援コーディネーターの配置及び生活支援協議体の設置(市町村区域である第1層及び中学校区域等である第2層)。 |
| 成果 | 生活支援の体制整備により、安心した生活を手に入れるとともに、生活支援の担い手となることで、社会参加による自分自身の介護予防につながる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | ひとり暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯が増加する中、介護認定には至らないが日常生活において支援を必要とする高齢者が年々増加している。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 事業内容 | 生活支援コーディネーター配置及び生活支援協議体設置 | | | | |
| | 生活支援コーディネーター配置及び生活支援協議体設置 | | | | |
| 事業費 | | 9,000 | 9,000 | 9,000 | 27,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 3,510 | 3,510 | 3,510 | 10,530 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 1,755 | 1,755 | 1,755 | 5,265 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 1,980 | 1,980 | 1,980 | 5,940 |
| | 一般(投資) | 1,755 | 1,755 | 1,755 | 5,265 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|------------------|------|----------|
| 事業名 | シルバー人材センター運営補助事業 | 整理番号 | 2604-010 |
| 所管 | 健康福祉部 介護福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------------------------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 昭和61年度～ | 根拠法令・要綱等 | 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第45条 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-6-4 | 施策名: 社会参加の支援と生きがいがづくりの推進 |
| | 関連施策: | 4-4-2 | 施策名: 競技スポーツの振興 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 高齢者等の豊かな経験や知識を生かし、新たな雇用・就業の確保と促進及び社会参加の機会の提供を図る。 |
| 対象 | 勤労意欲のある高齢者等 |
| 手段 | (公社)シルバー人材センターの運営及び事業に対する助成を行う。 |
| 成果 | 高齢者等の就業機会の確保及び社会参加の機会の拡大が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 高齢化社会を迎え、常雇でないが知識や経験を生かした就業の場を求める高齢者が増加している。このような就業ニーズや社会参加の要望に対応するため、(公社)シルバー人材センターの事業推進が必要である。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 県補助金が平成23年度で廃止となり、運営費補助金を減額した。今後も更なる経費の節減や請負業務の拡大を図る必要がある。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 事業内容 | 運営費補助金 | | 運営費補助金 | 運営費補助金 | |
| 事業費 | | 11,000 | 11,000 | 11,000 | 33,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 11,000 | 11,000 | 11,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 認知症総合支援事業 | 整理番号 | 2605-010 |
| 所管 | 健康福祉部 介護福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|------------------|-----------------------------|----------|--|
| 事業期間 | 平成27年度～ | 根拠法令・要綱等 | 介護保険法及び地域支援事業実施要綱 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン) |
| 基本計画における 位置づけ | 施策番号: | 2-6-5 | 施策名: 認知症高齢者の支援 |
| | 関連施策: | 2-6-1 | 施策名: 地域包括ケアの推進 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 認知症の早期段階からの適切な診断と対応及び本人や家族への支援を通して、地域単位での総合的かつ継続的な支援体制を確立する。 |
| 対象 | 認知症の人及びその家族 |
| 手段 | 認知症の方がその家族を支援するため、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図る認知症地域支援推進員を市に配置する(平成27年度～平成29年度まで。平成30年度には認知症初期集中支援チームのメンバーの1人とする。)。徘徊等による行方不明者の、早期発見・保護のためのネットワークを構築する。(平成28年度～)認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を市に設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。認知症カフェ設立に向けた支援を行う。 |
| 成果 | 認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で、自分らしく暮らし続けることができる社会が実現する。 |

| | |
|----------------|-----------------------------------|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 超高齢化社会が進む中、認知症高齢者の対策は重要な課題となっている。 |
|----------------|-----------------------------------|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------|--------|--------------|--------------|--------|
| 事業内容 | 認知症地域支援推進員設置 | | 認知症地域支援推進員設置 | 認知症地域支援推進員設置 | |
| | 徘徊高齢者対策等 | | 徘徊高齢者対策等 | 徘徊高齢者対策等 | |
| 事業費 | | 5,000 | 14,000 | 14,000 | 33,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 1,950 | 5,460 | 5,460 | 12,870 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 975 | 2,730 | 2,730 | 6,435 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 1,100 | 3,080 | 3,080 | 7,260 |
| | 一般(投資) | 975 | 2,730 | 2,730 | 6,435 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------------|------|----------|
| 事業名 | 障害者民間福祉施設運営費等補助事業 | 整理番号 | 2703-010 |
| 所管 | 健康福祉部 社会福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 昭和59年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市民間社会福祉施設補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-7-3 | 施策名: 障害福祉サービス等の充実 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市障害者計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 就労訓練や就労移行指導の場としての就労支援事業所(旧小規模作業所等)や生活訓練施設及び共同生活施設等の充実により、障害者の自立を推進していく。 |
| 対象 | 障害者民間福祉施設(ステップ・ワン、むつみ作業所、のぞみ作業所他)及び施設利用者 |
| 手段 | 福祉施設運営費、施設整備に要する経費への補助を行う。 |
| 成果 | 障害者が安心して生活訓練、交流活動及び就労訓練等を行うことで、自立した在宅生活を継続することができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 就労機会の少ない障害者及び保護者から、就労支援事業所(旧小規模作業所等)の充実と存続について要望が出ている。このため、小規模の就労支援事業所等の運営を支援し、事業の充実を図ることにより、障害のある人の在宅生活における社会参加を推進することが望まれている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 利用者送迎サービスが、平成24年度から介護給付費の加算対象となったため、通所サービス利用促進事業の補助金を廃止した。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------|---------------|---------------|---------------|--------|
| 事業内容 | | 福祉施設運営費補助12施設 | 福祉施設運営費補助12施設 | 福祉施設運営費補助12施設 | |
| 事業費 | | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 15,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 4,500 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 3,500 | 3,500 | 3,500 | 10,500 | |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 地域生活支援事業 | 整理番号 | 2703-020 |
| 所管 | 健康福祉部 社会福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------|----------|------------------------------|
| 事業期間 | 平成18年度～ | 根拠法令・要綱等 | 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-7-3 | 施策名: 障害福祉サービス等の充実 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市障害者計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 障害者(児)がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、福祉環境の整備を図る。 |
| 対象 | 障害者(児) |
| 手段 | 障害者等からの相談に応じるとともに、必要な情報の提供、手話通訳者等の派遣、日常生活用具の給付又は貸与、移動を支援し、活動等の機会の提供を行う。 |
| 成果 | 障害者総合支援法に規定する、個別給付(介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具)と組み合わせて効果的に実施でき、障害者の自立した生活に寄与する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 障害者総合支援法の施行により、相談支援事業やコミュニケーション支援事業など、地域の実情に応じて柔軟に実施した方が効率的、効果的な事業が地域生活支援事業として位置付けられた。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 相談支援事業は駿東田方圏域の10市町の共同事業として実施していたが、平成23年度から利用実態に合わせて、各市町が社会福祉法人と個別に委託契約を結び実施することになった。平成25年度には自動車改造助成要綱を制定した。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

| | | 総事業費 | | | 計 |
|------|--------|---|---|---|---------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | |
| 事業内容 | | 相談支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援事業、その他の事業 | 相談支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援事業、その他の事業 | 相談支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援事業、その他の事業 | |
| 事業費 | | 93,000 | 93,000 | 93,000 | 279,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 33,759 | 33,759 | 33,759 | 101,277 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 16,926 | 16,926 | 16,926 | 50,778 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 42,315 | 42,315 | 42,315 | 126,945 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | タクシー券助成事業 | 整理番号 | 2703-030 |
| 所管 | 健康福祉部 社会福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------|----------|-------------------------|
| 事業期間 | 平成19年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市重度障害者タクシー利用助成事業実施要項 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-7-3 | 施策名: 障害福祉サービス等の充実 |
| | 関連施策: | 2-7-4 | 施策名: 障害のある人の社会参加・活動の支援 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市障害者計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 在宅の重度心身障害者等がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、福祉環境の整備を図る。 |
| 対象 | 在宅の重度心身障害者(身体1級・2級、療育A、精神1級・2級) ※自動車税減免者を除く |
| 手段 | 対象者に対し、タクシー利用料金の一部(初乗り料金)を年間24回分助成する。 |
| 成果 | タクシーの利用が容易になることから、障害者の自立した日常生活や社会参加を促進することができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 在宅の重度心身障害者からの要望があり、タクシー利用料金の一部(初乗り料金)を助成することにより、日常生活における社会参加を援助し、在宅福祉の増進を図る。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成26年4月からタクシー事業所 2社、介護タクシー事業所 1社を追加し、利用者の利便を図った。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|---|-------|
| 事業内容 | | タクシー利用券 (利用料金690円×24枚) 対象延人数 290人 | タクシー利用券 (利用料金690円×24枚) 対象延人数 305人 | タクシー利用券 (利用料金690円×24枚) 対象延人数 320人 | |
| 事業費 | | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |

| | | | |
|-----|--------------------------|------|----------|
| 事業名 | 御殿場市障害者計画、御殿場市障害福祉計画策定事業 | 整理番号 | 2703-040 |
| 所管 | 健康福祉部 社会福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-------------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成29年度 | 根拠法令・要綱等 | 障害者基本法、障害者総合支援法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-7-3 | 施策名: 障害福祉サービス等の充実 |
| | 関連施策: | 2-7-1 | 施策名: 障害のある人に対する正しい理解の啓発 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 障害者基本法第11条第3項の規定に基づき、第5次御殿場市障害者計画(平成30年度～平成34年度)を策定し、障害のある人のための施策に関する基本的な事項を定める計画とする。また、時期が重なる第5期御殿場市障害福祉計画(障害福祉サービス等の確保に関する計画)も併せて策定する。 |
| 対象 | 障害のある人をはじめとする全市民 |
| 手段 | 同年度に策定する御殿場市障害福祉計画との調整を図りながら、事業所等の実態や障害者の状況把握と計画原案の策定を委託する。 |
| 成果 | 障害者福祉サービスの利用実態及びアンケート調査により市民要望に即した計画策定を行い、「共に生きる福祉のまちづくり」の実現に向けた施策体系が構築される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 「障害者総合支援法」の施行により、給付制度による障害福祉サービスと、地域生活支援事業による地域や利用者の実情に即した支援に分かれたことから、より細かな調査と分析が必要となっている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

4,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 障害者計画策定 (サービス提供事業所の及び障害者等の現況調査(アンケート形式)、現障害者計画の見直し作業) | | | | |
| 事業費 | | 4,000 | | | 4,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 4,000 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 障害者雇用促進対策事業 | 整理番号 | 2704-010 |
| 所管 | 健康福祉部 社会福祉課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------|----------|---------------------------------------|
| 事業期間 | 平成22年度～ | 根拠法令・要綱等 | 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、障害者雇用促進法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-7-4 | 施策名: 障害のある人の社会参加・活動の支援 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市障害者計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 障害のある人が障害のない人と同様に、その能力と適性に応じた雇用の場につくこと、また継続した雇用環境が整った社会生活をする事。 |
| 対象 | 障害者を雇用する事業所及び障害者 |
| 手段 | 「障害者の雇用の促進等に関する法律」に関連して創設された障害者雇用各種支援制度のうち、規模的に除外される市内の小規模の事業所において、継続的雇用を支援するための助成をする。 |
| 成果 | 事業規模の小さい事業主の経済的負担を支援することで、雇用している障害者の継続的就労を確保できるとともに、市内に多い小規模事業所における障害者の雇用機会の拡大につながる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 障害者自立支援法が平成18年に施行され、就労支援等の強化により障害者の社会生活への移行がより明確に示された。しかしながら、近年の金融危機において企業の運営情勢は厳しく、雇用支援制度のある「障害者雇用促進法」の下でも障害者の雇用機会は大変厳しい状況である。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|------------------------------|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 障害者の雇用の安定と促進を図るための、雇い主への賃金助成 | | | | |
| | 障害者の雇用の安定と促進を図るための、雇い主への賃金助成 | | | | |
| 事業費 | | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 国保・後期高齢者保健事業 | 整理番号 | 2801-010 |
| 所管 | 市民部 国保年金課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-------------------------------------|----------|---------------------------|
| 事業期間 | 平成20年度～ | 根拠法令・要綱等 | 高齢者の医療の確保に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 2-8-1 | 施策名: 国民健康保険制度の周知と医療費の適正化 |
| | 関連施策: | 2-8-2 | 施策名: 後期高齢者医療制度の周知と保健事業の推進 |
| 個別計画での位置づけ | 第二期 御殿場市特定健康診査等実施計画（平成25年度から平成29年度） | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療被保険者の健康寿命の延伸のため。 |
| 対象 | 国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療被保険者 |
| 手段 | メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診や保健指導、脳ドック受診等に対する助成、電話健康相談等各種保健事業を実施する。 |
| 成果 | メタボリックシンドロームの該当者や予備群を減らすことにより、生活習慣病の予防及び重症化を防止し、医療費の適正化を図る。また、被保険者の自主的な健康増進及び疾病予防を支援することで、被保険者のQOL(生活の質)の向上をもたらす。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 医療費支出の増加が進む中、高齢者の医療の確保に関する法律により、平成20年度から医療保険者は40歳から74歳までの被保険者を対象とした、メタボリックシンドロームに着目した特定健診や特定保健指導の実施が義務づけられた。また、75歳以上の後期高齢者の健診についても、特定健診に準じる形で静岡県後期高齢者医療広域連合が市町に委託して実施することとなった。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成28年度は平成27年度に引き続き特定健診受診案内に食育推進キャラクター“ごてんばこめこ”のイラストを掲載し、受診を啓発した。また、平成27年度から後期高齢者の脳ドック受診時の自己負担を6,000円から2,200円に減額し、高齢者の経済的負担の軽減を図り、平成28年度には市内受け入れ先診療機関が1箇所増となり、受診機会の向上を図った。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|--|--|---------|
| 事業内容 | | 特定健診・特定保健指導、電話健康相談、国保脳ドック、国保保健指導事業、後期高齢者健診、後期高齢者脳ドック、後期高齢者健康教育事業、後期高齢者健診未受診者勧奨事業、国保保健事業計画策定 | 特定健診・特定保健指導、電話健康相談、国保脳ドック、国保保健指導事業、後期高齢者健診、後期高齢者脳ドック、後期高齢者健康教育事業、後期高齢者健診未受診者勧奨事業 | 特定健診・特定保健指導、電話健康相談、国保脳ドック、国保保健指導事業、後期高齢者健診、後期高齢者脳ドック、後期高齢者健康教育事業、後期高齢者健診未受診者勧奨事業 | |
| 事業費 | | 181,000 | 180,000 | 186,000 | 547,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 18,000 | 18,000 | 18,000 | 54,000 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 12,000 | 12,000 | 12,000 | 36,000 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 18,000 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 87,000 | 87,000 | 91,000 | 265,000 |
| | 一般(投資) | 58,000 | 57,000 | 59,000 | 174,000 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 自主防災活動推進事業 | 整理番号 | 3102-010 |
| 所管 | 危機管理課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|------------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 昭和54年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市自主防災対策事業補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-1-2 | 施策名: 地域防災力の向上 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市地域防災計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 南海トラフ、相模トラフの地震、富士山噴火などの災害に対する地域防災力向上のため、自主防災組織の育成を図る。 |
| 対象 | 自主防災会(59区) |
| 手段 | ①自主防災資機材等の整備に係る補助金を交付する。 ②防災訓練等の活動に係る交付金を交付する。 ③出前講座、各種研修会等を実施する。 |
| 成果 | ①防災資機材等の充実により、災害応急対策が円滑に実施され、被害の軽減を図ることができる。 ②自主防災活動が活性化され、地域の防災力が向上する。 ③防災意識の高揚を図ることができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 南海トラフ、相模トラフの地震の切迫性や富士山噴火、土砂災害などに対しての、住民の防災意識が高まっている。広域な災害が懸念される中で、これまでの災害の教訓から自助や共助の重要性が高まっており、地域の実状に応じた防災力の強化が求められている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとの防災マップの見直しを行い、全戸配布を実施。 ・地域の防災意識の高揚や防災力の向上を目的とした防災出前講座を継続的に実施。 ・自主防災会の活動チェックリストを活用した自主防災会の防災力の見直しの実施。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------------------|--------|--------------------------|--------------------------|--------|
| 事業内容 | ・自主防災対策事業補助金(資機材整備等) | | ・自主防災対策事業補助金(資機材整備等) | ・自主防災対策事業補助金(資機材整備等) | |
| | ・自主防災会交付金(防災訓練経費等) | | ・自主防災会交付金(防災訓練経費等) | ・自主防災会交付金(防災訓練経費等) | |
| | ・自主防災会連合会交付金(防災リーダー研修会等) | | ・自主防災会連合会交付金(防災リーダー研修会等) | ・自主防災会連合会交付金(防災リーダー研修会等) | |
| 事業費 | | 12,000 | 13,000 | 12,000 | 37,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 1,050 | 1,050 | 1,050 | 3,150 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 3,722 | 4,222 | 3,722 | 11,666 |
| 一般 | 7,228 | 7,728 | 7,228 | 22,184 | |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|----------------|------|----------|
| 事業名 | 防災行政無線整備(更新)事業 | 整理番号 | 3105-010 |
| 所管 | 危機管理課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|------------|----------|-------------------------|
| 事業期間 | 昭和57年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市同報無線条例 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-1-5 | 施策名: 情報発信ツール及び資機材などの整備 |
| | 関連施策: | 7-9-1 | 施策名: 演習場の使用に伴う諸障害の防止・軽減 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市地域防災計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 防災行政無線により、演習場利用計画、防災・災害情報、市からのお知らせ等の周知を図る。 |
| 対象 | 御殿場市内に住民登録をしている世帯 |
| 手段 | 防災行政無線親局・子局の整備及び対象世帯への戸別受信機の設置(貸与)を行う。 |
| 成果 | 防災行政無線の放送により、演習場利用計画、防災・災害情報、市からのお知らせ等の情報を得て、状況に応じて適切な行動をとることができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 現在使用している防災行政無線設備は、平成8年度から順次設置しているものであり、耐用年数を超過し、故障等も発生している。アナログ波が使用できなくなることを踏まえ、親局や屋外子局はデジタル化した。今後は戸別受信機のデジタル対応機種への更新が必要となる。市民と市をつなぐ重要な情報伝達手段であり、市民からのニーズが高く、転入世帯等への新規設置が求められる。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成18年度には平成32年度までにデジタル化をする予定だったが、国庫補助を利用することにより平成24年度、平成25年度に親局、屋外子局をデジタル化し、平成26年度以降に新規に設置する戸別受信機についてもデジタル対応機種にし、平成29年度から17年間でデジタル機種への更新を行う。平成26年度より財産区より繰入れを実施している。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-----------------------------|--------|--------|--------|---------|
| 事業内容 | 新規設置及び既設戸別受信機の更新 併せて 1,500台 | | | | |
| | 新規設置及び既設戸別受信機の更新 併せて 1,500台 | | | | |
| 事業費 | | 81,000 | 81,000 | 81,000 | 243,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | 61,357 | 61,357 | 61,357 | 184,071 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 8,522 | 8,522 | 8,522 | 25,566 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 11,121 | 11,121 | 11,121 | 33,363 | |
| (投資) | 11,121 | 11,121 | 11,121 | 33,363 | |

| | | | |
|-----|---------------------|------|----------|
| 事業名 | 事業所用同報無線戸別受信機設置補助事業 | 整理番号 | 3105-020 |
| 所管 | 産業部 商工観光課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|---------------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | 事業所用同報無線戸別受信機設置補助金交付要綱(仮) |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-1-5 | 施策名: 情報発信ツール及び資機材などの整備 |
| | 関連施策: | 3-1-2 | 施策名: 地域防災力の向上 |
| 戸別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 市内の各世帯には、同報無線の戸別受信機が無償で貸与されているが、企業及び事業所については無償ではなく有償での設置となっており、その普及率は極めて低い。有事の際に市内の事業所で働く方や事業主は情報を入手する手段が限られてしまうため、事業所向けの同報無線戸別受信機の設置を推進する。 |
| 対象 | 概ね従業員4人以上の市内企業及び事業所 |
| 手段 | 戸別受信機を設置する企業に対し、その設置費用の一部(3万円)を負担する。 |
| 成果 | 多くの市民は市内の事業所等に勤務しており、戸別受信機が設置されている自宅にいる時間は意外と少ない。現在の状況では、戸別受信機で情報を流している災害などの市における最新の状況が多くの市民に伝わっておらず、有事の際には避難誘導等に大きな課題がある。企業に戸別受信機を設置する事で企業側が従業員に情報を伝達する事や、企業側としても独自の対策が検討できるなど効果は非常に高い。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 副市長の企業訪問においても、各事業所に戸別受信機を設置してほしいとの要望が多かった。企業も従業員の安全を第一に考えてBCPや独自の行動計画を策定しているため、有事の際の初動体制を迅速にかつ的確に判断をするため、戸別受信機で正確な情報や状況を確認・把握できることは非常に重要だと考えている。 設置費用の一部を補助することで、事業所が戸別受信機を設置しやすい環境を作る。 また、事業所や企業に対する市のサービスが悪いと感じている企業は多い。 (広報誌の配布が無いなども含め) |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 補助金交付 | | 補助金交付 | 補助金交付 | |
| 事業費 | | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 御殿場市庁舎東館建設事業 | 整理番号 | 3106-010 |
| 所管 | 総務部 総務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成23年度～平成29年度 | 根拠法令・要綱等 | 建築物の耐震改修の促進に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-1-6 | 施策名: 公共施設などの耐震化の推進 |
| | 関連施策: | 7-6-1 | 施策名: 市民サービスの向上 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 「建築物の耐震改修の促進に関する法律」に基づき耐震診断をした結果、耐震性能が劣るとされた議会棟、現業棟及び西館の機能を移転し、分館及びBE-ONE分室の機能を併せ、本庁舎と一体として市役所機能の耐震化を補完する。 |
| 対象 | 来庁者 |
| 手段 | 議会棟、現業棟、西館及び分館の機能を移転し、BE-ONE分室の機能を含めて本庁舎と一体利用するため、御殿場市庁舎東館を建設する。 |
| 成果 | 市の事務事業を執り行う建物の耐震性能が補完され、来庁者及び職員の安全が確保される。また、防災拠点としての機能継続を図ることができる。加えて、本庁舎と併設すること及び出先機関の一部を戻すことにより、市民サービス部門の集約による利便性の向上が見込める。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 耐震診断の結果、静岡県耐震判定指標値を下回ることが判明したことから、予想される相模トラフ地震、南海トラフ地震、東海地震及び富士山噴火に対応するため、耐震性能の劣る施設の機能移転が求められた。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成15年から新庁舎建設の検討を重ね、本庁舎と渡り廊下で接続する新庁舎を建設する計画を進めてきたが、平成21年度に入り本庁舎と接続できないことが判明したため、計画の進行を一時中断していた。平成22年度に入り、議会棟の機能移転を最優先にするべく、検討を再開した。平成23年度に調査研究を進め平成24年度に基本実施設計契約を締結した。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

3,038,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--|---------|--------|--------|---------|
| 事業内容 | 西館・議会棟解体工事 | | | | |
| | 工事監理 外構工事(Ⅲ期) 本庁舎改修工事 付帯修繕、備品購入 | | | | |
| 事業費 | | 475,000 | | | 475,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 349,000 | | | 349,000 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | 9,000 | | | 9,000 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 117,000 | | 0 | 0 |
| (投資) | 117,000 | | | | 117,000 |

| | | | |
|-----|---------------|------|----------|
| 事業名 | 富士岡支所移転構想策定事業 | 整理番号 | 3106-020 |
| 所管 | 総務部 総務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成29年度 ~ 平成29年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-1-6 | 施策名: 公共施設などの耐震化の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 地区コミュニティ拠点としての機能向上や支所利用者の利便性の向上に加え、災害時における防災拠点としての機能強化を図る。 |
| 対象 | 市民(主に富士岡地区民) |
| 手段 | 富士岡支所移転に関する基本方針や移転先の選定、施設の規模、配置等について、富士岡地区関係団体の代表からなる委員会を組織して、その中で移転構想を取りまとめる。 |
| 成果 | 構想の策定により、地区民に安心感が生まれるとともに、支所移転改築に向け事業を進めていく。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 昭和62年に建設された富士岡支所は、狭あいな敷地や施設利用者の増加により駐車場や会議室等が慢性的に不足しており、高齢者や障がい者などバリアフリーへの対応も不十分な状況である。また、想定される南海トラフ・相模トラフ沿いの地震及び富士山噴火に対応するための防災拠点としての機能強化が求められている。その中で、平成26年10月に富士岡地区区長会から富士岡支所移転に関する要望書が提出された。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

1,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 支所移転構想策定 | | | | |
| 事業費 | | 1,000 | | | 1,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 1,000 | 0 | 0 | 1,000 |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 林業会館リニューアル事業 | 整理番号 | 3106-030 |
| 所管 | 総務部 総務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-1-6 | 施策名: 公共施設などの耐震化の推進 |
| | 関連施策: | 5-1-1 | 施策名: 新・省エネルギーの導入推進 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 林業会館は昭和55年に竣工し、平成8年に耐震改修工事を行ったが、経年による劣化が目立ち始めたため、内外装及び設備等の改修を行い、もって住民の営林活動や地域振興の向上に資する施設とするとともに、災害対策本部御殿場支部の機能を強化する。 |
| 対象 | 市民(主に御殿場地区住民) |
| 手段 | リニューアル調査及び実施設計に基づき、林業会館リニューアル工事等を行う。 |
| 成果 | 営林及び地域振興に資する施設が整備され、利用者の利便性が確保される。 また、自家発電設備の更新により災害対策本部御殿場支部の機能強化が図られるとともに、空調や照明設備等の改修も行うことから、省エネルギー化の促進も見込める。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 昭和55年に竣工し、平成8年に耐震改修を行って以降、外装・内装ともに手を加えていないため、経年劣化により補修が必要となる部分が増えており、施設利用の面からも施設維持管理の面からも機能の充実が求められている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成29年度に概算要求を行うとともに、林業会館リニューアル調査及び実施設計を行う。 平成30年度には実施設計に基づき、林業会館リニューアル工事(建築・電気・機械)、修繕事業を行う。それに先立ち、平成28年度中に南関東防衛局と防衛補助についての事前交渉に着手する。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

144,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------------|--------|-----------------|--------|---------|
| 事業内容 | ①調査業務委託 | | ①外壁・内装等改修工事 | | |
| | ②実施設計業務委託 | | ②自家発電・空調設備等改修工事 | | |
| | ③アスベスト・PCB等調査 | | | | |
| 事業費 | | 12,000 | 132,000 | | 144,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 12,000 | 132,000 | | 144,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|
| 事業名 | 消防団車両整備事業 | 整理番号 | 3203-010 |
| 所管 | 御殿場市・小山町広域行政組合 消防本部 警防課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | ～ | 根拠法令・要綱等 | 消防組織法第1条 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-2-3 | 施策名: 消防力の強化 |
| | 関連施策: | 7-9-2 | 施策名: 民有諸権利の擁護及び民生安定事業の推進 |
| 個別計画での位置づけ | 消防団車両整備計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 消防団が各種の災害から市民の生命、身体、財産を守り、安心安全の保持を目的に機能低下、老朽化した消防ポンプ自動車等を更新し、消防力の充実、強化を図る。 |
| 対象 | 地域住民(御殿場市全域) |
| 手段 | 地域の防災拠点にある消防ポンプ自動車等を更新し、消防力の充実強化を図る。 |
| 成果 | 地域防災力の向上、並びに消防団員の士気の高揚、組織の団結力の強化及び活性化を図る。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 防災拠点に消防ポンプ自動車等を更新配置し、円滑な消防活動により、被害を最小限に阻止し、地域住民の生命、財産を保護する。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成22年度の緊急事業仕分けにより、車両使用期間を17年間としたが、防衛概算要求車両の手続きが変更されたことにより、車両使用期間を15年に戻す。団車両は、防衛9条の適用外とする。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|---|------------|--------|
| 事業内容 | | 消防ポンプ自動車の更新 ・第4分団第1部(中畑) ・第2分団第2部(竈)防衛8条 | 消防ポンプ自動車の更新 ・第1分団第7部(東山) ・第2分団第4部(駒門)防衛8条 | 消防団本部車両の更新 | |
| 事業費 | | 45,000 | 45,000 | 5,000 | 95,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | 7,277 | 7,277 | | 14,554 |
| | 県補 | 7,277 | 7,277 | | 14,554 |
| | 市債 | 19,400 | 20,100 | | 39,500 |
| | 財繰 | 4,394 | 4,394 | 1,250 | 10,038 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | 1,000 | | | 1,000 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 5,652 | 5,952 | 3,750 | 15,354 |
| | | 5,652 | 5,952 | 3,750 | 15,354 |

| | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|
| 事業名 | 消防団活性化事業 | 整理番号 | 3203-030 |
| 所管 | 御殿場市・小山町広域行政組合 消防本部 警防課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-------------------|
| 事業期間 | 平成20年度～ | 根拠法令・要綱等 | 消防組織法第1条 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-2-3 | 施策名: 消防力の強化 |
| | 関連施策: | 7-3-2 | 施策名: 市民活動団体等の育成支援 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 消防団の活性化のために、活動の充実化、魅力ある活動の推進を図る。 |
| 対象 | 地域住民(御殿場市内全域) |
| 手段 | 消防団活動の重要性に対する家族の理解と協力を深めるため、「防火・交通のつどい」の開催をする。また、更なる活性化に向け、課題や方策について具体的に検討を継続する。 |
| 成果 | 消防団員の確保対策等により活性化を図り、地域住民の安心・安全の確保を図る。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 魅力ある消防団、入団促進できる環境、体制作りにより団員の確保を図り、もって住民の付託に応える。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 団員確保の課題を調査検討し、解決のための方策を策定し、それに基づき実施する。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------------------|-----|--------|-------------------------------|--------|-------|
| 事業内容 | | | 消防団活性化対策事業 「第16回防火・交通のつどい」 | | |
| 事業費 | | | 3,000 | | 3,000 |
| 財 源 内 訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 0 | 3,000 | 0 | 3,000 |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|--------------------------|------|----------|
| 事業名 | 東富士演習場内治山治水対策事業(3条:受託事業) | 整理番号 | 3301-010 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------------------|
| 事業期間 | 昭和34年度～ | 根拠法令・要綱等 | 東富士演習場内治山治水事業に関する委託契約及び委託要領 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-3-1 | 施策名: 災害に強い山(森林)づくりの推進 |
| | 関連施策: | 7-9-1 | 施策名: 演習場の使用に伴う諸障害の防止・軽減 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 演習場内の洪水・土砂被害等の防止を図る。 |
| 対象 | 演習場内における洪水・土砂等による障害の防止又は軽減の必要な箇所 |
| 手段 | 防衛施設周辺の生活環境の整備などに関する法律第3条の障害防止工事に基づき国(防衛省)より委託を受け、年次計画により演習場内の治山治水工事(全額国費負担)を実施する。あわせて演習場内の砂塵防止対策として駒門道の舗装工事を実施し、障害の軽減を図る。 |
| 成果 | 演習場内及び周辺地域の洪水、土砂被害等の防止・軽減が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 演習場使用協定に基づき実施する。 東富士演習場土地賃貸借契約に関する要望に基づき実施する。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 駒門道の舗装工事を実施することにより、砂塵による被害が軽減され、民生安定が図られる。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|---|---------|
| 事業内容 | | 流路工工事 L=240m 流路工等調査・設計 N=1箇所 調節池法面整正工 N=5箇所 調整池等排砂工 N=2箇所 道路舗装 L=500m | 流路工工事 L=240m 流路工等調査・設計 N=1箇所 調節池法面整正工 N=5箇所 調整池等排砂工 N=2箇所 道路舗装 L=500m | 流路工工事 L=240m 流路工等調査・設計 N=1箇所 調節池法面整正工 N=5箇所 調整池等排砂工 N=2箇所 道路舗装 L=500m | |
| 事業費 | | 183,000 | 183,000 | 183,000 | 549,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | 183,000 | 183,000 | 183,000 | 549,000 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 緑地帯設置等事業 | 整理番号 | 3301-020 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-------------------------|
| 事業期間 | 昭和36年度～ | 根拠法令・要綱等 | 東富士演習場内緑地帯設置等委託要領 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-3-1 | 施策名: 災害に強い山(森林)づくりの推進 |
| | 関連施策: | 7-9-1 | 施策名: 演習場の使用に伴う諸障害の防止・軽減 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 演習場使用協定に基づいて造成された国有地内の防災水源林及び緑地帯の適切な管理による公益的機能の発揮。 |
| 対象 | 演習場内の約487haの森林 (大日堂 289ha、一木塚 6ha、営舎 3ha、トウジゴヤ 113ha、畑岡 1ha、井戸沢 5ha、大野原70ha) |
| 手段 | 国(防衛省)からの受託により、植林地の撫育管理を行う。 |
| 成果 | 国有地内防災水源林及び緑地帯の公益的機能が発揮される。 |

| | |
|----------------|------------------|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 演習場使用協定に基づき実施する。 |
|----------------|------------------|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | ・場内の一部の区域について、松くい虫対策として樹種転換を実施している。 ・植栽年度を表示する標識柱の再設置を推進する。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------------|--------|--------|--------|---------|
| 事業内容 | 植林地の撫育管理等 100ha | | | | |
| | 植林地の撫育管理等 100ha | | | | |
| 事業費 | | 44,000 | 44,000 | 44,000 | 132,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | 44,000 | 44,000 | 44,000 | 132,000 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|----------------|------|----------|
| 事業名 | 河川改修事業(市単独事業分) | 整理番号 | 3302-010 |
| 所管 | 都市建設部 道路河川課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 昭和61年度～ | 根拠法令・要綱等 | 静岡県準用河川等改修費補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-3-2 | 施策名: 河川の改修及び維持管理 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|-----------------------------|
| 目的 | 浸水被害・沿線侵食等の災害防止を図る。 |
| 対象 | 市民全般 |
| 手段 | 普通河川の部分的な修繕及び全面的な河川改修整備を行う。 |
| 成果 | 災害防止対策、生活環境の改善が促進される。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 大雨時の災害防止及び濁水時の生活雑排水等による悪臭対策としての要望が強い。 近年の気象変動による局地的な豪雨等による浸水不安の解消。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---|---------|---|---|---------|
| 事業内容 | 河川修繕 印野水路 矢倉川 抜川支川 久保川支川 星台川 外 | | 河川修繕 印野水路 矢倉川 抜川支川 久保川支川 黄瀬川 外 | 河川修繕 印野水路 矢倉川 抜川支川 久保川支川 押出川 外 | |
| | 事業費 | 113,000 | 127,000 | 136,000 | 376,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 72,200 | 76,300 | 93,600 | 242,100 |
| | 財繰 | 32,760 | 42,160 | 31,960 | 106,880 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 8,040 | 8,540 | 10,440 | 27,020 | |
| (投資) | 8,040 | 8,540 | 10,440 | 27,020 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 防犯まちづくり推進事業 | 整理番号 | 3402-010 |
| 所管 | 市民部 暮らしの安全課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-------|----------|----------------|
| 事業期間 | ～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市防犯まちづくり条例 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-4-2 | 施策名: 防犯設備の整備 |
| | 関連施策: | 3-4-1 | 施策名: 地域防犯活動の支援 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 犯罪が発生しにくい地域を目指し、防犯活動を推進する。 |
| 対象 | 全市民 |
| 手段 | 防犯灯の設置に係る補助金と、維持管理経費を援助するための交付金を交付する。 地域の小学校区を中心とした自主的防犯活動に補助金を交付し、見守り隊などの組織活動の推進を図るとともに、自主防犯活動団体等連絡会を活用し、各団体との情報共有を図る。 防犯協会・警察署と協働し、各区や小学校などで防犯教室を開催する。 |
| 成果 | 防犯灯設置や青色回転灯パトロールなどにより、犯罪が発生しにくい環境づくりができる。 地域の自主的な声かけにより防犯に対する意識が高揚し、犯罪件数が減少する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 犯罪を未然に防ぐために地域の防犯活動が重要であるため、各小学校区の自主的防犯組織の活動を継続するとともに、自治会単位で防犯教室を開催する動きなど、防犯まちづくりが進みつつある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 防犯まちづくりに向けて、警察関係機関等との連携が重要となるため、平成22年度から防犯指導員(警察官OB)を採用し、的確なアドバイスを受けながら推進を図っている。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------------------|-----|---|---|---|--------|
| 事業内容 | | ・防犯灯の設置と維持管理 ・青色回転灯パトロール ・自主的防犯活動への補助、 情報提供 ・防犯教室の開催 ・防犯指導員の雇用 | ・防犯灯の設置と維持管理 ・青色回転灯パトロール ・自主的防犯活動への補助、 情報提供 ・防犯教室の開催 ・防犯指導員の雇用 | ・防犯灯の設置と維持管理 ・青色回転灯パトロール ・自主的防犯活動への補助、 情報提供 ・防犯教室の開催 ・防犯指導員の雇用 | |
| 事業費 | | 31,000 | 31,000 | 31,000 | 93,000 |
| 財 源 内 訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 21,165 | 21,165 | 21,165 | 63,495 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 4,500 |
| | 一般 | 8,335 | 8,335 | 8,335 | 25,005 |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 市民相談事業 | 整理番号 | 3501-010 |
| 所管 | 市民部くらしの安全課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|------------------|
| 事業期間 | ～ | 根拠法令・要綱等 | 消費者安全法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-5-1 | 施策名: 消費生活相談体制の強化 |
| | 関連施策: | 3-5-2 | 施策名: 消費者教育の推進 |
| 個別計画での位置づけ | 消費者教育推進計画(仮称) | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 市民からの様々な相談に対応し、市民の抱えている不安や悩みの解消を図る。 |
| 対象 | 全市民 |
| 手段 | 消費生活相談員を配置した消費生活センターを開設し、相談や斡旋を行い、また消費生活講座等を開催し、情報や資料の提供を行う。弁護士による法律相談窓口、交通事故相談窓口、ポルトガル語とスペイン語による生活相談窓口、臨床心理士によるこころの健康相談を開設する。 |
| 成果 | 消費者問題に係る被害の発生や拡大を防止する。法的裏付けのある対応で市民の不安が取り除かれる。また、交通事故の被害者・加害者の疑問、外国人の身近な疑問、こころの健康への不安に対応ができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市民が生活していく上で生じる様々な不安や問題を、解決に導くための身近な相談窓口が求められている。近隣や親族の人間関係が希薄になる一方で、複雑化多様化する社会情勢の中、相談の内容も年々広範囲に広がっている。消費者被害回復のための相談と合わせ、消費者被害に遭わないための対策や、消費者が安心して安全で豊かな消費生活を営むことができるようになるための消費者教育が求められている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 法律相談は、平成22年度から月18件を月20件に増加、平成24年度10月から月24件に増加、平成25年度から月30件に増加した。スペイン語・ポルトガル語による生活相談は、平成16年度に週2日から3日に、平成22年度に納税相談強化のため週4日に、平成28年度から週5日に増加した。平成23年度にこころの健康相談を開設した。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|---|---|--------|
| 事業内容 | 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> 法律相談・消費生活相談 交通事故相談 スペイン語、ポルトガル語による生活相談 こころの健康相談 消費者教育推進計画策定 迷惑電話防止装置設置 消費者教育コーディネーター配置 | <ul style="list-style-type: none"> 法律相談・消費生活相談 交通事故相談 スペイン語、ポルトガル語による生活相談 こころの健康相談 迷惑電話防止装置設置 消費者教育コーディネーター配置 | <ul style="list-style-type: none"> 法律相談・消費生活相談 交通事故相談 スペイン語、ポルトガル語による生活相談 こころの健康相談 迷惑電話防止装置設置 消費者教育コーディネーター配置 | |
| | 事業費 | 27,000 | 23,000 | 23,000 | 73,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 8,600 | 4,600 | 4,600 | 17,800 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 18,400 | 18,400 | 18,400 | 55,200 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 交通安全推進事業 | 整理番号 | 3601-010 |
| 所管 | 市民部くらしの安全課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|------------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 昭和47年度～ | 根拠法令・要綱等 | 交通安全対策基本法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-6-1 | 施策名: 交通安全教育・啓発の強化 |
| | 関連施策: | 3-6-2 | 施策名: 交通安全に関する団体との連携 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市交通安全計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 交通安全道徳の高揚を図り、交通事故の発生を防止する。 |
| 対象 | 全市民 |
| 手段 | 交通指導員による歩行者、自転車走行者等への安全通行街頭指導を実施する。 交通安全指導員との協働により、交通教室、自転車教室等を開催する。 交通安全対策委員会、交通安全会連合会による組織や地域での交通安全対策を実施する。 |
| 成果 | 各年代に向けて、様々な機会を捉えて交通安全意識の高揚を図ることにより、交通事故が減少する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 昭和47年御殿場市民間交通指導員会発足、昭和48年御殿場市交通指導員会に改称し、専門的な研修を受けた交通指導員による指導は有効かつ効果的である。また市全体の交通安全対策に指導員と安全指導員の存在は重要な位置を占めており、今後も悲惨な交通事故を一件でも減らすために、交通安全に対する意識の高揚を図る必要がある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成18年4月に交通指導員の定数を45人以内から50人以内と規則を改正し、増員による配置体制の整備をした。年々高齢者事故割合が増加しているため、高齢者の事故防止対策として、平成28年度に高齢者運転免許証自主返納支援事業(タクシー券交付)を開始した。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|--------|
| 事業内容 | | <ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の街頭指導(週3日) 交通安全・自転車教室(幼保全園・小中全校・協力する区) 交通安全運動(年4回) 高齢者運転免許証自主返納支援(タクシー券交付)事業 | <ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の街頭指導(週3日) 交通安全・自転車教室(幼保全園・小中全校・協力する区) 交通安全運動(年4回) 高齢者運転免許証自主返納支援(タクシー券交付)事業 | <ul style="list-style-type: none"> 交通指導員の街頭指導(週3日) 交通安全・自転車教室(幼保全園・小中全校・協力する区) 交通安全運動(年4回) 高齢者運転免許証自主返納支援(タクシー券交付)事業 | |
| | 事業費 | 22,000 | 22,000 | 22,000 | 66,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 22,000 | 22,000 | 22,000 | 66,000 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 交通安全施設整備事業 | 整理番号 | 3605-010 |
| 所管 | 都市建設部 管理維持課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-------------------|
| 事業期間 | 昭和61年度～ | 根拠法令・要綱等 | 道路維持修繕要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-6-5 | 施策名: 交通安全施設・設備の整備 |
| | 関連施策: | 6-6-2 | 施策名: 生活道路の整備 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 歩行者及び一般車両の安全確保を図る。 |
| 対象 | 主要道路の歩行者及び一般車両 |
| 手段 | 歩道と車道の分離、交差点改良及び道路反射鏡等交通安全施設の設置を行う。 |
| 成果 | 歩道の整備や交差点を改良するとともに、道路反射鏡等を設置し交通事故を減少させる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 車両の通行量が多くなり、歩道のない道路での歩行者の安全確保と交通事故の減少が求められている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------|
| 事業内容 | | 市道0216号線 カーブミラー設置及び区画線 | 市道0216号線 カーブミラー設置及び区画線 | 市道0216号線 カーブミラー設置及び区画線 | |
| 事業費 | | 46,000 | 46,000 | 46,000 | 138,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 7,200 | 7,200 | 7,200 | 21,600 |
| | 財繰 | 24,666 | 24,666 | 24,666 | 73,998 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 14,134 | 14,134 | 14,134 | 42,402 | |
| (投資) | 14,134 | 14,134 | 14,134 | 42,402 | |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 発達障害児支援事業 | 整理番号 | 4102-010 |
| 所管 | 教育部 学校教育課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成19年度～ | 根拠法令・要綱等 | 発達障害者支援法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-1-2 | 施策名: 豊かな感性を育む教育の充実 |
| | 関連施策: | 2-1-5 | 施策名: 発達障害児(者)の支援体制の充実 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 通常の学級に在籍する、発達障害あるいはその疑いのある児童・生徒の学習等を、計画的に支援することを目的として支援員を配置し、特別支援教育の充実を図る。 |
| 対象 | 小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害のある児童・生徒 |
| 手段 | 通常の学級に在籍する発達障害のある児童・生徒の合計が概ね10人以上の学校を対象に、学校の実情に応じて支援員を配置し、個別の支援を行う。 |
| 成果 | 通常の学級に在籍する発達障害のある児童・生徒に、支援員が寄り添い個別支援することで、当該児童・生徒の適正な発達を促すとともに、その学級の他の児童・生徒への授業も落ち着いて行うことができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 御殿場市では、発達障害あるいはその疑いのある児童・生徒が、平成27年度の調査で約9.8%在籍しており、状況によっては担任が発達障害のある児童・生徒に掛かり切りになることもある。支援員が配置されることで、安定した学習活動を展開することができる。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 通常の学級に在籍する発達障害あるいはその疑いのある児童・生徒の割合は、全国平均の6.5%と比較すると高い傾向にある。そのため今後も支援員を適切に配置し、当該児童・生徒に対する個別の支援をしていく必要がある。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|--------|
| 事業内容 | | 通常の学級に在籍する発達障害あるいはその疑いのある児童・生徒の合計が10人以上の学校に支援員を派遣する。 | 通常の学級に在籍する発達障害あるいはその疑いのある児童・生徒の合計が10人以上の学校に支援員を派遣する。 | 通常の学級に在籍する発達障害あるいはその疑いのある児童・生徒の合計が10人以上の学校に支援員を派遣する。 | |
| 事業費 | | 30,000 | 32,000 | 32,000 | 94,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 30,000 | 32,000 | 32,000 | 94,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 特別支援教育推進事業 | 整理番号 | 4102-020 |
| 所管 | 教育部 学校教育課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------------|
| 事業期間 | 平成16年度～ | 根拠法令・要綱等 | 静岡県における今後の特別支援教育の在り方(最終報告) |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-1-2 | 施策名: 豊かな感性を育む教育の充実 |
| | 関連施策: | 2-1-5 | 施策名: 発達障害児(者)の支援体制の充実 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 通常の学級に在籍している、LD、ADHD、高機能自閉症等(疑いも含む)の児童・生徒を早期に発見し、支援を図る。 |
| 対象 | 小・中学校の児童・生徒 |
| 手段 | 各小・中学校の要請により特別支援教育士を派遣し、各校の特別支援教育コーディネーターと連携して実態の把握と指導助言を行う。また、専門家チーム(特別支援教育有識者・心理学専門家等)の会議において、特別支援教育士の情報を基に、望ましい支援方法・支援体制等について指導助言を行う。 |
| 成果 | 指導の場において障害についての専門的な知識を有する職員が、専門家チームの助言を基に訪問して指導を行うことにより、個々の障害に応じた教育的ニーズに適切に応えることができる。また、児童・生徒の状態によっては、学習場面に加えて、学校生活全般においても学校体制で継続的な支援が可能となる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 通常の学級で特別な教育的支援が必要な児童・生徒は、平成27年度の調査で約9.8%在籍しているが、担任が特別な支援を必要とする児童・生徒に掛かり切りになる場合もある。専門家からの指導・助言により組織的な指導が行われ、必要に応じて他の教職員の支援を得ながら学習活動等の展開が可能となる。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成16年度、県教育委員会の研究指定地区になり、臨床心理士の指導助言も得られる組織を確立。平成18年度からは、専門家によるスーパーバイザー的役割と巡回相談を連携させ、平成19年度より年8回の専門家チーム会議を実施し、平成25年度より従来の1校あたり4時間の巡回と1校につき7時間程度学校訪問をし、児童・生徒の1日の様子を見て相談支援できるよう変更。平成27年度からは学校の要望として、より専門的な助言を求められているため、特別支援教育士を雇用し、教育的ニーズに適切に応えている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|-------|
| 事業内容 | | 専門家チームに特別支援教育士や臨床心理士等を配置し、年4回の支援会議を開催。特別支援教育士を1人雇用し、小・中学校の要請により派遣し、支援会議にも出席する。 | 専門家チームに特別支援教育士や臨床心理士等を配置し、年4回の支援会議を開催。特別支援教育士を1人雇用し、小・中学校の要請により派遣し、支援会議にも出席する。 | 専門家チームに特別支援教育士や臨床心理士等を配置し、年4回の支援会議を開催。特別支援教育士を1人雇用し、小・中学校の要請により派遣し、支援会議にも出席する。 | |
| 事業費 | | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 9,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 9,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 外国人英語指導者配置事業 | 整理番号 | 4103-010 |
| 所管 | 教育部 学校教育課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成4年度 ～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-1-3 | 施策名: 確かな知性を育む教育の充実 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | ネイティブ・スピーカーとの交流を通して、正しい英語の発音や異なる文化等を体験的に理解するため、外国人英語指導者との外国語(英語)活動を行うことにより、コミュニケーション能力の向上及び英語能力の向上を図るとともに、異文化理解を深める。 |
| 対象 | 小・中学校の児童・生徒 |
| 手段 | 各小・中学校へ外国人英語指導者を配置し、教員と連携して外国語活動(英語)の授業を行う。外国人英語指導者の授業時間は、1日あたり4～5時間を目安。小学校は、5・6年生を基本として1学級年間35時間、中学校は、1学級あたり週1回は配置。あわせて、学校生活全般において、外国人英語指導者が児童・生徒と関わる環境作りをする。 |
| 成果 | 小学生:外国人から英語を学ぶことで、英語の音声やリズムに慣れ親しむとともに、コミュニケーションを図る楽しさを体験し、外国の文化を直接体験できる。中学生:ネイティブな英語に接することで英語を話す力や、聞く力が向上する。また、異文化を理解することができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 小学校では「小学校3、4年生の外国語活動」「小学校5、6年生の外国語教科化」が平成30年度から実施され、平成32年度に完全実施される見通しとなっている。小学校5、6年生は週2時間、小学校3、4年生は週1時間を想定していることから、指導体制強化のため、外国人英語指導者(ALT)の確保が必要となる。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成19年度より指導者数を1人増やし、9人体制で対応している。1学級あたりの年間平均時数が小学校で17時間、中学校で35時間から38時間に増大した。また、平成30年度より小学校3、4年生の外国語活動の実施が予定されている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|--|---------|
| 事業内容 | | 外国人英語指導者9人を委託。教員と連携して小学校では外国語活動を中学校では英語の授業を行う。夏季休業中は研修会を指導。 | 外国人英語指導者9人を委託。教員と連携して小学校では外国語活動を中学校では英語の授業を行う。夏季休業中は研修会を指導。 | 外国人英語指導者12人を委託。教員と連携して小学校では外国語活動を中学校では英語の授業を行う。夏季休業中は研修会を指導。 | |
| 事業費 | | 40,000 | 40,000 | 60,000 | 140,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 23,600 | 23,600 | 34,900 | 82,100 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 16,400 | 16,400 | 25,100 | 57,900 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 多人数学級支援事業 | 整理番号 | 4103-020 |
| 所管 | 教育部 学校教育課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成16年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-1-3 | 施策名: 確かな知性を育む教育の充実 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 小・中学校における個に応じた指導の充実を図る。 |
| 対象 | 小・中学校において、1学級が36人以上の多人数の学級がある学年 |
| 手段 | 小・中学校において1学級の人数が36人以上の学校を対象として、教員免許を有する者を支援員として配置する。配置する人数は学校の実情に応じ、36人以上の学級が1学級以上で1人、7学級～11学級で2人、12学級以上で3人とし、上限を3人までとする。 |
| 成果 | 担任教師がじっくりと児童・生徒に関わることが可能となるため、教科指導、生活指導が行き届き、きめ細やかな指導を行うことができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 国の措置において平成23年度から小学校1年生、平成24年度から2年生が35人学級となり、静岡式35人学級については、平成25年度から小学校1・2年生を除く全学年が対象となったため指導が充実しつつある。一方で静岡式35人学級には25人の下限があることから、1学年の人数が71人から74人の学年については、36人を超える多人数学級になる可能性が引き続き残っている。このことから多人数学級でも35人以下の学級と同様、担任がきめ細やかな指導ができるよう引き続き市で対応する必要がある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 静岡式35人学級については、引き続き36人以上となる学級が小・中を問わず出てくる可能性があるため、平成23年度から小学校に限定していた多人数学級支援員の配置を中学校にも広げ、平成26年度から事業名を「小学校多人数学級支援事業」から「多人数学級支援事業」に改めた。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|--------|
| 事業内容 | | 支援員3人を雇用し、多人数(36人以上)の学級がある小・中学校を対象に配置する。 | 支援員を雇用し、多人数(36人以上)の学級がある小・中学校を対象に配置する。(支援員の雇用人数は国・県の動向や学級編制により変動。) | 支援員を雇用し、多人数(36人以上)の学級がある小・中学校を対象に配置する。(支援員の雇用人数は国・県の動向や学級編制により変動。) | |
| 事業費 | | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 21,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 21,000 |

| | | | |
|-----|----------------|------|----------|
| 事業名 | 青少年のための科学の祭典事業 | 整理番号 | 4103-030 |
| 所管 | 教育部 社会教育課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成18年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-1-3 | 施策名: 確かな知性を育む教育の充実 |
| | 関連施策: | 4-1-12 | 施策名: 青少年の健全育成 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 実験や観察、工作等の科学的体験を通じて、科学の面白さや不思議さを実感させることにより、青少年の科学に対する知的好奇心を高め、豊かな発想や創造性の育成を図る。 |
| 対象 | 青少年 |
| 手段 | 科学、技術、工学などをテーマにした30前後のブースを設置し、縁日の屋台のように子どもから大人まで一緒になって楽しめる実験や工作を展開する。事業は実行委員会を組織し、交付金により実施する。 |
| 成果 | 青少年の科学に対する知的好奇心を高め、豊かな発想や創造性の育成を図ることができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 第1回は(財)日本科学技術振興財団・科学技術館の主催により実施した。第2回からは、規模を縮小し実施しているが、市民の人气が高く、継続開催を望む意見が多い。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 市の交付金と協賛金等の限られた予算の中で実施している。また、出展者の負担軽減のため、平成22年度から隔年開催、平成23年度からは開催月を11月に変更、平成25年度からは1日開催としている。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------------------|-----|--|--------|--|-------|
| 事業内容 | | 「青少年のための科学の祭典 富士山大会 in ごてんば」交 付金 | | 「青少年のための科学の祭典 富士山大会 in ごてんば」交 付金 | |
| 事業費 | | 2,000 | | 2,000 | 4,000 |
| 財 源 内 訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | 800 | | 800 | 1,600 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 1,200 | 0 | 1,200 | 2,400 |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|---------------|------|----------|
| 事業名 | 魅力ある学びづくり推進事業 | 整理番号 | 4106-010 |
| 所管 | 教育部 学校教育課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|----------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 平成24年度 ~ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-1-6 | 施策名: 開かれた学校・魅力ある学校づくりの推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 新学習指導要領の実施や、生徒指導をはじめとする複雑化・多様化している学校の諸課題への対応等で、多忙化に拍車のかかっている教職員が、児童・生徒一人ひとりと向き合う時間を確保することを目的として、小・中学校に学年事務支援員を配置することにより、魅力ある学びづくりの推進を図る。 |
| 対象 | 小・中学校（大規模校を基本とする） |
| 手段 | 小・中学校に学年事務支援員を配置し、①学年・学級会計、教材の発注等の事務処理、②各種調査のとりまとめ、③外部機関との交渉・手続き、④お便り等の構成及び印刷・配布、⑤学年行事等に関する諸事務等を担う。 |
| 成果 | 小・中学校の教職員が、児童・生徒一人ひとりと向き合う時間を確保できることで児童生徒への理解が深まり、個に応じた学習支援等が充実して、きめ細かな指導が展開できる。また、教職員が授業づくり等の研さんの時間が確保でき、魅力ある学びづくりにつながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 小・中学校の教職員は、新学習指導要領の実施により授業時数が増加する中で、保護者等からの相談等にも真摯に対応し、環境や食育・防災等、新たな教育への研修や指導にも全力で取り組んでいる。しかし、教職員の多忙化は各学校の改善努力をはるかに上回る勢いで進んでおり、児童・生徒や保護者は、教職員が児童・生徒一人ひとりと向き合う時間が増えることを切に願っている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|---|--------|
| 事業内容 | | 小・中学校のうち、大規模校を基本として、学年事務支援員を1人ずつ配置する。(5人) | 小・中学校のうち、大規模校を基本として、学年事務支援員を1人ずつ配置する。(6人) | 小・中学校のうち、大規模校を基本として、学年事務支援員を1人ずつ配置する。(6人) | |
| 事業費 | | 10,000 | 12,000 | 12,000 | 34,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 10,000 | 12,000 | 12,000 | 34,000 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 幼稚園環境整備事業 | 整理番号 | 4108-010 |
| 所管 | 健康福祉部 子ども育成課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成25年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-1-8 | 施策名: 学校などの教育施設・設備の充実 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 幼稚園施設の不具合の改善を行い、より良い教育環境の整備を図る。 |
| 対象 | 公立幼稚園 8園 |
| 手段 | 庁内検討委員会において、園舎保育所等の増改築及び園庭整備等を調査・検討する。 |
| 成果 | 快適な教育環境と幼稚園施設等の安全性が確保される。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 園舎の損耗・機能低下に対する大規模な改造を行うことにより、教育環境の改善、園舎の耐久性の確保を図っていく。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 「御殿場市幼児の教育・保育施設整備基本構想」に基づき計画の見直し等を図っていく。また、御殿場市教育・保育施設庁内検討委員会を設置し、基本的な方向性を検討する。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 園舎改修調査 | | 園舎改修調査 | 園舎改修調査 | |
| 事業費 | | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 西中学校校舎改築事業 | 整理番号 | 4108-020 |
| 所管 | 教育部 教育総務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | 義務教育諸学校施設費国庫負担法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-1-8 | 施策名: 学校などの教育施設・設備の充実 |
| | 関連施策: | 7-5-5 | 施策名: 効果的な資産の活用 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 老朽化した校舎の改築事業を行い、生徒の安全性の確保及びより良い環境の整備を図る。 |
| 対象 | 西中学校 生徒・教職員 |
| 手段 | 老朽化した校舎の改築及び周辺環境整備を実施する。 管理・普通教室棟 RC造 3階 延床面積 3,500㎡程度 |
| 成果 | 機能的で快適な教育環境と安全性の確保が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 管理・普通教室棟については、経年による老朽化が著しく進み、機能性、安全性、衛生面において支障を来している。また、過去における校舎の改築により、使い勝手の悪い配置となっていることから、総合的に校舎配置を見直す必要性が生じており、学校関係者のみならず、地域住民からも早期の改築が望まれている。 管理・普通教室棟 昭和38年建設 RC造 3階 延床面積 3,426㎡ |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

1,999,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------|--------|------------------------|-----------|-----------|
| 事業内容 | 基本・実施設計、準備工事 | | 基本・実施設計、準備工事、改築工事、工事監理 | 改築工事、工事監理 | |
| 事業費 | | 17,000 | 724,000 | 981,000 | 1,722,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | 29,910 | 44,866 | 74,776 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | 49,600 | 67,800 | 117,400 |
| | 財繰 | 15,300 | 624,681 | 842,520 | 1,482,501 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 1,700 | 19,809 | 25,814 | 47,323 |
| (投資) | 1,700 | 19,809 | 25,814 | 47,323 | |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 小学校環境整備事業 | 整理番号 | 4108-040 |
| 所管 | 教育部 教育総務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成24年度～ | 根拠法令・要綱等 | 義務教育諸学校施設費国庫負担法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-1-8 | 施策名: 学校などの教育施設・設備の充実 |
| | 関連施策: | 7-5-5 | 施策名: 効果的な資産の活用 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 小学校施設の不具合の改善を行い、児童の安全性の確保及びより良い環境の整備を図る。 |
| 対象 | 小学校児童・教職員 |
| 手段 | 校舎(教室等)・屋内運動場の増改築、改修、グラウンド整備等を実施する。 |
| 成果 | 機能的で快適な教育環境と安全性の確保が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 教育施設の老朽化により、機能性、安全性、衛生面において支障を来しており、児童・教職員が安心して教育活動が展開できる施設整備が望まれている。 神山小学校校舎(昭和50、57年建設)、朝日小学校校舎(昭和58年建設)、朝日小学校屋内運動場(昭和59年建設) |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------|-----------------------|--------------------|---------------------------------------|---------|
| 事業内容 | | ・神山小学校 校舎改修工事、工事監理 | ・朝日小学校 校舎改修実施設計 | ・朝日小学校 校舎改修工事、工事監理、 屋内運動場改修実施設計 | |
| | | ・朝日小学校 校舎改修実施設計 | | ・御殿場小学校 グラウンド整備実施設計 | |
| 事業費 | | 399,000 | 27,000 | 458,000 | 884,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | 53,191 | 53,191 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 259,200 | 14,000 | 177,700 | 450,900 |
| | 財繰 | 3,371 | 8,274 | 124,710 | 136,355 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 136,429 | 4,726 | 102,399 | 243,554 | |
| (投資) | 136,429 | 4,726 | 102,399 | 243,554 | |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 小学校プール改築事業 | 整理番号 | 4108-050 |
| 所管 | 教育部 教育総務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成24年度～平成33年度 | 根拠法令・要綱等 | 義務教育諸学校施設費国庫負担法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-1-8 | 施策名: 学校などの教育施設・設備の充実 |
| | 関連施策: | 7-5-5 | 施策名: 効果的な資産の活用 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 小学校の老朽化したプールの改築を行い、児童の安全性の確保及びより良い環境の整備を図る。 |
| 対象 | 小学校児童・教職員 |
| 手段 | プール改築を実施する。 高根小学校(平成25-26年完了)、御殿場小学校(平成27-28年完了) 朝日小学校(平成28-29年)、富士岡小学校(平成30-31年)、神山小学校(平成32-33年) |
| 成果 | 機能的で快適な教育環境と安全性の確保が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 小学校プールについては、老朽化が進み不具合箇所も多く見られ、年々維持管理に要する経費もかさんでおり、早期の改築が望まれている。 高根小プール(昭和44年建設)、御殿場小学校(昭和41年建設)、富士岡小プール(昭和44年建設) 朝日小プール(昭和58年建設)、神山小プール(昭和56年建設) |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

1,745,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|--|--|---------|
| 事業内容 | | ・朝日小プール 外構工事、既設解体工事 ・富士岡小プール 基本・実施設計 | ・富士岡小プール 基本・実施設計、既設解体 工事、改築工事、工事監理 | ・富士岡小プール 改築工事、工事監理、 外構工事 ・神山小プール 基本・実施設計 | |
| | 事業費 | 42,000 | 138,000 | 218,000 | 398,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | 8,666 | 13,000 | 21,666 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | 74,500 | 119,200 | 193,700 |
| | 財繰 | 11,425 | | | 11,425 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 30,575 | 54,834 | 85,800 | 171,209 |
| (投資) | 30,575 | 54,834 | 85,800 | 171,209 | |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 中学校環境整備事業 | 整理番号 | 4108-060 |
| 所管 | 教育部 教育総務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成24年度～ | 根拠法令・要綱等 | 義務教育諸学校施設費国庫負担法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-1-8 | 施策名: 学校などの教育施設・設備の充実 |
| | 関連施策: | 7-5-5 | 施策名: 効果的な資産の活用 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 中学校施設の不具合の改善を行い、生徒の安全性の確保及びより良い環境の整備を図る。 |
| 対象 | 中学校生徒・教職員 |
| 手段 | 校舎(教室等)・屋内運動場の増改築、改修、グラウンド整備等を実施する。 |
| 成果 | 機能的で快適な教育環境と安全性の確保が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 教育施設の老朽化により、機能性、安全性、衛生面において支障を来しており、生徒・教職員が安心して教育活動が展開できる施設整備が望まれている。 南中学校校舎(昭和52、53年建設)、富士岡中学校校舎(昭和60年建設) |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------|--|---|--|---------|
| 事業内容 | | ・富士岡中学校 校舎借り上げ ・南中学校 校舎改修実施設計 | ・富士岡中学校 校舎借り上げ ・南中学校 校舎改修工事、工事監理 | ・富士岡中学校 校舎借り上げ、 校舎改修実施設計 ・南中学校 校舎改修工事、工事監理 | |
| | 事業費 | 39,000 | 349,000 | 603,000 | 991,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | 39,386 | 59,080 | 98,466 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 17,500 | 126,000 | 234,800 | 378,300 |
| | 財繰 | 12,600 | 107,914 | 177,772 | 298,286 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 8,900 | 75,700 | 131,348 | 215,948 | |
| (投資) | 5,900 | 72,700 | 128,348 | 206,948 | |

| | | | |
|-----|----------------|------|----------|
| 事業名 | 学校給食センター施設改修事業 | 整理番号 | 4109-010 |
| 所管 | 教育部 学校給食課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|----------------|
| 事業期間 | 平成27年度～平成31年度 | 根拠法令・要綱等 | 学校教育法、学校給食法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-1-9 | 施策名: 学校給食の充実 |
| | 関連施策: | 7-5-5 | 施策名: 効果的な資産の活用 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 西学校給食センター(平成2年9月)及び高根学校給食センター(平成7年4月)が稼働後20年以上経過し、施設・厨房設備等の経年劣化により、安心・安全な学校給食の提供が極めて危険な状況にあることや、アレルギー給食の対応、衛生基準(HACCP)の改善を図るため、改修等工事を計画的に施工する。 |
| 対象 | 西・高根学校給食センター管内の児童生徒 |
| 手段 | 整備計画に基づき順次施工する。 |
| 成果 | 給食期間中の突如の故障を防ぐことができ、安心・安全な学校給食を提供できる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 施設・厨房設備の改修等により、作業効率や安全性が向上し、衛生管理基準等の徹底が図られていくことにより、給食への信頼を高めることにつながる。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成27年度に西・高根学校給食センター整備計画策定業務をコンサルに業務委託し、整備計画報告書を作成した。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

| | | 総事業費 | | | |
|------|--------------------|--------|-----------|--------|-------|
| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
| 事業内容 | 西・高根学校給食センター整備方針決定 | | 基本設計、実施設計 | 施設整備 | |
| 事業費 | | | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| | | | 1,000 | 1,000 | 2,000 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 子ども読書活動推進事業 | 整理番号 | 4204-010 |
| 所管 | 教育部 社会教育課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|--------------------------|----------|-------------------|
| 事業期間 | 平成16年度～ | 根拠法令・要綱等 | 子どもの読書活動の推進に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-2-4 | 施策名: 図書館機能の充実 |
| | 関連施策: | 4-1-12 | 施策名: 青少年の健全育成 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市子ども読書活動推進計画(H19-H27) | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 家庭・地域・学校並びに庁内他部署と図書館が連携し、子どもの発達段階に応じた全市的な子ども読書活動を推進する。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 6か月児を対象にブックスタート事業を実施。読み聞かせや学校図書館に関わるボランティアの養成講座を開催。児童図書購入・蔵書充実を進め、団体貸出を促進して幼稚園や保育園、学校等への貸出を増進させる。図書館まつりの開催や各種講演会・講習会開催等読書推進のための啓発事業を実施。 |
| 成果 | 子どもたちが絵本の読み聞かせや児童図書に親しむことにより、心豊かな人格形成に寄与する。また、読書習慣も育まれる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 子どもの読書離れ対策として、国は平成13年に子どもの読書活動の推進に関する法律を施行した。これを受けて、静岡県は平成16年に子どもの読書活動推進計画を策定。本市でも平成18年度に「御殿場市子ども読書活動推進計画」を策定し、この計画に基づき事業を実施している。平成27年度をもって現計画期間が終了しており、市親子読書推進会議等に諮りつつ旧計画を見直し、修正して更新計画を策定する。住民の意向やニーズを把握するため、アンケートを実施し、反映させる。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成16年度よりブックスタート事業を実施している。子ども読書活動推進計画策定後は、団体貸出用の児童図書購入や良書の選定を強化し、幼稚園や保育園、学校等への貸出・利用を促進。また家庭読書の日、読書月間の制定、図書館まつり等の広報・啓発活動を実施している。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------------------------|---|---|---|-------|
| 事業内容 | ①ブックスタートパック(絵本等)購入費 | ①ブックスタートパック(絵本等)購入費 ②読書普及活動や図書館まつり等の啓発事業のための経費 | ①ブックスタートパック(絵本等)購入費 ②読書普及活動や図書館まつり等の啓発事業のための経費 | ①ブックスタートパック(絵本等)購入費 ②読書普及活動や図書館まつり等の啓発事業のための経費 | |
| | ②読書普及活動や図書館まつり等の啓発事業のための経費 | | | | |
| 事業費 | | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 図書館図書整備事業 | 整理番号 | 4204-020 |
| 所管 | 教育部 社会教育課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 昭和46年度～ | 根拠法令・要綱等 | 公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-2-4 | 施策名: 図書館機能の充実 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 市民の教養向上や調査研究及び文化活動に資するため、図書資料を整備する。 |
| 対象 | 市民及び周辺自治体住民 |
| 手段 | 図書資料を購入する。 内訳は一般図書、児童図書、参考図書、郷土資料、外国語図書、視聴覚資料等。 |
| 成果 | 図書資料を整備・充実し活用を図ることにより、市民は仕事や生活あるいは研究や趣味等に役立つ様々な資料や情報を得ることができる。それにより市民生活を豊かにし、教養や知的レベルの向上に貢献する。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市民の多様な知識欲求、学習意欲に応じた資料を収集する。子どもを育む図書整備、地域の歴史・文化資料の継承など、現代的課題に対応した図書整備が必要とされている。利用者(市民)ニーズや要望については、窓口からの報告をはじめ、定期的に行う利用者アンケートを参考にして、意向等を事業に反映させる。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 図書のリクエスト制度充実により、利用者のニーズに応えるよう努めた。また本市の図書館にない本の貸出は、県内公立図書館との相互貸借制度を活用することにより経費の節減に努めている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------|
| 事業内容 | | 一般図書、児童図書、参考図書、郷土資料、外国語図書、視聴覚資料等の購入 | 一般図書、児童図書、参考図書、郷土資料、外国語図書、視聴覚資料等の購入 | 一般図書、児童図書、参考図書、郷土資料、外国語図書、視聴覚資料等の購入 | |
| 事業費 | | 14,000 | 14,000 | 14,000 | 42,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 4,750 | 4,750 | 4,750 | 14,250 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 9,250 | 9,250 | 9,250 | 27,750 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 図書館整備事業 | 整理番号 | 4204-030 |
| 所管 | 教育部 社会教育課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-------------------|
| 事業期間 | 平成26年度～平成35年度 | 根拠法令・要綱等 | 建築物の耐震改修の促進に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-2-4 | 施策名: 図書館機能の充実 |
| | 関連施策: | 7-5-5 | 施策名: 効果的な資産の活用 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 図書館に必要とされる施設整備を行いながら、将来の図書館の整備構想を策定して、その方針に従い図書館整備を進める。住民のための図書館サービスを増進していく。 |
| 対象 | 図書館利用者・図書館施設 |
| 手段 | 老朽化した図書館施設を整備しつつ、現施設については利用者に安全な環境を提供する。図書館整備の基本構想に沿って、最終的には更新・新設を視野に入れて施設整備を行っていく。 |
| 成果 | 図書館を整備することにより、利用者にとって利便性が高く、安全・安心な環境とより良い図書館サービスを提供できる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 昭和56年に開館した現図書館は、築35年を経過し建物本体や付帯設備等が老朽化している。平成26年度に実施した建物施設の老朽度(耐震診断含)で十分な数値が得られず、避難所としての指定はないが、社会教育施設として継続供用していくため、順次計画的に整備改修を行う必要がある。施設環境については、利用者アンケートの結果や老朽度診断の結果を踏まえ整備改修の要点としていく。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 定期的な点検や補修を心掛け、利用者に安全な施設環境を提供できるよう必要な整備・改修を行っている。平成26年度から、2階会議室・児童コーナー・読書コーナーと重点的に改修(LED化)を図って照明条件の改善に取り組んでいる。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------|--------|-------------------------|---------------------------------|-------|
| 事業内容 | 整備構想の策定 | | 基本設計 RC2階 延2,382.86㎡ | 実施設計(24,000) RC2階 延2,382.86㎡ | |
| 事業費 | | | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| (投資) | | 1,000 | 1,000 | 2,000 | |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 地区集会施設整備事業 | 整理番号 | 4205-010 |
| 所管 | 市民部 市民協働課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|--------|----------|-------------------------------|
| 事業期間 | 平成8年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市地区集会施設整備事業補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-2-5 | 施策名: 自治会等の自主的な活動の支援と地区集会施設の整備 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 地域活動の活動拠点の確保・整備を進め、区の自治振興の推進を図る。 |
| 対象 | 地区集会施設、利用者 |
| 手段 | 新築、増改築、改修、修繕、耐震対策、バリアフリー化等に対し、地区集会施設整備事業補助金交付要綱により補助金を交付する。(一般:基準額または当該工事費の30%) |
| 成果 | 地域活動の活動拠点整備により、自治活動の活性化と区内コミュニケーションが円滑に行われる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 施設の老朽化や利用者の増と利用形態の変化により、地元より改修や建て替えの機運が高い。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 施設の増改築、耐震対策、バリアフリー化等について、地区集会施設整備事業補助金交付要綱を平成17年に見直した。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--|--------|-------------------------------------|-----------|---------|
| 事業内容 | 設計:神場区公民館 工事:風穴区公民館 栢ノ木区公民館 解体:風穴区公民館 | | 工事:神場区公民館 解体:杉名沢地区コミュニティ 供用施設 | 解体:神場区公民館 | |
| | 事業費 | 89,000 | 351,000 | 8,000 | 448,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 84,100 | 344,000 | 6,400 | 434,500 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 4,900 | 7,000 | 1,600 | 13,500 |

| | | | |
|-----|-----------------|------|----------|
| 事業名 | 富士山の麓で歌う第九演奏会事業 | 整理番号 | 4301-010 |
| 所管 | 市民部 文化スポーツ課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | | |
|--------------|---------|----------|-----------|----------------|
| 事業期間 | 平成24年度～ | 根拠法令・要綱等 | 文化芸術振興基本法 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-3-1 | 施策名: | 芸術・文化活動機会の充実 |
| | 関連施策: | 4-3-4 | 施策名: | 芸術・文化に関する情報の発信 |
| 個別計画での位置づけ | | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 芸術文化振興策として、市民からの要望が根強い第九演奏会を開催することで、基本方針の施策を総合的かつより効果的に推進するとともに、御殿場色が溢れる芸術文化振興事業が展開できる。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 平成29年度に実行委員会を立ち上げ参加者を募集し、平成30年度に演奏会を開催する。 |
| 成果 | 継続性を持たせることで、合唱という芸術文化活動に対し、市民がより身近なものとして興味を持つきっかけとなり、今後の担い手の育成と、市民が主役の芸術文化が香るまちづくりへの発展が期待できる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 芸術文化の創造性溢れるまち御殿場の実現を考えると、市民からの開催要望の強い第九演奏会を継続開催することで、自発的な参加と担い手の育成をすることにつながり、今後の芸術文化振興の発展が期待できる。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 当初、本計画において平成28年度開催を予定していたが、開催予定地である市民会館ホール棟の改修工事(平成28～29年度)を先行して進めたいため、工事竣工後の平成30年度実施に変更した。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

2,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--------|-------|
| 事業内容 | | 第九演奏会実行委員会にて次年度開催する参加者募集等の事前準備を進める(募集要項の作成・配布) | 一般公募した市民と市内で活動する交響楽団等が会を結成し、第九演奏会を開催する | | |
| | 事業費 | | 2,000 | | 2,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 2,000 | 0 | 2,000 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 市民会館ホール棟改修事業 | 整理番号 | 4303-010 |
| 所管 | 市民部 文化スポーツ課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成29年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-3-3 | 施策名: 芸術・文化活動基盤の確保 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 市民が会館を安全で快適に利用できるようにホール棟の改修工事を実施する。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 市民会館大・小ホール及びエントランス天井の改修、ホール棟トイレの改修、受変電設備の更新、スプリンクラー設備の一部改修、大・小ホール舞台設備の一部改修等の工事を実施する。 |
| 成果 | 芸術文化活動の拠点として、利用する市民の安心と安全性が向上する。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市民会館ホール棟は、竣工後約40年が経過し、建物本体及び各種設備が老朽化しており、施設の安定稼働が困難な状況である。また、吊天井についても現在の安全基準を満たしていないため、対策を講ずるための改修工事を早急に行う必要がある。平成19年度リニューアル調査、平成20年度市民意識調査を実施。会議棟については耐震補強・リニューアル工事を実施したが、ホール棟は未実施のため、改修を行う。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 国との協議の結果、防衛補助金を受けられることとなったため、平成28年、平成29年の2か年工事とし、受変電設備の更新やトイレ改修工事等を含めた改修とした。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

354,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------|---------|--------|--------|---------|
| 事業内容 | 市民会館ホール棟改修工事 | | | | |
| 事業費 | | 189,000 | | | 189,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | 163,159 | | | 163,159 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 19,300 | | | 19,300 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 6,541 | 0 | 0 | 6,541 |
| (投資) | 6,541 | | | 6,541 | |

| | | | |
|-----|-------------------|------|----------|
| 事業名 | (仮称)富士山市民のサロン整備事業 | 整理番号 | 4303-020 |
| 所管 | 教育部 社会教育課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成29年度 ～ 平成35年度 | 根拠法令・要綱等 | 建築物の耐震改修の促進に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-3-3 | 施策名: 芸術・文化活動基盤の確保 |
| | 関連施策: | 6-3-1 | 施策名: 中心市街地活性化に向けた整備の推進 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 市民の教養向上や文化活動及び市民の交流に資するための市民が集うサロンを整備する。 |
| 対象 | 子供からお年寄りまでの市民 |
| 手段 | 駅前に民間が新築する建物に賃料を払い入居し、複合施設を運営する。施設内には、交流ロビー、学習室、図書コーナー、児童室、閲覧室、多目的室、ミニギャラリーなどを配置する。 |
| 成果 | 市民の教養向上、駅前の活性化、地域の交流の活発化が図れる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 駅周辺にあった社会福祉協議会や児童館の機能が数年前に移転し、市民からは「御殿場駅周辺に市民が集う施設がない」との意見が寄せられていた。このたび駅前の再開発に伴い、御殿場駅前に市民が集う社会教育的施設を設置するものである。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------------------|----------------|--------|--------|--------|---------|
| 事業内容 | 備品購入 コンサル費用 | | 運営管理 | 運営管理 | |
| 事業費 | | 40,000 | 50,000 | 50,000 | 140,000 |
| 財 源 内 訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | | 40,000 | 50,000 | 50,000 |
| (投資) | | 40,000 | | | 40,000 |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | ホストタウン推進事業 | 整理番号 | 4402-010 |
| 所管 | 企画部 企画課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|---------------------------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | 平成三十二年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-4-2 | 施策名: 競技スポーツの振興 |
| | 関連施策: | 4-6-2 | 施策名: 国際姉妹都市及びアジア近隣諸国との交流の推進 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 平成32年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、スポーツ振興、グローバル化の推進、地域活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的、経済的、文化的な相互交流を促進する。 |
| 対象 | 市民、民間企業、各種団体 |
| 手段 | 招致国の事前合宿の誘致と招致国との交流事業を官民一体で進める。 |
| 成果 | この機に、市民のスポーツへの機運を醸成し、スポーツ振興を図るとともに、招致国との人的、経済的、文化的な相互交流を進め、地域活性化と観光振興につなげる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成28年3月に、地域住民、民間企業、各種団体等で組織する東京オリンピック・パラリンピック等事前合宿誘致準備会において、招致国を決定した。また、ホストタウン登録を受け準備会をホストタウン推進協議会に発展し、今後の事業内容を協議・実施して行く。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 6月のホストタウン登録では招致国として台湾が認められたが、今後、韓国との招致活動や交流事業を順次行い、韓国とのホストタウン登録を目指す。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------|
| 事業内容 | ホストタウン推進事業交付金 | ホストタウン推進事業交付金 | ホストタウン推進事業交付金 | ホストタウン推進事業交付金 | |
| 事業費 | | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 9,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 9,000 |

| | | | |
|-----|--------------------|------|----------|
| 事業名 | 陸上競技場整備・改修(2種公認)事業 | 整理番号 | 4403-010 |
| 所管 | 市民部 文化スポーツ課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成29年度 ~ 平成29年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-4-3 | 施策名: スポーツ関連施設の適切な整備と運営 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 施設開設後、2種公認陸上競技場として、5年毎に日本陸上競技連盟から公認検定を受け公認継続を行っている。平成29年12月をもって認定期限切れとなるため、引き続き公認取得するための施設改修及び備品の更新を行う。 |
| 対象 | 市民、御殿場市陸上競技場 |
| 手段 | 平成28年度日本陸連の事前審査を受け、要改修・要補充事項を調査・確認し、平成29年度に公認検定を受ける準備を行う。なお、改修は平成24年度の審査において投てき競技の基準を満たすため是正項目であったインフィールドの張芝部分を中心に実施する。 |
| 成果 | 2種公認更新を受けることにより上位の格付けとなり、優秀なアスリートの招へいや競技者・練習者の利用拡大へつながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 前回の2種公認に当たり、次回の更新までにインフィールド部分の水平を是正することが指摘事項となっているため、改修を行う。また、ルール改正等に伴い、備品の修理や更新を行う。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 前回の公認取得の際、施設のリニューアルを含め改修を行った。今回は2種公認の更新に当たり、必要な部分のみの改修及びルール改正等に伴い備品の更新を行う。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 事業内容 | インフィールド芝生切下工事、施設修繕、備品購入 | | | | |
| | 事業費 | 71,000 | | | 71,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 58,800 | | | 58,800 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 12,200 | 0 | 0 | 12,200 |
| | 12,200 | | | 12,200 | |

| | | | |
|-----|-------------------|------|----------|
| 事業名 | 御殿場市体育館リニューアル改修事業 | 整理番号 | 4403-020 |
| 所管 | 市民部 文化スポーツ課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成26年度～平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-4-3 | 施策名: スポーツ関連施設の適切な整備と運営 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 開設後34年が経過し、施設の老朽化・損傷が進んでいる。施設のリニューアルと耐震化を実施し、利用促進を図るとともに利用者の安全を確保する。また、災害被災時の支援物資の受入・集積場所としての機能の維持向上を図る。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 床張替、雨漏り修繕及び耐震化工事等を実施する。また、財源を確保するため、防衛補助や特財を受けられるよう検討していく。 |
| 成果 | 耐震化については現建築基準法による要耐震基準を満たし、東(南)海地震等で被災しても安全な施設となる。施設がリニューアルされ快適な利用ができるようになるとともに、競技(練習)中の事故や怪我防止にも資することができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 体育館は、御殿場市公共施設耐震化計画に掲載されている。施設の経年劣化・老朽化に対応したリニューアルと耐震補強工事を行い、利用者の安心に应运えていく。また、床面の整備を求める声があるが、数回研磨していることによりできないため、張り替える。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成23年度から平成25年度まで、精査して実施の可否と必要性を考え合わせながら庁内協議を含め、第1体育館を対象とした事業計画を立案した。平成26年度に再度内容を精査し、南関東防衛局に補助金概算要求を提出した。平成27年度からリニューアル計画を策定中である。また、平成28年度は改修予算の補助金概算要求を南関東防衛局に提出した。平成28年6月補正予算で実施設計の予算を計上した。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

2,053,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------|---------|-----------|---------|-----------|
| 事業内容 | 実施設計 | | | | |
| | 改修工事 | | | | |
| 事業費 | | 786,000 | 1,233,000 | | 2,019,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | 94,043 | 376,173 | | 470,216 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 489,700 | 605,500 | | 1,095,200 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 202,257 | 251,327 | 0 | 453,584 | |
| (投資) | 202,257 | 251,327 | | 453,584 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 南運動場施設改修事業 | 整理番号 | 4403-030 |
| 所管 | 市民部 文化スポーツ課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-4-3 | 施策名: スポーツ関連施設の適切な整備と運営 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 平成15年に野球場建設の要望書が市長に提出された。市では多目的グラウンドの整備を検討しているが、建設には莫大な費用と年月を要するため、既存施設の改修を実施する。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 建設からおよそ47年が経過し、不具合が生じているため、既存運動場を改修整備し、競技環境の向上を図る。 |
| 成果 | 野球等のスポーツ人口の増加が図られる。また、市民の健康づくりにも資することができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 南運動場は、昭和43年に竣工し、47年が経過し、観覧席設置等の要望がある。また、一方では軟式野球だけでなく、硬式野球(公式戦)のできる球場建設の要望書が平成15年4月に提出されている。設置後、年数が経過しているため土質が悪化し砂埃や石の露出等により競技者の安全性の確保に支障が出ている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 南運動場には、現在観覧席は設置されていない。運動場をサッカーや区民体育祭等多目的に使用することから移動式の観覧席を設置する。グラウンドに多数の石が露出しているので指定管理者が利用者の安全を考え、随時撤去しているが、将来、グラウンド全体について大規模な整備をする必要がある。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 南運動場観覧席等設置工事 | | | | |
| 事業費 | | 7,000 | | | 7,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 5,200 | | | 5,200 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 1,800 | 0 | 0 | 1,800 |
| | | 1,800 | | | 1,800 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 東運動場施設改修事業 | 整理番号 | 4403-050 |
| 所管 | 市民部 文化スポーツ課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-4-3 | 施策名: スポーツ関連施設の適切な整備と運営 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 平成15年に野球場建設の要望書が市長に提出された。新規の施設の建設が現在も野球連盟、深沢区から要望されている。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 建設からおよそ48年が経過し、不具合が生じているため、新規運動場を整備するとともに、既存運動場を改修整備し、競技環境の向上を図る。 |
| 成果 | 野球等のスポーツ人口の増加が図られる。また、市民の健康づくりにも資することができる。平成28年に野球等多目的広場を新規に整備することになった。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 東運動場は、昭和41年に竣工し、48年が経過し、観覧席設置等の要望がある。また、一方では軟式野球だけでなく、硬式野球(公式戦)のできる球場建設の要望書が平成15年4月に提出されている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 南関東防衛局に防衛8条の「防衛補助事業5か年事業計画表」を提出した。平成28年度に野球多目的広場を整備することになった。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------|--------|----------------|------------------|-------|
| 事業内容 | 庁内検討 | | 新球場整備基本構想・基本計画 | 新球場整備区域埋蔵文化財試掘調査 | |
| 事業費 | | 1,000 | 1,000 | 4,000 | 6,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 1,000 | 1,000 | 4,000 | 6,000 |
| (投資) | 1,000 | 1,000 | 4,000 | 6,000 | |

| | | | |
|-----|-----------------|------|----------|
| 事業名 | (仮称)郷土資料館整備検討事業 | 整理番号 | 4504-010 |
| 所管 | 教育部 社会教育課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|---------------|
| 事業期間 | 平成25年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-5-4 | 施策名: 郷土資料館の整備 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 郷土の文化・歴史を学び伝承できるよう、気象庁から譲り受けた富士山測候所関係資料や考古資料、市民から譲り受けた民俗資料などの郷土資料を保存し、活用する施設を整備する。 |
| 対象 | 市民(民俗資料などを提供している市民と、郷土について学習を行う市民、児童生徒) |
| 手段 | 富士山測候所関係資料、民俗資料、考古資料などの展示、保管・管理設備を備える施設の整備方針を定める。あわせて、民俗資料の安全な保管・管理を行うため、民俗資料収蔵庫の今後の管理方針を検討する。 |
| 成果 | 寄贈を受けた貴重な資料を適切に保管するとともに、社会科見学などの機会に児童・生徒が郷土の文化・歴史を学習する場を提供することで、郷土愛を育む。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 博物館等の整備に対する市民の強い要望(市民団体の要望、寄附金の受入れ)、平成22年度社会教育委員会からの「次世代に伝えたい郷土資料館」の提言、郷土学習に取り組む小中学校の現場からの要望(平成22年度まで授業の一環として小中学生の見学を受入れていたが、耐震補強のない建物のため見学受入れを中止している)。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 郷土資料館の整備は、図書館整備の方針を検討する中で、図書館への機能集積などの検討を含めて研究を行う。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------------------|----------------|--------|----------------|----------------|-------|
| 事業内容 | 研究会開催 調査・研究 | | 研究会開催 調査・研究 | 研究会開催 調査・研究 | |
| 事業費 | | | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| 財 源 内 訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 国際都市交流事業 | 整理番号 | 4602-010 |
| 所管 | 市民部 市民協働課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|--------|----------|-----------------------------|
| 事業期間 | 平成8年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 4-6-2 | 施策名: 国際姉妹都市及びアジア近隣諸国との交流の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 国際姉妹都市や友好交流都市の両市民の交流を深め、更なる親善交流の発展を図る。 |
| 対象 | 市民、御殿場市国際交流協会 |
| 手段 | 米国チェンバースバーグ市及びビーバートン市と訪問団派遣・受入事業を行う(5年ごとの相互訪問)。韓国論山市と今後の事業計画を立て交流事業を実施する。 |
| 成果 | 姉妹都市交流の歴史を振り返り、その意義を再確認し、新たな交流が期待できる。アジア近隣諸国とは交流人口の増加が期待できる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 姉妹都市とは5年ごとの相互訪問交流が定着しており、平成29年度はビーバートン市に訪問団を派遣予定。 平成28年に韓国論山市と友好交流協定を締結した。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--------------------------------------|
| 見直し改善の経過 | 平成24年7月ビーバートン市が訪問した際、交流のあり方について協議した。 |
|----------|--------------------------------------|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---|--------|-------------|-------------|-------|
| 事業内容 | 姉妹都市提携30周年 ビーバートン市訪問団派遣 アジア近隣諸国との交流 | | アジア近隣諸国との交流 | アジア近隣諸国との交流 | |
| 事業費 | | 3,000 | 1,000 | 1,000 | 5,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 3,000 | 1,000 | 1,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 本庁舎空調設備更新事業 | 整理番号 | 5101-010 |
| 所管 | 総務部 総務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|--|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 平成26年度～平成33年度 | 根拠法令・要綱等 | 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-1-1 | 施策名: 新・省エネルギーの導入推進 |
| | 関連施策: | 5-1-3 | 施策名: 温暖化防止の推進 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市環境基本計画・御殿場市地域省エネルギービジョン・御殿場地球温暖化対策実行計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 現在本庁舎で使用している空調設備の多くは平成7年度により設置したものであり、耐用年数を超えて使用しているため、電気の使用量が多く、修繕にもコストがかかっている。また、機器に使用されている代替フロン(r22)はオゾン層の破壊の原因となることにより利用が出来なくなるため、機器を更新する。 |
| 対象 | 職員及び市民 |
| 手段 | フロアごとに実施し、工事は既存の配管を利用して室内機及び室外機を入れ替える必要最小限のものとする。 |
| 成果 | 空調設備の更新により、代替フロン(r22)使用の機器がなくなる。 また、最新機器にすることにより、消費電力及び温室効果ガス排出量が削減される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | エアコンの耐用年数は15年程度であるが、それを超えて使用しているため電気の使用量及び修繕料の増加原因となっている。また、特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律により、代替フロン(r22)は2020年以降ほとんど生産ができなくなるため、r22を使用しないエアコンへの設備更新が求められた。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

60,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---------------|--------------|--------------------------|--------|
| 事業内容 | | 1階富士山側の空調設備更新 | 1階箱根側の空調設備更新 | 1階情報公開コーナー、第5会議室等の空調設備更新 | |
| 事業費 | | 7,000 | 5,000 | 6,000 | 18,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 7,000 | 5,000 | 6,000 | 18,000 |

| | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|
| 事業名 | 地区集会施設整備事業(太陽光発電システム設置) | 整理番号 | 5101-020 |
| 所管 | 市民部 市民協働課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-------------------------------|
| 事業期間 | 平成22年度～ | 根拠法令・要綱等 | 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-1-1 | 施策名: 新・省エネルギーの導入推進 |
| | 関連施策: | 4-2-5 | 施策名: 自治会等の自主的な活動の支援と地区集会施設の整備 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 地域活動の安全、安心な活動拠点の確保・整備を進め、区の自治振興の推進を図る。 |
| 対象 | 地区集会施設 |
| 手段 | 地区集会施設へ太陽光発電システムを設置する際、国の補助金を活用して支援を行う。 |
| 成果 | 地区集会施設における維持管理費の負担軽減及び緊急時の非常用電源確保が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 耐震化等により、改修や建て替えに対する地元の機運が高い。また、東日本大震災以降震災が続いており、緊急時の対応に対する関心が高まっている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律の見直しにより、平成22年度から地区集会施設へ太陽光発電システム設置に対する補助が追加された。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|------------------------|------------------------|-----------------------|--------|
| 事業内容 | | 地区集会施設1か所 (杉名沢区公民館) | 地区集会施設1か所 (栢ノ木区公民館) | 地区集会施設1か所 (神場区公民館) | |
| 事業費 | | 23,000 | 18,000 | 18,000 | 59,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | 23,000 | 18,000 | 18,000 | 59,000 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|
| 事業名 | 太陽光発電等新・省エネルギー機器設置費補助事業 | 整理番号 | 5101-030 |
| 所管 | 環境水道部 環境課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|---------------------------------|
| 事業期間 | 平成18年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市太陽光発電等新・省エネルギー機器設置事業補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-1-1 | 施策名: 新・省エネルギーの導入推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 第二次御殿場市環境基本計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 環境への負荷が少ない新・省エネルギー機器の導入を推進し、地球温暖化防止に寄与する。 |
| 対象 | 市内の自ら居住する住宅に太陽光発電システム、太陽熱高度利用システム、リチウムイオン蓄電池システム若しくは家庭用エネルギー管理システムを設置、又は同システムが設置された市内の新築住宅を購入する市民。並びに、給湯器を高効率給湯器(CO2冷媒ヒートポンプ給湯器[エコキュート]、潜熱回収型給湯器[エコジョーズ・エコフィール]又は燃料電池給湯器[エネファーム])に付け替える市民。 |
| 手段 | 省エネ機器等の設置者にそれぞれ太陽光発電システム5万円、太陽熱高度利用システム2万円、CO2冷媒ヒートポンプ給湯器[エコキュート] 2万円、潜熱回収型給湯器[エコジョーズ・エコフィール] 1万円、燃料電池給湯器[エネファーム] 5万円、リチウムイオン蓄電池システム 5万円、家庭用エネルギー管理システム 1万円の補助金を交付する。 |
| 成果 | 市内の住宅に省エネ機器等の設置及び省エネ行動の実践を推進することにより、地域において環境負荷の低減と地球温暖化の防止に効果を発揮する。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成19年度2月策定の地域省エネルギービジョンの重点プロジェクトの一つとして、新・省エネ機器等の導入支援事業があり、市民アンケートにおいても補助制度の要望が強くあった。また、国の補助制度は高効率給湯器が平成22年度に、太陽光発電が平成25年度に終了しているが、市民満足度調査でも使ってみたい新・省エネ機器等にエコキュートが30%、太陽光発電が20%あり、今後も市民からの要望が見込まれるため新・省エネ機器等の導入推進施策の継続を図るもの。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成18年度から太陽光発電等に対する補助制度を実施、平成20年度から高効率給湯器の導入について補助制度を加え、総合的に省エネ機器等の導入促進を推進してきた。平成23年度は限られた予算の範囲内でより多くの市民が補助制度を活用できるように補助額の見直しを行った。平成28年度から補助対象機器の拡大・変更を行った。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|---|--------|
| 事業内容 | | 太陽光発電システム 175基、太陽熱高度利用システム 10基、CO2冷媒ヒートポンプ給湯器 100基、潜熱回収型給湯器 95基、燃料電池給湯器 20基、リチウムイオン蓄電池システム 40基、家庭用エネルギー管理システム 50基 | 太陽光発電システム 175基、太陽熱高度利用システム 10基、CO2冷媒ヒートポンプ給湯器 100基、潜熱回収型給湯器 95基、燃料電池給湯器 20基、リチウムイオン蓄電池システム 40基、家庭用エネルギー管理システム 50基 | 太陽光発電システム 175基、太陽熱高度利用システム 10基、CO2冷媒ヒートポンプ給湯器 100基、潜熱回収型給湯器 95基、燃料電池給湯器 20基、リチウムイオン蓄電池システム 40基、家庭用エネルギー管理システム 50基 | |
| | 事業費 | 15,000 | 15,000 | 15,000 | 45,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 15,000 | 15,000 | 15,000 | 45,000 |

| | | | |
|-----|-------------------|------|----------|
| 事業名 | 環境教育推進・自然環境保全啓発事業 | 整理番号 | 5203-010 |
| 所管 | 環境水道部 環境課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|---------------------|
| 事業期間 | ～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-2-3 | 施策名: 環境教育・環境学習の充実 |
| | 関連施策: | 5-1-2 | 施策名: 環境負荷低減対策の教育・啓発 |
| 個別計画での位置づけ | 第二次御殿場市環境基本計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 自然保護や環境保全の推進、環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築に向けて、自然環境や環境問題等に関する知識や考え方を身に付け、環境の保全に貢献できる人材を育成する。 |
| 対象 | 市民、市内小中学生 |
| 手段 | 学校やNPO法人と協働したアース・キッズ事業(地球温暖化防止に関する学習と実践)やこども環境会議事業(御殿場の環境について考え、市長に提言を行う)、富士山の豆博士事業(富士山に関する学習)や富士山自然観察会、富士山自然誌リレーセミナー、トンボ池の保全事業、野鳥保護啓発事業等を実施する。 |
| 成果 | 市民や子ども達の自然保護や環境保全などに対する理解が深まるとともに、自然を大切にす意識が高まり、家庭や地域における環境保全につながる具体的な行動や取組が実践される。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 環境問題に対する正しい知識と対応力を備えた人材の育成が求められている。また、自然とのふれあい事業により、身近な自然保護や環境保全に関する意識を高め、行動に移していくことが重要である。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 広報紙などを活用し、各事業を広く市民に周知することにより、各事業の参加者を増やし自然保護や環境保全に率先して行動する人材を育成する。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---|--------|---|---|-------|
| 事業内容 | こども環境会議事業 富士山豆博士事業(4校) 富士山自然観察会・セミナー等 | | こども環境会議事業 富士山豆博士事業(4校) 富士山自然観察会・セミナー等 | こども環境会議事業 富士山豆博士事業(4校) 富士山自然観察会・セミナー等 | |
| | 事業費 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 308 | 308 | 308 | 924 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 600 | 600 | 600 | 1,800 |
| | 一般(投資) | 1,092 | 1,092 | 1,092 | 3,276 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|------------------|------|----------|
| 事業名 | 農産物鳥獣被害防止対策モデル事業 | 整理番号 | 5204-010 |
| 所管 | 産業部 農政課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-2-4 | 施策名: 野生鳥獣の適正な保護・管理 |
| | 関連施策: | 1-3-1 | 施策名: 農業生産基盤の整備及び維持管理 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 鳥獣による農作物被害の予防対策に有効な方法を調査・研究して、防止対策の普及につなげる。 |
| 対象 | 市内全域 |
| 手段 | 鳥獣被害に対する個別対策や地域対策について、被害動物や地域特性にあった方法を調査研究し、モデル事業を実施する中で、対費用効果や有効性などについて評価し、その対策方法の普及を図る。 |
| 成果 | より安価で、より簡便な対策の普及により鳥獣被害を減少させることで、営農意欲や生産効率が向上し、耕作放棄地対策にもつながる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 鳥獣による農作物被害エリアは年々拡大している。農作物被害は、金銭的な損害だけでなく、農家の営農意欲にも影響を与えるため、より安価で有効な個別にできる対策が求められている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 現在農地の鳥獣害対策として電気柵やワイヤーメッシュ柵等が有効であるとされているが、設置費用や維持管理が農家の負担となっている。個別対策、また、地域対策を考える中で、特性にあった安価で簡易な対策を調査・研究し、負担はあるが有効な対策である柵の設置と併せその普及を図ることで、営農意欲の向上につなげたい。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|---|--------|
| 事業内容 | | ・対策の調査・研究、モデル事業の実施及び有効策の普及のためのPR活動 ・有効策の市独自の補助事業検討 | ・対策の調査・研究、有効策の普及のためのPR活動 ・有効策の市独自の補助事業実施 | ・対策の調査・研究、有効策の普及のためのPR活動 ・有効策の市独自の補助事業実施 | |
| 事業費 | | 2,000 | 4,000 | 4,000 | 10,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | 2,000 | 2,000 | 4,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 鳥獣被害防止対策事業 | 整理番号 | 5204-020 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-------------------------------|
| 事業期間 | 平成23年度～ | 根拠法令・要綱等 | 鳥獣被害防止特措法・鳥獣被害防止総合対策事業費補助交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-2-4 | 施策名: 野生鳥獣の適正な保護・管理 |
| | 関連施策: | 1-3-1 | 施策名: 農業生産基盤の整備及び維持管理 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 鳥獣による農林産物等の被害の予防及び鳥獣の捕獲等の対策を有効かつ適切に実施し、農林業の振興を図る。 |
| 対象 | 市内全域 |
| 手段 | 県の承認を受けた御殿場市鳥獣被害防止計画を基に御殿場市鳥獣被害防止対策協議会が捕獲の担い手の育成、狩猟免許取得の促進、防護柵の整備事業を行う。また、課題及び情報を共有するための地域研修会や勉強会を実施する。あわせて、平成27年度に猟友会内に御殿場市鳥獣被害防止隊を設置し捕獲対策に取り組んでいる。今後新たに鳥獣被害対策実施隊を設置し、より積極的な有害鳥獣捕獲を実施していく。 |
| 成果 | 御殿場市鳥獣被害防止対策協議会が取り組むことにより、市や鳥獣被害対策実施隊が一体となって鳥獣被害に取り組む体制が整い、集落単位の鳥獣被害に対する意識が高まり、被害の軽減が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 近年、鳥獣による農林産物等の被害は多く報告があり、特にシカによる水稻苗の被害が広がっている中で、農林産物の被害防止と有害鳥獣の捕獲頭数を増やしていくことは急務である。御殿場市鳥獣被害防止計画を基に被害対策の推進を図る。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 防止柵の設置等とともに被害が発生する可能性の高い箇所を重点的に対策を講じることにより、被害発生を予防する。猟友会内に御殿場市鳥獣被害防止隊を設置し、捕獲対策に取り組んでいる。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|--------|
| 事業内容 | | 鳥獣被害防止対策協議会が実施する侵入防止柵設置や有害鳥獣捕獲事業への報奨金交付及び猟友会への捕獲業務委託、鳥獣被害対策実施隊活動に対する日当 | 鳥獣被害防止対策協議会が実施する侵入防止柵設置や有害鳥獣捕獲事業への報奨金交付及び猟友会への捕獲業務委託、鳥獣被害対策実施隊活動に対する日当 | 鳥獣被害防止対策協議会が実施する侵入防止柵設置や有害鳥獣捕獲事業への報奨金交付及び猟友会への捕獲業務委託、鳥獣被害対策実施隊活動に対する日当 | |
| 事業費 | | 16,000 | 16,000 | 16,000 | 48,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 8,500 | 8,500 | 8,500 | 25,500 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | 350 | 350 | 350 | 1,050 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 5,150 | 5,150 | 5,150 | 15,450 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 資源回収奨励事業 | 整理番号 | 5403-010 |
| 所管 | 環境水道部 環境課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|------------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 平成6年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市資源回収奨励金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-4-3 | 施策名: リサイクル(再生利用)の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 資源循環型社会の構築 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 廃棄物の資源化を推進するため。 |
| 対象 | 資源回収団体(自治会、婦人会やPTAの団体) |
| 手段 | 御殿場市資源回収奨励金交付要綱により、回収した資源ごみ1kg当たり10円の奨励金を交付する。 |
| 成果 | 資源回収量が増加する。 |

| | |
|----------------|------------------------------------|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 廃棄物の資源化を促進することにより、ごみ減量やリサイクルを推進する。 |
|----------------|------------------------------------|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 家庭ごみの出し方変更に伴い、ごみ減量や再資源化意識が高まり回収団体の活動が活発になることが見込まれる。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 事業内容 | 資源回収奨励金事業 | 資源回収奨励金事業 | 資源回収奨励金事業 | 資源回収奨励金事業 | |
| 事業費 | | 13,000 | 13,000 | 13,000 | 39,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 13,000 | 13,000 | 13,000 | 39,000 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|---------------------------------|------|----------|
| 事業名 | 新資源物(金属類、小型家電、ペットボトル)及び危険ごみ収集事業 | 整理番号 | 5404-010 |
| 所管 | 環境水道部 リサイクル推進課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-------------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～ | 根拠法令・要綱等 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-4-4 | 施策名: 適切な廃棄物分別・処理方式の確立 |
| | 関連施策: | 5-4-3 | 施策名: リサイクル(再生利用)の推進 |
| 個別計画での位置づけ | 一般廃棄物処理基本計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 処理する廃棄物(ごみ)を減少させ、処理費の減少、最終処分場埋立地の延命化、資源化率の向上、及び市民の安全確保を図る。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 資源物(金属類、小型家電、ペットボトル)と危険ごみを、収集運搬及び処理する。 |
| 成果 | 不燃ごみのうち、金属類と小型家電を資源物として集積所よりコンテナ回収することで、市民が有料の指定ごみ袋の利用を少なくでき、ごみの減量化と資源化率の向上が図れる。また、拠点回収のみのペットボトルを集積所回収することにより、市民負担が軽減される。危険ごみ(スプレー缶)を穴開け不要で収集処理することにより、市民の穴あけ時の危険を回避できる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成27年度より、広域行政組合焼却センター稼働に伴い、御殿場市と小山町のごみの分別区分及び排出方法の統一を図り、指定ごみ袋が有料化されたことから、市民の負担軽減と安全性の向上、ごみの減量化及び資源循環型社会の構築を図る必要がある。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成27年度より、指定ごみ袋の有料化に伴う市民への金銭的負担の増加抑制のため、拠点回収のみ実施だったペットボトルの集積所回収、危険ごみ(スプレー缶)の穴あけ不要回収処理による市民の安全確保を実施している。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------------------|-----|---|---|---|--------|
| 事業内容 | | 資源物(金属類・小型家電・ペットボトル)及び危険ごみ(スプレー缶等)回収用コンテナ等配布委託、臨時職員賃金(2人) | 資源物(金属類・小型家電・ペットボトル)及び危険ごみ(スプレー缶等)回収用コンテナ等配布委託、臨時職員賃金(2人) | 資源物(金属類・小型家電・ペットボトル)及び危険ごみ(スプレー缶等)回収用コンテナ等配布委託、臨時職員賃金(2人) | |
| 事業費 | | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 60,000 |
| 財 源 内 訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 60,000 |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|----------------|------|----------|
| 事業名 | ごみ収集運搬業務委託事業 | 整理番号 | 5404-020 |
| 所管 | 環境水道部 リサイクル推進課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-------------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成10年度～ | 根拠法令・要綱等 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-4-4 | 施策名: 適切な廃棄物分別・処理方式の確立 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 一般廃棄物処理基本計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | ごみ及び資源物等の収集、処理、処分業務を円滑かつ効果的に行うため。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 可燃ごみ収集委託、資源物(古紙)収集委託、資源物(びん・缶)収集及びコンテナ配布委託、再資源化品拠点回収業務委託(ペットボトル 57か所・トレイ 56か所・廃蛍光管 18か所・発泡スチロール 1か所)を実施する。 |
| 成果 | 適正なごみ等の収集・運搬・処理体制を確立できる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 衛生面や美観上から、家庭系の集積所ごみ等は、午前中に回収できる収集体制の構築を図り、市民へのサービスを確保する。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成17年度から3年を単位とする委託契約を実施していたが、受託業者が安定的で良好なサービスを継続的に履行できるように、平成26年度から可燃ごみ収集については5年間の委託契約とした。資源物等の委託は、新リサイクルセンター(仮)の新規稼働状況を考慮し検討する。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------------------|--------|--|--|--|---------|
| 事業内容 | | ごみ等収集・処理業務委託 可燃ごみ収集、資源物(びん・缶・古紙)収集、びん・缶コンテナ配布、再資源化品拠点回収 | ごみ等収集・処理業務委託 可燃ごみ収集、資源物(びん・缶・古紙)収集、びん・缶コンテナ配布、再資源化品拠点回収 | ごみ等収集・処理業務委託 可燃ごみ収集、資源物(びん・缶・古紙)収集、びん・缶コンテナ配布、再資源化品拠点回収 | |
| 事業費 | | 143,000 | 143,000 | 152,000 | 438,000 |
| 財 源 内 訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 143,000 | 143,000 | 152,000 | 438,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|---------------|------|----------|
| 事業名 | 高濃度PCB廃棄物処分事業 | 整理番号 | 5404-030 |
| 所管 | 総務部 総務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--------------------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～平成31年度 | 根拠法令・要綱等 | ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-4-4 | 施策名: 適切な廃棄物分別・処理方式の確立 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に基づき、平成39年3月31日までに処分を行うことが義務付けられているポリ塩化ビフェニル廃棄物(PCB廃棄物)の処分を行う。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 市役所庁舎保管のPCB廃棄物のうち、中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)でのみ処理が可能である高濃度PCB廃棄物(安定器等)についてJESCOへ処分の委託を行う。 |
| 成果 | 平成39年3月31日までに処分が義務付けられているPCB廃棄物の中で、最も処理方法が限られている高濃度PCB廃棄物を処分することで、市民の健康の保護及び生活環境の保全が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 高濃度PCB廃棄物について、これまで処分方法が存在せず、市役所を含め各事業者がそれぞれPCB保管場所を定め、保管を行ってきたが、平成27年度よりJESCOにおいて処理することが可能となった。しかし、受け入れ期間が平成33年度までと限定されたため、それまでに処分を行うことが必要となった。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

53,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 事業内容 | 高濃度PCB廃棄物処分 | 高濃度PCB廃棄物処分 | 高濃度PCB廃棄物処分 | 高濃度PCB廃棄物処分 | |
| 事業費 | | 16,000 | 15,000 | 22,000 | 53,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 16,000 | 15,000 | 22,000 |

| | | | |
|-----|----------------|------|----------|
| 事業名 | 有機資源循環推進事業 | 整理番号 | 5405-010 |
| 所管 | 環境水道部 リサイクル推進課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-------------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成20年度～ | 根拠法令・要綱等 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-4-5 | 施策名: 廃棄物処理・リサイクル施設の整備 |
| | 関連施策: | 5-4-4 | 施策名: 適切な廃棄物分別・処理方式の確立 |
| 個別計画での位置づけ | 一般廃棄物処理基本計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | ごみの減量化、資源化を推進することにより、資源循環型社会の形成を図る。 |
| 対象 | 市民及び事業所 |
| 手段 | 有機資源循環推進事業(生ごみ堆肥化事業)に伴う事業費として、御殿場市一般廃棄物処理事業協同組合に対して処理業務委託料として支出する。 |
| 成果 | ごみの減量化、資源化を推進することにより、資源循環型社会の形成を図ることができる。また、生ごみの約80%が水分であることから、生ごみの収集量が増加すれば、可燃ごみ処理施設の負荷の軽減ができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 毎年増え続けるごみ処理経費を減少させる必要がある。特に可燃ごみの中で約20%を占める生ごみを減少させることは効果が大きい。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成23年度から本格稼働し、家庭系、事業系生ごみの回収量が増える中、予期せぬ臭気が発生したため、臭気対策として委託先と調整し、平成24年度に脱臭装置を設置した。また、臭気の原因となる動物性タンパク質(肉類)の搬入を控えており、処理量を600t→500tとする。臭気対策がクリアでき、安定した稼働が維持できれば生ごみ回収の回収エリアを拡大する予定。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 事業内容 | 生ごみ収集・運搬処理業務委託 | | | | |
| | 生ごみ収集・運搬処理業務委託 | | | | |
| 事業費 | | 25,000 | 25,000 | 26,000 | 76,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 25,000 | 25,000 | 26,000 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 生ごみ処理機等助成事業 | 整理番号 | 5406-010 |
| 所管 | 環境水道部 環境課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-------------|----------|-------------------------------|
| 事業期間 | 平成元年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市生ごみ処理機等購入事業補助金交付金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-4-6 | 施策名: ごみの減量と資源循環型社会の教育・普及・意識啓発 |
| | 関連施策: | 5-4-4 | 施策名: 適切な廃棄物分別・処理方式の確立 |
| 個別計画での位置づけ | 一般廃棄物処理基本計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | ごみの減量化、資源化を推進するため。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 生ごみ処理機等の購入費の一部を補助する(生ごみ処理機 購入費の1/2以内、最大30,000円限度、生ごみ処理容器 購入費の1/2以内、最大4,000円限度、ダンボールコンポスト 2,650円) |
| 成果 | 生ごみ処理容器等が普及し、可燃ごみの排出量の削減につながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 生ごみの水切り及び生ごみの堆肥化・減容化を推進することにより、可燃ごみ排出量の削減を図る。生ごみ処理容器等使用により悪臭等が軽減されている。平成26年度、市民からモニターを50名募集し、ダンボールコンポストの実用性を検証し、平成27年9月から、環境課と市内の量販店2店舗で販売を開始した。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 生ごみ処理機購入費補助金額について、購入費の2分の1以内で限度額50,000円となっていたが、平成23年度より補助限度額を30,000円に減額し、事業用生ごみ処理容器等の購入費補助制度については廃止とした。平成27年度よりダンボールコンポストも補助の対象とした。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------------------------------|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 生ごみ処理機等助成事業補助基数 | | | | |
| | ・生ごみ処理機、処理容器 50基 ・ダンボールコンポスト 270個 | | | | |
| 事業費 | | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 2,000 | 2,000 | 2,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|---------------|------|----------|
| 事業名 | 上水道配水管布設等整備事業 | 整理番号 | 5504-010 |
| 所管 | 環境水道部 水道工務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------------------------|----------|---------------|
| 事業期間 | 平成23年度～平成33年度 | 根拠法令・要綱等 | 水道法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-5-4 | 施策名: 水道水の安定供給 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市上水道事業第9期経営変更、御殿場市水道ビジョン | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 水道水の安定供給を図る。 |
| 対象 | 全市民、全事業者(印野簡易水道を除く) |
| 手段 | 導・送・配水管布設及び老朽(経年)管の更新、耐震管および耐震適合管の布設を行う。 |
| 成果 | 配水管の整備により、水道水の安定供給が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成19年度に策定した御殿場市水道ビジョン(平成19年度～平成28年度)を基に、平成23年度に静岡県知事の認可を受けた御殿場市上水事業第9期経営変更に基づき、配水量の安定化のため事業を実施する。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 給水人口の見直し、配水ブロック化、緊急時における水の確保を図るため、平成23年度に御殿場市上水道事業第9期経営変更の認可を受けた。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

3,789,660

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------------------|---------|---------------------|---------------------|-----------|
| 事業内容 | 配水管布設(替) L=5,000m | | 配水管布設(替) L=4,000m | 配水管布設(替) L=4,000m | |
| | 耐震管布設 L=200m | | 耐震管布設 L=1,000m | 耐震管布設 L=1,000m | |
| | 減圧弁設置 1基 | | 減圧弁設置 1基 | 減圧弁設置 1基 | |
| | 送水管布設 L=200m | | 送水管布設 L=200m | 送水管布設 L=200m | |
| | 新東名他配水管布設替 L=2,000m | | 新東名他配水管布設替 L=2,400m | 新東名他配水管布設替 L=2,400m | |
| 事業費 | | 395,000 | 497,000 | 497,000 | 1,389,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 395,000 | 497,000 | 497,000 | 1,389,000 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|---------------|------|----------|
| 事業名 | 上水道配水池築造等整備事業 | 整理番号 | 5504-020 |
| 所管 | 環境水道部 水道工務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------------------------|----------|---------------|
| 事業期間 | 平成23年度～平成33年度 | 根拠法令・要綱等 | 水道法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-5-4 | 施策名: 水道水の安定供給 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市上水道事業第9期経営変更、御殿場市水道ビジョン | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 安定した配水量の確保を図る。 |
| 対象 | 全市民、全事業者(印野簡易水道を除く) |
| 手段 | 配水場築造、水中ポンプ(取水施設)の更新、電気設備・滅菌機等の更新、自家発電機設備の整備等を行う。 |
| 成果 | 取水及び配水施設の整備により、水道水の安定供給が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成19年度に策定した御殿場市水道ビジョン(平成19年度～平成28年度)を基に、平成23年度に静岡県知事の認可を受けた御殿場市上水事業第9期経営変更に基づき、配水量の安定化のため事業を実施する。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 給水人口の見直し、配水ブロック化、緊急時における水の確保を図るため、平成23年度に御殿場市上水道事業第9期経営変更の認可を受けた。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

2,192,470

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|---|--|---------|
| 事業内容 | | <ul style="list-style-type: none"> 上の山配水場築造 大子山配水場設計委託 電気設備更新 水位計、自動残留塩素計、流量計、滅菌機更新 取水ポンプ浚渫更新 | <ul style="list-style-type: none"> 大子山配水場築造 電気設備更新 水位計、自動残留塩素計、流量計、滅菌機更新 取水ポンプ浚渫更新 自家発電機更新 | <ul style="list-style-type: none"> 大子山配水場築造 茱萸沢第2、杉名沢配水池建屋耐震診断委託 水位計、自動残留塩素計、流量計、滅菌機更新 取水ポンプ浚渫更新 | |
| | 事業費 | 335,000 | 238,000 | 306,000 | 879,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 335,000 | 238,000 | 306,000 | 879,000 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 印野簡易水道整備事業 | 整理番号 | 5504-030 |
| 所管 | 環境水道部 水道工務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|----------------|----------|---------------|
| 事業期間 | 平成5年度 ～ 平成33年度 | 根拠法令・要綱等 | 水道法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-5-4 | 施策名: 水道水の安定供給 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市水道事業基本計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|-------------------------------------|
| 目的 | 簡易水道水の配水量の確保及び地区住民への水道水の安全確実な供給を図る。 |
| 対象 | 印野地区民 |
| 手段 | 年次計画による設備等施設の更新を行う。 |
| 成果 | 取水及び配水施設の整備により、水道水の安定供給が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成5年度の事業変更認可及び平成13年度に策定した御殿場市水道事業基本計画に基づき配水量の安定化のため事業を実施する。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成12～13年度に御殿場市上水道事業の現状を踏まえて、安全で良質な水道水を安定的に供給するための施策を検討し、平成13年度に御殿場市水道事業基本計画を策定した。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-----|---|--|---|---------|
| 事業内容 | | <ul style="list-style-type: none"> 御胎内配水場 緊急遮断弁設置 小木原工区配水場 緊急遮断弁設置設計委託 配水管布設替 L=450m | <ul style="list-style-type: none"> 印野本村配水場 緊急遮断弁設置 小木原第1配水場 水位計更新 配水管布設替 L=450m | <ul style="list-style-type: none"> 小木原工区配水場 緊急遮断弁設置 小木原第1配水場 流量計更新 各配水場建屋耐震診断 配水管布設替 L=450m | |
| 事業費 | | 39,000 | 39,000 | 44,000 | 122,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 39,000 | 39,000 | 44,000 | 122,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 企業会計移行事業 | 整理番号 | 5504-040 |
| 所管 | 環境水道部 水道業務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-5-4 | 施策名: 水道水の安定供給 |
| | 関連施策: | 7-5-4 | 施策名: わかりやすい財政状況の公表 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 簡易水道事業について、地方公営企業法を適用した企業会計方式へ移行することで経営状況の透明性を向上させ、健全な簡易水道経営が行われるようにする。 |
| 対象 | 御殿場市簡易水道事業 |
| 手段 | 業務委託により資産の調査・評価、システムの構築を行う。また、条例・規則の整備などの法適化に伴う事務手続き等を実施する。 |
| 成果 | 事業の財政状況や経営状況について明確な説明が可能となる。また、上水道事業や工業用水道事業と同じ会計処理方法となり、事務が円滑になる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成27年1月の総務省からの通達により、人口3万人以上の市町村の簡易水道事業は、平成32年度までに公営企業会計に基づいたものに移行することになっている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

24,500

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|-------------------|---------------------|-------------|--------|
| 事業内容 | | 基本計画策定及び固定資産調査・評価 | 固定資産調査・評価及びシステム構築準備 | システム構築・移行事務 | |
| 事業費 | | 7,000 | 5,000 | 10,000 | 22,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 7,000 | 5,000 | 10,000 | 22,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 下水道管渠整備事業 | 整理番号 | 5506-010 |
| 所管 | 環境水道部 下水道課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|---------------|
| 事業期間 | 昭和63年度～ | 根拠法令・要綱等 | 下水道法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-5-6 | 施策名: 公共下水道の整備 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市公共下水道事業計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|-----------------------------------|
| 目的 | 市街地における生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図る。 |
| 対象 | 御殿場市下水道整備構想エリアマップにおいて公共下水道で整備する区域 |
| 手段 | 御殿場処理区事業認可区域 648haの下水道管渠工事を実施する。 |
| 成果 | 生活環境の改善、自然環境の保全が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 御殿場処理区は平成18年度に4期 139haを追加し、事業認可区域 648haを5期の事業期間変更内に完了するように整備中。 下水道整備を要望している市民も多く、早期完成が必要である。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 御殿場処理区全体計画 892haのうち、1期事業区 109ha、2期事業区 280ha、3期事業区 120ha、4期事業区 139haを事業認可区域・5期事業認可で事業期間の変更を行い整備を実施している。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|--|-----------|
| 事業内容 | | 管渠工事L=2.5km A=10ha 御殿場、西田中、北久原、 栢ノ木地先 | 管渠工事L=2.5km A=10ha 御殿場、西田中、北久原、 栢ノ木地先 | 管渠工事L=2.6km A=12ha 御殿場、西田中、北久原、 栢ノ木、萩原地先 | |
| | 事業費 | 358,000 | 358,000 | 380,000 | 1,096,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 90,000 | 90,000 | 101,850 | 281,850 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 259,000 | 259,000 | 268,900 | 786,900 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | 9,000 | 9,000 | 9,250 | 27,250 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|-----------------------|------|----------|
| 事業名 | 御殿場市公共下水道整備のための計画策定事業 | 整理番号 | 5506-020 |
| 所管 | 環境水道部 下水道課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---|----------|--------------------------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成29年度 | 根拠法令・要綱等 | 下水道法・持続的な污水处理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-5-6 | 施策名: 公共下水道の整備 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市公共下水道事業計画(H25)、御殿場市公共下水道全体計画(H28予定)、御殿場市生活排水処理基本計画(H28.3) | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 県の作成した上位計画との適合、従来計画の更新と法改正に伴う内容の変更、国からの通知があった污水处理施設の10年程度での概成を行うため各計画を作成する。 |
| 対象 | 市内全域 |
| 手段 | 業務委託により、効率的な事業管理計画・污水处理施設整備構想を策定する。 |
| 成果 | 将来の人口予測、現状の水使用状況等、諸元を見直すことにより、過大な施設の建設を抑制することができる。また、下水道事業に関わる様々な経費を一元に管理することにより、今後の適正な事業量を把握することができる。 経済比較を基本とした適正な污水处理システムに、中期(10年程度)という目標を掲げ、早期な未整備地区の解消を成果とする。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成27年度において、上位計画にあたる狩野川流域総合計画が変更となるため、下水道法改正による位置づけ、事業評価による計画目標への反映を行う。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 下水道全体計画(平成29年3月予定)・下水道事業計画(平成26年3月)・御殿場市生活排水処理基本計画(平成28年3月) |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

33,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|------------|--------|--------|--------|--------|
| 事業内容 | 事業管理計画策定 | | | | |
| | 污水处理施設整備構想 | | | | |
| 事業費 | | 18,000 | | | 18,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 9,000 | | | 9,000 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 9,000 | 0 | 0 | 9,000 |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 浄化槽設置事業 | 整理番号 | 5507-010 |
| 所管 | 環境水道部 下水道課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---|----------|-------------------------|
| 事業期間 | 平成元年度～ | 根拠法令・要綱等 | 浄化槽法・御殿場市浄化槽設置事業補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-5-7 | 施策名: 合併処理浄化槽の普及 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市生活排水処理基本計画(H28.3)、御殿場市地域循環型社会形成推進地域計画(H26.11) | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 生活排水による公共用水域等の水質汚濁を防止するため。 |
| 対象 | 農業集落排水区域内又は公設浄化槽整備事業特定地域内の受益者を除く、公共下水道事業認可区域外に住宅の用途のために10人槽以下の浄化槽を設置する者 |
| 手段 | 浄化槽の設置費用の一部を補助する。 |
| 成果 | 公共用水域等の水質保全に寄与する。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市内には単独処理浄化槽やくみ取便槽など生活排水処理未処理世帯が多く残っている。下水道や農業集落排水など公共による汚水処理整備を行う区域以外の区域で汚水処理整備を推進し、市内の公共用水域等の水質保全を図るために行う事業として位置付けている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成3年4月 要綱改正、平成5年5月 要綱改正、平成10年6月 要綱改正、平成12年4月 要綱改正、平成13年4月 要綱改正、平成15年5月 要綱改正、平成16年4月 要綱改正、平成19年6月 要綱改正、平成21年1月 要綱改正、平成25年3月 要綱改正、平成28年3月 要綱改正 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 | |
|------|--|--|--|--------|--------|
| 事業内容 | 5人槽新築: 62基 5人槽転換: 8基 7人槽新築: 67基 7人槽転換: 18基 10人槽新築: 15基 10人槽転換: 2基 合計: 172基 | 5人槽新築: 62基 5人槽転換: 8基 7人槽新築: 67基 7人槽転換: 18基 10人槽新築: 15基 10人槽転換: 2基 合計: 172基 | 5人槽新築: 62基 5人槽転換: 8基 7人槽新築: 67基 7人槽転換: 18基 10人槽新築: 15基 10人槽転換: 2基 合計: 172基 | | |
| 事業費 | 26,000 | 26,000 | 26,000 | 78,000 | |
| 財源内訳 | 国補 | 8,666 | 8,666 | 8,666 | 25,998 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 3,188 | 3,048 | 2,909 | 9,145 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 6,000 |
| 一般 | 12,146 | 12,286 | 12,425 | 36,857 | |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 公設浄化槽整備事業 | 整理番号 | 5507-020 |
| 所管 | 環境水道部 下水道課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成22年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市公設浄化槽の整備等に関する条例 他 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-5-7 | 施策名: 合併処理浄化槽の普及 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市地域循環社会形成推進地域計画(H26.11)、御殿場市生活排水処理基本計画(H28.3)、御殿場市公設浄化槽整備事業実施計画(H24.3) | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上、公共水域の水質保全を図るため。 |
| 対象 | 「特定地域」に居住する者で、専用住宅に合併処理浄化槽の設置を希望する者 |
| 手段 | 浄化槽の設置を希望する者の申請等に基づき、市が浄化槽の整備を行う。 |
| 成果 | 「特定地域」及び下流域における河川水質の改善及び流水量の確保、その他の水環境の保全が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市内には単独処理浄化槽やくみ取便槽など生活排水処理未処理世帯が多く残っている。下水道や農業集落排水などの集合処理により汚水処理整備を行う区域以外の区域で、市内の上流部などの汚水処理整備の推進が特に重要になる地域について、市が設置主体となり浄化槽を整備していくことへの市民の関心が高まっている。 事業実施前の平成23年度に対象区域の住民に対してアンケートを実施した。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成28年度より、事業の進捗速度の増加、効率的で質の高いサービスによる事業実施を目指し、PFI手法導入についての調査を行う。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---|--------|---|---|---------|
| 事業内容 | 浄化槽設置工事 | 45基 | 45基 | 50基 | |
| | ・5人槽:13基 ・7人槽:23基 ・10人槽:9基 ・その他(設計等) | | ・5人槽:13基 ・7人槽:23基 ・10人槽:9基 ・その他(設計等) | ・5人槽:18基 ・7人槽:25基 ・10人槽:7基 ・その他(設計等) | |
| 事業費 | | 51,000 | 51,000 | 55,000 | 157,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 16,439 | 16,439 | 17,670 | 50,548 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 2,765 | 2,765 | 2,973 | 8,503 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | 4,638 | 4,638 | 4,989 | 14,265 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 27,158 | 27,158 | 29,368 | 83,684 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|-----------------|------|----------|
| 事業名 | 御殿場浄化センター機器修繕事業 | 整理番号 | 5508-010 |
| 所管 | 環境水道部 下水道課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 平成19年度～ | 根拠法令・要綱等 | 地方公営企業法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-5-8 | 施策名: 汚水処理施設の拡充・維持管理 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 浄化センターの機器設備の老朽化に伴い、修繕・更新を行うことで延命化を図り、安全かつ効率的な維持管理を行う。 |
| 対象 | 御殿場浄化センター施設 |
| 手段 | 処理施設や設備機器の台帳の中から、老朽化(健全度)等の調査を行い、長寿命化計画に基づき順次修繕・更新等を行う。 |
| 成果 | 重要度が高く高額な中央監視設備や汚泥脱水機等の修繕・更新を行い、安全かつ効率的な維持管理ができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成6年に供用開始して以来20年が経過しており、設備などの更新時期が来ている。これまで機器の累積稼働時間などを考慮し点検や修繕を行っているが、長寿命化計画に基づき実施することで、事故の未然防止や効率的な維持管理が図れる。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成28年度社会資本整備事業に関する申請マニュアルの改正があり、長寿命化計画事業がストックマネジメント計画に改正され、下水道施設全体の計画策定が必要となった。電気・機械設備は耐用年数が経過しており、安全・安心で効率的に管理するためには改築更新の必要がある。その費用は多額であり、他の施設を含めて健全度及び経営計画を含めたストックマネジメント計画を策定することで国の補助で実施できる。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------------|--------|--|--|---------|
| 事業内容 | ・管理棟機械・電気設備更新実施設計 | | ・ストックマネジメント計画策定事業(浄化センター全体計画、ポンプ場全体計画) ・管理棟機械・電気設備更新工事 ・電気機器点検修繕(非常用バッテリー) | ・ストックマネジメント計画策定事業(浄化センター実施計画) ・管理棟機械・電気設備更新工事 ・沈砂池棟機械・電気設備更新実施設計 | |
| | ・ポンプ機器点検修繕(返送汚泥) | | | | |
| 事業費 | | 20,000 | 80,000 | 111,000 | 211,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 8,500 | 38,050 | 58,500 | 105,050 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 8,000 | 4,700 | 32,700 | 45,400 |
| | 財繰 | 575 | 2,097 | 2,625 | 5,297 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 2,925 | 35,153 | 17,175 | 55,253 | |
| (投資) | 2,850 | 4,750 | | 7,600 | |

| | | | |
|-----|----------------|------|----------|
| 事業名 | 御殿場浄化センター耐震化事業 | 整理番号 | 5508-040 |
| 所管 | 環境水道部 下水道課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成36年度 | 根拠法令・要綱等 | 地方公営企業法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-5-8 | 施策名: 汚水処理施設の拡充・維持管理 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 御殿場浄化センターの各施設の耐震化を図り、安定的な下水処理を行う。 |
| 対象 | 御殿場浄化センター施設 |
| 手段 | 下水道総合地震計画を策定し、各施設の耐震診断を行い、計画的に順次耐震化工事を行う。 |
| 成果 | 大地震による被害を最小限に抑え、下水処理機能を維持していく。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 浄化センター施設は兵庫県南部地震以前の耐震基準で設計されており、平成10年の改定基準に定めるレベル2地震動を想定していない。周辺住民の求める安定的な水処理を災害時でも維持するため、下水道総合地震対策計画の策定が必要となり、各施設の耐震診断及び計画策定を行い、計画に基づく耐震工事を速やかに実施していく。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 社会資本整備事業の基幹事業の一つであり、平成25年度より5年間以内に、原則として計画期間5年以内の下水道総合地震対策計画の策定が求められており、速やかな計画の策定及び耐震工事の実施が必要となる。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

554,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|--|----------------------------|---------|
| 事業内容 | | ・沈砂池棟耐震診断 ・下水道総合地震対策計画 ・管理棟耐震工事実施設計 | ・管理棟耐震化工事 ・管理棟電気設備耐震化工事 ・水処理施設耐震診断 | ・管理棟耐震化工事 ・管理棟電気設備耐震化工事 | |
| 事業費 | | 44,000 | 59,000 | 63,000 | 166,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 22,000 | 31,500 | 33,500 | 87,000 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 7,600 | 17,100 | 28,000 | 52,700 |
| | 財繰 | 1,100 | 1,375 | 1,475 | 3,950 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 13,300 | 9,025 | 25 | 22,350 |
| | 13,300 | 9,025 | 25 | 22,350 | |

| | | | |
|-----|----------------|------|----------|
| 事業名 | 優良田園住宅基本方針策定事業 | 整理番号 | 6201-010 |
| 所管 | 都市建設部 都市計画課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成30年度 ~ 平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | 優良田園住宅の建設の促進に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-2-1 | 施策名: 人口維持、増加の促進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 市街化調整区域(高根地区)の定住人口の維持・増加を図る。 |
| 対象 | 市民、市外住民、事業者 |
| 手段 | 市街化調整区域(高根地区)において、市が優良田園住宅基本方針を策定することにより、これに基づく建設計画を建設する者が作成することで、一定要件の住宅を建設することが可能となる。 |
| 成果 | 市街化調整区域(高根地区)において、一定要件の住宅の建設が可能となり、定住人口の維持・増加につながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 高根地区民の多くは、近年の人口減少に危機感を持ち、地区として地区内で進められているほ場整備の手法を活用し、優良田園住宅のための用地を確保した。ほ場整備事業も順調に進み、平成30年度の完了を見込んでいることから平成30年度の基本方針の策定を予定する。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

2,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------|---------------|--------|-------|
| 事業内容 | | | 優良田園住宅基本方針の策定 | | |
| 事業費 | | | 2,000 | | 2,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | 2,000 | | 2,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|--------------------|------|----------|
| 事業名 | 市街化調整区域既存集落内宅地創出事業 | 整理番号 | 6201-020 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------|
| 事業期間 | 平成28年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-2-1 | 施策名: 人口維持、増加の促進 |
| | 関連施策: | 6-5-4 | 施策名: 豊かな住環境の整備 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 市街化調整区域内の既存集落における定住人口の維持を図る。 |
| 対象 | 移住希望世帯 |
| 手段 | 事業手法として、土地開発公社が用地取得、造成工事等の一連の業務を行い住宅地を整備し、市が県外住民等へ土地を照会後、公社から用地を買い戻し、住宅地の売却を行う。 |
| 成果 | 新たな住宅地の整備により、人口が増え、地域の活力維持や文化の伝承等が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 本市は現在も人口が微増し、地方でも数少ない成長を持続している都市である。しかし、旧町村単位では減少を続けている地区が3地区ある。市街化調整区域に含まれるこの地区は、制度上人口減少は避けられないが、少なくとも市役所支所周辺等の既存集落においては、人口維持に向けた手立てが必要である。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---------|
| 事業内容 | | 印野地区宅地創出事業の公社への元利償還繰出金(8区画予定) | 高根地区宅地創出事業の公社への元利償還繰出金(8区画予定) | 玉穂地区宅地創出事業の公社への元利償還繰出金(8区画予定) | |
| 事業費 | | 75,000 | 80,000 | 80,000 | 235,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 75,000 | 80,000 | 80,000 | 235,000 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 板妻南工業団地開発事業 | 整理番号 | 6204-010 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成26年度～平成31年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-2-4 | 施策名: 新たな工業用地の創出 |
| | 関連施策: | 1-2-1 | 施策名: 新たな工業用地の開発と企業の誘致 |
| 個別計画での位置づけ | 都市計画マスタープラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 工業用地の不足を解消するため新たな工業用地を創出し、企業誘致を図る。 |
| 対象 | 企業、地域住民 |
| 手段 | 事業手法として、土地開発公社が用地取得、立木補償、造成工事等の一連の業務を行い工業用地を整備し、市が企業誘致後、公社から用地を買い戻し、工業用地の売却を行う。 |
| 成果 | 新たな企業の立地により雇用の創出、税収の向上が図られ、地域の活性化につながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 本計画地は、都市計画マスタープランに工業・流通ゾーンとして位置付けられており、工業用地の不足を解消するため新たな工業用地を創出し、企業誘致を図るとともに地域の活性化につなげる。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

1,170,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---|---------|--------|--------|---------|
| 事業内容 | 第2期用地取得 第2期立木補償 第2期造成工事 の公社への元利償還繰出金 | | | | |
| | 事業費 | 480,000 | | | 480,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 480,000 | | | 480,000 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 夏刈工業用地開発事業 | 整理番号 | 6204-020 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～平成33年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-2-4 | 施策名: 新たな工業用地の創出 |
| | 関連施策: | 1-2-1 | 施策名: 新たな工業用地の開発と企業の誘致 |
| 個別計画での位置づけ | 都市計画マスタープラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 工業用地の不足を解消するため新たな工業用地を創出し、企業誘致を図る。 |
| 対象 | 企業、地域住民 |
| 手段 | 事業手法として、土地開発公社が用地取得、立木補償、造成工事等の一連の業務を行い工業用地を整備し、市が企業誘致後、公社から用地を買い戻し、工業用地の売却を行う。 |
| 成果 | 新たな企業の立地により雇用の創出、税収の向上が図られ、地域の活性化につながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 本計画地は、都市計画マスタープランに工業・流通ゾーンとして位置付けられており、工業用地の不足を解消するため新たな工業用地を創出し、企業誘致を図るとともに地域の活性化につなげる。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

900,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------------------|--------|------------------------------------|---|---------|
| 事業内容 | (土地開発公社) 測量設計費 30,000 | | (土地開発公社) 第1期用地補償費、造成工事等 470,000 | 測量設計 第1期用地取得 第1期立木補償 第1期造成工事 の公社への元利償還繰出金 | |
| | 事業費 | | | 500,000 | 500,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | 500,000 | 500,000 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 地籍調査事業 | 整理番号 | 6205-010 |
| 所管 | 産業部 地籍調査課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|----------|----------|----------------|
| 事業期間 | 昭和40年度～ | 根拠法令・要綱等 | 国土調査法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-2-5 | 施策名: 地籍調査事業の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 第6次十箇年計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 地籍の明確化を図る。 |
| 対象 | 土地所有者 |
| 手段 | 現地で、土地の境界・所有者・地目等を調査確認し、測量を行い、その成果について国・県の承認・認証を受けた後、法務局に送付する。 |
| 成果 | 地籍が明確になることにより、土地の境界トラブルの未然防止、土地取引の円滑化、公共事業の正確な計画策定・円滑化・コスト縮減、災害復旧の迅速化、課税の公平化、土地情報のシステム化が図れる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 地籍が不明確なため、境界トラブルが起きたり、公共事業や開発行為の際、境界確定に時間と費用を費やしているが、地籍調査を実施することにより懸案事項の解決が図られるため、未調査地区からの要望が多い。地籍調査の計画面積は、演習場・ゴルフ場・山岳地等を除外した7,173haで、平成27年度末の完了面積は4,828ha、進捗率は67.30%。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 昭和58年度より数値測量を導入。平成14年度からは、測量手法が日本測地系から世界測地系に移行されたことにより、世界共通の座標管理となった。平成17年度より立会い工程に一部民間委託を取り入れ、平成22年度からは調査地域全域について委託業者とともに立会いを進める方式に変更。さらに、平成27年度より、立会いの班編成の見直しを実施し、立会い精度の向上及び迅速化が成されている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|---|---|---------|
| 事業内容 | | 二子・沼田・中山の各一部32haの認証及び法務局への送り込、印野の一部87haの一筆地調査及び測量。 | 印野の一部87haの認証及び法務局への送り込、沼田・二子の各一部32haの一筆地調査及び測量。 | 沼田・二子の各一部32haの認証及び法務局への送り込、印野の一部85haの一筆地調査及び測量。 | |
| | 事業費 | 40,000 | 32,000 | 43,000 | 115,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 15,000 | 11,000 | 16,500 | 42,500 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 7,500 | 5,500 | 8,250 | 21,250 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 6,000 | | 6,000 | 12,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 250 | 250 | 250 | 750 |
| | 一般(投資) | 11,250 | 15,250 | 12,000 | 38,500 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 御殿場駅周辺活性化事業 | 整理番号 | 6301-010 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-------------------------------------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-3-1 | 施策名: 中心市街地活性化に向けた整備の推進 |
| | 関連施策: | 7-3-1 | 施策名: 市民参画機会の充実 |
| 個別計画での位置づけ | 中心市街地活性化基本計画・都市計画マスタープラン・バリアフリー基本構想 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 市の玄関口にふさわしい都市空間の再構築を行い、観光ハブ都市として国際交流人口の増大に併せたインフラ整備を実施し、駅利用者の安全通行と駅周辺の活性化を図る。 |
| 対象 | 中心市街地を訪れる来訪者及び中心市街地に居住する人々 |
| 手段 | 地区住民参画のまちづくり懇話会の意見聴取を行い、その後まちづくり協議会に移行し、民間事業者による事業提案を導入し、まちづくりを再構築する。 |
| 成果 | 民間活力の利用と住民主導によるまちづくりを進めることで、地域の実情に合った集客施設等の導入と安全・安心な都市空間の構築ができ、にぎわいのあるまちづくりの創出につながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 御殿場駅富士山口は、平成元年の駅前再開発、平成15年の駅前広場整備等により整備済となったが、平成25年に策定したバリアフリー基本構想における駅と各生活拠点施設への移動円滑化そして富士山世界遺産登録に伴う駅利用者の利便性向上、活性化に向けた都市のリノベーションを望む意見が多い。駅東西の連携強化と役割分担により、更なる集客力向上を目指す。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---------------------------------|
| 見直し改善の経過 | 従来の行政主体の事業から民間活力を利用した事業実施に誘導する。 |
|----------|---------------------------------|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

1,800,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------------------|--------|--|---------------------|---------|
| 事業内容 | 民間事業の誘導・調整 公共施設の基本設計等 | | 民間事業の調整 公共施設の実施設設計 JR用地取得 A=1,600㎡ | 民間事業の調整 公共施設の実施設 | |
| | 事業費 | 10,000 | 250,000 | 200,000 | 460,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | 180,000 | 144,000 | 324,000 |
| | 財繰 | 2,000 | 50,000 | 40,000 | 92,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 8,000 | 20,000 | 16,000 | 44,000 |
| (投資) | 8,000 | 20,000 | 16,000 | 44,000 | |

| | | | |
|-----|----------------|------|----------|
| 事業名 | 御殿場駅東西自由通路改修事業 | 整理番号 | 6302-010 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-3-2 | 施策名: 駅周辺の基盤整備 |
| | 関連施策: | 3-1-6 | 施策名: 公共施設などの耐震化の推進 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 御殿場駅東西自由通路は供用開始より30年近くの年月が経過しているが、現在まで点検・改修は行われていない。御殿場駅利用者の安全性を確保するため点検・改修を耐震を含め実施する。 |
| 対象 | 御殿場駅利用者 |
| 手段 | ①御殿場駅東西自由通路の点検を実施する。 ②点検結果に基づき御殿場駅東西自由通路改修工事を実施する。 |
| 成果 | 御殿場駅東西自由通路を点検・改修することにより、より安全に御殿場駅東西自由通路を使用することができる。また災害時の一時避難先としても利用できる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 各地で大震災がおこる中、御殿場市も例外ではなく緊急時に人が一時避難先として利用することも考えられるため、公共施設の安全性の確保が急務となる。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------|
| 事業内容 | | 点検設計費 ・跨線橋点検 ・耐震診断 ・建築調査 | 東西自由通路点検費 東西自由通路耐震診断費 建築調査委託 | 東西自由通路修繕設計費 ・跨線橋 ・耐震 ・建築物 | |
| 事業費 | | 5,000 | 41,000 | 10,000 | 56,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | 22,550 | 5,500 | 28,050 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 3,600 | 9,200 | 2,200 | 15,000 |
| | 財繰 | 1,000 | 8,200 | 2,000 | 11,200 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 400 | 1,050 | 300 | 1,750 |
| | | | | 300 | 300 |

| | | | |
|-----|------------------|------|----------|
| 事業名 | 都市計画道路新橋茱萸沢線整備事業 | 整理番号 | 6303-010 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成19年度～平成34年度 | 根拠法令・要綱等 | 道路法、都市計画法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-3-3 | 施策名: 中心市街地活性化に向けた道路の整備 |
| | 関連施策: | 6-6-1 | 施策名: 都市計画道路・幹線道路の整備推進 |
| 個別計画での位置づけ | 中心市街地活性化基本計画、御殿場市都市計画マスタープラン、県都市計画区域マスタープラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 県主導の都市計画道路新橋茱萸沢線の整備により、御殿場駅周辺主要道路の整備及び安全な歩行者動線の確保を目的とする。 |
| 対象 | 道路利用者(御殿場駅利用者、周辺住民等) |
| 手段 | 都市計画道路の整備を実施する。 延長L=280m 幅員W=19m (両側自転車歩行者道 幅員 W=4.5m) |
| 成果 | 御殿場駅へのアクセス性が向上し、駅利用者等の利便性が増すとともに、通過車両の整流と歩行者の安全確保を図り、あわせて駅を中心とした回遊性のあるまちづくりを推進し、中心市街地の活性化の一助となる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 本事業は、都市マスタープランや中心市街地活性化基本計画で重要に位置付けられた主要道路で、快適で安全に通行できるような整備が必要であり、住民意向調査からも整備要望が強い。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成19年度から地形測量、平成20年度境界査定を実施している。平成25年度から調査費が計上され事業採択の運びとなった。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

225,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------|--------|----------|----------|--------|
| 事業内容 | 用地補償費負担金 | | 用地補償費負担金 | 用地補償費負担金 | |
| 事業費 | | 30,000 | 30,000 | 30,000 | 90,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 18,900 | 18,900 | 18,900 | 56,700 |
| | 財繰 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 18,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 2,900 | 2,900 | 2,900 | 8,700 |
| 一般 | 2,200 | 2,200 | 2,200 | 6,600 | |
| (投資) | 2,200 | 2,200 | 2,200 | 6,600 | |

| | | | |
|-----|-----------------------------|------|----------|
| 事業名 | 都市計画道路新橋深沢線道路整備事業(市道0115号線) | 整理番号 | 6303-020 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成17年度～平成34年度 | 根拠法令・要綱等 | 道路法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-3-3 | 施策名: 中心市街地活性化に向けた道路の整備 |
| | 関連施策: | 6-3-4 | 施策名: 自転車・歩行者空間の整備 |
| 個別計画での位置づけ | 中心市街地活性化基本計画、御殿場市都市計画マスタープラン、県都市計画区域マスタープラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 駅東地区の都市基盤を整備し環状道路を構築して、中心市街地の活性化とともに交通の整流化を図ることを目的とする。 |
| 対象 | 道路利用者(御殿場駅利用者、周辺住民等) |
| 手段 | 都市計画道路の整備を実施する。 総計画延長 L=955m 幅員 W=16m (両側歩道 幅員 W=3.5m) |
| 成果 | (県)御殿場箱根線から(都)御東原循環線まで供用開始されることにより、中心市街地全体の活性化とともに交通動線の整流化を図ることができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 本路線は、中心市街地活性化基本計画区域を構成する重要な都市計画道路に位置付けられ、早期に整備着手する必要がある。また、地域からの整備要望も強い。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成24年度に1工区 L=424mが完成し、社会資本整備総合交付金事業で2工区 L=231m(交安事業)が実施中、3工区 L=300m(改築事業)で実施することになる。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

2,800,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---|---------|--|------------------------|---------|
| 事業内容 | (2工区・3工区) 用地補償費(5件) 2工区道路工事 L=231m 3工区橋梁設計 | | (2工区) 道路工事 L=100m (3工区) 物件調査 用地補償費 | (3工区) 用地補償費 橋梁工事 | |
| | 事業費 | 252,000 | 120,000 | 210,000 | 582,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 138,000 | 65,800 | 115,500 | 319,300 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 82,000 | 38,800 | 68,000 | 188,800 |
| | 財繰 | 22,800 | 10,840 | 18,900 | 52,540 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 9,200 | 4,560 | 7,600 | 21,360 | |
| (投資) | 9,200 | 4,560 | 7,600 | 21,360 | |

| | | | |
|-----|--------------------|------|----------|
| 事業名 | 箱根乙女口広場・箱根乙女口線整備事業 | 整理番号 | 6303-030 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成23年度～平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | 都市再生特別措置法、道路法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-3-3 | 施策名: 中心市街地活性化に向けた道路の整備 |
| | 関連施策: | 6-3-2 | 施策名: 駅周辺の基盤整備 |
| 個別計画での位置づけ | 中心市街地活性化基本計画、御殿場市都市計画マスタープラン、県都市計画区域マスタープラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 快適で便利なまちなか拠点の実現に向け、駅前広場の整備、都市計画道路新橋深沢線へアプローチする導線の確保、活気ある街並み景観の形成やバリアフリー対策等駅東地区の活性化を目的とする。 |
| 対象 | 道路利用者、周辺住民、観光客 |
| 手段 | 駅東乙女口から都市計画道路新橋深沢線までの整備を実施する。 延長 L=282m 幅員 W=16～19m (両側歩道 幅員 W=3.5m) |
| 成果 | 観光の拠点である御殿場駅へのアクセス性が向上するとともに、駅利用者等の利便性が増し、歩行者の安全が確保される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 駅東地区全体のまちづくりについて、地域として検討することとなり、平成19年度に「駅東地区まちづくり検討委員会」が組織された。まちづくりアンケートが行われ、都市計画道路新橋深沢線と駅を結ぶ安心して歩ける歩道や幹線道路の整備の必要性が多かった。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成24年度から社会資本整備総合交付金事業(交通安全事業)を新規要望して事業着手中。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

2,006,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------------------------------|---------|----------|--------|---------|
| 事業内容 | 工事(広場整備、無電柱化) A=5,000㎡ 車道部分、歩道部分 | | 工事(無電柱化) | | |
| | 事業費 | 670,000 | 150,000 | | 820,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 198,000 | 80,250 | | 278,250 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 339,800 | 47,200 | | 387,000 |
| | 財繰 | 94,400 | 14,250 | | 108,650 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 37,800 | 8,300 | 0 | 46,100 |
| | 37,800 | 8,300 | | 46,100 | |

| | | | |
|-----|---------------|------|----------|
| 事業名 | 駅東地区まちづくり推進事業 | 整理番号 | 6303-040 |
| 所管 | 都市建設部 都市計画課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成30年度 ~ 平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | 都市計画法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-3-3 | 施策名: 中心市街地活性化に向けた道路の整備 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | JR御殿場線箱根乙女口駅前広場、(都)新橋深沢線等の整備に合わせ、地区計画などの都市計画決定を行うことにより駅東地区の拠点性、利便性を高め、安全で安心な住み良いまちを形成することを目的とする。 |
| 対象 | 中心市街地に居住する市民、商業者 |
| 手段 | 地区住民や商業者が参画する「まちづくり懇話会」とともに、まちづくりを推進する。 |
| 成果 | まちづくり懇話会からの提言を踏まえ、必要な都市計画決定を行うことで、当該地区の拠点性、利便性を高め、安全で安心な住み良いまちづくりの形成が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | まちづくり懇話会において、地区住民や商業者から駅東地区のまちづくりに係る提言を反映させ、既に新橋深沢線(1工区)周辺地域の都市計画決定を段階的に行っている。駅東地区全体の効果を高めるには、箱根乙女口広場、新橋深沢線(2工区、3工区)周辺地域の都市計画決定を道路整備の完了に合わせて、引き続き行っていく必要がある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

1,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------|---------------------------------|--------|-------|
| 事業内容 | | | 箱根乙女口・新橋深沢線沿線の用途地域・地区計画等の都市計画決定 | | |
| 事業費 | | | 1,000 | | 1,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 1,000 | 0 | 1,000 |

| | | | |
|-----|----------------------------|------|----------|
| 事業名 | 都市計画道路御東原循環線(市道0114号線)整備事業 | 整理番号 | 6303-050 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成31年度～平成38年度 | 根拠法令・要綱等 | 道路法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-3-3 | 施策名: 中心市街地活性化に向けた道路の整備 |
| | 関連施策: | 6-3-4 | 施策名: 自転車・歩行者空間の整備 |
| 個別計画での位置づけ | 中心市街地活性化基本計画、御殿場市都市計画マスタープラン、県都市計画区域マスタープラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 都市基盤を整備し環状道路を構築して、中心市街地の活性化とともに交通の整流化を図ることを目的とする。 |
| 対象 | 道路利用者、周辺住民等 |
| 手段 | 新設道路の整備を実施する。 延長 L=270m 幅員 W=9m (両側歩道 幅員 W=3.5m) 用地買収 24件、物件補償 25件 |
| 成果 | (都)新橋深沢線の整備と合わせて行うことにより、中心市街地全体の活性化とともに交通動線の整流化を図ることができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 本路線は、中心市街地活性化基本計画区域を構成する重要な都市計画道路に位置付けられ、早期に整備着手する必要がある。また、地域からの整備要望も強い。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

1,516,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------|--------|---|-------|
| 事業内容 | | | | ・公図登記簿調査 A=12,000㎡ ・現地測量 A=12,000㎡ | |
| | 事業費 | | | 2,000 | 2,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 2,000 | 2,000 |
| | | | 2,000 | 2,000 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 御殿場駅前通り線事業 | 整理番号 | 6303-060 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成29年度 ~ 平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-3-3 | 施策名: 中心市街地活性化に向けた道路の整備 |
| | 関連施策: | 6-3-4 | 施策名: 自転車・歩行者空間の整備 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 御殿場駅周辺主要道路の整備及び安全な歩行者動線の確保を図る。 |
| 対象 | 御殿場駅利用者、駅前施設利用者、周辺住民 |
| 手段 | 歩道整備を実施する。 延長 L=10m 歩道幅員 W=3.5m 用地取得 A=36.05㎡ 物件補償 1件 |
| 成果 | 道路と歩道を明確に分けることにより歩行者の安全が確保される。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 現在の御殿場駅前通り線と県道との交差点は、車の交通量が多く歩行者も多いが歩道が狭く危険であるため、早急な整備が必要である。また、地域からの整備要望も強い。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

28,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-----------------------|--------|--------|--------|--------|
| 事業内容 | 用地取得 A=36㎡ 物件補償 1件 | | 歩道整備工事 | | |
| 事業費 | | 25,000 | 3,000 | | 28,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 18,000 | 2,100 | | 20,100 |
| | 財繰 | 5,000 | 600 | | 5,600 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 2,000 | 300 | 0 | 2,300 |
| | 2,000 | 300 | | 2,300 | |

| | | | |
|-----|---------------------|------|----------|
| 事業名 | 中心市街地整備事業(市道4242号線) | 整理番号 | 6304-010 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-------------------|
| 事業期間 | 平成16年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-3-4 | 施策名: 自転車・歩行者空間の整備 |
| | 関連施策: | 6-3-2 | 施策名: 駅周辺の基盤整備 |
| 個別計画での位置づけ | 社会資本総合整備計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 御殿場駅周辺主要道路の整備及び安全な歩行者動線の確保を目的とする。 |
| 対象 | 道路利用者(御殿場駅利用者、周辺住民等) |
| 手段 | 既存道路の改修を実施する。 延長 L=360m 幅員 W=11m(片側歩道 幅員 W=3.5m) 用地取得 20件 物件補償 15件 橋梁工事 1箇所 |
| 成果 | 御殿場駅へのアクセス性が向上し、駅利用者等の利便性が増すとともに、歩行者の安全が確保され、周辺の居住環境が改善される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成22年度まで社会資本整備総合交付金事業(まちづくり整備事業)で実施していたが、平成24年度から社会資本整備総合交付金事業(交通安全事業)で整備している。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

1,097,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------|--------|--------------------------|---------|
| 事業内容 | 物件等調査費 | | 物件等調査費 | 用地取得(1人)230㎡ 物件補償(1件) | |
| 事業費 | | 1,000 | 1,000 | 164,000 | 166,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | 89,100 | 89,100 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | 52,400 | 52,400 |
| | 財繰 | 200 | 200 | 14,980 | 15,380 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 800 | 800 | 7,520 | 9,120 |
| | 800 | 800 | 7,520 | 9,120 | |

| | | | |
|-----|------------------|------|----------|
| 事業名 | 秩父宮記念公園整備事業(第2期) | 整理番号 | 6401-010 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|------------------|
| 事業期間 | 平成26年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | 都市公園法、御殿場市都市公園条例 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-4-1 | 施策名: 公園・緑地の整備 |
| | 関連施策: | 1-1-7 | 施策名: 観光資源の整備 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市緑の基本計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 秩父宮記念公園は、総合公園として平成11年に都市計画決定を受け、平成15年にその一部(約9.8haのうち6.1ha)を供用開始し、市内外から年間約10万人の来園者がいる。引き続き、御別邸を中心とした市民憩いの場とするほか、観光ハブ都市を目指した観光施設として残りの区域を整備するもの。 |
| 対象 | 市内外の公園利用者 |
| 手段 | 平成29年度 用地買収・物件補償、建築実施設計 平成30年度 用地買い戻し 平成31年度 整備工事、用地買い戻し |
| 成果 | 市民憩いの場所として、日常生活にゆとりと潤いを与える。また、観光ハブ都市を目指した観光施設の1つとして市外からの観光客を誘致できる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市を代表する公園として市民にも認知され、平成25年には来園100万人を達成したが、市民の来園が少ない状況にあり、また、観光施設としての機能が少ない施設である。事業実施にあたり、関係地権者は事業に概ねの理解を示している。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 市民の緑化意識を高める研修ができるよう緑育エリアを設ける。来園者が1日中公園内で休息し、くつろげるよう飲食提供施設を設けることで滞在型観光の拠点としての整備を計画する。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

2,113,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------------------|---------|---------------|-----------------------|---------|
| 事業内容 | 用地取得・物件補償 建築実施設計 | | 公社買い戻しによる用地取得 | 整備工事 公社買い戻しによる用地取得 | |
| | 事業費 | 159,000 | 152,000 | 509,000 | 820,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 57,100 | 50,300 | 237,800 | 345,200 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 73,700 | 73,300 | 226,000 | 373,000 |
| | 財繰 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 60,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 8,200 | 8,400 | 25,200 | 41,800 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 緑の基本計画策定事業 | 整理番号 | 6401-020 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|---------------|
| 事業期間 | 平成16年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-4-1 | 施策名: 公園・緑地の整備 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 平成16年度に策定した「御殿場市緑の基本計画」では、平成32年(最終年)の公園の整備目標水準を都市計画区域人口1人当たり4.9㎡としている。最終年度が近づく中、これまでの目標達成度のチェック及び検証、さらには緑全般について将来のあるべき姿とそれを実現するための新たな施策の見直しを目的とする。 |
| 対象 | 市民、企業、団体 |
| 手段 | ・目標達成度チェック ・市民意見の把握(ワークショップ・市民アンケートの実施) ・策定委員会等の設置 計画策定 |
| 成果 | 本市におけるこれからの緑化の保全及び推進に関する運営指針となる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 富士山文化遺産登録を背景に官民一体となった市内全域の緑化推進への取組や、緑あふれる魅力あるまちづくりへの寄与、住民の緑化等への意識の高まりを図るものである。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

12,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------|--|---|--------|
| 事業内容 | | | ・基礎調査 ・目標達成度チェック ・市民意見把握(アンケート調査) ・懇話会、委員会組織化 | ・基本方針の設定 ・基本計画の策定 ・懇話会、委員会 ・パブリックコメントの実施 | |
| 事業費 | | | 5,000 | 7,000 | 12,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 5,000 | 7,000 | 12,000 |

| | | | |
|-----|-----------------------------|------|----------|
| 事業名 | 玉穂地区市民の森づくり・クロスカントリーコース整備事業 | 整理番号 | 6401-030 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|--|----------|-----------------|
| 事業期間 | 平成12年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-4-1 | 施策名: 公園・緑地の整備 |
| | 関連施策: | 6-4-4 | 施策名: 市民の森づくりの推進 |
| 個別計画での位置づけ | 市民の森づくり構想、御殿場市玉穂地区市民の森・クロスカントリーコース整備基本構想、御殿場市観光戦略プラン 外 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 21世紀を迎え、未来への遺産づくりとして、御殿場市の自然環境や資源の活用と保全を図るとともに、クロスカントリーコースを整備することにより、市民がスポーツに親しみ取り組む環境を醸成する。 |
| 対象 | 市内6地区、市民・利用者 |
| 手段 | 「市民の森」づくりの趣旨である「森林を積極的に保全、再生」する観点から、自然林への樹種転換を含めた再生整備を行う。また、市民の森及び周辺にクロスカントリーコースを整備する。 |
| 成果 | 多くの市民が自然に親しむことができ、森林の特性に関する理解が進む。あわせて、クロスカントリー等のトレーニングを通じた健康づくりに資する。また、競技大会や合宿等のスポーツコンベンション誘致を図ることにより、経済波及効果が期待される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成13年より進めてきた市民の森構想は住民の憩いの場としての整備要望が多い。また、玉穂地区は市内のスポーツ施設が集中しており、スポーツへの関心の高い地域である。このため、地域住民や体育関係者の意見をまとめたものが市民の森・クロスカントリーコース整備基本構想である。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 地域住民や有識者の意見をまとめた玉穂地区市民の森・クロスカントリーコース整備基本構想では、「玉穂地区市民の森ゾーン」と「スポーツ交流・体験活動ゾーン」の2つに分け、順次整備を進めていく。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

1,950,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------|---------|----------|---------|---------|
| 事業内容 | 第1工区整備工事 | | 第2工区実施設計 | 第2工区工事 | |
| 事業費 | | 600,000 | 50,000 | 200,000 | 850,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | 37,500 | 150,000 | 187,500 |
| | 財繰 | 600,000 | | | 600,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 0 | 12,500 | 50,000 | 62,500 |
| (投資) | 0 | 12,500 | 50,000 | 62,500 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 公園施設改善事業 | 整理番号 | 6402-010 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|----------------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成25年度～平成35年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-4-2 | 施策名: 公園施設等の計画的な修繕・更新 |
| | 関連施策: | 6-5-7 | 施策名: ユニバーサルデザインの意識啓発 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市公園施設長寿命化計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 障害者等の利用に支障がある公園施設をユニバーサルデザインの理念の基に改善し、また老朽化した施設を公園施設長寿命化計画に基づき施設を更新することで、全ての公園利用者が快適に楽しめる環境を整備し、安心・安全な施設を維持する。 |
| 対象 | 障害者、幼児から高齢者までの全ての公園利用者 |
| 手段 | 平成25年度に策定した公園長寿命化計画に基づいて、老朽化した遊具を更新する。また、ユニバーサルデザイン化するトイレの改善を図る。 |
| 成果 | あらゆる年齢・障害の度合いなどにかかわらず誰もが利用でき、安全・安心な公園となる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 第3次総合計画において「全ての人に優しいまちづくり」を基本目標としていること、また施設が老朽化していることから、改善を推進する必要がある。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成25年度に公園施設寿命化計画が策定され、今後、計画に沿った施設改善を実施していく。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------------------------|--------|--|--|--------|
| 事業内容 | 中央公園休息所改善 東田中富士見公園休息所改善 | | 長寿命化計画に則った施設更新 (中央公園 園路 250㎡ 外) 駒門公園施設改修検討事業 | 長寿命化計画に則った施設更新 (湯沢平公園照明施設等 外) 駒門公園施設改修検討事業 | |
| 事業費 | | 14,000 | 32,000 | 45,000 | 91,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 3,500 | 8,000 | 11,250 | 22,750 |
| | 市債 | 9,400 | 21,600 | 30,300 | 61,300 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 1,100 | 2,400 | 3,450 | 6,950 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 緑化推進事業 | 整理番号 | 6403-010 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|--------|----------|--------------|
| 事業期間 | 平成6年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-4-3 | 施策名: 緑化活動の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 花と緑に包まれた、潤いと親しみのある美しい生活環境を形成する。 |
| 対象 | 市民、来訪者 |
| 手段 | ①花いっぱいまちづくり事業（公共施設などへの花苗・樹木の配布） ②緑化協働事業（緑化推進モデル地区・緑化重点地域など） ③緑のネットワーク事業（あじさいの道、市道0237号線沿い緑地整備・維持管理など） ④生垣設置奨励事業 |
| 成果 | 花と緑に包まれた、潤いと親しみのある美しい生活環境を形成することができる。 |

| | |
|----------------|----------------------------|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 花と緑に包まれた美しい生活環境の形成が望まれている。 |
|----------------|----------------------------|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|--------|
| 事業内容 | | ・生垣設置奨励事業 ・緑化協働事業(緑きらきら推進・緑化重点地域事業など) ・花いっぱいまちづくり事業 ・緑のネットワーク事業 | ・生垣設置奨励事業 ・緑化協働事業(緑きらきら推進・緑化重点地域事業など) ・花いっぱいまちづくり事業 ・緑のネットワーク事業 | ・生垣設置奨励事業 ・緑化協働事業(緑きらきら推進・緑化重点地域事業など) ・花いっぱいまちづくり事業 ・緑のネットワーク事業 | |
| 事業費 | | 11,000 | 11,000 | 11,000 | 33,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 525 | 525 | 525 | 1,575 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 10,475 | 10,475 | 10,475 | 31,425 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|---------------------|------|----------|
| 事業名 | 「富士山桜いっぱいまちづくり」推進事業 | 整理番号 | 6403-020 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課、道路河川課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成24年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-4-3 | 施策名: 緑化活動の推進 |
| | 関連施策: | 6-1-3 | 施策名: 景観資源を生かした良好な景観の形成 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 富士山の麓、桜がいっぱいのまちづくりを進めることで、市民の安らぎと観光ハブ都市としての魅力ある景観づくりに寄与する。 |
| 対象 | 市民、観光客 |
| 手段 | ①公共施設への桜の植栽（世界一の桜並木の推進） ②誕生記念樹としての桜苗木の配布 ③各種イベントにおける桜苗木の配布 ④民間土地利用に伴う桜植栽の推進 |
| 成果 | 市民の憩いの場の形成とともに、観光ハブ都市として魅力ある景観を形成することができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 桜の咲き誇る安らぎと魅力のある景観形成が望まれるとともに、御殿場市を広くPRするための名所等の整備が望まれる。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|---|--------|
| 事業内容 | | ・市道0114号線他整備事業 ・誕生記念樹(桜)配布事業 ・各種イベントにおける桜苗木配布事業 | ・市道0114号線他整備事業 ・誕生記念樹(桜)配布事業 ・各種イベントにおける桜苗木配布事業 | ・市道0114号線他整備事業 ・誕生記念樹(桜)配布事業 ・各種イベントにおける桜苗木配布事業 | |
| | 事業費 | 3,000 | 8,000 | 4,000 | 15,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 1,500 | 4,000 | | 5,500 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | 2,000 | 2,000 |
| | 一般(投資) | 1,500 | 4,000 | 2,000 | 7,500 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|----------------|------|----------|
| 事業名 | 全国椿サミット御殿場大会事業 | 整理番号 | 6403-030 |
| 所管 | 都市建設部 都市整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--------------|
| 事業期間 | 平成29年度～平成31年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-4-3 | 施策名: 緑化活動の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市景観計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 御殿場の魅力を全国に周知し、あわせて市民に御殿場の椿の魅力を伝える。 |
| 対象 | 市民、来訪者 |
| 手段 | 御殿場椿の会、観光協会、商工会等と協働しながら、御殿場の魅力を伝え、来訪者がまた訪れたいと思えるような大会を開催する。 |
| 成果 | 東山旧岸邸、秩父宮記念公園をはじめ、当市を代表する観光資源を全国に発信することができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成28年3月に御殿場椿の会と協働して、樹齢400年の「太郎冠者」を東山旧岸邸へ移植した。この椿や御殿場の資源を全国にPRするため、平成28年4月全国椿サミット協議会に2019年大会誘致の申出をし、内定となった。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

36,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|---------------|--------|
| 事業内容 | | ・準備委員会の運営 ・既存施設の再整備 ・大会開催に向けたPR活動 | ・実行委員会の運営 ・大会開催に向けたPR活動 ・全国椿サミット御殿場大会 | ・次期開催地との引継ぎ業務 | |
| 事業費 | | 14,000 | 21,000 | 1,000 | 36,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 2,800 | 3,420 | | 6,220 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | 3,900 | | 3,900 |
| | 一般(投資) | 11,200 | 13,680 | 1,000 | 25,880 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 地区広場改修事業 | 整理番号 | 6405-010 |
| 所管 | 市民部 市民協働課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|---------------|
| 事業期間 | 平成20年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-4-5 | 施策名: 地区広場等の整備 |
| | 関連施策: | 7-8-1 | 施策名: 財産区との連携 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 既存施設の改修・整備を行い、スポーツに親しめる環境を向上させ、スポーツ活動の促進を図る。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 施設等改修工事を実施する。 |
| 成果 | 改修工事の実施により、多くの市民にとって利用しやすい施設となり、健康づくり活動の促進を図ることができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 経年劣化により各施設に修繕の必要が生じている。地域のふれあいの場としての位置付けもあり、地域の要望に沿って、施設の改修を順次実施していく。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|-------------------------------------|
| 見直し改善の経過 | 利用者の意見を聞きながら、必要最小限の修繕・改修を計画的に行っていく。 |
|----------|-------------------------------------|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|--------------------|--|---------|
| 事業内容 | | ・ふれあいプール玉穂 外壁・設備改修工事 ・高根西ふれあい広場 バックネット設置工事 | ・ふれあいプール玉穂 設備修繕 | ・玉穂地区東広場 照明機器修繕 ・玉穂地区西広場 照明機器修繕 | |
| 事業費 | | 396,000 | 20,000 | 69,000 | 485,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 396,000 | 20,000 | 69,000 | 485,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|------------------|------|----------|
| 事業名 | 地区児童屋内体育施設環境整備事業 | 整理番号 | 6405-020 |
| 所管 | 教育部 教育総務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市地区体育施設及び児童屋内体育施設設置条例 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-4-5 | 施策名: 地区広場等の整備 |
| | 関連施策: | 4-1-8 | 施策名: 学校などの教育施設・設備の充実 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 地区児童屋内体育施設等について、地域住民のニーズに即した改修を行うことにより、施設の有効利用を図るとともに、地域住民の安全性の確保及びより良い環境の整備を図る。 |
| 対象 | 地域住民 |
| 手段 | 施設のリニューアル改修を実施する。 高根地区児童屋内体育施設 SRC造 2階 1,726㎡ 御殿場地区児童屋内体育施設 SRC造 1階 1,386㎡ |
| 成果 | 機能的で快適な施設環境と安全性の確保が図られる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 地区児童屋内体育施設等は、地域住民の多くが利用する地域コミュニティの中心施設であり、災害時の避難所としても位置付けられているため、老朽化した施設の安全性の確保と環境改善が求められている。 高根地区児童屋内体育施設(昭和57年建設)、御殿場地区児童屋内体育施設(昭和58年建設) |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------------------|-----|--------------------------------------|---|---|---------|
| 事業内容 | | ・高根地区児童屋内体育施設 リニューアル計画策定、 実施設計 | ・高根地区児童屋内体育施設 実施設計、リニューアル工事、 工事監理 | ・御殿場地区児童屋内体育 施設 リニューアル計画策定、 実施設計 | |
| 事業費 | | 10,000 | 351,000 | 10,000 | 371,000 |
| 財 源 内 訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | 3,600 | 41,160 | 4,500 | 49,260 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 2,400 | 111,000 | 2,700 | 116,100 |
| | 財繰 | 3,200 | 154,920 | 1,925 | 160,045 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 800 | 43,920 | 875 | 45,595 |
| (投資) | 800 | 43,920 | 875 | 45,595 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 建築物等地震対策事業 | 整理番号 | 6501-010 |
| 所管 | 都市建設部 建築住宅課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|--------------------|----------|---------------------------|
| 事業期間 | 平成13年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | 建築物の耐震改修促進に関する法律(耐震改修促進法) |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-5-1 | 施策名: 安全な住宅の整備 |
| | 関連施策: | 3-1-6 | 施策名: 公共施設などの耐震化の推進 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市住宅・建築物耐震改修促進計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 地震発生時における既存建築物の倒壊による災害を防止、市民の生命及び財産を保護する。 |
| 対象 | 旧基準(昭和56年5月31日以前の建築基準法)で建築された木造住宅、建築物及び倒壊の危険性のあるブロック塀等 |
| 手段 | 市の要綱に定める耐震診断を行ったり、又は倒壊の危険性のあるブロック塀等を撤去したり、耐震診断の結果、評点が1.0未満(やや危険、倒壊又は大破の危険あり)の木造住宅について、評点を1.0以上(一応安全)に補強する工事をする者に一部助成を行う。 |
| 成果 | 旧基準の木造住宅の耐震化を進め、市民の生命を守り、建築物の倒壊による災害被害の低減を図る。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 東海地震説が発表されて約40年経ち、今後30年以内に発生する確率が70%程度と発表された。また、富士山直下の活断層報道や東南海トラフ地震想定報道や、あるいは、東北地方の東日本大震災、平成28年熊本地震等が発生しており、住宅の耐震改修に対する関心が高まっている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成20年に木造住宅耐震補強助成事業に市単独上乘せ分10万、平成28年度に更に10万上乘せし事業の促進を促すこととした。平成32年度までに耐震化率を95%までとする国の目標に近づけるため、御殿場市も目標達成のため見直しをした。耐震改修に関心が高まっているが、広報誌、ダイレクトメールや個別訪問、危機管理課と連携した啓発活動等の実施によりPRを実施している。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|--------|
| 事業内容 | | ・木造住宅の無料診断 ・耐震補強工事の助成 ・建築物の精密診断 ・ブロック塀等の撤去、改善 | ・木造住宅の無料診断 ・耐震補強工事の助成 ・建築物の精密診断 ・ブロック塀等の撤去、改善 | ・木造住宅の無料診断 ・耐震補強工事の助成 ・建築物の精密診断 ・ブロック塀等の撤去、改善 | |
| | 事業費 | 25,000 | 25,000 | 25,000 | 75,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 5,705 | 5,705 | 5,705 | 17,115 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | 12,451 | 12,451 | 12,451 | 37,353 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 6,844 | 6,844 | 6,844 | 20,532 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 市営住宅環境整備事業 | 整理番号 | 6506-010 |
| 所管 | 都市建設部 建築住宅課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|----------------|----------|----------------|
| 事業期間 | 平成23年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | 公営住宅法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-5-6 | 施策名: 市営住宅の整備 |
| | 関連施策: | 7-5-5 | 施策名: 効果的な資産の活用 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市営住宅等長寿命化計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 老朽化した市営住宅ストックについて、市営住宅等長寿命化計画に基づいて予防保全的な維持管理を推進することにより、市営住宅の長寿命化を図る。 |
| 対象 | 市営住宅全般 管理戸数 897戸 |
| 手段 | 市営住宅等長寿命化計画により、環境・景観改善を順次実施していく。 |
| 成果 | 市営住宅ストックの長寿命化を図ることにより、効率的かつ円滑な更新が実現できる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 昭和40年代に建設した中層住宅の給排水管設備及び外壁が老朽化しているため、改修費が増加している。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成18年度から市営住宅の施設改修を実施し、景観改善に努めてきた。平成22年度に市営住宅等長寿命化計画を策定し、平成27年度に計画の見直しを行った。(計画期間:平成23～32年度) |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

223,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------|--|---|--|--------|
| 事業内容 | 事業内容 | ・市営住宅給排水設備改修 (御殿場団地A3・5・6棟 48戸) ・市営住宅外壁改修 (上栄団地) ・市営住宅解体除却 (西田中第1団地 5戸、玉穂第4団地 5戸) | ・市営住宅給排水設備改修 (上栄団地 16戸) ・市営住宅外壁改修 (富士岡団地) ・市営住宅解体除却 (西田中第1団地 5戸、玉穂第4団地 5戸) | ・市営住宅給排水設備改修 (印野第1団地 16戸) ・市営住宅外壁改修 (永原第1団地B棟) ・市営住宅解体除却 (西田中第1団地 5戸、玉穂第4団地 5戸) | |
| | 事業費 | 50,000 | 20,000 | 20,000 | 90,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 23,000 | 8,000 | 8,000 | 39,000 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 23,000 | 8,000 | 8,000 | 39,000 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 12,000 |
| (投資) | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 12,000 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 市営住宅建替事業 | 整理番号 | 6506-020 |
| 所管 | 都市建設部 建築住宅課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|----------------|----------|----------------|
| 事業期間 | 平成25年度～平成32年度 | 根拠法令・要綱等 | 公営住宅法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-5-6 | 施策名: 市営住宅の整備 |
| | 関連施策: | 7-5-5 | 施策名: 効果的な資産の活用 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市営住宅等長寿命化計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 建築されてから40年以上経過し老朽化している市営住宅の建替えにより、居住性や住環境の向上を図る。 |
| 対象 | 住宅に困窮する低所得者で、市民及び市に勤務する人並びに住替え希望の人 |
| 手段 | 平成27年度に見直しを行った御殿場市営住宅等長寿命化計画により建替事業を行う。 |
| 成果 | 市営住宅及び周辺の居住環境が整備され、安全で住みやすい住宅が確保される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 建築後40年以上経過した住宅のため老朽化が高い。また、高齢者世帯、単身世帯の増により地域の自治体活動等に支障を来しているため、入居募集に関しては、子育て世帯の優先入居も検討する必要がある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成22年度策定の御殿場市営住宅等長寿命化計画について、平成27年度に計画見直しを行った。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

678,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------------------|-----|--------|----------------------------|--|--------|
| 事業内容 | | | 上栄団地建替事業 移転補償、基本計画(35戸) | 上栄団地建替事業 用地測量等調査、基本設計、 実施設計(35戸) | |
| 事業費 | | | 5,000 | 30,000 | 35,000 |
| 財 源 内 訳 | 国補 | | 2,500 | 15,000 | 17,500 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | 2,500 | 15,000 | 17,500 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 地域計画関連道路整備事業 | 整理番号 | 6601-010 |
| 所管 | 都市建設部 道路河川課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成9年度 ~ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-6-1 | 施策名: 都市計画道路・幹線道路の整備推進 |
| | 関連施策: | 7-8-1 | 施策名: 財産区との連携 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 御殿場・原里・玉穂・印野・高根地区の計画的整備を実施し、地域環境の改善と景観に配慮した道路網の整備を行う。 |
| 対象 | 地域住民 |
| 手段 | 各地区の意見を重視し、市道の拡幅改良・舗装・歩道設置等を行う。 |
| 成果 | 地区の施設整備が進み、地区住民の施設利用環境の向上により、レクリエーションスポーツ活動の促進を図れる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 地区の施設整備が進んでいるが周辺道路の整備が追いつかないため、地区の要望から財産区と連携し事業を実施する。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|--------|-----|---|---|---|-----------|
| 事業内容 | | 市道0219号線外7 板妻印野線外2 市道0104号線外3 市道0123号線外3 市道0202号線外5 | 市道0219号線外7 神場板妻線外2 市道0104号線外3 市道0123号線外3 市道0202号線外5 | 市道0219号線外7 神場板妻線外2 市道0104号線外3 市道0123号線外3 市道0202号線外5 | |
| | 事業費 | 690,000 | 690,000 | 690,000 | 2,070,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 670,000 | 670,000 | 670,000 | 2,010,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 60,000 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 道路新設改良事業 | 整理番号 | 6601-020 |
| 所管 | 都市建設部 道路河川課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 昭和61年度～ | 根拠法令・要綱等 | 道路法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-6-1 | 施策名: 都市計画道路・幹線道路の整備推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 通行車両はもとより、歩行者にも安全な道路、利便性の高い道路網の整備を進め、予想される東海・南海大地震の災害発生時の災害を最小限に抑えるための避難路を確保する。 |
| 対象 | 市道を利用する市民や通行車両 |
| 手段 | 道路新設、改良、舗装を行う。 |
| 成果 | 地域活性と住環境の向上と、緊急車両の円滑な交通を図るとともに、災害時の避難経路の整備により市民の生命、財産の安全を確保する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市道の改良・舗装率が低く、市民から道路整備の要望が多く出されている。財政状況の厳しい中、緊急性等の優先度をみながら順次整備を進めている。都市計画道路及び幹線道路の整備は、交通渋滞の解消、地域の発展、災害時の避難や物資の運搬など、果たす役割が多いため市民ニーズが高く、市の発展にも必要不可欠である。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|--|-----------|
| 事業内容 | | 市道5278号線外17 市道0115号線外10(社会) 市道1152号線(震災) 神山深良線 市道0106号線 | 市道5278号線外15 市道0115号線外11(社会) 市道1152号線(震災) 神山深良線 市道0106号線 | 市道5278号線外16 市道0115号線外9(社会) 市道1152号線(震災) 神山深良線 市道0106号線 | |
| | 事業費 | 1,584,000 | 1,452,000 | 1,367,000 | 4,403,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 683,250 | 605,100 | 566,050 | 1,854,400 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 643,400 | 586,600 | 544,200 | 1,774,200 |
| | 財繰 | 112,945 | 93,020 | 92,090 | 298,055 |
| | 負担 | 62,500 | 87,500 | 89,500 | 239,500 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 81,905 | 79,780 | 75,160 | 236,845 | |
| (投資) | 81,905 | 79,780 | 75,160 | 236,845 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 生活道路整備事業 | 整理番号 | 6602-010 |
| 所管 | 都市建設部 道路河川課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成17年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市生活道路の臨時的整備事業に関する要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-6-2 | 施策名: 生活道路の整備 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 市民生活の利便性を確保するため、現に住宅が建ち並んでいる地域等において、幅員4m以上の確保が困難な砂利道の市道を舗装整備する。 |
| 対象 | 沿線住民等 |
| 手段 | 現状で雨水排水の処理を考慮しながら、舗装整備をする。 |
| 成果 | 歩行者が通行しやすくなり、また、砂ほこりが立たなくなるなど、住民環境が向上する。 |

| | |
|----------------|-------------------------------------|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 幅員4m未満の道路は舗装整備されずにいるため、沿線住民から要望が多い。 |
|----------------|-------------------------------------|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---------|
| 事業内容 | | 舗装新設 市道1021号線外25路線 L=3,570m | 舗装新設 市道1921号線外27路線 L=3,570m | 舗装新設 市道3233号線外25路線 L=3,500m | |
| 事業費 | | 80,000 | 80,000 | 80,000 | 240,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 23,400 | 23,100 | 27,000 | 73,500 |
| | 財繰 | 34,000 | 34,400 | 30,000 | 98,400 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 60,000 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 2,600 | 2,500 | 3,000 | 8,100 | |
| (投資) | 2,600 | 2,500 | 3,000 | 8,100 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 橋梁新設改良事業 | 整理番号 | 6603-010 |
| 所管 | 都市建設部 道路河川課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成13年度～ | 根拠法令・要綱等 | 道路法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-6-3 | 施策名: 道路施設の適切な維持・補修 |
| | 関連施策: | 3-1-6 | 施策名: 公共施設などの耐震化の推進 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | ライフラインの確保及び交通の安全確保を図る。 |
| 対象 | 橋を利用する市民 |
| 手段 | 老朽化が著しい橋梁の落下防止及び全面的な改修と、橋梁の新設を計画的に実施する。 |
| 成果 | ライフラインの確保とともに、市民生活の安全性及び利便性を高める。 |

| | |
|----------------|---------------------------------|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 災害時における橋梁の安全確保及び幅員が狭い橋の改善要望が強い。 |
|----------------|---------------------------------|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-----------|--------|--------------------|-----------|---------|
| 事業内容 | 橋梁補修設計・委託 | | 橋梁補修設計・委託 金山橋架替 | 橋梁補修設計・委託 | |
| 事業費 | | 15,000 | 130,000 | 15,000 | 160,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 10,800 | 93,600 | 10,800 | 115,200 |
| | 財繰 | 3,000 | 26,000 | 3,000 | 32,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 1,200 | 10,400 | 1,200 | 12,800 | |
| (投資) | 1,200 | 10,400 | 1,200 | 12,800 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 道路維持補修事業 | 整理番号 | 6603-020 |
| 所管 | 都市建設部 管理維持課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 昭和61年度～ | 根拠法令・要綱等 | 道路維持修繕要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-6-3 | 施策名: 道路施設の適切な維持・補修 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 道路利用者が安心して利用できるための適正な維持管理を行う。 |
| 対象 | 市道を利用する歩行者や通行車両等 |
| 手段 | 歩道と車道の分離、交差点改良及び道路反射鏡等交通安全施設の設置を行う。 |
| 成果 | 早急に対応することにより事故を防止し、利用者が安心して通行できる道路を維持する。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 年々増加する交通量に伴う損耗や経年劣化による老朽化が進んでいる。このため、舗装補修や側溝の改修、歩行者のための開口側溝の蓋掛けの要望が増加している。また最近では、地元による道路の美化運動が住民の高齢化等に伴い、行われなくなったことから道路脇の草刈りの要望が増加している。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|---|---------|
| 事業内容 | | ・道路応急修繕、舗装応急修繕 ・側溝改修 (市道0253号線・市道1646号線外) ・舗装補修 (市道0229号線・市道1578号線) | ・道路応急修繕、舗装応急修繕 ・側溝改修 (市道0253号線・市道0246号線外) ・舗装補修 (市道0252号線・市道3287号線) | ・道路応急修繕、舗装応急修繕 ・側溝改修 (市道0253号線・市道0263号線外) ・舗装補修 (市道0252号線・市道7045号線) | |
| | 事業費 | 220,000 | 220,000 | 220,000 | 660,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 119,700 | 120,600 | 106,200 | 346,500 |
| | 財繰 | 33,533 | 32,533 | 32,533 | 98,599 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | 267 | 266 | 267 | 800 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 66,500 | 66,601 | 81,000 | 214,101 | |
| (投資) | 66,500 | 66,601 | 81,000 | 214,101 | |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 道路台帳整備事業 | 整理番号 | 6604-010 |
| 所管 | 都市建設部 管理維持課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-------|----------|------------------|
| 事業期間 | ～ | 根拠法令・要綱等 | 道路法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-6-4 | 施策名: 道路台帳の利便性の向上 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 道路法第28条の規定による市道の適切な管理及び普通交付税の算定に関する資料作成のため。 |
| 対象 | 市民、事業者 |
| 手段 | 歩道と車道の分離、交差点改良及び道路反射鏡等交通安全施設の設置を行う。 |
| 成果 | 市道の適切な管理とともに、開発・住宅建設等のための道路調査が円滑に行われる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 道路法第28条の規定及び道路法施行規則第4条の2の規定による道路台帳の整備し、住民や事業者 に台帳を閲覧等を行い、普通交付税の算定に関する資料として、県経路で総務大臣に毎年報告する ものです。平成32年の新東名及び138BPの開通に伴う、道路台帳修正業務量が増加するため、平成 30年度にデジタル化し補正費用の縮減を図る。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 道路台帳をデジタル化すれば、補正金額は8割程度になるが、初期投資に75.2百万円かかる。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------------|--------|-------------------------------------|--|---------|
| 事業内容 | 道路河川課等道路新設、改良等 | | 道路台帳デジタル化 道路河川課等道路新設、改良等(アナログ補正) | デジタル化不整合箇所修正 道路河川課等道路新設、改良等(デジタル補正) | |
| 事業費 | | 10,000 | 70,000 | 20,000 | 100,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 10,000 | 70,000 | 20,000 | 100,000 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 新東名高速道路関連事業 | 整理番号 | 6605-010 |
| 所管 | 都市建設部 新東名課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成22年度～平成35年度 | 根拠法令・要綱等 | 道路法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-6-5 | 施策名: 新東名高速道路などの整備の促進 |
| | 関連施策: | 6-6-6 | 施策名: 新東名高速道路関連道路などの整備 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 新東名高速道路は平成32年度に(仮称)御殿場インターチェンジの供用開始に向け事業が進められている。本線側道及び関連アクセス道路整備を行い、市街地通過車両を排除し、市街地の渋滞緩和を図り、歩行者に安全で、また、交通の円滑化により利便性を高めるため道路整備を行う。 |
| 対象 | 周辺住民・通行車両・歩行者 |
| 手段 | 歩車道分離の側道整備(車道拡幅、歩道整備)を実施する。 |
| 成果 | 環境施設帯が整備され、植栽や歩車道分離の側道を設置することにより、新東名高速道路沿線地区の住環境が向上し、あわせて交通安全の確保が図れるため、整備を促進する。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 本線側道の整備効果として、新東名高速道路開通により、分断される地域の機能回復を図る。また新東名高速道路沿線地区の住環境が向上されるため、住民より整備の要望が強い。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

1,947,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|--|---|-----------|
| 事業内容 | | ・側道橋工事負担金 ・R138BP横断暗渠部工事負担金 ・側道工事負担金 ・スマートIC用地費、関連 | ・側道橋工事負担金 ・側道工事負担金 ・スマートIC工事費、関連 | ・側道工事負担金 ・スマートIC工事費、関連 ・スマートIC開通イベント費 | |
| | 事業費 | 641,000 | 360,000 | 367,000 | 1,368,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 214,500 | 52,100 | 44,500 | 311,100 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 207,000 | 161,100 | 213,900 | 582,000 |
| | 財繰 | 19,300 | 47,100 | 75,500 | 141,900 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 177,700 | 82,300 | 10,000 | 270,000 |
| 一般 | 22,500 | 17,400 | 23,100 | 63,000 | |
| (投資) | 22,500 | 17,400 | 23,100 | 63,000 | |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 地域公共交通対策事業 | 整理番号 | 6702-010 |
| 所管 | 企画部 企画課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 平成14年度～ | 根拠法令・要綱等 | 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 6-7-2 | 施策名: バスなどの公共交通網の整備 |
| | 関連施策: | 6-7-3 | 施策名: 交通需要に応じた交通ネットワークの形成 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 地域公共交通の活性化及び再生を推進するとともに、交通弱者の支援・解消に努める。 |
| 対象 | 市民、地域公共交通事業者 |
| 手段 | 地域公共交通協議会を定例的に開催し、市民ニーズの把握と有識者の意見を伺いながら、効率的かつ有効的な交通弱者対策事業の実施や、公共交通システムの維持・拡大を進める。 |
| 成果 | 交通弱者支援・解消は、市民の生活利便性向上に直結し、住みよいまちづくりにもつながる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 高齢化の進展とともに運転免許証を返納する人が増加するなど、自ら交通手段を持たない人が増える傾向にあり、利便性の高い公共交通や乗合バスの運行に対する要望は多い。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成26年度に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が一部改正されたことに伴い、平成28年4月に御殿場市地域公共交通網形成計画を策定した。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|-----------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 事業内容 | | ・バス路線維持費助成事業 ・高齢者等バス及びタクシー助成事業 ・公共交通協議会事業 | ・バス路線維持費助成事業 ・高齢者等バス及びタクシー助成事業 | ・バス路線維持費助成事業 ・高齢者等バス及びタクシー助成事業 | |
| | 事業費 | 24,000 | 23,000 | 23,000 | 70,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 21,000 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 17,000 | 16,000 | 16,000 | 49,000 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | ふるさと納税制度推進事業 | 整理番号 | 7102-010 |
| 所管 | 企画部 魅力発信課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------|
| 事業期間 | 平成20年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-1-2 | 施策名: 地域の魅力の磨き上げ |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | ふるさと納税制度の利用拡大と推進により、御殿場の魅力発信と地域経済の振興を図る。 |
| 対象 | 市内外 |
| 手段 | ふるさと納税制度の利用拡大に向け、魅力ある返礼品メニューの開発とPRを行う。 |
| 成果 | ふるさと納税制度の利用者増により、寄附額の増加とともに、地域経済が振興、御殿場市の認知度が向上する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | ふるさと納税制度が普及し、全国各地で、返礼品を充実させることにより寄附額を増やしている。御殿場市においてもふるさと納税制度を活用した寄附の増額と、返礼品を通じた地域の魅力発信の機会としての制度活用を図る。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度5月から、楽天ふるさと納税サイトに御殿場市ページをオープンさせた。 ・クレジットカードなど支払い方法を増やし、利便性を向上させた。 ・平成28年度から、返礼品に「こだわり推奨品」以外の御殿場の魅力あるメニューを追加した。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---|---|--------|
| 事業内容 | | ふるさと納税制度の利用拡大 返礼品メニュー開発 事業所の参加促進 利用者拡大PR | ふるさと納税制度の利用拡大 返礼品メニュー開発 事業所の参加促進 利用者拡大PR | ふるさと納税制度の利用拡大 返礼品メニュー開発 事業所の参加促進 利用者拡大PR | |
| 事業費 | | 20,000 | 25,000 | 30,000 | 75,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 20,000 | 25,000 | 30,000 | 75,000 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 魅力発信事業 | 整理番号 | 7102-020 |
| 所管 | 企画部 魅力発信課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------|
| 事業期間 | 平成27年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-1-2 | 施策名: 地域の魅力の磨き上げ |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 御殿場の魅力を広く市外、国外に対し発信していくことで、上質なまちのブランドイメージ構築を図るとともに、市民等のまちに対する愛着心や誇りを醸成する環境を整える。 |
| 対象 | 市内外 |
| 手段 | 写真、映像、冊子などあらゆる媒体を使い、御殿場のPRを行い、統一的な御殿場のブランドメッセージを作成、対外的な認知度やイメージ向上につなげる。 |
| 成果 | 市と市に関わる多くの人々が魅力を発信することで、対外的なイメージを向上させるとともに、活力ある豊かなまちづくりを進める。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 人口減少、少子高齢化が進みつつある中、都市ブランド力を高め持続可能なまちづくりを進める必要があり、そのためにまちのイメージ、認知度の向上を図る必要がある。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成25年度から「情報発信室」となり、魅力の発信について研究、検討を重ねた。平成27年度から「魅力発信課」として、シティプロモーションのための取組を始めた。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|--------|
| 事業内容 | | まちの魅力を発信するPRポスター・映像等の制作冊子作製、デジタルサイネージフィルムコミッション事業キャラクターによる魅力発信 | まちの魅力を発信するPRポスター・映像等の制作冊子作製、デジタルサイネージフィルムコミッション事業キャラクターによる魅力発信 | まちの魅力を発信するPRポスター・映像等の制作冊子作製、デジタルサイネージフィルムコミッション事業キャラクターによる魅力発信 | |
| 事業費 | | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 18,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 18,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 移住定住促進事業 | 整理番号 | 7105-010 |
| 所管 | 企画部 魅力発信課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-1-5 | 施策名: 移住・定住のための魅力発信 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 移住定住を希望している人にとって、選ばれる自治体になる。 |
| 対象 | 市内外(主に首都圏) |
| 手段 | 認知度、ブランドイメージの向上を図る。 御殿場に住むことのメリットを丁寧に情報発信するとともに、体験などを通じ、御殿場の良さを感じていただく。 移住希望者に対して相談受付、対応をする。 |
| 成果 | 都市ブランドイメージ及び認知度の向上により、御殿場市に対する移住定住希望が増加する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 少子高齢化の進行に伴い、人口減少問題が全国的な課題となる中で、持続可能な都市であるために、移住・定住を希望する人が選ぶ都市、住み続けたい都市として認知されるような取組をする必要がある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|---|---|--------|
| 事業内容 | | ・首都圏での情報発信 キャンペーン、広報媒体活用、webページ作成 ・移住相談会開催 ・メディアへの広告掲載、冊子作成 | ・首都圏での情報発信 キャンペーン、広報媒体活用 ・移住相談会開催 ・メディアへの広告掲載、冊子作成 | ・首都圏での情報発信 キャンペーン、広報媒体活用 ・移住相談会開催 ・メディアへの広告掲載、冊子作成 | |
| | 事業費 | 11,000 | 9,000 | 9,000 | 29,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 2,000 | 2,000 | | 4,000 |
| | 一般(投資) | 9,000 | 7,000 | 9,000 | 25,000 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|-----------------|------|----------|
| 事業名 | 広報紙「広報ごてんば」発行事業 | 整理番号 | 7203-010 |
| 所管 | 企画部 魅力発信課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|------------------|
| 事業期間 | 昭和31年度～ | 根拠法令・要綱等 | 広報ごてんば発行規則 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-2-3 | 施策名: 多様な広報媒体の活用 |
| | 関連施策: | 7-2-2 | 施策名: わかりやすい広報の推進 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 行政情報を市民に提供し、共に進めるまちづくり活動を情報面で支援する。 |
| 対象 | 全市民(世帯) |
| 手段 | A4判の規格で、毎月5日(企画記事を中心に、概ね16ページ)と20日(お知らせ記事を中心に、概ね14ページ)に発行し、各世帯にポスティングで配布する。(一部公共施設や商店・コンビニ・病院等に配置) |
| 成果 | 市政の課題や施策を市民に知らせ、行政に対する関心を高めるとともに、より効果的なまちづくりを進める。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市政の課題や施策を市民に知らせ、市政への理解を得るため、広報紙を発行する。 平成25年度に実施した市民満足度調査にて、広報紙の満足度や、利用意向を調査した。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成19年度から、有料広告を掲載し、コストの圧縮に努めた。 平成22年度から、紙質をコート紙から上質紙に落として更なるコスト削減を図った。 平成25年度から、「情報ひろば」のレイアウトを変更し、情報量の増加と見やすさの向上を図った。 平成28年度から、ポスティングによる配布が始まった。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|--------|
| 事業内容 | 事業内容 | 月2回発行 33,000部 総ページ数 約 370 | 月2回発行 33,000部 総ページ数 約 370 | 月2回発行 33,000部 総ページ数 約 370 | |
| | 事業費 | 18,000 | 18,000 | 18,000 | 54,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 2,400 | 2,400 | 2,400 | 7,200 |
| | 一般(投資) | 15,600 | 15,600 | 15,600 | 46,800 |
| | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | コミュニティFM活用事業 | 整理番号 | 7203-020 |
| 所管 | 企画部 魅力発信課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------|
| 事業期間 | 平成25年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-2-3 | 施策名: 多様な広報媒体の活用 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 行政・生活・観光・地域情報の発信強化、地域の活性化及び安全・安心な生活環境の充実を図る。 |
| 対象 | 市民、観光客等 |
| 手段 | コミュニティFM局で行政・生活・観光・地域情報を放送する。 災害時には、市と協力しての災害情報の発信を行う。 |
| 成果 | コミュニティFMという情報発信媒体を利用することにより、行政や地域行事等の正確な情報や地域性豊かな観光情報をタイムリーに発信することができる。また、災害発生時には重要な情報伝達手段となる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 広報紙や同報無線、ホームページ等のITを活用し、市政に関する情報を発信し、市政の課題や施策を市民に知らせ、市政への理解を得るよう努めているが、どの情報発信媒体もすべてを網羅することはできないため、多重的な情報発信媒体を同時に活用することにより、より情報提供及び発信の充実を図ることが可能となる。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 平成25年開設、平成26年度には難聴地域を解消するため、中継局建設についての補助金を交付し、平成27年4月2日から中継局からの送信を開始、市域全体での聴取環境がほぼ整った。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|--------|
| 事業内容 | | コミュニティFM局への放送業務(番組制作・放送)委託 | コミュニティFM局への放送業務(番組制作・放送)委託 | コミュニティFM局への放送業務(番組制作・放送)委託 | |
| 事業費 | | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 21,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 21,000 |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 市民協働推進事業 | 整理番号 | 7303-010 |
| 所管 | 市民部 市民協働課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|--|----------|-------------------------|
| 事業期間 | 平成15年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金交付要綱 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-3-3 | 施策名: 協働のまちづくり支援 |
| | 関連施策: | 7-3-2 | 施策名: 市民活動団体等の育成支援 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市市民協働型まちづくり推進指針、御殿場市市民協働型まちづくり推進プラン | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 市民と行政の役割分担と相互補完する信頼関係を築き、市民と行政の協働による住みよいまちづくりを目指す。 |
| 対象 | 市民、区、市民活動団体 |
| 手段 | 社会的ニーズは高いもののこれまで実施困難となっている事業や、行政が見落としがちな分野等について、市民協働型まちづくり事業として支援する。市民の知識等を必要とする事業については、行政側から行政提案として市民活動団体等へ募集をする。 |
| 成果 | まちづくりを推進するNPO法人や市民活動団体が増加し、まちづくりの主体者は市民であるという意識の向上が図られ、地方分権時代に対応した住民本位の行政を推進することができる。また、多様化する市民ニーズに対し、市民と行政が協働することにより事業を実施することができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市民活動支援センターの登録団体数や市民活動の相談件数が増加しており、市民や団体の支援・育成が必要である。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 御殿場市市民協働型まちづくり推進指針に基づき、協働のまちづくりを実現・推進するための具体的な手法・マニュアルを定めた推進プランを平成28年度に見直した。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|-------|
| 事業内容 | 市民活動担い手養成事業 | 市民活動担い手養成事業 市民協働団体支援事業 | 市民活動担い手養成事業 市民協働団体支援事業 | 市民活動担い手養成事業 市民協働団体支援事業 | |
| | 市民協働団体支援事業 | | | | |
| 事業費 | | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 9,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 9,000 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------|
| 事業名 | 地方創生まちづくり事業 | 整理番号 | 7303-020 |
| 所管 | 市民部 市民協働課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------|
| 事業期間 | 平成28年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-3-3 | 施策名: 協働のまちづくり支援 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 地域の主体的な発案によりまちづくりを進めている富士岡地区を先駆的なモデル地区とし、他地域のモデルとするための支援を行う。 |
| 対象 | 富士岡地区 |
| 手段 | 富士岡地区全体のまちづくり計画を地域自らが策定・事業化し、持続可能なまちづくりを行うための交付金を交付する。 |
| 成果 | 観光振興、人材育成と雇用の創出、生きがいづくり、定住人口の維持等を推進し、豊かな地域づくりにつなげる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 地区の振興や発展を図るため、平成24年に富士岡地区まちづくり推進協議会が発足。国の地方創生加速化交付金が平成27年度に採択され、平成28年度に事業を推進する富士岡地区まちづくり実施部会が発足、平成32年度までの5か年事業を計画している。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--|--|--------|
| 事業内容 | | 先駆的事业(樹種転換・眺望点整備・散策路整備及び案内看板設置・やまなみ林道等活用)の継続。 計画策定事業(富士岡駅周辺整備計画、市民の森構想、ウォーキングコース計画) | 先駆的事业(樹種転換・眺望点整備・散策路整備及び案内看板設置・やまなみ林道等活用)の継続。 計画策定事業(富士岡駅周辺整備計画、市民の森構想、ウォーキングコース計画) | 先駆的事业(樹種転換・眺望点整備・散策路整備及び案内看板設置・やまなみ林道等活用)の継続。 計画策定事業(富士岡駅周辺整備計画、市民の森構想、ウォーキングコース計画) | |
| | 事業費 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 60,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 60,000 |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 男女共同参加推進事業 | 整理番号 | 7401-010 |
| 所管 | 市民部 市民協働課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|----------------------------|----------|------------------------|
| 事業期間 | 平成19年度～ | 根拠法令・要綱等 | 御殿場市男女共同参画推進条例 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-4-1 | 施策名: 男女共同参画推進に向けた意識の啓発 |
| | 関連施策: | 7-4-2 | 施策名: あらゆる分野への男女共同参画の推進 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市男女共同参画計画第四次レインボープラン御殿場 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 男性も女性も、意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会を構築する。 |
| 対象 | 市民 |
| 手段 | 市民公開講座・各種コンクール、講師派遣事業等の啓発事業を実施する。 男女共同参画推進事業を実施する団体に対する補助金を交付する。 第四次レインボープラン御殿場の進捗状況を取りまとめる。 広報紙、HPによる啓発を行う。 |
| 成果 | 男女の固定的な性別役割分業意識が解消される。 男女共同参画へ向けた推進体制の強化が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成18年6月市民等からなる男女共同参画推進協議会から条例制定への提言を受け、同年8月条例制定を決定。平成20年12月に御殿場市男女共同参画推進条例を制定。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 条例制定に伴い、計画を効果的に実施するため、施策の実施状況を公平かつ継続的に評価する男女共同参画会議を設置。また、平成28年度に平成29年度～平成33年度を計画期間とする第四次レインボープランを策定。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | ・普及啓発活動 (市民公開講座、各種コンクール、講師派遣事業の実施、参画会議の運営等) | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| | ・男女共同参画推進事業補助金 | | | | |
| 事業費 | | | | | |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 3,000 |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|---------|------|----------|
| 事業名 | 路線価評価事業 | 整理番号 | 7501-010 |
| 所管 | 総務部 課税課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------|
| 事業期間 | 平成4年度 ~ | 根拠法令・要綱等 | 固定資産評価基準(総務省告示) |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-5-1 | 施策名: 財源の確保 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 適正な路線価を付設し、正しい固定資産(土地)課税評価を行うため。 |
| 対象 | 利用状況類似地域ごとに選定された標準宅地 |
| 手段 | 3年毎の固定資産(土地)評価替えに伴い、不動産鑑定士に標準宅地の評価額の鑑定を委託する。 |
| 成果 | 鑑定評価の活用により、適正かつ均衡のとれた路線価を付設することができ、個々の納税者にとって納得のいく土地評価額が算定できる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 近年、土地の課税や評価に対する関心が高く、他自治体における課税誤りの報道も度々あり、評価に関して詳細な説明を求められる場面が増えている。市内地価は下落傾向が続いているが、一部地域では下げ止まりから上昇に転じる動きも見られる等、今後の地価動向は見通しにくい状況である。客観的な説明を行うための基礎資料の重要性が非常に高い。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 国(総務省)において、土地評価に係る地方税法や固定資産評価基準の改正が頻繁に行われている。本市では、土地評価事務の簡素化や正確性を期するため、平成11年度から鑑定評価に基づく路線価付設業務を委託によりシステム化した。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

17,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------|--------|------------------------------|--------|
| 事業内容 | | | | 平成33年度評価替えに係る土地鑑定評価委託(260地点) | |
| | 事業費 | | | 17,000 | 17,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 17,000 | 17,000 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 固定資産課税資料整備事業 | 整理番号 | 7501-020 |
| 所管 | 総務部 課税課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|------------|
| 事業期間 | 平成3年度 ~ | 根拠法令・要綱等 | 地方税法第408条 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-5-1 | 施策名: 財源の確保 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 航空写真は、課税漏れや課税誤びゅう等を正す一手段として活用し、効率的に課税の適正・公平化が図られる。また、他の部署でも地図情報として有効利用されている。 |
| 対象 | 市内全域の家屋及び土地 |
| 手段 | 3年に1度の間隔で、航空写真を撮影し、統合型GISに写真などの必要なデータを取り込み、写真等の対比により、家屋の新増築及び取壊し並びに土地利用の状況を把握し、課税事務の効率化を図る。 |
| 成果 | 航空写真は、課税漏れや課税誤びゅう等を正す一手段として活用し、効率的に課税の適正・公平化が図られる。また、他の部署でも地図情報として有効利用されている。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 「航空写真を活用した固定資産の現況調査の推進について」(平成5年6月22日付け総務省資産評価室長通知)によるもの。また納税者からの土地、家屋の評価等に関する問合せの際、航空写真を活用することで分かりやすい説明ができるため、住民からも信頼度が高い。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 事業費の単年度での軽減を図るため債務負担の複数年度事業とした。また、家屋経年異動表示図を土地現況図との併用表示図とし、課税経費の節減を図る。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

18,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-----------------------------|--------|--|--------|--------|
| 事業内容 | 航空写真の取得及び写真地図の作成、家屋現況図データ作成 | | 家屋現況図データ更新、統合型GISへのデータセットアップ、家屋経年異動判読調査関連データ作成 | | |
| 事業費 | | 9,000 | 9,000 | | 18,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 9,000 | 9,000 | 0 |

| | | | |
|-----|----------|------|----------|
| 事業名 | 新公会計導入事業 | 整理番号 | 7502-010 |
| 所管 | 総務部 財政課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-5-2 | 施策名: 財政運営の効率化 |
| | 関連施策: | 7-5-4 | 施策名: わかりやすい財政状況の公表 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 国の示す統一的基準による財務諸表等を作成し、資産や負債の内容を明らかにすることで、財政の効率化・適正化を図る。(あわせて、わかりやすい財務情報を公表し、議会や住民への説明責任を充実させる。) |
| 対象 | 一般会計及び連結する特別会計等 |
| 手段 | これまでの総務省方式改訂モデルによる財務諸表から、国の示す統一的基準による財務諸表等への切替えを行い、財政状況を分析する。 |
| 成果 | 統一的な基準による財務諸表等により、類似団体等との比較が可能となり、財政の効率化及び適正化につながる。さらに、市民等に向けた財務情報公表の充実を図ることができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 国から平成29年度までに統一的な基準への切り替えの要請が通知されている。市の資産や負債をより正確に把握し、予算編成や資産管理等に活用するとともに、住民への説明責任を一層充実させる。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------------------|--------|--------|--------|--------|
| 事業内容 | 新公会計制度に基づく財務諸表等作成・活用 | | | | |
| 事業費 | | 15,000 | | | 15,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 15,000 | 0 | 0 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 企業会計移行事業 | 整理番号 | 7504-010 |
| 所管 | 環境水道部 下水道課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | 地方公営企業法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-5-4 | 施策名: わかりやすい財政状況の公表 |
| | 関連施策: | 5-5-8 | 施策名: 汚水処理施設の拡充・維持管理 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 公共下水道事業について、地方公営企業法を適用した企業会計方式へ移行することで経営状況の透明性を向上させ、健全な下水道経営が行われるようにする。 |
| 対象 | 御殿場市公共下水道事業 |
| 手段 | 業務委託により資産の調査・評価、システムの構築を行う。また、条例・規則の整備、職員研修などの法適化に伴う事務手続等を実施する。 |
| 成果 | 事業の財政状況や経営状況について明確な説明が可能となる。また、企業内の経営判断が可能となり、機敏な経営活動につながるほか、職員のコスト意識の向上が期待できる。さらに、他都市との経営比較が容易となり、経営健全化に向けた取組方法が検討できる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 下水道事業において、地方公営企業法の全部又は一部を適用するか否かは、各事業体の判断に委ねられている。当市は法非適用であるが、下水道事業の健全財政を推進していくために法適用し、企業会計方式に移行していくものである。また、総務省より平成27年1月27日付総財公第18号「地方公営企業法の適用の推進について」にて、下水道事業の全部又は一部の地方公営企業法の適用に関する通知(要請)があった。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 総務省より平成27年1月27日付総財公第19号「地方公営企業法の適用の推進に当たっての留意事項について」の通知があり、同通知に記載されている支援措置(地方財政措置)により、公営企業会計の適用に要する経費については、平成31年度までの間、公営企業債の対象となった。平成28年度以降の事業費について公営企業債での対応とする。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

53,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------|
| 事業内容 | ・固定資産調査・評価 (平成28～30年度 債務負担) | ・固定資産調査・評価 (平成28～30年度 債務負担) | ・固定資産調査・評価 (平成28～30年度 債務負担) | ・固定資産調査・評価 (平成28～30年度 債務負担) | 計 |
| | ・固定資産台帳・会計等システム整備 (平成29～30年度 債務負担) | | | | |
| 事業費 | | 20,000 | 23,000 | | 43,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 20,000 | 23,000 | | 43,000 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 固定資産台帳整備事業 | 整理番号 | 7505-010 |
| 所管 | 総務部 財政課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------------|----------|---------------------|
| 事業期間 | 平成27年度 ～ 平成29年度 | 根拠法令・要綱等 | 統一的な基準による地方公会計マニュアル |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-5-5 | 施策名: 効果的な資産の活用 |
| | 関連施策: | 7-5-4 | 施策名: わかりやすい財政状況の公表 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 総務省からの要請を踏まえ、新公会計制度導入に向け統一的な基準による財務書類の作成に必要な補助簿として、固定資産台帳の整備が必要となる。また、市が所有する固定資産の内容を明らかにし、わかりやすい財政状況の公表に努める。 |
| 対象 | 市が所有する全ての固定資産 |
| 手段 | 固定資産台帳の整備を実施する。 |
| 成果 | インフラ資産を含めた資産情報を一元管理することにより、市の資産の全体像を正確に把握することが可能となる。また、他の自治体も台帳を整備し公表することから、他市町との比較が可能となる。さらに、施設整備を検討する際の基礎資料として活用できる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 「今後の地方公会計の整備促進について」(平成26年5月23日付け総務大臣通知)によるもの。今後、平成27年度から平成29年度までの3年間で全ての地方公共団体において統一的な基準による財務書類等を作成することとなる。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 固定資産を多数所有する所属の担当者を中心にWG(ワーキンググループ)を組成し、当市の現状に合った台帳整備方針の検討を行った。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------------|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 新地方公会計への移行・整備 | | | | |
| | 事業費 | 2,000 | | | 2,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 2,000 | 0 | 0 | 2,000 |

| | | | |
|-----|------------------|------|----------|
| 事業名 | 所得課税証明書のコンビニ交付事業 | 整理番号 | 7601-030 |
| 所管 | 総務部 税務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------|
| 事業期間 | 平成30年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-6-1 | 施策名: 市民サービスの向上 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 住民票・印鑑証明書等と合わせて、所得課税証明書の交付をコンビニで行うことにより、更なる住民サービスの向上を図る。 |
| 対象 | 市民(利用者証明用電子証明書を登録した個人番号カード交付者) |
| 手段 | コンビニ証明交付の運営主体となる代行業者(地方公共団体情報システム機構)との委託契約により、全国のコンビニ(セブンイレブン、ローソン、サークルKサンクス、ファミリーマート)において、所得課税証明の交付ができる。 |
| 成果 | 利用者は市役所や支所等に出向かなくても、近くのコンビニで証明書の交付を休日や時間外に関係なく朝6時30分から夜11時まで受けることができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市民の利便性を求められている中、番号制度の導入をきっかけに全国的にコンビニ交付を始める市町村が多く、近隣市町でも導入が検討されている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 既に市民課で交付する住民票等のコンビニ交付は行っているが、番号制度導入に伴い、個人番号カードを利用し所得課税証明書も交付を行う。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------------------|--------------------|-------------------|-------|
| 事業内容 | | 所得証明書 コンビニ交付の調査・研究 | 所得証明書 コンビニ交付の調査・研究 | 所得証明書 コンビニ交付の導入調整 | |
| 事業費 | | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |

| | | | |
|-----|----------------|------|----------|
| 事業名 | 戸籍証明書のコンビニ交付事業 | 整理番号 | 7601-050 |
| 所管 | 市民部 市民課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------|
| 事業期間 | 平成30年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-6-1 | 施策名: 市民サービスの向上 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 現行の住民票の写し・印鑑登録証明書に加え、戸籍の全部事項証明及び個人事項証明の交付をコンビニで行うことにより、利用者に身近な窓口を実現することで更なる住民サービスの向上を図る。 |
| 対象 | 市民(利用者証明用電子証明書を登録した個人番号カード交付者) |
| 手段 | コンビニ証明交付の運営主体となる代行業者(地方公共団体情報システム機構)との委託契約により、全国のコンビニ(セブンイレブン、ローソン、サークルKサンクス、ファミリーマート)において戸籍の全部事項証明及び個人事項証明の交付ができる。 |
| 成果 | 利用者は市役所や支所等に出向かなくても、近くのコンビニはもちろん、全国の系列コンビニにおいて、本市が本籍地である全部事項証明及び個人事項証明の交付を休日、時間外に関係なく朝6時30分から夜11時まで受けることができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 個人番号カードの導入を契機に、多くの市町村がコンビニ交付サービスを導入を予定している。現行の住民票の写し及び印鑑登録証明書だけでなく、本市が本籍地である全部事項証明及び個人事項証明の交付が全国のコンビニで利用できる新たな住民サービスが求められている。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 番号制度導入に伴い、個人番号カードを利用して、現行の住民票の写し・印鑑証明書に戸籍証明書を加え、コンビニ交付を行う。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------------|--------|-------------------|-------------------|-------|
| 事業内容 | 戸籍証明書コンビニ交付の調査・研究 | | 戸籍証明書コンビニ交付の調査・研究 | 戸籍証明書コンビニ交付の調査・研究 | |
| | 事業費 | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 1,000 | 1,000 | 2,000 |

| | | | |
|-----|------------------|------|----------|
| 事業名 | 公設浄化槽整備事業PFI導入事業 | 整理番号 | 7603-010 |
| 所管 | 環境水道部 下水道課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---|----------|----------------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | PFI法、御殿場市公設浄化槽の整備等に関する条例 他 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-6-3 | 施策名: 民間活力の活用 |
| | 関連施策: | 5-5-7 | 施策名: 合併処理浄化槽の普及 |
| 個別計画での位置づけ | 御殿場市行政経営行動計画(H28.5)、御殿場市生活排水処理基本計画(H28.3) | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 御殿場市公設浄化槽整備事業をより効率的で質の高いサービスで実施するため。 |
| 対象 | 御殿場市公設浄化槽整備事業 |
| 手段 | 業務委託により事業スキームを検討や民間業者についての調査等を行い、PFI手法の導入可能性を検討する。その後、PFI手法の導入が適していると認められる場合には、実施方針等を確定し、入札及び審査によりPFI事業者を選定する。 |
| 成果 | 御殿場市公設浄化槽整備事業の進捗速度が高まる。 汚水処理人口普及率が上昇するため、河川等の水質が保全される。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成25年度から御殿場市公設浄化槽整備事業を実施しているが、事業運営のために多くの工数が必要である。また、当初の計画よりも住民の浄化槽設置申請数が伸びていないため、対策を取る必要がある。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

15,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---|---------------------------------------|--------|--------|
| 事業内容 | | 御殿場市公設浄化槽整備事業PFI導入可能性調査、対象予定地域に対するアンケート調査 | 実施方針の策定 特定事業の選定 入札及び審査 契約・協定 | | |
| | 事業費 | 10,000 | 4,000 | | 14,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 3,333 | 1,333 | | 4,666 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 6,667 | 2,667 | | 9,334 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|-----------------|------|----------|
| 事業名 | 水道料金徴収等業務民間委託事業 | 整理番号 | 7603-020 |
| 所管 | 環境水道部 水道業務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-----------------|
| 事業期間 | 平成23年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-6-3 | 施策名: 民間活力の活用 |
| | 関連施策: | 5-5-3 | 施策名: 上水道事業の安定経営 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 検針業務、料金の徴収及び収納業務等を民間委託し、経費の削減と業務の効率化を図るため。 |
| 対象 | 水道使用者 |
| 手段 | 検針業務、料金の徴収及び収納業務等を民間に委託する。 |
| 成果 | 民間への委託により経費の削減及び水道料金の収納率の向上を図ることができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 職員の検針業務、料金の徴収及び収納業務等への負担が増加しているなかで、民間委託により経費の削減と業務の効率化を図る。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 初年度(平成24年度)において、事務処理等の事務的改善を実施した。 (原契約は平成28年度までで終了。平成29年度以降は、平成28年度中に新たにプロポーザル等により委託業者を決定するため、事業費は現時点での見込み金額で、負担行為の金額。) |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 事業内容 | 業務委託経費 | | 業務委託経費 | 業務委託経費 | |
| 事業費 | | 64,000 | 64,000 | 65,000 | 193,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 64,000 | 64,000 | 65,000 | 193,000 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|----------|------|----------|
| 事業名 | サーバ統合化事業 | 整理番号 | 7605-010 |
| 所管 | 企画部 行政課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-------------|
| 事業期間 | 平成29年度～平成33年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-6-5 | 施策名: 情報化の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 業務サーバの集約により、管理コスト等を削減する。 |
| 対象 | 課ごとに導入した業務サーバ 38台 |
| 手段 | 業者委託による集約対象サーバの特定と、導入サーバの規模及び利用仮想技術の整理を行う。 |
| 成果 | 仮想サーバの利用によって、サーバハードウェア個体数及び運用時における管理項数が削減される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | サーバOSの仮想技術の向上によって、集約サーバの運用の簡素化が図られるようになったこと。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|----------------------------------|
| 見直し改善の経過 | 調査可能事業者を選定し、平成29年度実施のための予算化を検討中。 |
|----------|----------------------------------|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|-------------|----------------|----------------|-------|
| 事業内容 | | ・サーバ統合化調査委託 | ・集約サーバの導入(リース) | ・集約サーバの利用(リース) | |
| 事業費 | | 2,000 | 2,000 | 4,000 | 8,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 2,000 | 2,000 | 4,000 | 8,000 |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 外部セキュリティ監査事業 | 整理番号 | 7605-020 |
| 所管 | 企画部 行政課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成33年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-6-5 | 施策名: 情報化の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 事務のセキュリティを向上させる。 |
| 対象 | 各業務 |
| 手段 | 年度実施計画を定め、5年で全所属に監査が行えるよう監査計画を立てて実施する。 |
| 成果 | 各業務のセキュリティリスクが低減する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 他自治体でセキュリティ事故が頻発しており、情報漏えいへの不安が増大している。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--|--------------------|--------------------|--------|
| 事業内容 | | ・業者委託によるセキュリティ監査基準の策定 ・監査計画の策定 ・内部監査員育成計画の策定 | ・監査計画によるセキュリティ外部監査 | ・監査計画によるセキュリティ外部監査 | |
| 事業費 | | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 15,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 15,000 |

| | | | |
|-----|-----------|------|----------|
| 事業名 | 議会映像等配信事業 | 整理番号 | 7605-030 |
| 所管 | 議会事務局 議事課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-6-5 | 施策名: 情報化の推進 |
| | 関連施策: | 7-2-2 | 施策名: わかりやすい広報の推進 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 市議会の本会議について、インターネット配信によるライブ中継を行い、録画映像・音声をVOD(ビデオ・オン・デマンド)形式でインターネット配信をすることで、市民の利便性の向上を図るとともに、積極的な情報公開に努めることで、議会に対する関心を高めてもらうことを目的とする。 |
| 対象 | 市民、執行機関、議会 |
| 手段 | 議場に設置されたカメラ及び音響設備からの映像信号と音声信号をエンコーダという装置を用いてデータ化し、インターネット配信によりライブ中継を行うとともに、録画映像・音声を、時間や場所を限定することなく、また必要な部分を視聴できるよう、VOD(ビデオ・オン・デマンド)形式でインターネット配信する。ライブ中継、録画配信とも、プラグインを必要とせずにパソコン・スマートフォン・タブレット端末での視聴を可能にする。 |
| 成果 | 会議の情報をスピーディーに公開することで、「開かれた議会」と「議会の見える化」を、市民をはじめとする幅広い世代に伝えることができる。また、パソコンのほかにスマートフォンやタブレット端末など各種スマートデバイスにも対応することにより、いつでも、どこでも会議の映像を視聴でき、議会に対する関心を高めてもらうことができる。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | ICTの普及と急速な進化により、「開かれた議会」と「議会の見える化」を目的としたインターネット配信による議会映像のライブ中継・録画配信を行う地方議会は年々増加している。本市では、ケーブルテレビによる本会議の録画中継を、撮影範囲を限定して行っているが、ケーブルテレビの未契約世帯も多く存在する。傍聴者のアンケート等からも、インターネット配信による会議のライブ中継・録画配信を望む声が挙がっていた。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成25年度から平成26年度の2か年にわたり、議会改革特別委員会でインターネットの中継方法等、議会の広報について調査・研究がなされ、当時の議長及び広報委員長に提言がなされた。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 庁舎東館引渡し後にシステムを導入し、試験運用を経て、6月定例会からライブ中継等を開始する。 | | | | |
| 事業費 | | 1,000 | | | 1,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 1,000 | 0 | 0 | 1,000 |
| (投資) | 1,000 | | | 1,000 | |

| | | | |
|-----|------------|------|----------|
| 事業名 | 議会ICT化推進事業 | 整理番号 | 7605-040 |
| 所管 | 議会事務局 議事課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|----------------|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-6-5 | 施策名: 情報化の推進 |
| | 関連施策: | 7-6-1 | 施策名: 市民サービスの向上 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 議会機能の充実強化、議会運営の効率化と迅速化、危機管理体制の強化などを図るため、その有効手段のひとつとして、議会におけるICT技術の積極的活用を推進する。 |
| 対象 | 議員、議会事務局 |
| 手段 | 市議会議員全員にタブレット端末を配布し、議場・委員会室など庁舎東館議会ゾーンにWi-Fi環境を整備する。電子スケジュールや電子掲示板、メールなどが可能なグループウェアや、ペーパーレス議会システム等を導入し、タブレット端末から利用できるようにする。 |
| 成果 | グループウェアやペーパーレス議会システム等をタブレット端末から利用できるようにすることで、情報共有による事務作業の確実性向上、情報伝達の迅速化、議案書など各種資料のペーパーレス化による事務作業の軽減及び業務スピードの向上等が図られ、議会機能の充実強化、議会運営の効率化と迅速化、危機管理体制の強化などにつながる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | ICTの普及と急速な進化により、行政分野でも行政事務の効率化を目的としたICT利活用の取組が進んでおり、地方議会においても、ICT化による市民の多様な意見の把握、市民への情報提供や議会の効率化が求められる状況にある。全国的に地方議会へのタブレット端末の導入が進む中、御殿場市議会でも多くの議員からタブレット端末導入の要望が出ている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成27年度と平成28年度に、議会運営委員会行政視察でタブレット端末を導入している先進市議会の視察を行った。また、議会改革特別委員会より引き継いでいる議会運営に関する検討事項について、議会のインターネット中継とともに検討を続けている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 議場のWi-Fi整備 タブレット端末の導入 グループウェアやペーパーレス議会システム等の導入 | | | | |
| | 事業費 | 5,000 | | | 5,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 5,000 | 0 | 0 | 5,000 |
| (投資) | 5,000 | | | 5,000 | |

| | | | |
|-----|--------------------|------|----------|
| 事業名 | セキュリティクラウドシステム利用事業 | 整理番号 | 7605-050 |
| 所管 | 企画部 行政課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-------------|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-6-5 | 施策名: 情報化の推進 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | インターネット閲覧や外部からのメール收受の安全性を向上させる。 |
| 対象 | 所属ごとに設置しているインターネットパソコン |
| 手段 | 静岡県が設置する「セキュリティクラウドシステム」を利用し、インターネット出入口を集約化する。 |
| 成果 | インターネット閲覧や電子メール收受のセキュリティ向上が図られる。 また、USBメモリによるコンピュータウイルス侵入が防止される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 住民の個人情報漏えいに対する不安の低減が求められている。 国の機関や自治体の情報漏えい事故が多発している。 国の補助により、県単位のセキュリティシステムの構築(全国の市町村の利用を前提)が進められている。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成28年度中に、静岡県によるセキュリティクラウドシステムが構築予定となっている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|----------------------|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | ・県内市町応分負担によるシステム利用契約 | | | | |
| 事業費 | | 4,000 | | | 4,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | | 4,000 | 0 | 0 |

| | | | |
|-----|---------|------|----------|
| 事業名 | 人材育成事業 | 整理番号 | 7607-010 |
| 所管 | 総務部 人事課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------|
| 事業期間 | 昭和29年度～ | 根拠法令・要綱等 | 地方公務員法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-6-7 | 施策名: 職員の能力向上 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 人材育成基本方針に基づき、職員の資質向上を図るとともに意識改革を促し、行政が果たすべき役割を考え行動できる職員の育成と、新公共経営を担える組織力の向上を目指す。 |
| 対象 | 全職員(臨時職員を含む) |
| 手段 | 人材育成基本方針に基づき、自主研修、職場内研修及び職場外研修等の職員研修を行う。また、人材育成及び処遇反映を目的として人事評価を実施する。 |
| 成果 | 公務員に求められる職員としての必要な知識やスキルを得ることができる。また、豊かで柔軟な思考力や創造力、行動力を身に付けるとともに意識改革、マネジメント能力の向上により、職場の活性化、市民サービスの向上及び円滑で効率的な行政経営が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 厳しい社会経済情勢下での行政課題や市民ニーズ等に公正・適確に対応するため、必要な能力を効果的・効率的に習得させ、組織力を高めるための長期的視野に立った人材育成が必要である。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 内部講師の起用、階層別研修の他市との共同開催等により経費縮減を図っている。業務に直接関連する実務研修を実施するとともに、派遣型階層別研修の派遣先を変更し研修内容をより受講階層に適したものとした。また、職員力、組織力向上等のため人事評価制度を平成28年度から本格実施している。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-----|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------|
| 事業内容 | | 階層別研修、職能研修、派遣研修、人事交流等 人事評価制度の本格実施 | 階層別研修、職能研修、派遣研修、人事交流等 人事評価制度の本格実施 | 階層別研修、職能研修、派遣研修、人事交流等 人事評価制度の本格実施 | |
| 事業費 | | 7,000 | 7,000 | 7,000 | 21,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | 800 | 800 | 800 | 2,400 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | 3,900 |
| | 一般 | 4,900 | 4,900 | 4,900 | 14,700 |
| (投資) | | | | 0 | |

| | | | |
|-----|--------------|------|----------|
| 事業名 | 人材育成基本方針策定事業 | 整理番号 | 7607-020 |
| 所管 | 総務部 人事課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------|
| 事業期間 | 平成29年度～ | 根拠法令・要綱等 | 地方公務員法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-6-7 | 施策名: 職員の能力向上 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 平成18年度に策定した人材育成基本方針について、策定から10年が経過し、時代や社会情勢の変化により行政課題や市民のニーズも変化していくことから、時代の変化に対応した組織目標と職員に求められる人材像について人材育成基本方針の見直しを行う。 |
| 対象 | 全職員(臨時職員を含む) |
| 手段 | 職員アンケート調査により時代の変化と職員の意識の変化を確認するとともに、庁内の検討組織を発足させ本市の目指す人材像と推進体制の見直しを行う。 |
| 成果 | 人事評価制度の本格導入に伴い、組織や個人の目標の指針とするとともに、御殿場型NPM実現に向けた人材育成の手引書の見直しを行う。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 人事評価制度の本格導入に伴い、組織目標や個人目標の指針とするとともに、採用から退職まで一貫した人材育成基本方針を時代に合わせて見直す。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成17年度、平成18年度の2か年で策定した計画ではあるが、平成29年度は見直しであるため単年度事業で行い、経費削減に努める。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

5,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | 人材育成基本方針の見直し | | | | |
| 事業費 | | 5,000 | | | 5,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 5,000 | 0 | 0 | 5,000 |

| | | | |
|-----|---------------------------|------|----------|
| 事業名 | 東富士演習場関連公共用施設整備事業(9条用排水路) | 整理番号 | 7902-010 |
| 所管 | 産業部 農林整備課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 昭和55年度～ | 根拠法令・要綱等 | 防衛施設周辺の生活環境等に関する法律第9条 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-9-2 | 施策名: 民有諸権利の擁護及び民生安定事業の推進 |
| | 関連施策: | 1-3-1 | 施策名: 農業生産基盤の整備及び維持管理 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---------------------------|
| 目的 | 洪水時における浸水被害の軽減及び用水量を確保する。 |
| 対象 | 未整備の用排水路及びその受益者 |
| 手段 | 農業用施設及び用排水路・取水工の整備を実施する。 |
| 成果 | 用水量の安定確保及び維持管理費の節減が図られる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 演習場使用協定に基づき実施。 東富士演習場土地賃貸借契約に関する要望に基づき実施。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------------------|--------------------|--------------------|--------|
| 事業内容 | | 市内用排水路工事 L=200m | 市内用排水路工事 L=200m | 市内用排水路工事 L=200m | |
| 事業費 | | 15,000 | 15,000 | 15,000 | 45,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | 300 | 300 | 300 | 900 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 14,700 | 14,700 | 14,700 | 44,100 |
| (投資) | 14,700 | 14,700 | 14,700 | 44,100 | |

| | | | |
|-----|------------------|------|----------|
| 事業名 | 特定防衛施設河川改修事業(9条) | 整理番号 | 7902-020 |
| 所管 | 都市建設部 道路河川課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 昭和57年度～ | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-9-2 | 施策名: 民有諸権利の擁護及び民生安定事業の推進 |
| | 関連施策: | 3-3-2 | 施策名: 河川の改修及び維持管理 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 生活環境の向上を図る。 大雨などによる災害の防止を図り、市民生活の安全確保及び河川環境の整備を図る。 |
| 対象 | 河川の氾濫による被害を受ける住民及び河川環境悪化の影響を受ける住民 |
| 手段 | 排水路の整備を行う。 |
| 成果 | 災害の防止、生活環境の改善が期待される。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 演習場の使用に伴い生活環境、開発に及ぼす影響が考慮され、この公共施設整備に対して助成を受ける。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|------------------|------------------|------------------|--------|
| 事業内容 | | ト子畑排水路 下ノ原排水路 | ト子畑排水路 下ノ原排水路 | ト子畑排水路 下ノ原排水路 | |
| 事業費 | | 16,000 | 16,000 | 16,000 | 48,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 1,100 | 1,100 | 1,100 | 3,300 |
| | 財繰 | 320 | 320 | 320 | 960 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 14,580 | 14,580 | 14,580 | 43,740 |
| (投資) | 14,580 | 14,580 | 14,580 | 43,740 | |

| | | | |
|-----|------------------|------|----------|
| 事業名 | 防衛施設関連道路整備事業(8条) | 整理番号 | 7902-030 |
| 所管 | 都市建設部 道路河川課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 昭和57年度～ | 根拠法令・要綱等 | 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-9-2 | 施策名: 民有諸権利の擁護及び民生安定事業の推進 |
| | 関連施策: | 6-6-1 | 施策名: 都市計画道路・幹線道路の整備推進 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 演習場周辺の市道について改良・舗装を行い、生活環境の向上を図る。 |
| 対象 | 防衛施設の設置又は運営によって障害を生じる住民 |
| 手段 | 道路改良及び舗装補修を実施する。 |
| 成果 | 演習場周辺の生活環境の向上が図られるとともに、災害時の緊急輸送路として整備される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 演習場の使用に伴い障害を受ける地域住民は、生活環境の改善を国に強く要望している。道路長寿命化計画に基づく舗装補修整備の推進。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--|---------|--|--|-----------|
| 事業内容 | 市道5013号線外2 市道6186号線外3 市道0125号線外1 市道0129号線 市道0237号線 | | 市道5013号線外2 市道6186号線外3 市道0125号線外1 市道0129号線 市道0237号線 | 市道5013号線外2 市道6186号線外3 市道0129号線 市道0237号線 舗装補修 | |
| | 事業費 | 792,000 | 589,000 | 580,000 | 1,961,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | 594,001 | 441,750 | 435,001 | 1,470,752 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 30,400 | 24,100 | 21,700 | 76,200 |
| | 財繰 | 157,372 | 115,000 | 115,997 | 388,369 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 10,227 | 8,150 | 7,302 | 25,679 |
| | 10,227 | 8,150 | 7,302 | 25,679 | |

| | | | |
|-----|------------------|------|----------|
| 事業名 | 防衛施設関連道路整備事業(9条) | 整理番号 | 7902-040 |
| 所管 | 都市建設部 道路河川課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|--------------------------|
| 事業期間 | 昭和57年度～ | 根拠法令・要綱等 | 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 7-9-2 | 施策名: 民有諸権利の擁護及び民生安定事業の推進 |
| | 関連施策: | 6-6-2 | 施策名: 生活道路の整備 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 演習場周辺の市道について改良・舗装を行い、生活環境の向上を図る。 |
| 対象 | 防衛施設の設置又は運営によって障害を生じる住民 |
| 手段 | 生活道路や幹線道路となる路線の拡幅改良・歩道設置・舗装補修を実施する。 |
| 成果 | 生活環境の向上、交通渋滞の緩和、地域間の交流や連携の強化が図られ、円滑で安全・快適な道路交通網が形成される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 演習場の使用に伴い障害を受ける地域住民は、生活環境の改善を国に強く要望している。道路長寿命化計画に基づく舗装補修整備の推進。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------|--|--|--|---------|
| 事業内容 | | 市道0111号線外1 市道4102号線外1 市道0211号線外1 市道3456号線外1 市道0252号線舗装補修外1 | 市道0111号線外1 市道4102号線外1 市道0211号線外1 市道3456号線外1 市道0252号線舗装補修外1 | 市道1017号線外2 市道4102号線外1 市道0211号線外1 市道3456号線外1 市道0252号線舗装補修外1 | |
| | 事業費 | 259,000 | 300,000 | 141,000 | 700,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 18,700 | 21,700 | 10,500 | 50,900 |
| | 財繰 | 5,080 | 5,800 | 2,400 | 13,280 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| 一般 | 235,220 | 272,500 | 128,100 | 635,820 | |
| (投資) | 235,220 | 272,500 | 128,100 | 635,820 | |

御殿場市・小山町広域行政組合分

| | | | |
|-----|---------------------------|------|----------|
| 事業名 | 出動隊編成再構築事業 | 整理番号 | 3203-020 |
| 所管 | 御殿場市・小山町広域行政組合 消防本部 通信指令課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-------------------|
| 事業期間 | 平成31年度～平成31年度 | 根拠法令・要綱等 | 消防組織法第1条 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-2-3 | 施策名: 消防力の強化 |
| | 関連施策: | 7-7-3 | 施策名: 広域行政体制の充実・強化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 新東名の開通に伴い拡大する出動範囲と緊急出動件数の増加への対応を考慮し、出動隊編成を見直す。 |
| 対象 | 地域住民(御殿場市・小山町) |
| 手段 | 再構築した出動隊編成を自動出動指定装置に組込む。 |
| 成果 | 地域住民の安心・安全を確保するとともに、指令・出動体制を確保する。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成32年の新東名開通に伴い、出動範囲と緊急出動件数の増加を考慮し、出動体制の見直しが必要となる。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

5,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|------|--------|--------|------------|-------|
| 事業内容 | | | | 出動隊編成再構築事業 | |
| 事業費 | | | | 5,000 | 5,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山寄付 | | | 1,050 | 1,050 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 0 | 0 | 3,950 | 3,950 |
| | (投資) | | | | 0 |

| | | | |
|-----|---------------------------|------|----------|
| 事業名 | 高機能消防指令センター延命化事業 | 整理番号 | 3203-040 |
| 所管 | 御殿場市・小山町広域行政組合 消防本部 通信指令課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-------------------|
| 事業期間 | 平成29年度～平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | 消防組織法第1条 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-2-3 | 施策名: 消防力の強化 |
| | 関連施策: | 7-7-3 | 施策名: 広域行政体制の充実・強化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---------------------------------------|
| 目的 | 高機能消防指令センターの安定的な維持のため、情報系、指令系の延命化を行う。 |
| 対象 | 地域住民(御殿場市・小山町) |
| 手段 | 高機能消防指令センターの耐用年数を越えた構成機器の部分更新を行う。 |
| 成果 | 地域住民の安心・安全を確保するとともに、指令・出動体制を確保する。 |

| | |
|----------------|--------------------------------------|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 高機能指令センターの安定稼働を図ることにより、市町民の安全が確保できる。 |
|----------------|--------------------------------------|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

86,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------------|--------|-----------------------|--------|--------|
| 事業内容 | 指令センター情報系・指令系の部分更新 | | 多目的表示盤・出動車両運用管理装置部分更新 | | |
| 事業費 | | 28,000 | 58,000 | | 86,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | 5,896 | 12,214 | | 18,110 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 22,104 | 45,786 | 0 | 67,890 |
| (投資) | 22,104 | 45,786 | | 67,890 | |

| | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|
| 事業名 | 消防本部車両等更新整備事業 | 整理番号 | 3203-050 |
| 所管 | 御殿場市・小山町広域行政組合 消防本部 警防課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|-----------|----------|-------------------|
| 事業期間 | 昭和61年度～ | 根拠法令・要綱等 | 消防組織法第1条 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-2-3 | 施策名: 消防力の強化 |
| | 関連施策: | 7-7-3 | 施策名: 広域行政体制の充実・強化 |
| 個別計画での位置づけ | 消防車両等整備計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 住民の生命、身体及び財産の保護と被害の軽減を図る。 |
| 対象 | 地域住民(御殿場市・小山町) |
| 手段 | 消防車両更新計画に基づき、水槽付消防ポンプ自動車、救助工作車、救急車、指揮車、連絡車、資機材搬送車及び広報車の更新を実施する。 |
| 成果 | 地域の実情に即応した適切な消防体制の整備を図る。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 災害時における被害の軽減、及び住民の救命率の向上を目指した救急業務の高度化を促進する。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 常に、有事の際に即応できる体制と、車両・資機材は最小限の使用を基本としている。さらに、全車両について再精査を行い、緊急度及び重要度の高いものからの計画を優先した。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|---------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|---------|
| 事業内容 | | ・小山消防署救助工作車 ・御殿場消防署指揮車 | ・消防本部広報1号車 ・西分署救急車 ・須走分署連絡車 | ・御殿場消防署水槽付消防ポンプ自動車 ・御殿場消防署資機材搬送車 | |
| 事業費 | | 152,000 | 45,000 | 61,000 | 258,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | 32,827 | 16,606 | 12,735 | 62,168 |
| | 県補 | 2,833 | 2,082 | 2,450 | 7,365 |
| | 市債 | 82,700 | 15,200 | 30,500 | 128,400 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | 7,001 | 2,317 | 3,183 | 12,501 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 26,639 | 8,795 | 12,132 | 47,566 |
| (投資) | 26,639 | 8,795 | 12,132 | 47,566 | |

| | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|
| 事業名 | 富士岡分署新築事業 | 整理番号 | 3203-060 |
| 所管 | 御殿場市・小山町広域行政組合 消防本部 管理課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|----------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成30年度 | 根拠法令・要綱等 | 消防組織法第1条(任務)・第6条(責任) |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 3-2-3 | 施策名: 消防力の強化 |
| | 関連施策: | | 施策名: |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 富士岡分署庁舎の新築移転事業を行い、地域住民の安心・安全を確保するとともに、消防職員の安全管理と衛生管理の確保を図る。 |
| 対象 | 御殿場市民 |
| 手段 | 富士岡分署庁舎を新築移転する。 (素案)敷地面積 1,500㎡、建築面積 400㎡、鉄骨造平屋建て |
| 成果 | 市民(地域住民)の安心・安全を確保するとともに、消防職員の安全管理と衛生管理を確保する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 富士岡分署庁舎は昭和51年建築で40年経過しており、老朽化による施設の不具合が多数生じている。また、所在地が市街地であるので、周辺住民に対し災害時の緊急自動車の走行やサイレン吹鳴に細心の注意を図りながら出動している。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成10年度に、庁舎の耐震補強及び連絡車庫の増築を実施した。また、現在富士岡地区で開催されている「富士岡支所移転構想策定委員会」において、富士岡分署庁舎の移転も盛り込んで検討されている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------|--------|--------|---------------|-------|
| 事業内容 | | | | 富士岡分署移転新築基本調査 | |
| | 事業費 | | | 1,000 | 1,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | | 0 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 0 | 0 | 1,000 | 1,000 |

| | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|
| 事業名 | 消防庁舎電灯LED化事業 | 整理番号 | 5101-040 |
| 所管 | 御殿場市・小山町広域行政組合 消防本部 管理課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|--------------------|
| 事業期間 | 平成31年度～平成33年度 | 根拠法令・要綱等 | 労働安全衛生法 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-1-1 | 施策名: 新・省エネルギーの導入推進 |
| | 関連施策: | 3-2-3 | 施策名: 消防力の強化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 消防庁舎の老朽化に伴い古くなった電灯を更新し、職場環境の改善に努める。 |
| 対象 | 来庁者及び職員 |
| 手段 | 消防庁舎全体の電灯をフロア毎に順次LED電灯に交換する。 |
| 成果 | 来庁者への配慮と職員への環境改善により、建物起因による事故を防止する。 また、LED化により電気代の大幅な節約が見込まれるとともに、環境への影響としては、消費電力及び温室効果ガス排出量が削減される。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 平成5年に建設された消防庁舎も20年以上が経過し、各所に故障が生じている。特に電灯にあっては、不具合が全体の約15%に及び、かつ、旧式の器具には、部品供給がなく修繕できない物もあるため、更新が必要である。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 電灯設備の消耗品の交換や器具類の修繕を実施してきたが、設備の耐用年数等を考慮し、計画的にLED化を進めることとした。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

26,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-----|--------|--------|--------------|-------|
| 事業内容 | | | | 消防庁舎電灯LED化事業 | |
| 事業費 | | | | 9,000 | 9,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | | | 1,895 | 1,895 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 0 | 0 | 7,105 | 7,105 |
| (投資) | | | 7,105 | 7,105 | |

| | | | |
|-----|--------------------|------|----------|
| 事業名 | 斎場施設修繕整備事業 | 整理番号 | 5306-010 |
| 所管 | 御殿場市・小山町広域行政組合 庶務課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～平成29年度 | 根拠法令・要綱等 | |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-3-6 | 施策名: 墓園・斎場の整備 |
| | 関連施策: | 7-7-3 | 施策名: 広域行政体制の充実・強化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|---------------------------|
| 目的 | 老朽化した斎場の空調設備の整備(修繕)を行う。 |
| 対象 | 管内(御殿場市・小山町)住民及び管外利用者 |
| 手段 | ガスヒートポンプ式空調設備Dの交換修繕を実施する。 |
| 成果 | 施設の空調設備の適正な維持管理ができる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 現空調機の導入から15年が経過し、修繕の実績をみると交換時期に差し掛かっている。また、製造メーカーが既に生産を中止しており、交換部品の入手も困難なことから早急に対応したい。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|---|
| 見直し改善の経過 | 平成26年度から交換修繕を実施しており、利用者に快適な環境を提供することができている。 |
|----------|---|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|---------------|--------|--------|--------|-------|
| 事業内容 | ガスヒートポンプ式空調機D | | | | |
| 事業費 | | 7,000 | | | 7,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | 1,249 | | | 1,249 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 5,751 | 0 | 0 | 5,751 |
| | | 5,751 | | | 5,751 |

| | | | |
|-----|--------------------|------|----------|
| 事業名 | ごみ焼却施設周辺整備事業 | 整理番号 | 5405-020 |
| 所管 | 御殿場市・小山町広域行政組合 施設課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成27年度～平成46年度 | 根拠法令・要綱等 | ごみ焼却施設の建設及び操業に関する合意書 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-4-5 | 施策名: 廃棄物処理・リサイクル施設の整備 |
| | 関連施策: | 6-6-1 | 施策名: 都市計画道路・幹線道路の整備推進 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | ごみ焼却施設の周辺地区である板妻区及び神場区への地域振興策として、道路、河川等の公共工事を実施する。 |
| 対象 | 板妻区及び神場区の住民 |
| 手段 | 地元区の要望に基づき、広域行政組合が御殿場市に委託して道路、河川等の公共工事を実施する。 |
| 成果 | 道路等の整備が進み、交通渋滞の緩和、生活環境の保全及び利便性の向上が図れる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | ごみ焼却施設建設及び操業に関する基本協定書に基づき、地元区との定期協議会で内容を協議し地元の要望に即した公共工事を実施する。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

600,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| 事業内容 | 道路整備・河川改修工事 | 道路整備・河川改修工事 | 道路整備・河川改修工事 | 道路整備・河川改修工事 | |
| 事業費 | | 30,000 | 30,000 | 30,000 | 90,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | 5,353 | 5,353 | 5,353 | 16,059 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 24,647 | 24,647 | 24,647 | 73,941 |
| (投資) | 24,647 | 24,647 | 24,647 | 73,941 | |

| | | | |
|-----|--------------------|------|----------|
| 事業名 | ごみ再資源化施設整備事業 | 整理番号 | 5405-030 |
| 所管 | 御殿場市・小山町広域行政組合 施設課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成19年度～平成47年度 | 根拠法令・要綱等 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-4-5 | 施策名: 廃棄物処理・リサイクル施設の整備 |
| | 関連施策: | 7-7-3 | 施策名: 広域行政体制の充実・強化 |
| 個別計画での位置づけ | 一般廃棄物処理基本計画 | | |

●事業の内容

| | |
|----|---|
| 目的 | 可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみ等の一般廃棄物の総合的なごみ処理施設を整備し、広域行政組合が運営・管理する。 |
| 対象 | 御殿場市民、小山町民、事業者から排出される不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみ |
| 手段 | PFI手法を用いて市、町の一般廃棄物処理基本計画に基づいた規模のごみ再資源化施設(リサイクルセンター)の整備・運営を行う。 |
| 成果 | 資源循環型社会形成の基本理念である3R(発生抑制・再利用・再生利用)を推進する方針に基づき、施設を集約することで効率的な資源化を図る。 |

| | |
|----------------|---|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 市、町の合意により、市内にごみ処理総合施設を整備し、市、町のごみ分別や排出方法の統一化とともに効率的、効果的なごみ処理を図る。 |
|----------------|---|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 市及び町の一般廃棄物処理基本計画に基づき、平成24年度に施設整備基本計画を策定し、施設規模等の見直し(平成19年度に一度実施している)を行った。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

2,655,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|--------------------|-----------|--------|--------|-----------|
| 事業内容 | ・施設建設工事(PFI) | | | | |
| | ・PFI事業モニタリング業務(建設) | | | | |
| 事業費 | | 1,816,000 | | | 1,816,000 |
| 財源内訳 | 国補 | 455,000 | | | 455,000 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | 800,000 | | | 800,000 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | 80,704 | | | 80,704 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | 197,000 | | | 197,000 |
| | 一般(投資) | 283,296 | | 0 | 0 |
| | | | | | 0 |

| | | | |
|-----|----------------------------|------|----------|
| 事業名 | 御殿場・小山RDFセンター解体・撤去事業(設計業務) | 整理番号 | 5405-040 |
| 所管 | 御殿場市・小山町広域行政組合 施設課 | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------------|----------|-----------------------|
| 事業期間 | 平成28年度～平成29年度 | 根拠法令・要綱等 | ごみ焼却施設の建設及び操業に関する合意書 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-4-5 | 施策名: 廃棄物処理・リサイクル施設の整備 |
| | 関連施策: | 7-7-3 | 施策名: 広域行政体制の充実・強化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 平成27年3月31日をもって運営を停止したRDFセンターを解体・撤去する。 |
| 対象 | 御殿場・小山RDFセンター |
| 手段 | 解体・撤去工事を実施する。 工場棟 6,360㎡、管理棟 232㎡、燃焼脱臭棟 248㎡、その他 232㎡ |
| 成果 | 不用となったRDFセンターの敷地を更地にし、売却する。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第9条第3項の規定に基づき、平成27年4月27日付けで廃止の届出をし、受理されている。御殿場市、小山町の協議が整った段階で、施設の解体・撤去工事を実施する。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

10,000

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 事業内容 | RDFセンター施設の解体・撤去工事(設計業務) | | | | |
| 事業費 | | 10,000 | | | 10,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | 1,784 | | | 1,784 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般(投資) | 8,216 | 0 | 0 | 8,216 |
| | | 8,216 | | | 8,216 |

| | | | |
|-----|-----------------------|------|----------|
| 事業名 | 衛生センター施設修繕整備事業 | 整理番号 | 5509-010 |
| 所管 | 御殿場市・小山町広域行政組合 衛生センター | | |

●事業の種類と位置づけ

| | | | |
|--------------|---------|----------|-------------------|
| 事業期間 | 平成23年度～ | 根拠法令・要綱等 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 |
| 基本計画における位置づけ | 施策番号: | 5-5-9 | 施策名: 衛生センターの整備 |
| | 関連施策: | 7-7-3 | 施策名: 広域行政体制の充実・強化 |
| 個別計画での位置づけ | | | |

●事業の内容

| | |
|----|--|
| 目的 | 衛生センターの主要装置の整備(修繕)を行うことで、施設の延命化を図る。 |
| 対象 | 御殿場市民、小山町民 |
| 手段 | 曝気ブロウ・ガス攪拌ブロウ交換修繕、沈殿槽内部装置交換修繕、計装機器等交換修繕等を実施する。 |
| 成果 | 施設の機能が保持されることで、施設の延命化が図られ、公害防止協定が遵守されるとともに、清潔な生活環境を維持し、市民・町民が安心した生活を送れる。 |

| | |
|----------------|--|
| 事業の背景・住民の意向の反映 | 施設稼働後31年が経過し、経年的な消耗が著しく、機械設備、各槽等の老朽化に対応するため補修整備を行う。施設更新計画検討の時期だが、平成27年に施設の躯体調査を行った結果、躯体の健全性は保たれているとの調査結果から、更なる施設の延命化を図るため、今後、機械設備等の修繕整備を行う必要がある。 |
|----------------|--|

| | |
|----------|--|
| 見直し改善の経過 | 昭和60年に施設改造稼働後、平成14年～平成16年で施設の延命化を図るため大規模修繕を実施したが、その後11年が経過した。3年毎に行う精密機能検査に基づき見直し改善を行う。 |
|----------|--|

●事業計画

(単位:千円)

総事業費

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 計 |
|------|-------------------|--------|-------------|-----------|--------|
| 事業内容 | 曝気ブロウ・ガス攪拌ブロウ交換修繕 | | 沈殿槽内部装置交換修繕 | 計装機器等交換修繕 | |
| 事業費 | | 9,000 | 43,000 | 18,000 | 70,000 |
| 財源内訳 | 国補 | | | | 0 |
| | 防衛 | | | | 0 |
| | 県補 | | | | 0 |
| | 市債 | | | | 0 |
| | 財繰 | | | | 0 |
| | 負担 | | | | 0 |
| | 小山 | 1,796 | 8,582 | 3,593 | 13,971 |
| | 寄付 | | | | 0 |
| | その他 | | | | 0 |
| | 一般 | 7,204 | 34,418 | 14,407 | 56,029 |
| (投資) | 7,204 | 34,418 | 14,407 | 56,029 | |

